

労災疾病臨床研究事業費補助金

女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響
及びその治療と就労の両立に関する
調査研究（150201-01）

平成28年度 総括研究報告書

研究代表者 宮内 文久

平成29年3月

目 次

A. 研究組織	1
B. 研究分野及び細目、キーワード	2
C. 検討結果	3
《1》 就労女性が子宮筋腫の手術を受ける時に職場から受ける影響	3
《2》 アンケート回答	1 2
①労働者健康安全機構従業員へのアンケート調査	1 2
②産婦人科外来患者へのアンケート調査	6 2
③手術を受けた患者へのアンケート調査	8 7
④一般女性へのアンケート調査	1 0 2
⑤中間管理職、衛生管理スタッフへのアンケート調査	1 2 3
D. 検討結果の発表・公表	1 4 1
E. 資料	1 4 2
資料 1 労働者健康安全機構従業員への質問用紙	1 4 2
資料 2 産婦人科外来患者への質問用紙	1 5 3
資料 3 手術を受けた患者への質問用紙	1 6 2
資料 4 一般女性への質問用紙	1 7 0
資料 5 中間管理職、衛生管理スタッフへの質問用紙	1 7 6
資料 6 愛媛労災病院倫理委員会への申請用紙(H27年5月)	1 8 1
資料 7 愛媛労災病院倫理委員会への申請用紙(H27年11月)	1 8 7

A. 研究組織

①研究者名	②分担する研究項目	③最終卒業校・卒業年次・学位及び専攻科目	④所属研究機関及び現在の専門(研究実施場所)	⑤所属研究機関における職名
宮内 文久	解析と総括	山口大学大学院・昭和55年修了・医学博士・産科婦人科学	愛媛労災病院	院長
林 邦彦	統計解析 看護師の健康管理の分析	東京大学医学部保健学科・昭和55年修了・保健学博士・疫学	群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻	教授
杉野 法広	女性特有の疾患の臨床像の分析	山口大学大学院・平成3年修了・医学博士・産科婦人科学	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学専攻	教授
香川 秀之	女性特有の疾患の臨床データ収集	東京大学医学部・昭和59年卒業・医学博士・産科婦人科学	関東労災病院	副院長
中山 昌樹	女性特有の疾患の臨床データ収集	横浜市立大学医学部・昭和56年卒業・医学博士・産科婦人科学	横浜労災病院	周産期センター長
志岐 保彦	一般婦人における有病率の検索	大阪大学医学部医学科・平成5年卒業・産科婦人科学	大阪労災病院	産婦人科部長
伊藤 公彦	一般婦人における有病率の検索	奈良県立医科大学大学院・昭和63年修了・医学博士・産科婦人科学	関西労災病院	産婦人科部長
松江 陽一	企業の間管理職の意識調査	東邦大学医学部・平成11年卒業・医学博士・産科婦人科学	東京労災病院	産婦人科部長
東矢 俊光	企業の間管理職の意識調査	熊本大学大学院・昭和61年修了・医学博士・産科婦人科学	熊本労災病院	副院長 産婦人科部長
藤原 多子	全国労災病院の女性従業員の調査	名古屋大学大学院・平成22年修了・医学博士・産科婦人科学	中部労災病院	産婦人科部長
辰田 仁美	全国労災病院の女性従業員の調査	和歌山県立医科大学大学院・平成9年修了・医学博士・呼吸器科学	和歌山労災病院	呼吸器内科部長
星野 寛美	全国労災病院の女性従業員の調査	横浜市立大学医学部・昭和63年卒業・産科婦人科学	関東労災病院	産婦人科医師

B. 研究分野及び細目、キーワード

研究分野（主）	系（必須）	生物系
	分野（必須）	医歯薬学
	分科（必須）	外科系臨床医学
	細目番号（必須）	8309
	細目名（必須）	産婦人科学
	キーワード1	(3) 婦人科学
	キーワード2	(4) 婦人科腫瘍学
	キーワード3	(5) 更年期医学
研究分野（副）	系（必須）	生物系
	分野（必須）	医歯薬学
	分科（必須）	社会医学
	細目番号（必須）	8101
	細目名（必須）	疫学・予防医学
	キーワード1	(11) 健康管理
	キーワード2	(12) 健康増進
	キーワード3	(2) 臨床疫学

C. 検討結果

《1》 就労女性が子宮筋腫の手術を受ける時に職場から受ける影響

宮内文久¹、大角尚子¹、香川秀之²、星野寛美²、松江陽一³、中山昌樹⁴、
藤原多子⁵、志岐保彦⁶、伊藤公彦⁷、辰田仁美⁸、東矢俊光⁹

1 愛媛労災病院、2 関東労災病院、3 東京労災病院、4 横浜労災病院、
5 中部労災病院、6 大阪労災病院、7 関西労災病院、8 和歌山労災病院、
9 熊本労災病院

キーワード：子宮筋腫、手術、就労
leiomyoma, operation, working

論文要旨

【目的】

女性にとって子宮筋腫は一般的な疾患であるにも関わらず、子宮筋腫の特徴的な症状が労働に及ぼす影響や、逆に就労状況が疾患に及ぼす影響などが未だ明らかにされていない。そこで今回は、就労女性が入院して手術を受け職場に復帰するまで自分の健康や、家族・職場についてどう考えたかを調査し、将来の女性労働者の健康の維持・管理のための参考資料とすることとした。

【対象】

平成28年4月1日から7月31日までの4ヶ月間に、全国の労災病院で子宮筋腫の手術を受け術後の診察に来院した際に本研究の趣旨を説明し、同意した女性（就労女性77名と専業主婦21名）を対象とした。

【方法】

上記女性に質問用紙を配布し、受診や入院までの心理状態、退院時に気になったこと、復職時の心理状態などを尋ねた。統計の解析は χ^2 検定を用いて行なった。

【結果】

就労女性は専業主婦とほぼ同じ年齢で手術を受けるものの、就労女性の28.6% (20/70) が「職場に配慮して」受診を躊躇い、22.9% (16/70) が「重い病気だったらと不安」のために受診を躊躇い、自分は病気ではないかと疑い始めて外来を受診するまでに4ヶ月間を要した。一方、専業主婦の中央値は1ヶ月間であり、就労女性より有意に短かった。就労女性の58.4% (45/77) が「職場の事情」に配慮して入院時期を決定し、38.2% (29/76) が「家庭の事情」に配慮して退院時期を決定していた。

【結論】

本研究によって、労働が就労女性の受診行動や入院・退院時期の決定に影響を及ぼすことを明らかにした。また、就労女性は自分の健康管理よりも職場への配慮を優先する傾向にあり、就労女性の健康管理には病院を受診しやすい雰囲気や、復職時の受け入れられやすい環境を職場で作り出すことが、重要と考えた。

はじめに

平成 28 年の統計調査では、15 歳以上の女性の人口 5,732 万人のうち労働力人口は 2,883 万人 (50.3%)、就業者は 2,801 万人 (97.2%) と報告されている。このうち、15 歳以上で 64 歳以下の人口は 3,778 万人であり、15 歳以上の女性 5,732 万人の 65.9% (3778/5732 万人) を占めることになる。一方、労働力人口は 2,572 万人であり、89.2% (2572/2883 万人) に当たることになる。また、この数年間 15~24 歳、25~34 歳の女性の就業率の上昇が顕著だと報告されている (労働力調査平成 28 年平均、平成 29 年 1 月 31 日総務省統計局)。つまり、女性労働力のほとんどは 15 歳以上で 64 歳以下の女性が占めていて、同時にこの年齢帯の女性には女性特有の疾患が好発することから、女性特有の疾患は就労女性の働く状況に大きく影響を及ぼすこととなる。なかでも、婦人科腫瘍性疾患の中で最も高頻度に発生する子宮筋腫は 30 歳以上の女性の 20~40%¹⁾²⁾³⁾、顕微鏡的な大きさの子宮筋腫も含めると約 75%にみられると報告されている⁴⁾ことから、子宮筋腫が就労女性に及ぼす影響は大きいと考える。このように、女性にとって子宮筋腫は一般的な疾患であるにも関わらず、子宮筋腫によって出現する特徴的な症状や、その出現頻度については、具体的かつ科学的な調査報告は未だ行われていない。さらに、子宮筋腫が労働に及ぼす影響や、逆に就労状況が子宮筋腫に及ぼす影響なども未だ明らかにされていない。そこで今回は、就労女性が入院して子宮筋腫に対する手術を受け、職場に復帰するまで、自分の健康や、家族・職場についてどう考えたかを調査することとした。また、この結果を踏まえて労働が女性の行動様式に及ぼす影響を合わせて検討し、将来の女性労働者の健康の維持・管理のための参考資料とすることとした。

方法と対象

平成 28 年 4 月 1 日から 7 月 31 日までの 4 ヶ月間に関東労災病院・東京労災病院・横浜労災病院・中部労災病院・大阪労災病院・関西労災病院・和歌山労災病院・熊本労災病院・愛媛労災病院で子宮筋腫の手術を受けた患者に、主治医が術後の初回診察時に本研究の趣旨を説明した。同意を得られた女性に質問用紙を配布し、質問用紙の回収時に同意書も提出して戴くこととした。この時、同時に同意撤回書を手渡し、いつでもデータ使用の差し止めが可能であることも合わせて説明した。

本研究は、疫学研究に関する倫理指針 (平成 27 年文部科学省・厚生労働省告示第 2 号) に則り、愛媛労災病院倫理委員会の承認 (平成 27 年第 60 号) を得て実施した。今回の研究に際しては個人情報保護を尊重し、匿名化された情報だけを用いて行なった。

統計処理は t 検定および χ^2 検定を用いて行い、 $p < 0.05$ を有意差有りと判断した。

結果

(1) 就労女性と専業主婦とで手術を受けた年齢の差

手術を受けた年齢を就労女性と専業主婦とで比較検討し、就労の影響を比較検討した (表 1)。就労女性の中央値は 40~49 歳群であり、 45.9 ± 0.3 歳 (平均値 \pm 標準誤差) (N=77) であった。一方、専業主婦の中央値も 40~49 歳群であり、平均値は 47.1 ± 0.5 歳 (N=21) と両者間に有意差を認めなかった。

(表 1)

	就労女性		専業主婦		計	
	人数	%	人数	%	人数	%
20 歳以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20～29 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30～39 歳	12	15.6	0	0.0	12	12.2
40～49 歳	46	59.7	12	57.1	58	59.2
50～59 歳	17	22.1	8	38.1	25	25.5
60 歳以上	2	2.6	1	4.8	3	3.1
計	77	100.0	21	100.0	98	100.0
		(N=77)		(N=21)		(N=98)

(2) 症状を自覚してから受診するまでの期間

自分は病気ではないかと疑い始めてから外来を受診するまでの期間は、就労女性の中央値は 4 ヶ月間であり、専業主婦の中央値は 1 ヶ月間と、就労女性では受診までの期間が有意に延長していた (表 2)。

(表 2)

	就労女性		専業主婦		計	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 週間	12	16.2	2	10.0	14	14.9
2 週間	3	4.0	4	20.0	7	7.4
3 週間	2	2.7	0	0.0	2	2.1
1 ヶ月間	7	9.5	4	20.0	11	11.7
2 ヶ月間	9	12.2	0	0.0	9	9.6
3 ヶ月間	3	4.0	2	10.0	5	5.3
4 ヶ月間	1	1.4	0	0.0	1	1.1
5 ヶ月間	0	0.0	1	5.0	1	1.1
6 ヶ月間	9	12.2	2	10.0	11	11.7
7～12 ヶ月間	4	5.4	1	5.0	5	5.3
1 年以上	24	32.4	4	20.0	28	29.8
無回答	3		1		4	
計	77	100.0	21	100.0	98	100.0
		(N=74)		(N=20)		(N=94)

(3) 受診を躊躇った理由

就労女性の 26.0% (20/77) が「職場に配慮して」受診を躊躇い、20.8% (16/77) が「重い病気だったらと不安」のためにあるいは逆に「自然に治るだろう」と期待して受診を躊躇っていた。一方、専業主婦では「より良い病院の探索」のために 33.3% (7/21) の主婦が受診を躊躇い、19.0% (4/21) が「家族に配慮」して受診を躊躇っていて、就労女性と専業主婦との間に有意差を認めた (表 3)。

(表 3)

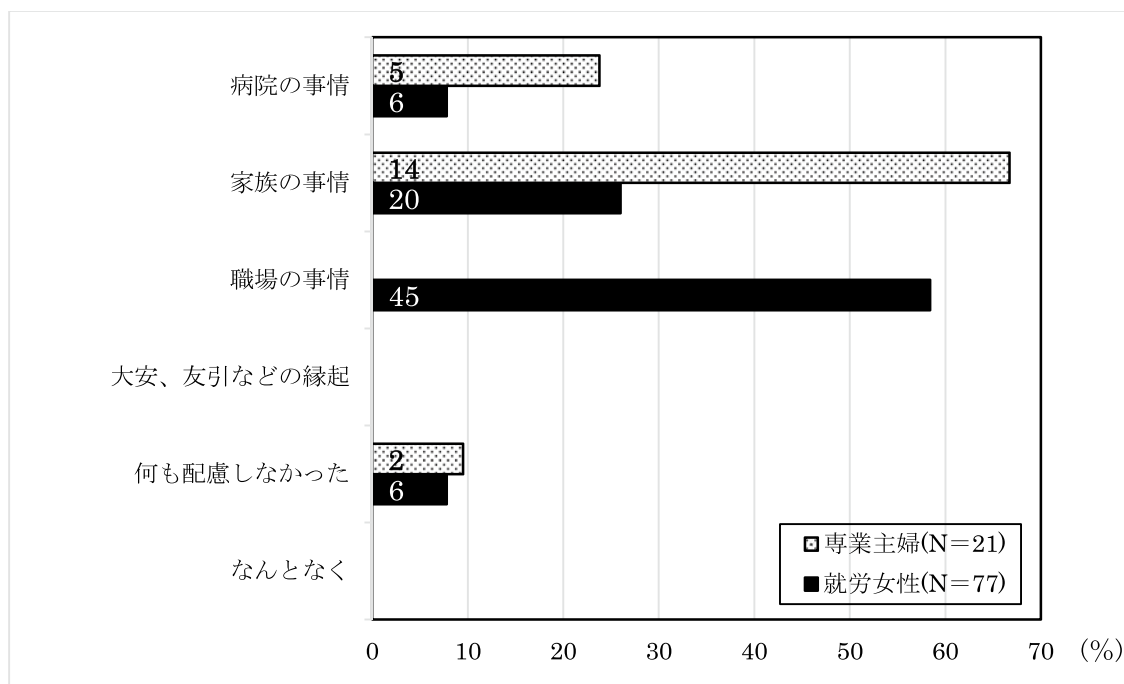
	就労女性		専業主婦		計	
	人数	%	人数	%	人数	%
病気だったらどうしようかと不安だった	16	22.9	3	17.6	19	21.8
そのうちに自然に治るだろうと期待していた	16	22.9	0	0.0	16	18.4
どこの病院が良いかと医療機関を探していた	7	10.0	7	41.3	14	16.1
家族に配慮して	3	4.3	4	23.5	7	8.1
職場に配慮して	20	28.5	0	0.0	20	23.0
病院にかかること自体が嫌だった	5	7.1	0	0.0	5	5.7
なんとなく受診する気になれなかった	3	4.3	3	17.6	6	6.9
無回答	7		4		11	
計	77	100.0	21	100.0	98	100.0
		(N=70)		(N=17)		(N=87)

(4) 入院時期を決めた事情

実際に入院する際に配慮したのは、就労女性の 58.4% (45/77) が「職場の事情」であり、26.0% (20/77) が「家庭の事情」であった。一方、専業主婦では 66.7% (14/21) が「家庭の事情」であり、23.8% (5/21) が「産婦人科医・病院の事情」を配慮して入院時期を決定していた。就労女性と専業主婦との間に有意差を認め、労働が就労女性の行動に大きく影響していることが明らかとなった (表 4)。

(表 4)

	就労女性		専業主婦		計	
	人数	%	人数	%	人数	%
産婦人科医・病院の事情	6	7.8	5	23.8	11	11.2
家族の事情	20	26.0	14	66.7	34	34.7
職場の事情	45	58.4	0	0.0	45	45.9
大安、友引などの縁起	0	0.0	0	0.0	0	0.0
何も配慮しなかった	6	7.8	2	9.5	8	8.2
なんとなく	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0		0		0	
計	77	100.0	21	100.0	98	100.0
		(N=77)		(N=21)		(N=98)

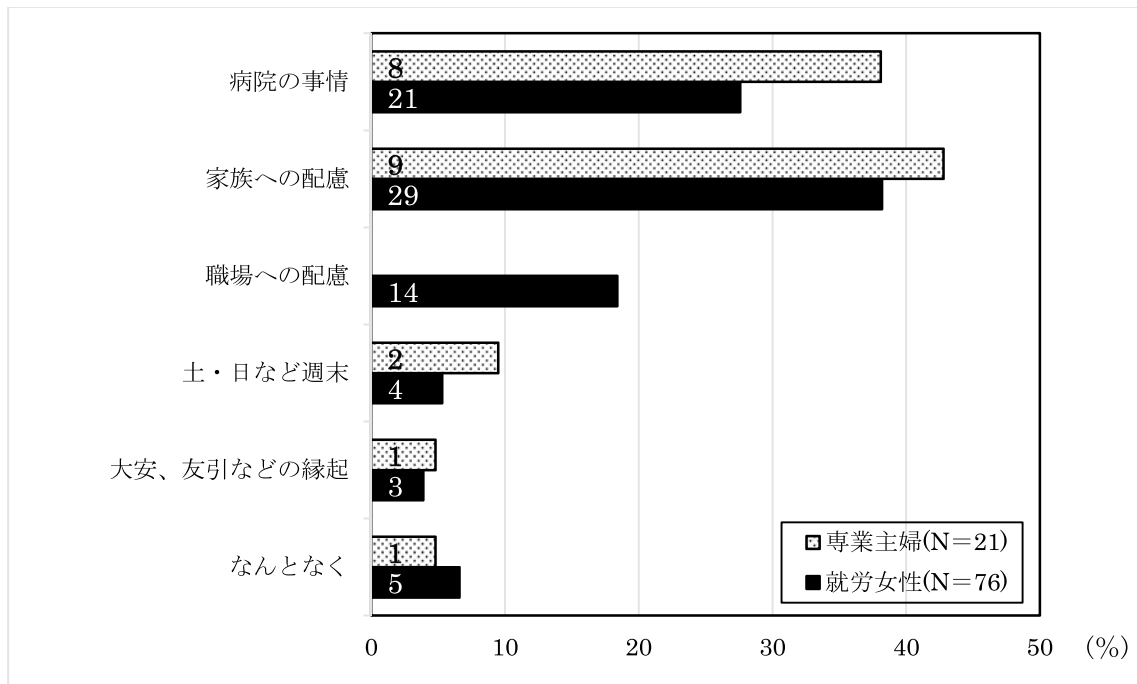


(5) 退院時期を決めた事情

退院する時期を決めるのに配慮したのは、就労女性の37.7% (29/77)が「家族への配慮」であり、27.3% (21/77)が「産婦人科医・病院の事情」であった。一方、専業主婦では42.9% (9/21)が「家族への配慮」であり、38.1% (8/21)が「産婦人科医・病院の事情」により退院時期を決定していた。なお、就労女性と専業主婦との間に有意差を認めることができなかった (表5)。

(表5)

	就労女性		専業主婦		計	
	人数	%	人数	%	人数	%
産婦人科医・病院の事情	21	27.6	8	38.1	29	29.9
家族への配慮	29	38.2	9	42.8	38	39.2
職場への配慮	14	18.4	0	0.0	14	14.4
土曜日・日曜日など週末	4	5.3	2	9.5	6	6.2
大安、友引などの縁起	3	3.9	1	4.8	4	4.1
なんとなく	5	6.6	1	4.8	6	6.2
無回答	1		0		1	
計	77	100.0	21	100.0	98	100.0
		(N=76)		(N=21)		(N=97)



(6) 退院して気になったことと就労形態との関係

退院後に気になったことは、専業主婦では現在の自分の体調が 57.1%であったが、就労女性では自分の現在の体調と将来の体調、それに復職時期がほぼ均等に 1/3 を占めていた。労働形態との関係をさらに比較検討したが、常勤女性とパートタイマー等の非常勤女性との間には、一定の関係を見出すことはできなかった。ただ、常勤女性の 26.2% (11/42)、非常勤女性の 21.2% (7/33) が復職時期に不安を感じていた (表6)。

(表6)

	就労女性		専業主婦		計	
	人数	%	人数	%	人数	%
現在の自分の体の調子	24	32.0	12	57.1	36	37.5
将来の自分の体の調子	23	30.7	8	38.1	31	32.3
家族の調子	3	4.0	1	4.8	4	4.2
職場の様子	7	9.3	0	0.0	7	7.3
復職時期	18	24.0	0	0.0	18	18.7
近所や親戚との付き合い	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	2		0		2	
計	77	100.0	21	100.0	98	100.0
		(N=75)		(N=21)		(N=96)

(7) 手術から復職までの期間と労働形態との関係

手術から復職までの期間は (表7)、常勤女性では中央値が 4 週間であり、パートタイマー等の非常勤職員での中央値も 4 週間と、労働形態と復職までの期間との間に、差を見出すことはできなかった。ただ、常勤女性では手術後 4 週間を頂値としてなだらかな山形を示していたが、非常勤女性の場合には復職時期に一定の傾向を認めることができなかった。

(表 7)

	常勤女性		非常勤女性		計	
	人数	%	人数	%	人数	%
1 週間	3	7.7	4	11.4	7	9.5
2 週間	2	5.1	5	14.3	7	9.5
3 週間	8	20.5	4	11.4	12	16.1
4 週間	12	30.8	6	17.1	18	24.3
5 週間	4	10.3	2	5.7	6	8.1
6 週間	2	5.1	4	11.4	6	8.1
7 週間	2	5.1	3	8.6	5	6.8
8 週間	2	5.1	3	8.6	5	6.8
9 週間	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10 週間	1	2.6	1	2.9	2	2.7
11 週間	1	2.6	1	2.9	2	2.7
12 週間	2	5.1	0	0.0	2	2.7
13～16 週間	0	0.0	2	5.7	2	2.7
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	3		0		3	
計	42	100.0	35	100.0	77	100.0
		(N=39)		(N=35)		(N=74)

(8) 復職時期と労働形態との関係

多くの就労女性が手術後約 4 週間で復職していたが、常勤女性の 59.5% (25/42)、非常勤女性の 65.7% (23/35) が「復職はちょうどいい頃だった」と感じていた。一方、常勤女性の 23.8% (10/42)、非常勤女性の 22.9% (8/35) が「復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった」と感じていた (表 8)。

(表 8)

	常勤女性		非常勤女性		計	
	人数	%	人数	%	人数	%
復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった	10	27.8	8	25.8	18	26.9
復職はちょうどいい頃だった	25	69.4	23	74.2	48	71.6
復職は遅すぎた、もっと早く復職できた	1	2.8	0	0.0	1	1.5
無回答	6		4		10	
計	42	100.0	35	100.0	77	100.0
		(N=36)		(N=31)		(N=67)

考察

少子化に伴う労働力の減少に対して、また男女共同参画社会の実現に向かって、女性の社会進出が応援されている。ところで、その進出を阻害する要因として育児に対する負担や健康・体力の自信の無さが挙げられている。事実、厚生労働省の性別・年齢別の受療率をみると、外来ではほとんどの年齢で男性に比較して女性がより高率に受診していることから、女性は男性に比較して健康に自信がないことが窺える⁵⁾。なお、平成28年の「働く女性の健康増進調査」では婦人科疾患を抱える女性の年間の医療費支出と生産性損失を合計すると、6.37兆円の損失と算出されている⁶⁾。

そこで、女性がより健康的に働くことが出来る環境を作り出すことは、労働力確保の視点からも非常に重要な課題と考える。これまで、職場の作業強度や作業環境が就労者の肉体や精神に及ぼす影響はよく調査研究されているが、行動様式に及ぼす具体的な影響はいまだ知られていない。今回の検討では、子宮筋腫という同一疾患に対して就労女性と専業主婦はほぼ同じ年齢で（就労女性：45.9±0.3歳、専業主婦：47.1±0.5歳）手術を受けており、これは前回の検討と同様の結果⁷⁾であった。しかし、症状を自覚して実際に受診するまでの期間が就労女性では約4ヶ月間を要し、専業主婦の1ヶ月間より延長する傾向を示した。この間、就労女性は受診までに「重い病気だったらどうしようと不安」に駆られながらも一方で「そのうちに自然に治るだろうと期待」し、「職場に配慮」して受診を控えていた。また、いよいよ手術を受けなければならなくなった段階に至っても、家族への配慮（20/77）よりも職場への配慮（45/77）を優先して入院の時期を決定していた。また、就労女性はその後退院時期や就労再開時期の決定にも常に家族と職場に配慮していた。

これらの結果は、就労女性を対象に行った「職場の影響」調査⁸⁾で第1位が入院の時期であり、第2位が復職の時期であったことと一致するものであった。また、平成23年に入院患者を対象に行った調査⁹⁾でも、就労女性は専業主婦に比較して入院中に自分の体調を心配するよりもむしろ職場のことをより心配していた。つまり、就労女性が気にしているのは自分の体調よりも復帰した職場への再適応ではないかと考える。日本医療政策機構は女性の雇用と健康問題を解決するには、「女性自身への健康教育の推進」や「職場における健康サポートの強化」が重要と提案している⁵⁾。さらに、「女性の健康」を踏まえた健康経営の実施を企業に求めている⁶⁾。

なお、常勤の女性と非常勤の女性との間には(1)退院して気になったこと、(2)手術から復職までの期間、(3)復職時期に対する感想に差異を認めなかったが、非常勤女性の復職時期には一定の時期を見いだすことはできなかった。このことから、復職時期の決定について、非常勤女性では自分の自由意思よりもむしろ職場の都合で決定されているのではないかと、あるいは短時間勤務のため早期から復帰しようとしたのではないかと等が考えられることから、更なる検討が必要と考えた。

以上、本研究によって、労働が就労女性の受診行動や入院・退院時期の決定に影響を及ぼすことを明らかにした。また、就労女性は自分の健康管理よりも職場への配慮を優先する傾向にあり、就労女性の健康管理には病院を受診しやすい雰囲気や、復職時の受け入れられやすい環境を職場が作り出すことが重要と考えた。

本研究は厚生労働省の労災疾病臨床研究事業費補助金を受けて、「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」（150201）の一部として行った。

参考文献

- 1) 武谷雄二、上妻志郎、藤井知行、大須賀穰：プリンシプル産科婦人科学 1 婦人科 編 第3版，メディカルビュー，2014年，pp322-334, pp516-524
- 2) 岡井崇、綾部琢哉ら：標準産科婦人科学第4版，医学書院，2013年，pp139-142, pp175-182
- 3) 可世木久幸、佐藤隆宣、高橋茂樹：STEP SERIES 産婦人科①第2版，海馬書房，2012年，pp125-134, pp141-147
- 4) 鈴木彩子、藤井信吾：子宮筋腫 日産婦誌 61:N145-N150, 2009年
- 5) 「女性の雇用と健康政策」研究会：「女性の雇用と健康政策」第2版，東京 特定非営利活動法人日本医療政策機構 2005年 日本医療政策機構政策提言シリーズ vol.2
- 6) 「働く女性の健康増進調査」調査チーム：「働く女性の健康増進調査」 東京 特定非営利活動法人日本医療政策機構 2016年
- 7) 宮内文久、大角尚子、香川秀之ら：就労が女性特有の疾患の手術時期におよぼす影響（労働者健康安全機構が有する病職歴データから） 日本職業・災害医学会 64: 349-357, 2016年
- 8) 宮内文久、大塚恭一、南條和也、鏡輝男：入院治療を受けた勤労女性が考慮した職場の影響 ろうさいフォーラム 3月号:28, 2001年
- 9) 宮内文久、辰田仁美：働く女性の健康管理 産業医学ジャーナル 36:9-12, 2013年

《2》 アンケート回答

①労働者健康安全機構従業員へのアンケート調査

(労災病院で働いている皆様へ)

労災病院で働いている女性従業員 4,764名のうち 28.1%が 40歳代、27.3%が 20歳代、26.2%は 30歳代であった。また、職種別では 78.1%が看護師・看護助手であり、7%が事務職であった。88%が「常勤」であり、8.5%が「非常勤」であった。また、夜間勤務に従事している女性が 58.1%を占めていた。夜間勤務の1週間の平均は 16~20時間であった。

女性従業員 4,764名のうち 23%の女性が体調不良や不安などの症状を訴えていないが、20.2%の女性が「腰痛」を訴え、12.3%の女性が「月経痛や月経過多」を訴えていた。なお、「月経不順」や「月経と月経との間の痛み」や「月経前の体調不良」などを合わせると、18.2%の女性が月経関連のさまざまな症状を訴えていた。つまり約3分の1の女性が月経にまつわる種々の症状を抱えていることになる。このような体調不良に対して、58.2%の女性が「周囲から理解されている」と認識していた。周囲からよく理解されていると感じている職種は臨床検査技師、管理栄養士・栄養士、メディカルクラークであり、比較的 understood されていないと認識していた職種は放射線技師であった。

規則的な月経周期を多く有している職種は放射線技師、メディカルクラーク、管理栄養士・栄養士などであり、一方、不規則な月経周期を多く認めた職種は看護師・看護助手、理学療法士・言語聴覚士であった。月経痛のために影響を多く受けている職種は放射線技師、管理栄養士・栄養士、理学療法士・言語聴覚士、看護師・看護助手であった。なお、月経痛のために日常生活に影響を受けている女性が 40%も出現していた。一方、月経の影響をあまり受けていない職種は医師とメディカルクラークであった。月経痛に対して約 50%の女性が鎮痛剤を使用しており、その鎮痛剤の使用頻度が多い職種は看護師・看護助手、放射線技師、診療情報管理士、管理栄養士・栄養士であった。月経痛のため 13.2%の女性が医療機関を受診していた。その結果、月経困難症、子宮内膜症、子宮筋腫とそれぞれ約3分の1の女性が診断されていた。なお、診察の結果薬剤による治療が 59.4%の女性に選択され、手術による治療が 16%であった。また、更年期障害を自覚している女性が約 21.6%存在した。

この1か月間の体調が「とても良い」と自覚していた女性が 7.1%、「良い」と自覚していた女性が 53.8%、「あまり良くない」が 29.7%、「良くない」が 6%であった。全体の約3分の1の女性が体調不良を訴えていた。体調不良を多く訴えていた職種は診療情報管理士、看護師・看護助手であった。日常生活が身体的な理由でより多く妨げられた職種は看護師・看護助手、理学療法士・言語聴覚士であった。この1か月間に身体の痛みをより多く自覚していた職種は看護師・看護助手、診療情報管理士であった。この1か月に「少し元気だった」と「わずかに元気だった」を合わせたやや元気群は全体でほぼ 60%であり、やや元気群が多い職種は看護師・看護助手、理学療法士・言語聴覚士であった。

この1か月間、心理的な問題で多く悩んでいた職種は管理栄養士・栄養士、看護師・看護助手であった。心理的な問題で日常生活に影響を受けた女性は 24%であり、約4分の1であった。心理的な問題で日常生活が大きく影響を受けた職種は診療情報管理士、管理栄養士・栄養士、看護師・看護助手であった。

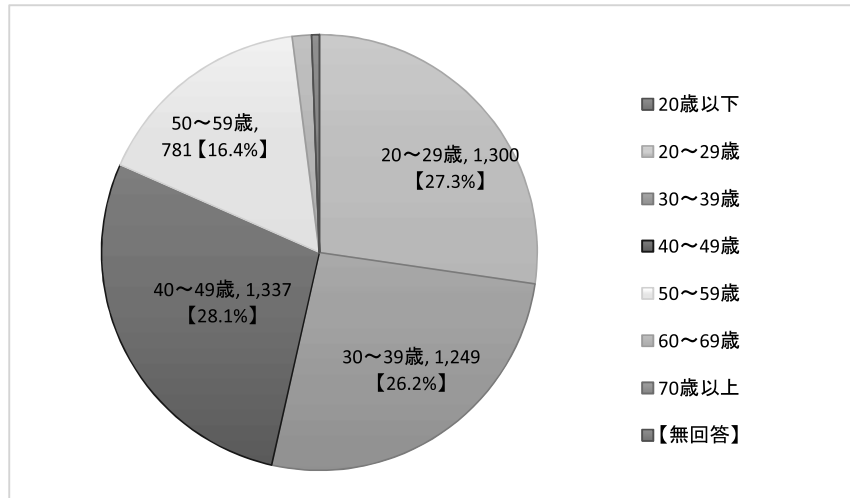
労災病院で働いている皆様へ

集計総数

4,764

質問1:あなたの年齢をお教えてください。

	集計数	%
20歳以下	1	0
20～29歳	1,300	27.3
30～39歳	1,249	26.2
40～49歳	1,337	28.1
50～59歳	781	16.4
60～69歳	69	1.4
70歳以上	0	0
【無回答】	27	0.6



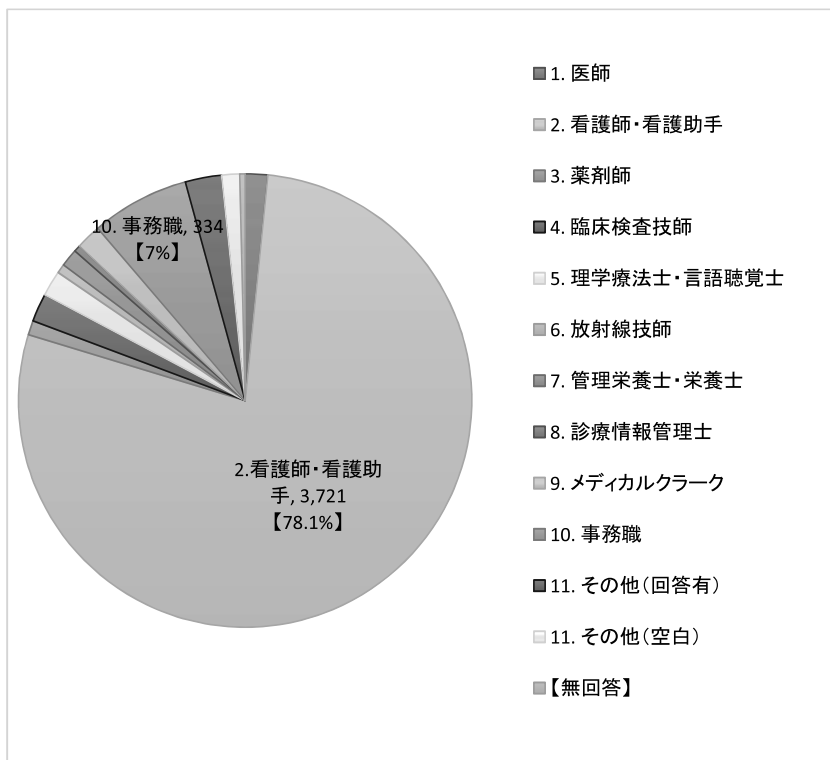
職種別の年齢分布

		20歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	【無回答】	計
1. 医師	人数	0	11	30	26	9	0	0	0	76
	%	0	14.5	39.5	34.2	11.8	0	0	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	1	1,086	974	1,014	590	43	0	13	3,721
	%	0	29.2	26.2	27.3	15.9	1.2	0	0.3	100
3. 薬剤師	人数	0	14	18	9	7	0	0	0	48
	%	0	29.2	37.5	18.8	14.6	0	0	0	100
4. 臨床検査技師	人数	0	19	21	31	19	6	0	0	96
	%	0	19.8	21.9	32.3	19.8	6.3	0	0	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	0	25	23	28	9	2	0	0	87
	%	0	28.7	26.4	32.2	10.3	2.3	0	0	100
6. 放射線技師	人数	0	14	8	7	2	0	0	0	31
	%	0	45.2	25.8	22.6	6.5	0	0	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	0	14	15	22	8	1	0	0	60
	%	0	23.3	25	36.7	13.3	1.7	0	0	100
8. 診療情報管理士	人数	0	2	8	6	7	0	0	0	23
	%	0	8.7	34.8	26.1	30.4	0	0	0	100
9. メディカルクラーク	人数	0	9	33	33	10	0	0	0	85
	%	0	10.6	38.8	38.8	11.8	0	0	0	100
10. 事務職	人数	0	88	76	91	70	9	0	0	334
	%	0	26.3	22.8	27.2	21	2.7	0	0	100
11. その他(回答有)	人数	0	17	28	45	28	5	0	1	124
	%	0	13.7	22.6	36.3	22.6	4	0	0.8	100
11. その他(空白)	人数	0	1	15	21	21	3	0	0	61
	%	0	1.6	24.6	34.4	34.4	4.9	0	0	100
【無回答】	人数	0	0	0	4	1	0	0	13	18
	%	0	0	0	22.2	5.6	0	0	72.2	100
総計	人数	1	1,300	1,249	1,337	781	69	0	27	4,764
	%	0	27.3	26.2	28.1	16.4	1.4	0	0.6	100

質問2:あなたの職種について教えてください。-----

1. 医師 2. 看護師・看護助手 3. 薬剤師 4. 臨床検査技師 5. 理学療法士・言語聴覚士
 6. 放射線技師 7. 管理栄養士・栄養士 8. 診療情報管理士 9. メディカルクラーク 10. 事務職
 11. その他()

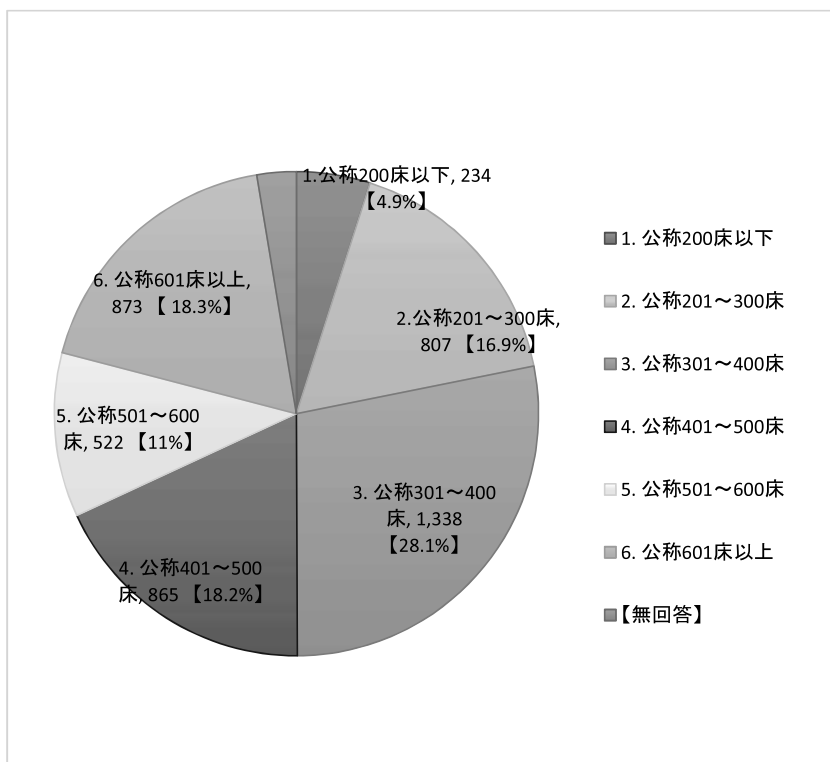
	集計数	%
1. 医師	76	1.6
2. 看護師・看護助手	3,721	78.1
3. 薬剤師	48	1
4. 臨床検査技師	96	2
5. 理学療法士・言語聴覚士	87	1.8
6. 放射線技師	31	0.7
7. 管理栄養士・栄養士	60	1.3
8. 診療情報管理士	23	0.5
9. メディカルクラーク	85	1.8
10. 事務職	334	7
11. その他(回答有)	124	2.6
11. その他(空白)	61	1.3
【無回答】	18	0.4



質問3:あなたの病院について、最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 公称200床以下 2. 公称201～300床 3. 公称301～400床 4. 公称401～500床 5. 公称501～600床 6. 公称601床以上

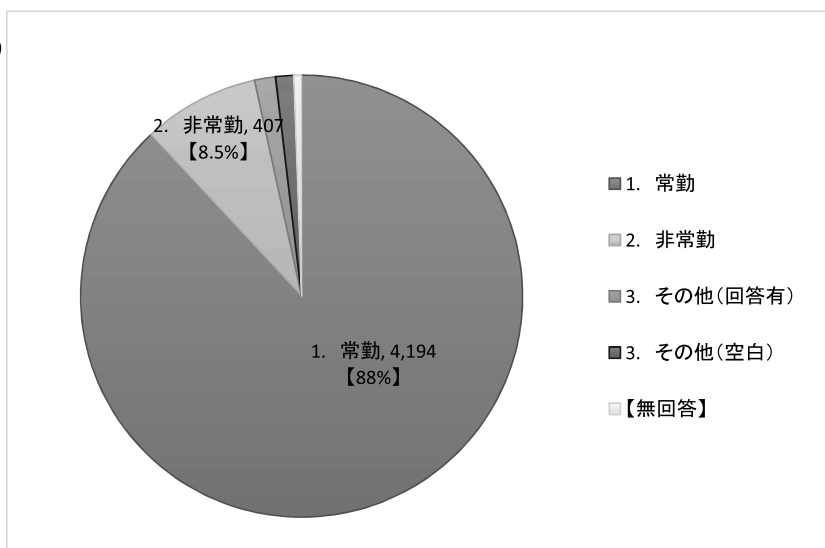
	集計数	%
1. 公称200床以下	234	4.9
2. 公称201～300床	807	16.9
3. 公称301～400床	1,338	28.1
4. 公称401～500床	865	18.2
5. 公称501～600床	522	11
6. 公称601床以上	873	18.3
【無回答】	125	2.6



質問4:あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

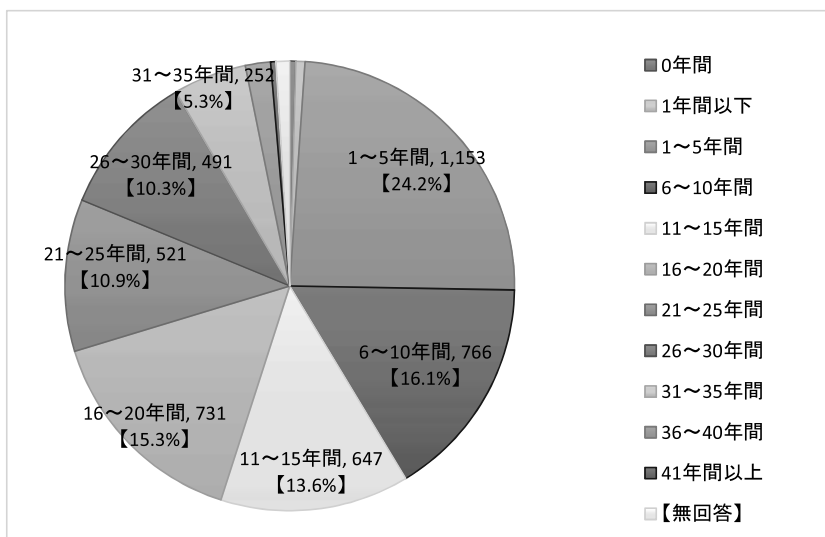
1. 常勤 2. 非常勤 3. その他 ()

	集計数	%
1. 常勤	4,194	88
2. 非常勤	407	8.5
3. その他(回答有)	73	1.5
3. その他(空白)	62	1.3
【無回答】	28	0.6



質問5:あなたがこれまでに働いた期間は、どれくらいですか? 年間
(労災病院だけでなく、これまでに働いた期間を通算してください。)

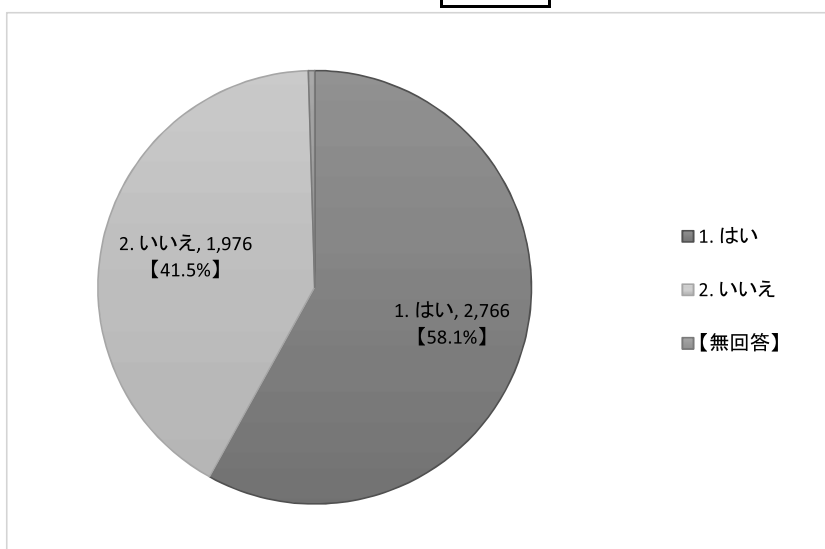
	集計数	%
0年間	21	0.4
1年間以下	31	0.7
1～5年間	1,153	24.2
6～10年間	766	16.1
11～15年間	647	13.6
16～20年間	731	15.3
21～25年間	521	10.9
26～30年間	491	10.3
31～35年間	252	5.3
36～40年間	86	1.8
41年間以上	18	0.4
【無回答】	47	1



質問6:あなたは準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に、現在従事していますか?-----

1. はい 2. いいえ

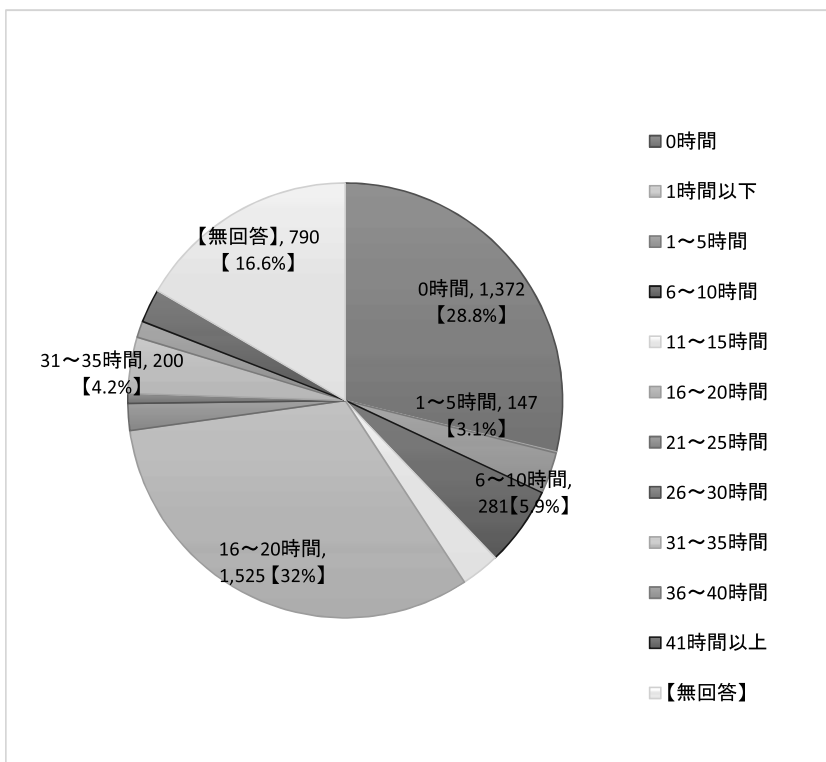
	集計数	%
1. はい	2,766	58.1
2. いいえ	1,976	41.5
【無回答】	22	0.5



質問7:あなたは一週間に準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事している時間を平均すると、どれくらいになりますか？

時間／週

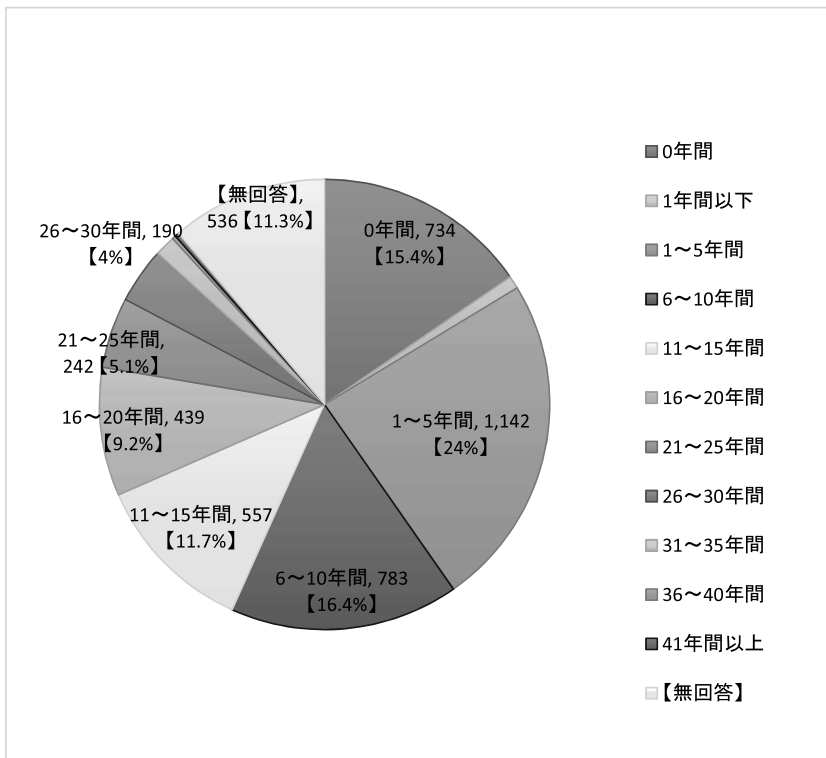
	集計数	%
0時間	1,372	28.8
1時間以下	4	0.1
1～5時間	147	3.1
6～10時間	281	5.9
11～15時間	138	2.9
16～20時間	1,525	32
21～25時間	95	2
26～30時間	35	0.7
31～35時間	200	4.2
36～40時間	58	1.2
41時間以上	119	2.5
【無回答】	790	16.6



質問8:あなたがこれまでに準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事していた期間を通算すると、どれくらいになりますか？

年間

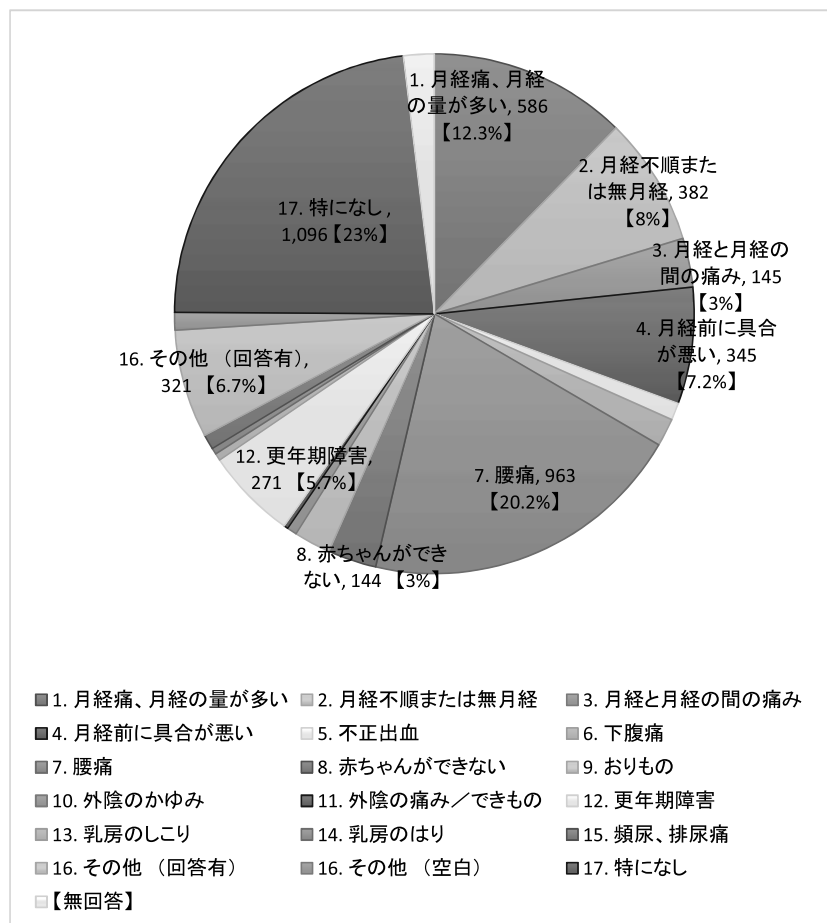
	集計数	%
0年間	734	15.4
1年間以下	44	0.9
1～5年間	1,142	24
6～10年間	783	16.4
11～15年間	557	11.7
16～20年間	439	9.2
21～25年間	242	5.1
26～30年間	190	4
31～35年間	71	1.5
36～40年間	12	0.3
41年間以上	14	0.3
【無回答】	536	11.3



質問9: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 月経痛、月経の量が多い 2. 月経不順または無月経 3. 月経と月経の間の痛み 4. 月経前に具合が悪い
 5. 不正出血 6. 下腹痛 7. 腰痛 8. 赤ちゃんができない 9. おりもの 10. 外陰のかゆみ
 11. 外陰の痛み/できもの 12. 更年期障害 13. 乳房のしこり 14. 乳房のはり 15. 頻尿、排尿痛
 16. その他 () 17. 特になし

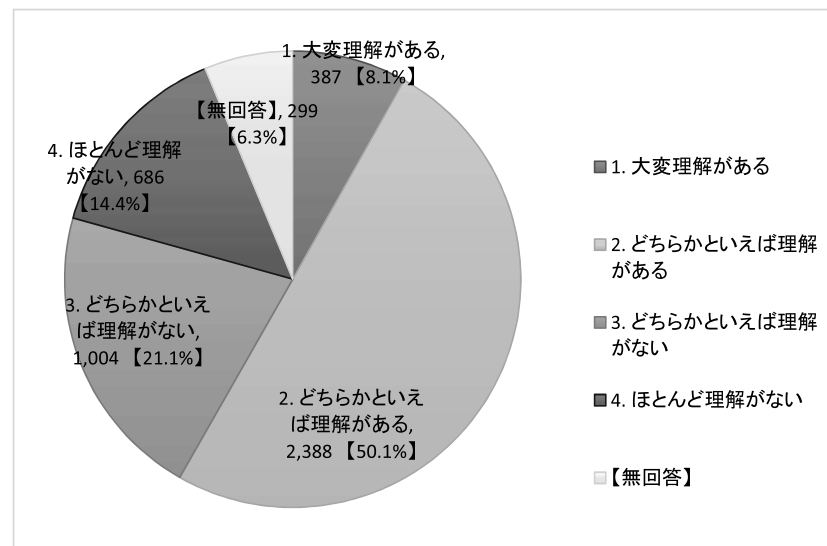
	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	586	12.3
2. 月経不順または無月経	382	8
3. 月経と月経の間の痛み	145	3
4. 月経前に具合が悪い	345	7.2
5. 不正出血	51	1.1
6. 下腹痛	83	1.7
7. 腰痛	963	20.2
8. 赤ちゃんができない	144	3
9. おりもの	109	2.3
10. 外陰のかゆみ	29	0.6
11. 外陰の痛み/できもの	12	0.3
12. 更年期障害	271	5.7
13. 乳房のしこり	21	0.4
14. 乳房のはり	19	0.4
15. 頻尿、排尿痛	44	0.9
16. その他 (回答有)	321	6.7
16. その他 (空白)	52	1.1
17. 特になし	1,096	23
【無回答】	91	1.9



質問10: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか? -----

1. 大変理解がある 2. どちらかといえば理解がある 3. どちらかといえば理解がない 4. ほとんど理解がない

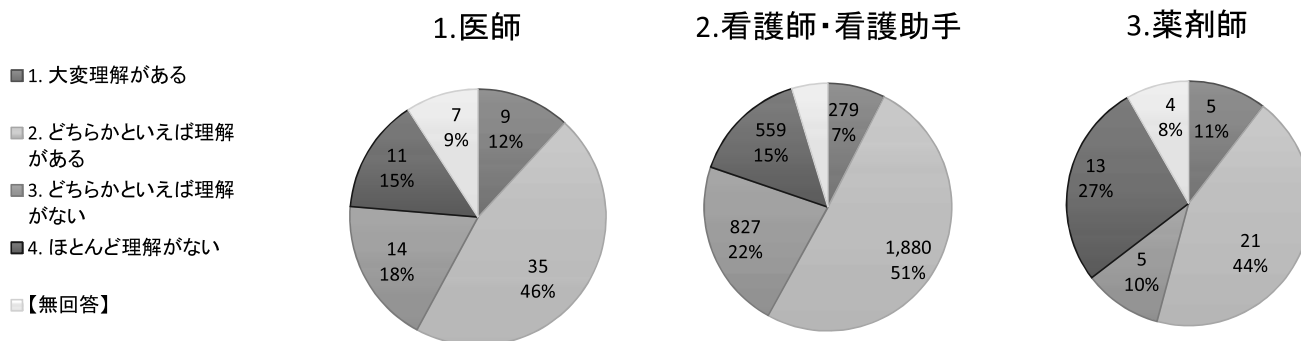
	集計数	%
1. 大変理解がある	387	8.1
2. どちらかといえば理解がある	2,388	50.1
3. どちらかといえば理解がない	1,004	21.1
4. ほとんど理解がない	686	14.4
【無回答】	299	6.3



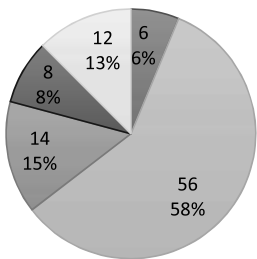
周囲の理解(職種別)

		1. 大変理解がある	2. どちらかといえば理解がある	3. どちらかといえば理解がない	4. ほとんど理解がない	【無回答】	計
1. 医師	人数	9	35	14	11	7	76
	%	11.8	46.1	18.4	14.5	9.2	100
2. 看護師・看護助手	人数	279	1,880	827	559	176	3,721
	%	7.5	50.5	22.2	15	4.7	100
3. 薬剤師	人数	5	21	5	13	4	48
	%	10.4	43.8	10.4	27.1	8.3	100
4. 臨床検査技師	人数	6	56	14	8	12	96
	%	6.3	58.3	14.6	8.3	12.5	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	6	43	20	11	7	87
	%	6.9	49.4	23	12.6	8	100
6. 放射線技師	人数	2	12	8	7	2	31
	%	6.5	38.7	25.8	22.6	6.5	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	13	23	9	6	9	60
	%	21.7	38.3	15	10	15	100
8. 診療情報管理士	人数	4	9	3	3	4	23
	%	17.4	39.1	13	13	17.4	100
9. メディカルクラーク	人数	14	45	8	11	7	85
	%	16.5	52.9	9.4	12.9	8.2	100
10. 事務職	人数	30	156	67	35	46	334
	%	9	46.7	20.1	10.5	13.8	100
11. その他(回答有)	人数	12	63	18	16	15	124
	%	9.7	50.8	14.5	12.9	12.1	100
11. その他(空白)	人数	7	34	7	4	9	61
	%	11.5	55.7	11.5	6.6	14.8	100
【無回答】	人数	0	11	4	2	1	18
	%	0	61.1	22.2	11.1	5.6	100
総計	人数	387	2,388	1,004	686	299	4,764
	%	8.1	50.1	21.1	14.4	6.3	100

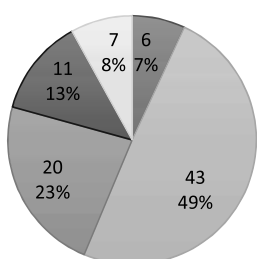
周囲の理解(職種別)



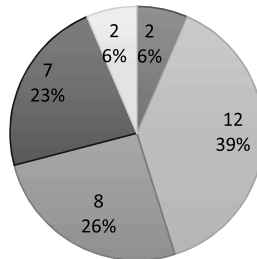
4.臨床検査技師



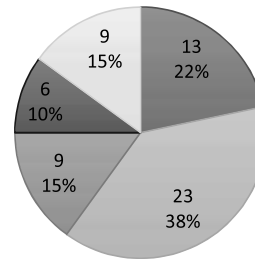
5.理学療法士・言語聴覚士



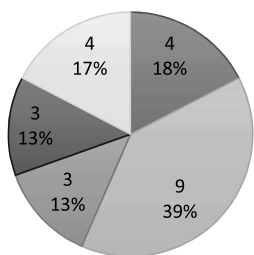
6.放射線技師



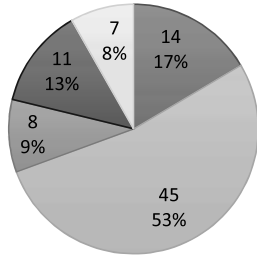
7.管理栄養士・栄養士



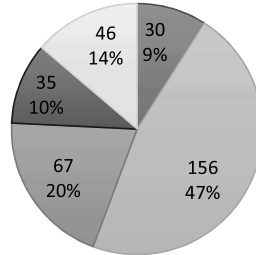
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



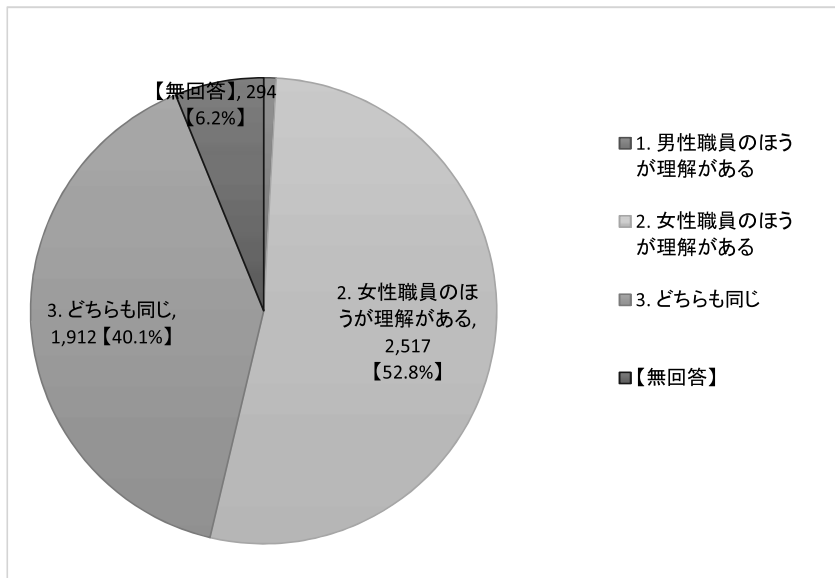
10.事務職



質問11: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性職員と女性職員のいずれから、より理解されていると思いますか？

1. 男性職員のほうが理解がある 2. 女性職員のほうが理解がある 3. どちらも同じ

	集計数	%
1. 男性職員のほうが理解がある	41	0.9
2. 女性職員のほうが理解がある	2,517	52.8
3. どちらも同じ	1,912	40.1
【無回答】	294	6.2

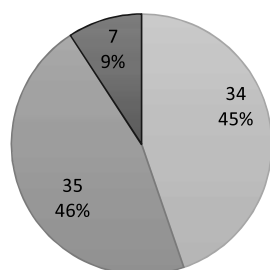


男性職員と女性職員の理解度(職種別)

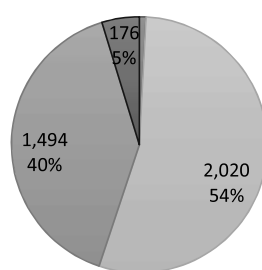
		1. 男性職員のほうが理解がある	2. 女性職員のほうが理解がある	3. どちらも同じ	【無回答】	計
1. 医師	人数	0	34	35	7	76
	%	0	44.7	46.1	9.2	100
2. 看護師・看護助手	人数	31	2,020	1,494	176	3,721
	%	0.8	54.3	40.2	4.7	100
3. 薬剤師	人数	1	23	21	3	48
	%	2.1	47.9	43.8	6.3	100
4. 臨床検査技師	人数	2	36	48	10	96
	%	2.1	37.5	50	10.4	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	1	39	41	6	87
	%	1.1	44.8	47.1	6.9	100
6. 放射線技師	人数	0	10	19	2	31
	%	0	32.3	61.3	6.5	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	1	30	21	8	60
	%	1.7	50	35	13.3	100
8. 診療情報管理士	人数	0	14	5	4	23
	%	0	60.9	21.7	17.4	100
9. メディカルクラーク	人数	0	49	29	7	85
	%	0	57.6	34.1	8.2	100
10. 事務職	人数	4	160	126	44	334
	%	1.2	47.9	37.7	13.2	100
11. その他(回答有)	人数	1	63	44	16	124
	%	0.8	50.8	35.5	12.9	100
11. その他(空白)	人数	0	29	22	10	61
	%	0	47.5	36.1	16.4	100
【無回答】	人数	0	10	7	1	18
	%	0	55.6	38.9	5.6	100
総計	人数	41	2,517	1,912	294	4,764
	%	0.9	52.8	40.1	6.2	100

男性職員と女性職員の理解度(職種別)

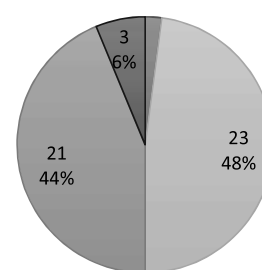
1. 医師



2. 看護師・看護助手

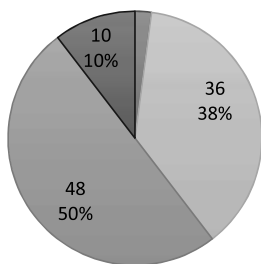


3. 薬剤師

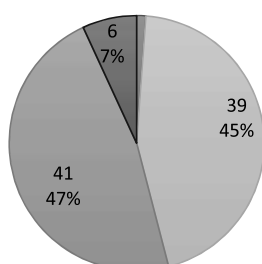


- 1. 男性職員のほうが理解がある
- 2. 女性職員のほうが理解がある
- 3. どちらも同じ
- 【無回答】

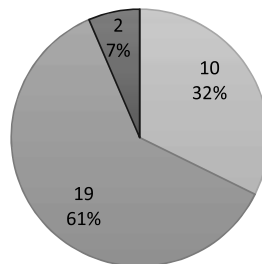
4.臨床検査技師



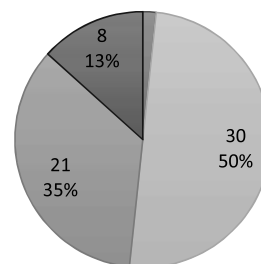
5.理学療法士・言語聴覚士



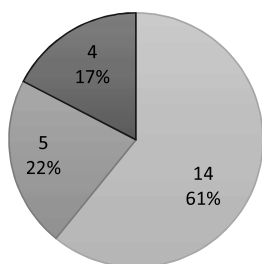
6.放射線技師



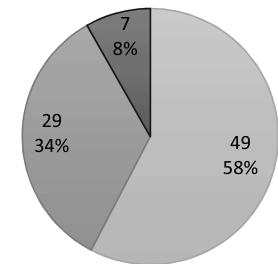
7.管理栄養士・栄養士



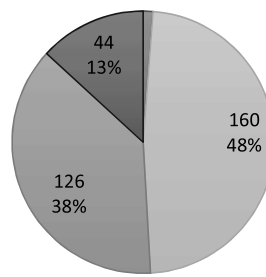
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



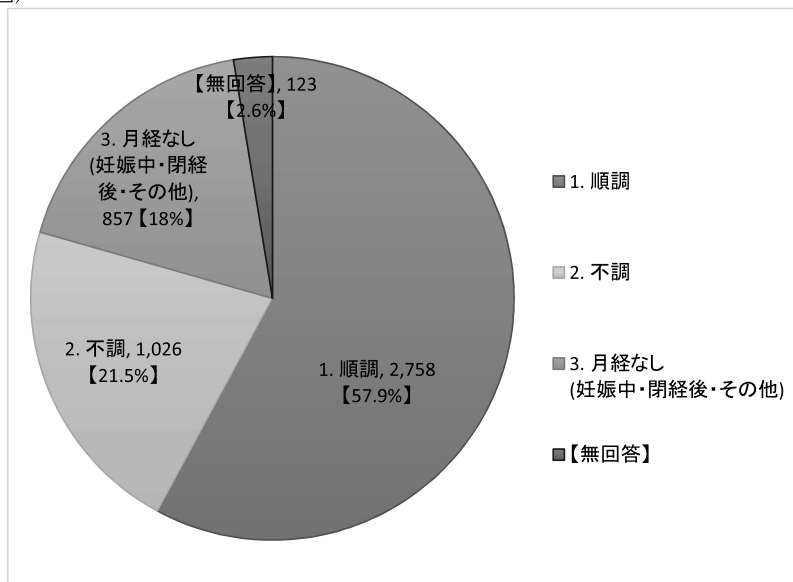
10.事務職



質問12: 現在月経は、順調ですか？ 不調ですか？

1. 順調 2. 不調 3. 月経なし(妊娠中・閉経後・その他)

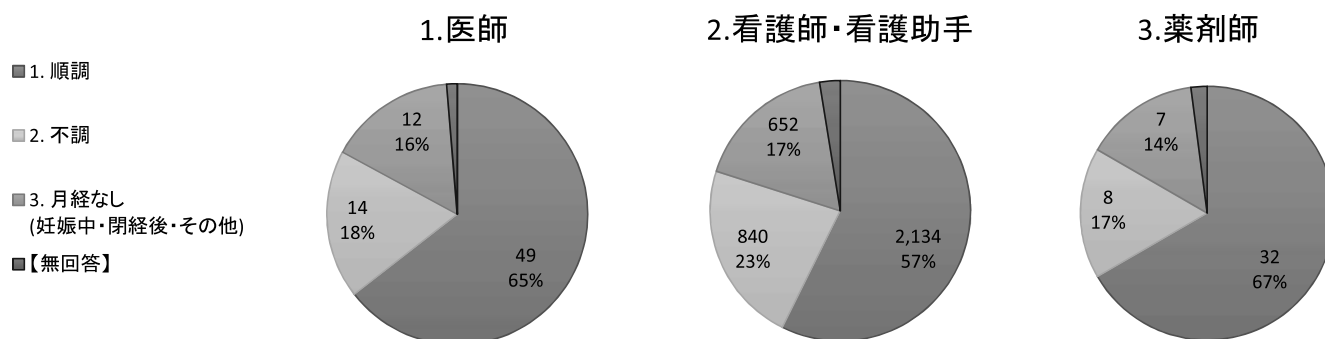
	集計数	%
1. 順調	2,758	57.9
2. 不調	1,026	21.5
3. 月経なし(妊娠中・閉経後・その他)	857	18
【無回答】	123	2.6



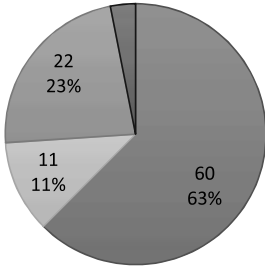
月経の具合(職種別)

		1. 順調	2. 不調	3. 月経なし (妊娠中・閉経後・ その他)	【無回答】	計
1. 医師	人数	49	14	12	1	76
	%	64.5	18.4	15.8	1.3	100
2. 看護師・看護助手	人数	2,134	840	652	95	3,721
	%	57.4	22.6	17.5	2.6	100
3. 薬剤師	人数	32	8	7	1	48
	%	66.7	16.7	14.6	2.1	100
4. 臨床検査技師	人数	60	11	22	3	96
	%	62.5	11.5	22.9	3.1	100
5. 理学療法士・ 言語聴覚士	人数	53	20	14	0	87
	%	60.9	23	16.1	0	100
6. 放射線技師	人数	24	4	2	1	31
	%	77.4	12.9	6.5	3.2	100
7. 管理栄養士・ 栄養士	人数	41	11	8	0	60
	%	68.3	18.3	13.3	0	100
8. 診療情報管理士	人数	14	3	6	0	23
	%	60.9	13	26.1	0	100
9. メディカルクラーク	人数	59	13	11	2	85
	%	69.4	15.3	12.9	2.4	100
10. 事務職	人数	182	70	72	10	334
	%	54.5	21	21.6	3	100
11. その他(回答有)	人数	70	20	29	5	124
	%	56.5	16.1	23.4	4	100
11. その他(空白)	人数	30	8	19	4	61
	%	49.2	13.1	31.1	6.6	100
【無回答】	人数	10	4	3	1	18
	%	55.6	22.2	16.7	5.6	100
総計	人数	2,758	1,026	857	123	4,764
	%	57.9	21.5	18	2.6	100

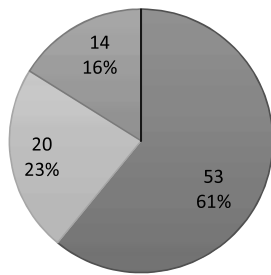
月経の具合(職種別)



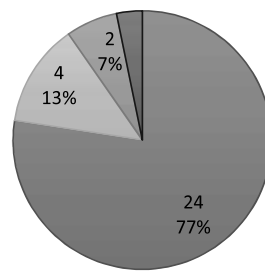
4.臨床検査技師



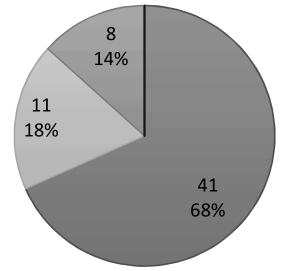
5.理学療法士・言語聴覚士



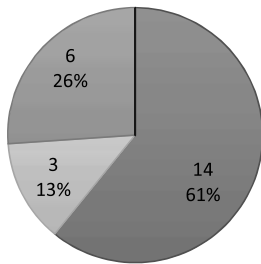
6.放射線技師



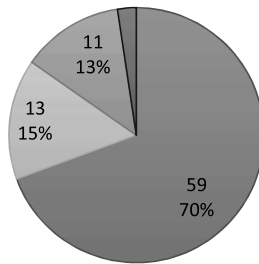
7.栄養管理士・栄養士



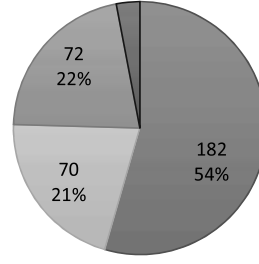
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



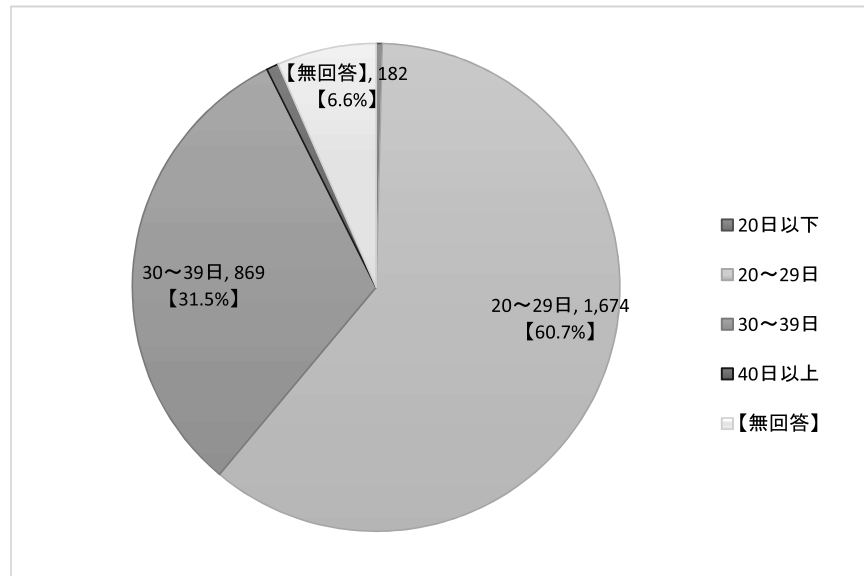
10.事務職



「1.順調」と答えた方へ:

質問12-2: 平均的な周期は何日ですか? 約 日型

	集計数	%
20日以下	11	0.4
20~29日	1,674	60.7
30~39日	869	31.5
40日以上	22	0.8
【無回答】	182	6.6



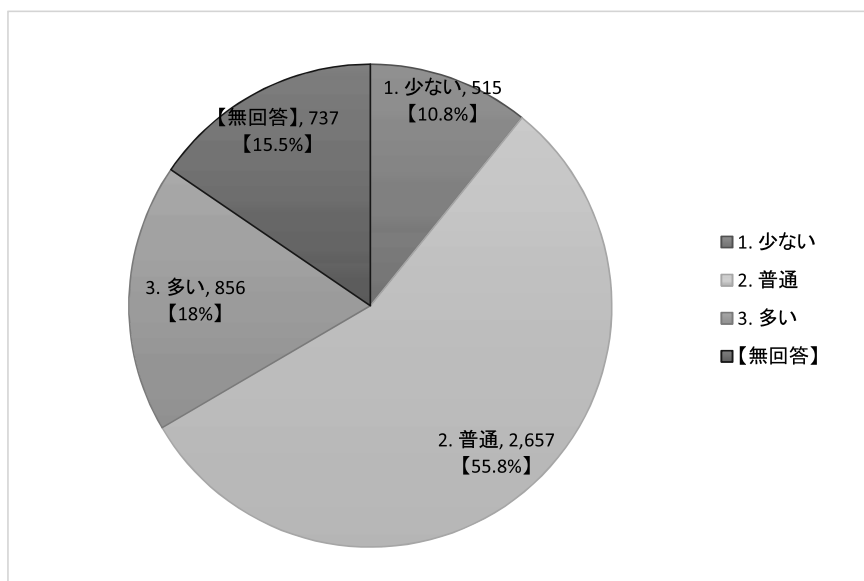
質問13: 月経は何日ぐらい続きますか? ----- 約 日間

	集計数	%
0日	2	0
5日以下	514	10.8
5~9日間	3,328	69.9
10~14日間	119	2.5
15~19日間	1	0
20~24日間	2	0
25~29日間	14	0.3
30日間以上	15	0.3
【無回答】	769	16.1

質問14: 月経の量を自分でどう思われますか? -----

1. 少ない 2. 普通 3. 多い

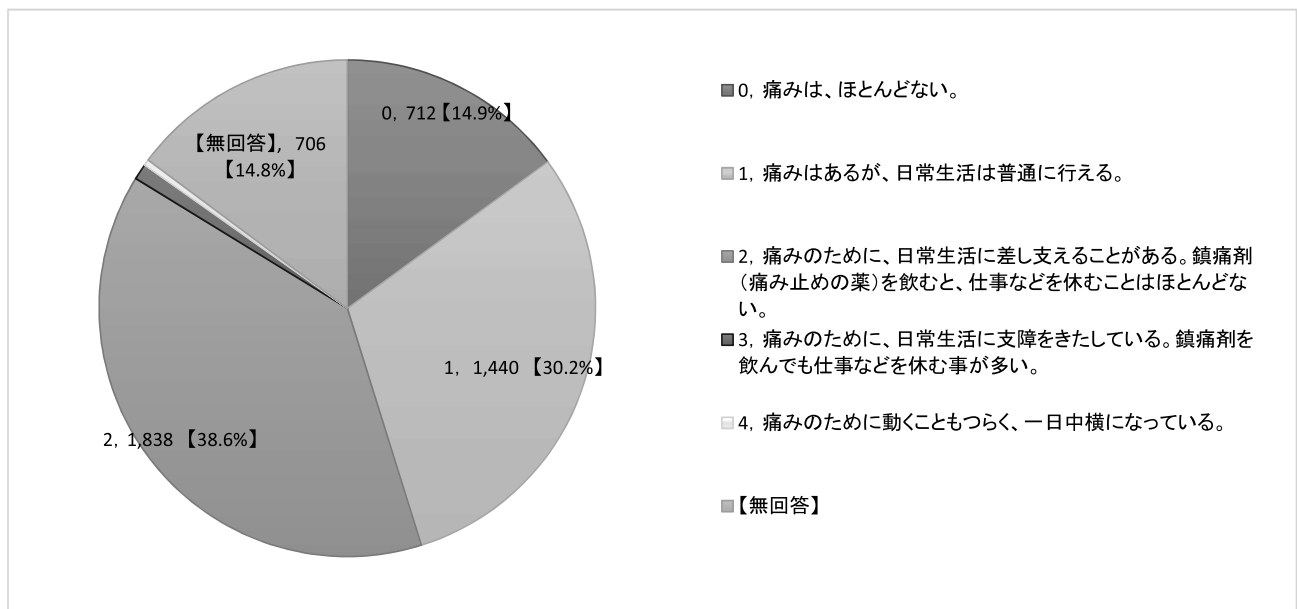
	集計数	%
1. 少ない	515	10.8
2. 普通	2,657	55.8
3. 多い	856	18
【無回答】	737	15.5



質問15: 月経時の痛み(下腹部痛・腰痛など)について、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。-----

0. 痛みは、ほとんどない。
 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
 2. 痛みのために、日常生活に差し支える事がある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと、仕事などを休む事はほとんどない。
 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたしている。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休む事が多い。
 4. 痛みのために動く事もつらく、1日中横になっている。

	集計数	%
0, 痛みは、ほとんどない。	712	14.9
1, 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	1,440	30.2
2, 痛みのために、日常生活に差し支える事がある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと、仕事などを休むことはほとんどない。	1,838	38.6
3, 痛みのために、日常生活に支障をきたしている。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休む事が多い。	49	1
4, 痛みのために動くこともつらく、一日中横になっている。	19	0.4
【無回答】	706	14.8



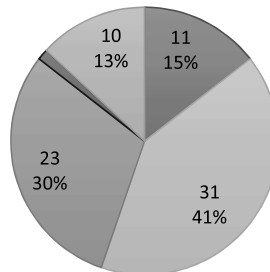
月経時の痛みについて(職種別)

		0	1	2	3	4	【無回答】	計
1. 医師	人数	11	31	23	1	0	10	76
	%	14.5	40.8	30.3	1.3	0	13.2	100
2. 看護師・看護助手	人数	533	1,097	1,504	42	16	529	3,721
	%	14.3	29.5	40.4	1.1	0.4	14.2	100
3. 薬剤師	人数	11	15	17	0	0	5	48
	%	22.9	31.3	35.4	0	0	10.4	100
4. 臨床検査技師	人数	17	26	31	1	0	21	96
	%	17.7	27.1	32.3	1	0	21.9	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	10	29	38	0	0	10	87
	%	11.5	33.3	43.7	0	0	11.5	100
6. 放射線技師	人数	6	8	15	0	0	2	31
	%	19.4	25.8	48.4	0	0	6.5	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	9	18	27	0	0	6	60
	%	15	30	45	0	0	10	100
8. 診療情報管理士	人数	4	8	9	0	0	2	23
	%	17.4	34.8	39.1	0	0	8.7	100
9. メディカルクラーク	人数	17	33	28	0	0	7	85
	%	20	38.8	32.9	0	0	8.2	100
10. 事務職	人数	65	112	89	4	3	61	334
	%	19.5	33.5	26.6	1.2	0.9	18.3	100
11. その他(回答有)	人数	13	45	36	1	0	29	124
	%	10.5	36.3	29	0.8	0	23.4	100
11. その他(空白)	人数	12	13	15	0	0	21	61
	%	19.7	21.3	24.6	0	0	34.4	100
【無回答】	人数	4	5	6	0	0	3	18
	%	22.2	27.8	33.3	0	0	16.7	100
総計	人数	712	1,440	1,838	49	19	706	4,764
	%	14.9	30.2	38.6	1	0.4	14.8	100

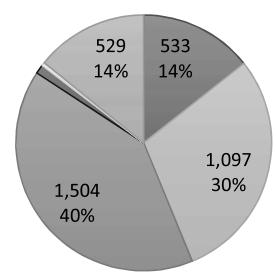
月経時の痛みについて(職種別)

- 0. 痛みは、ほとんどない。
- 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
- 2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと、仕事などを休むことはほとんどない。
- 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたしている。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休む事が多い。
- 4. 痛みのために動くこともつらく、一日中横になっている。
- 【無回答】

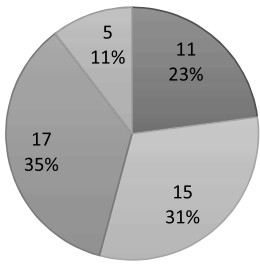
1. 医師



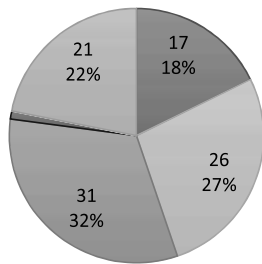
2. 看護師・看護助手



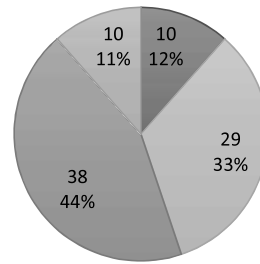
3. 薬剤師



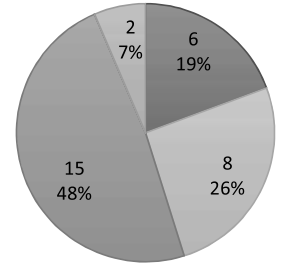
4. 臨床検査技師



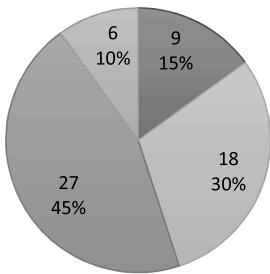
5. 理学療法士・言語聴覚士



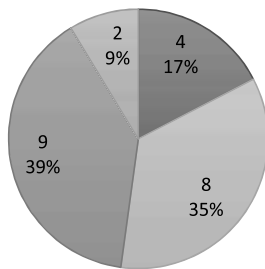
6. 放射線技師



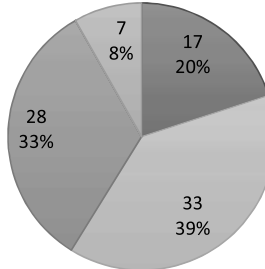
7. 管理栄養士・栄養士



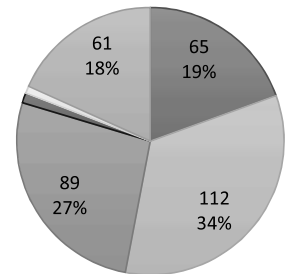
8. 診療情報管理士



9. メディカルクラーク



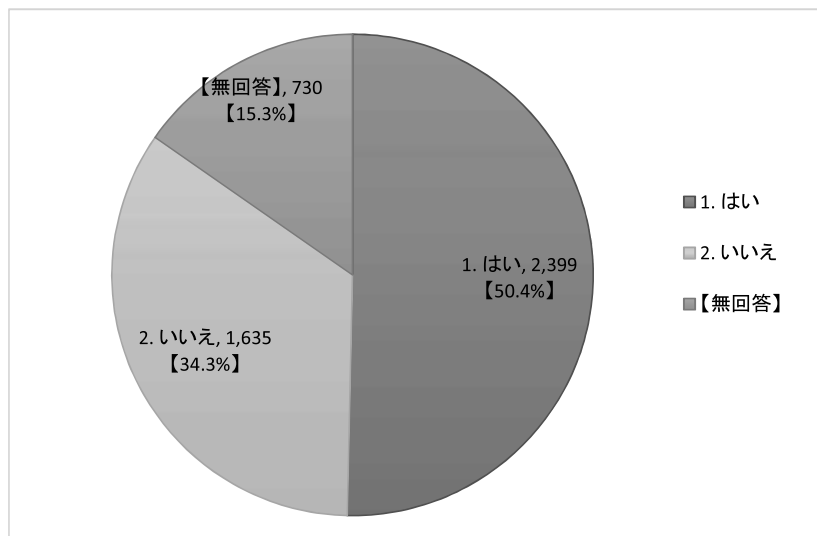
10. 事務職



質問16: 月経時の痛みのために、鎮痛剤を使用しますか? -----

1. はい 2. いいえ

	集計数	%
1. はい	2,399	50.4
2. いいえ	1,635	34.3
【無回答】	730	15.3

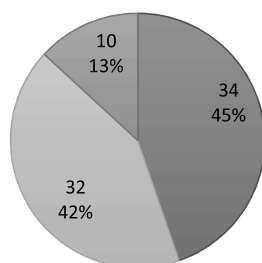


月経時に鎮痛剤を使用するか(職種別)

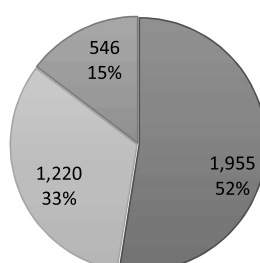
		1. はい	2. いいえ	【無回答】	計
1. 医師	人数	34	32	10	76
	%	44.7	42.1	13.2	100
2. 看護師・看護助手	人数	1,955	1,220	546	3,721
	%	52.5	32.8	14.7	100
3. 薬剤師	人数	23	20	5	48
	%	47.9	41.7	10.4	100
4. 臨床検査技師	人数	38	36	22	96
	%	39.6	37.5	22.9	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	43	33	11	87
	%	49.4	37.9	12.6	100
6. 放射線技師	人数	16	13	2	31
	%	51.6	41.9	6.5	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	31	23	6	60
	%	51.7	38.3	10	100
8. 診療情報管理士	人数	12	9	2	23
	%	52.2	39.1	8.7	100
9. メディカルクラーク	人数	39	38	8	85
	%	45.9	44.7	9.4	100
10. 事務職	人数	127	145	62	334
	%	38	43.4	18.6	100
11. その他(回答有)	人数	50	44	30	124
	%	40.3	35.5	24.2	100
11. その他(空白)	人数	21	18	22	61
	%	34.4	29.5	36.1	100
【無回答】	人数	10	4	4	18
	%	55.6	22.2	22.2	100
総計	人数	2,399	1,635	730	4,764
	%	50.4	34.3	15.3	100

月経時に鎮痛剤を使用するか(職種別)

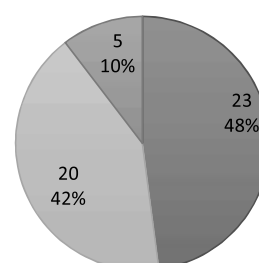
1. 医師



2. 看護師・看護助手

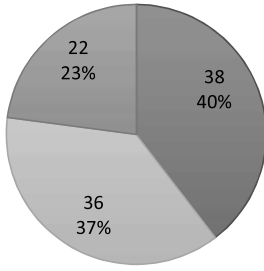


3. 薬剤師

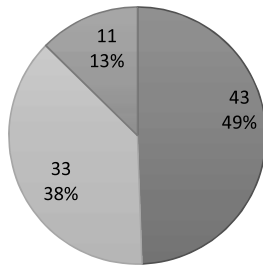


- 1. はい
- 2. いいえ
- 【無回答】

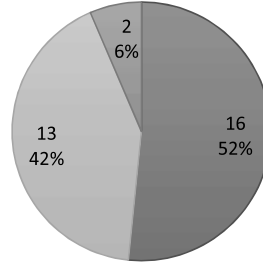
4.臨床検査技師



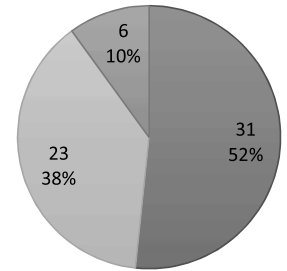
5.理学療法士・言語聴覚士



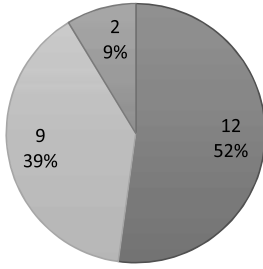
6.放射線技師



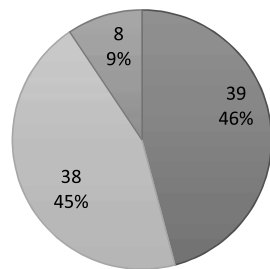
7.管理栄養士・栄養士



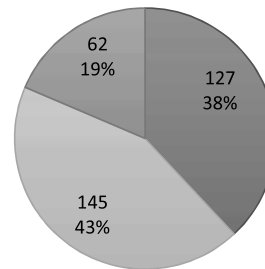
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



10.事務職

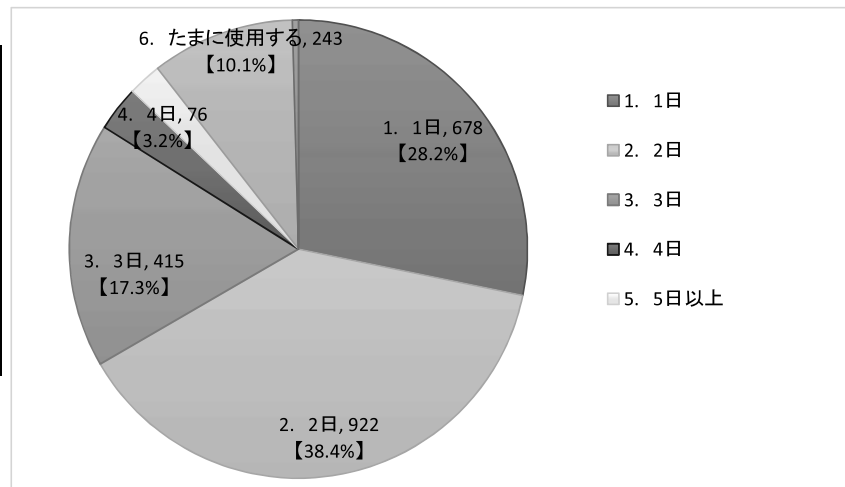


「1.はい」と答えた方へ:

質問16-2:1回の月経で、何日間ぐらい鎮痛剤を使用しますか? -----

1. 1日 2. 2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日以上 6. たまに使用する

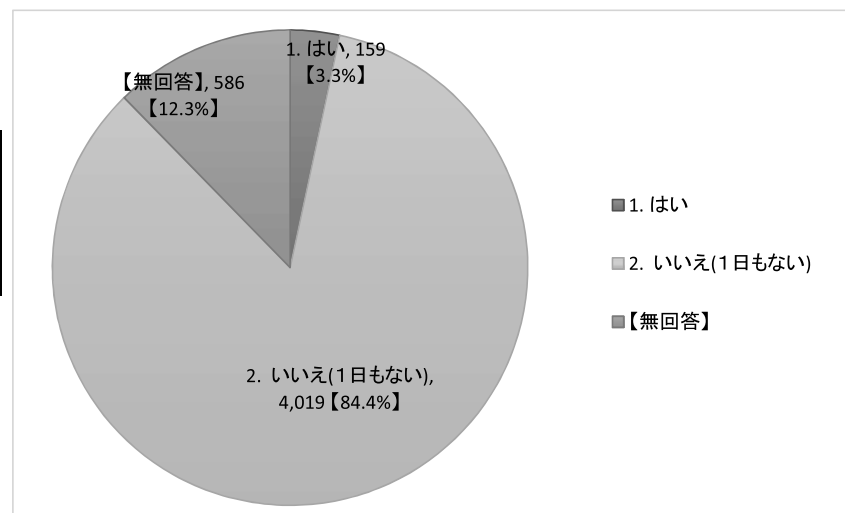
	集計数	%
1. 1日	678	28.2
2. 2日	922	38.4
3. 3日	415	17.3
4. 4日	76	3.2
5. 5日以上	57	2.4
6. たまに使用する	243	10.1
【無回答】	10	0.4



質問17:この半年間で、月経痛のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかったことが、一日でもありましたか?

- 1.はい 2. いいえ(1日もない)

	集計数	%
1. はい	159	3.3
2. いいえ(1日もない)	4,019	84.4
【無回答】	586	12.3

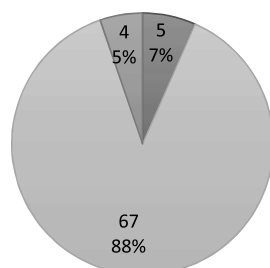


月経痛が理由の欠勤等あるか(職種別)

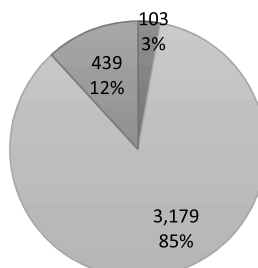
		1. はい	2. いいえ	【無回答】	計
1. 医師	人数	5	67	4	76
	%	6.6	88.2	5.3	100
2. 看護師・看護助手	人数	103	3,179	439	3,721
	%	2.8	85.4	11.8	100
3. 薬剤師	人数	5	38	5	48
	%	10.4	79.2	10.4	100
4. 臨床検査技師	人数	6	70	20	96
	%	6.3	72.9	20.8	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	4	76	7	87
	%	4.6	87.4	8	100
6. 放射線技師	人数	1	29	1	31
	%	3.2	93.5	3.2	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	6	49	5	60
	%	10	81.7	8.3	100
8. 診療情報管理士	人数	0	21	2	23
	%	0	91.3	8.7	100
9. メディカルクラーク	人数	3	77	5	85
	%	3.5	90.6	5.9	100
10. 事務職	人数	18	264	52	334
	%	5.4	79	15.6	100
11. その他(回答有)	人数	6	95	23	124
	%	4.8	76.6	18.5	100
11. その他(空白)	人数	1	41	19	61
	%	1.6	67.2	31.1	100
【無回答】	人数	1	13	4	18
	%	5.6	72.2	22.2	100
総計	人数	159	4,019	586	4,764
	%	3.3	84.4	12.3	100

月経痛が理由の欠勤等あるか(職種別)

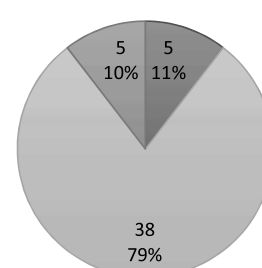
1. 医師



2. 看護師・看護助手

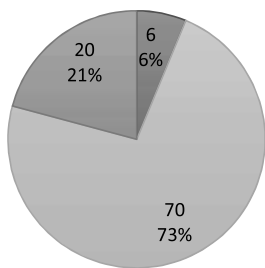


3. 薬剤師

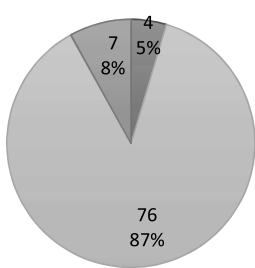


- 1. はい
- 2. いいえ
- 【無回答】

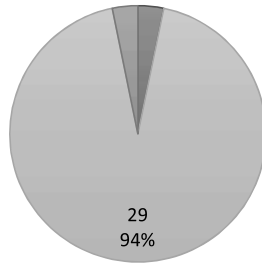
4.臨床検査技師



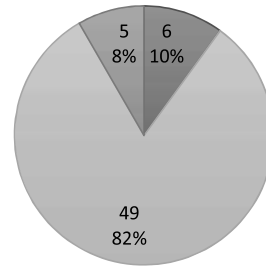
5.理学療法士・言語聴覚士



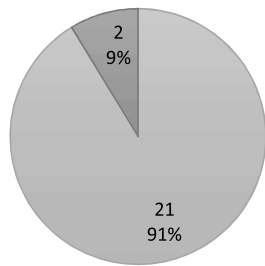
6.放射線技師



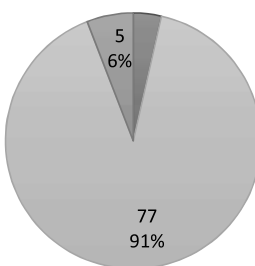
7.管理栄養士・栄養士



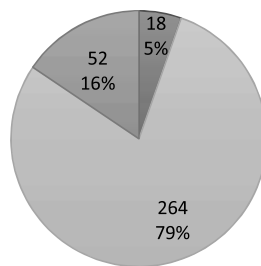
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



10.事務職

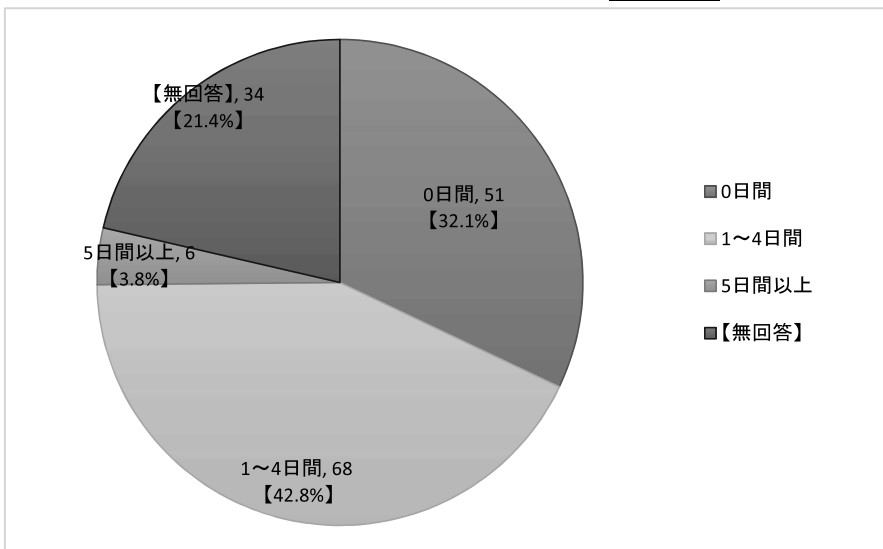


「はい」と答えた方へ:

質問17-2:この半年間で、月経痛のため仕事を休んだのは何日間ですか? -----

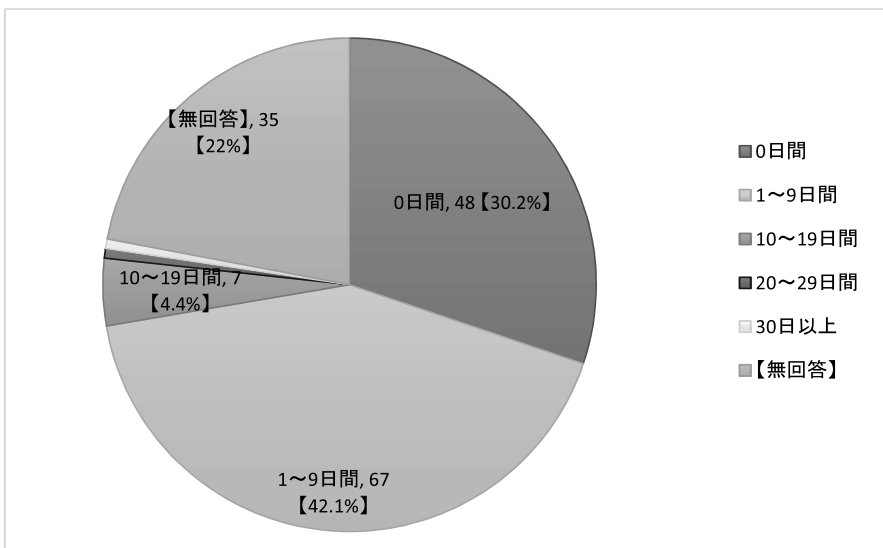
約 日間

	集計数	%
0日間	51	32.1
1~4日間	68	42.8
5日間以上	6	3.8
【無回答】	34	21.4



質問17-3:この半年間で、月経痛のため仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか? 約 日間

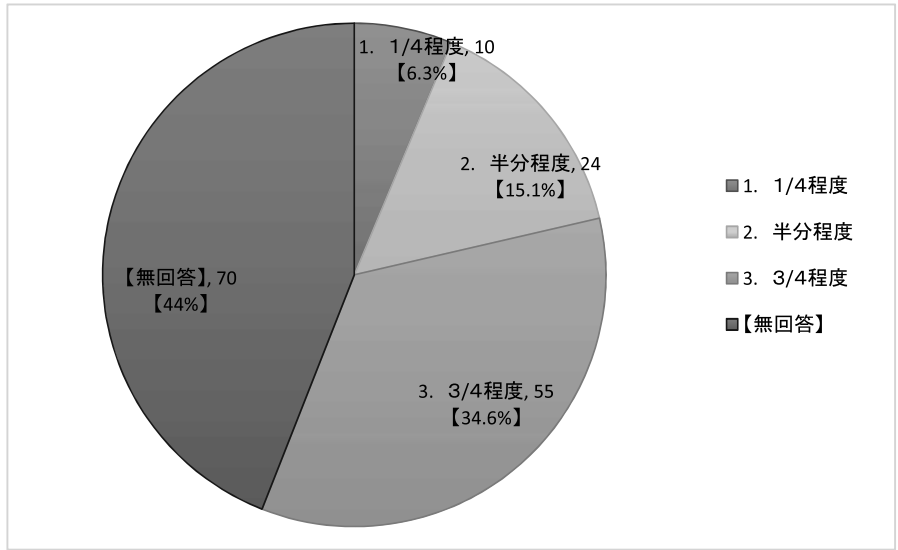
	集計数	%
0日間	48	30.2
1~9日間	67	42.1
10~19日間	7	4.4
20~29日間	1	0.6
30日以上	1	0.6
【無回答】	35	22



質問17-4:それらの日の仕事量は、平均すると普段の仕事量のどの程度でしたか？-----

1. 1/4程度 2. 半分程度 3. 3/4程度

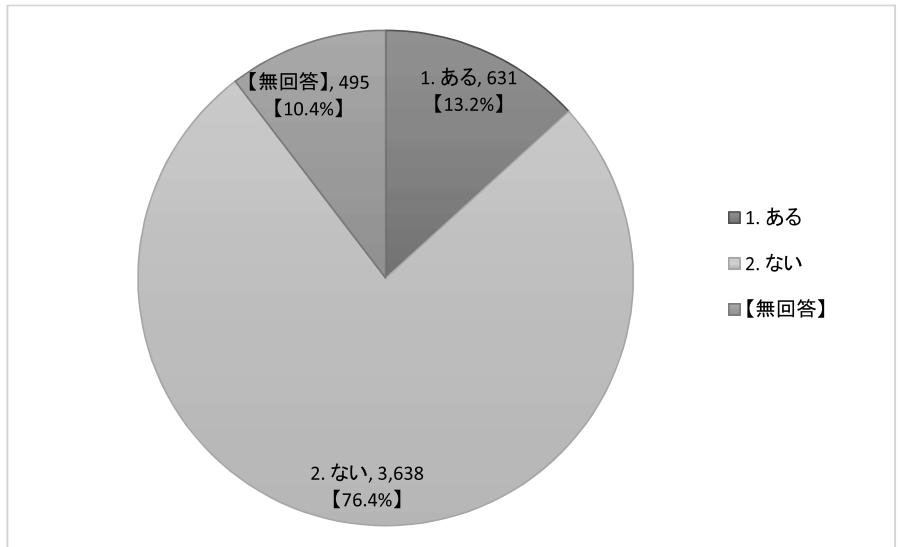
	集計数	%
1. 1/4程度	10	6.3
2. 半分程度	24	15.1
3. 3/4程度	55	34.6
【無回答】	70	44



質問18:月経痛のため、病院・医院など医療機関を受診したことがありますか？-----

- 1.ある 2. ない

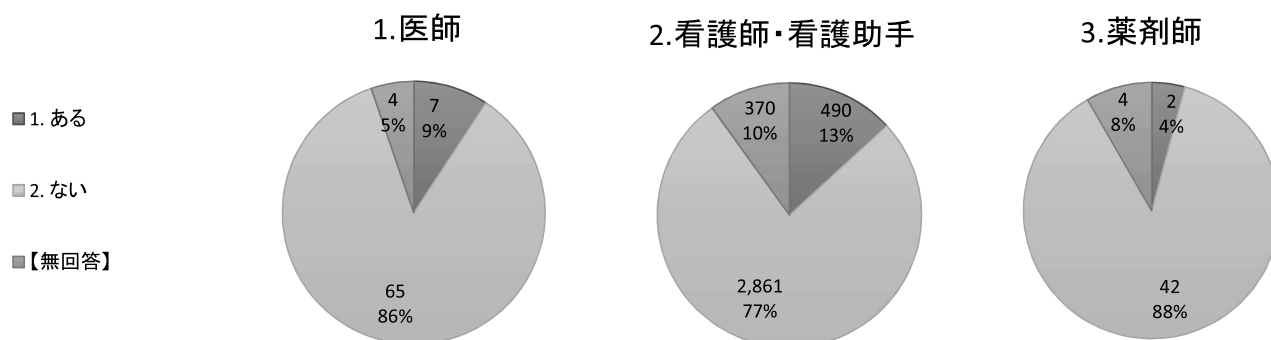
	集計数	%
1. ある	631	13.2
2. ない	3,638	76.4
【無回答】	495	10.4



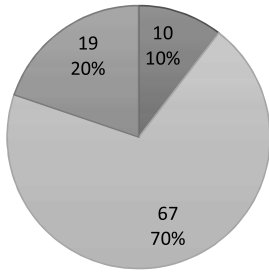
月経痛が理由で医療機関の受診はあるか(職種別)

		1. ある	2. ない	【無回答】	計
1. 医師	人数	7	65	4	76
	%	9.2	85.5	5.3	100
2. 看護師・看護助手	人数	490	2,861	370	3,721
	%	13.2	76.9	9.9	100
3. 薬剤師	人数	2	42	4	48
	%	4.2	87.5	8.3	100
4. 臨床検査技師	人数	10	67	19	96
	%	10.4	69.8	19.8	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	15	65	7	87
	%	17.2	74.7	8	100
6. 放射線技師	人数	2	28	1	31
	%	6.5	90.3	3.2	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	13	42	5	60
	%	21.7	70	8.3	100
8. 診療情報管理士	人数	6	16	1	23
	%	26.1	69.6	4.3	100
9. メディカルクラーク	人数	12	68	5	85
	%	14.1	80	5.9	100
10. 事務職	人数	43	251	40	334
	%	12.9	75.1	12	100
11. その他(回答有)	人数	21	84	19	124
	%	16.9	67.7	15.3	100
11. その他(空白)	人数	8	36	17	61
	%	13.1	59	27.9	100
【無回答】	人数	2	13	3	18
	%	11.1	72.2	16.7	100
総計	人数	631	3,638	495	4,764
	%	13.2	76.4	10.4	100

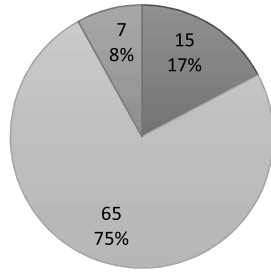
月経痛が理由で医療機関の受診はあるか(職種別)



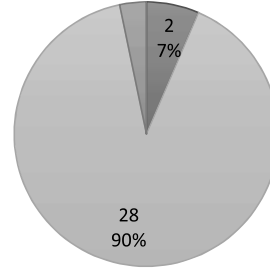
4.臨床検査技師



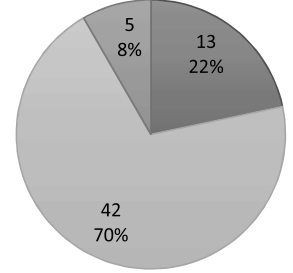
5.理学療法士・言語聴覚士



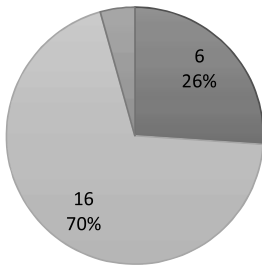
6.放射線技師



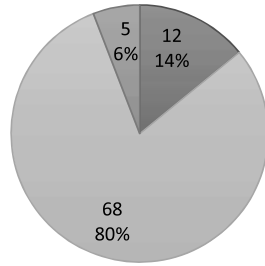
7.管理栄養士・栄養士



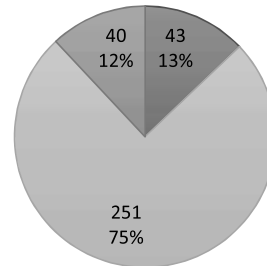
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



10.事務職

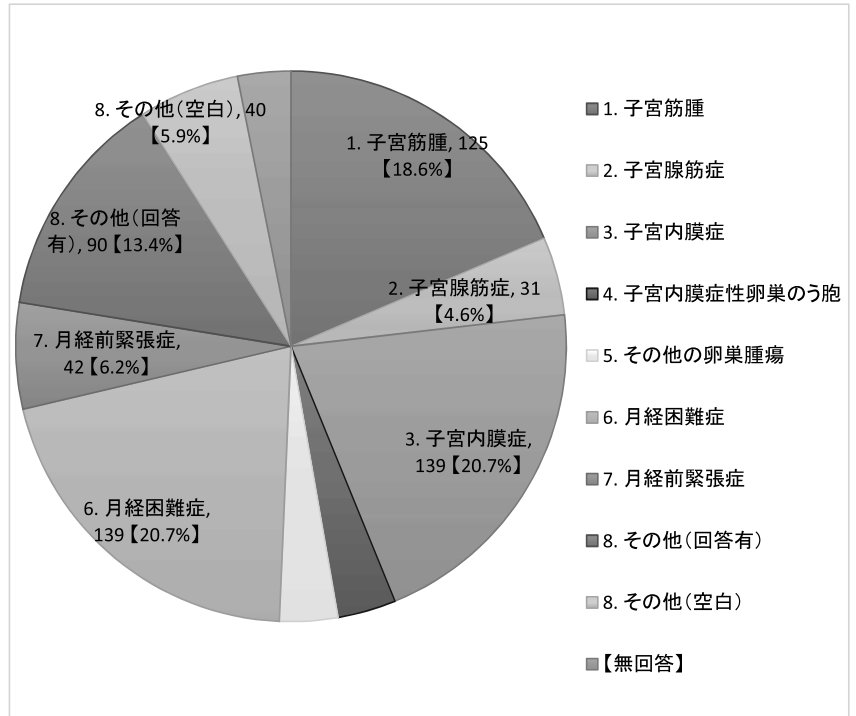


「ある」と答えた方へ:

質問18-2:何と診断されましたか? 該当するものを選んで下さい。-----

1. 子宮筋腫 2. 子宮腺筋症 3. 子宮内膜症 4. 子宮内膜症性卵巣のう胞 5. その他の卵巣腫瘍
6. 月経困難症 7. 月経前緊張症 8. その他()

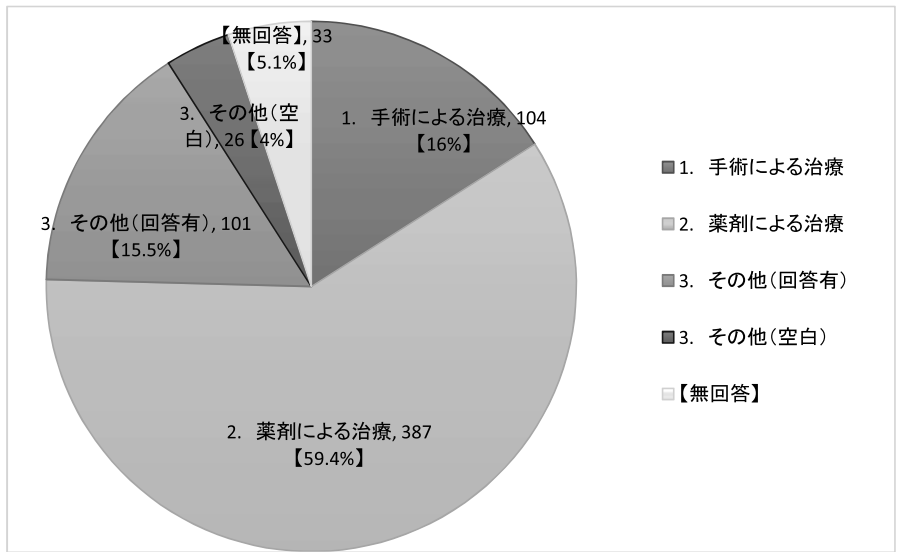
	集計数	%
1. 子宮筋腫	125	18.6
2. 子宮腺筋症	31	4.6
3. 子宮内膜症	139	20.7
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞	23	3.4
5. その他の卵巣腫瘍	23	3.4
6. 月経困難症	139	20.7
7. 月経前緊張症	42	6.2
8. その他(回答有)	90	13.4
8. その他(空白)	40	5.9
【無回答】	21	3.1



質問18-3:治療は何でしたか?該当するものを選んで下さい。-----

1. 手術による治療 2. 薬剤による治療 3. その他()

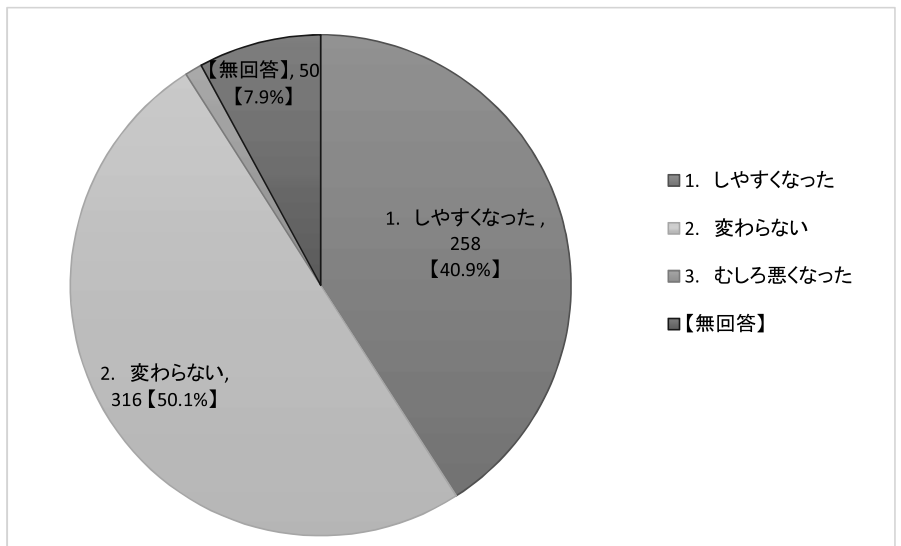
	集計数	%
1. 手術による治療	104	16
2. 薬剤による治療	387	59.4
3. その他(回答有)	101	15.5
3. その他(空白)	26	4
【無回答】	33	5.1



質問18-4:治療によって、月経中にも仕事がしやすくなりますか?-----

1. しやすくなった 2. 変わらない 3. むしろ悪くなった

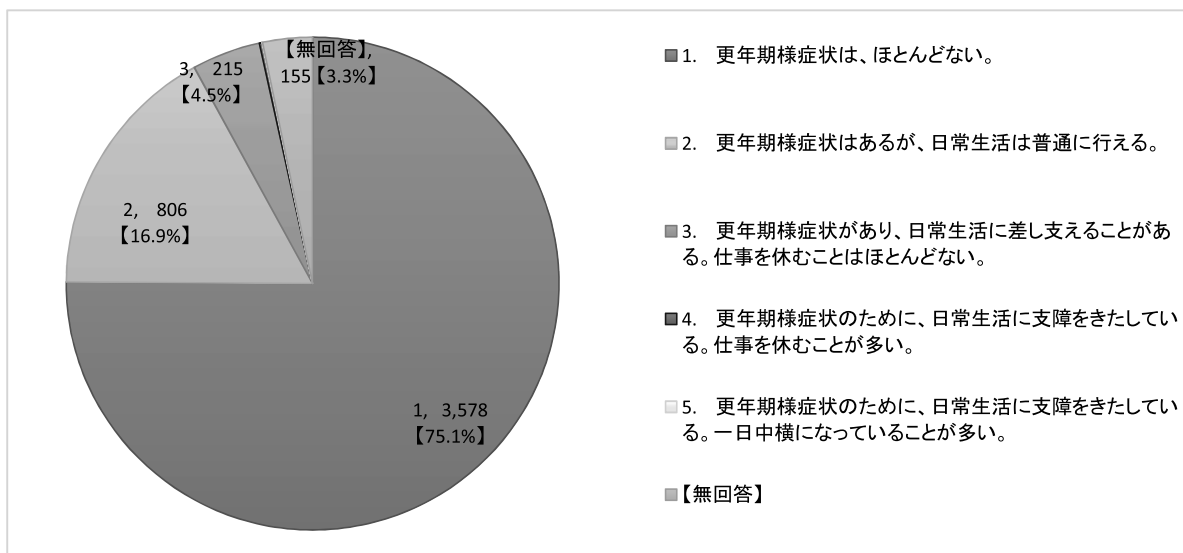
	集計数	%
1. しやすくなった	258	40.9
2. 変わらない	316	50.1
3. むしろ悪くなった	7	1.1
【無回答】	50	7.9



質問19:更年期様症状(のぼせ、発汗、だるさ、眠りが浅い、疲れ易いなど)について、最も当てはまるものを一つ選んでください。

- 更年期様症状は、ほとんどない。
- 更年期様症状はあるが、日常生活は普通に行える。
- 更年期様症状があり、日常生活に差し支えることがある。仕事を休むことはほとんどない。
- 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。仕事を休むことが多い。
- 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。一日中横になっていることが多い。

	集計数	%
1. 更年期様症状は、ほとんどない。	3,578	75.1
2. 更年期様症状はあるが、日常生活は普通に行える。	806	16.9
3. 更年期様症状があり、日常生活に差し支えることがある。仕事を休むことはほとんどない。	215	4.5
4. 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。仕事を休むことが多い。	8	0.2
5. 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。一日中横になっていることが多い。	2	0
【無回答】	155	3.3



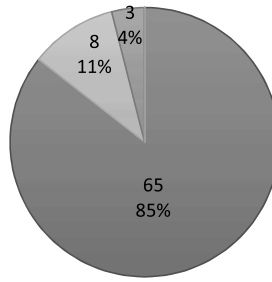
現在の更年期症状について(職種別)

		1	2	3	4	5	【無回答】	計
1. 医師	人数	65	8	3	0	0	0	76
	%	85.5	10.5	3.9	0	0	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	2,799	627	175	7	2	111	3,721
	%	75.2	16.9	4.7	0.2	0.1	3	100
3. 薬剤師	人数	38	7	1	0	0	2	48
	%	79.2	14.6	2.1	0	0	4.2	100
4. 臨床検査技師	人数	67	21	2	0	0	6	96
	%	69.8	21.9	2.1	0	0	6.3	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	79	5	2	0	0	1	87
	%	90.8	5.7	2.3	0	0	1.1	100
6. 放射線技師	人数	27	3	0	0	0	1	31
	%	87.1	9.7	0	0	0	3.2	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	50	7	0	0	0	3	60
	%	83.3	11.7	0	0	0	5	100
8. 診療情報管理士	人数	15	5	3	0	0	0	23
	%	65.2	21.7	13	0	0	0	100
9. メディカルクラーク	人数	60	17	2	0	0	6	85
	%	70.6	20	2.4	0	0	7.1	100
10. 事務職	人数	251	60	10	1	0	12	334
	%	75.1	18	3	0.3	0	3.6	100
11. その他(回答有)	人数	84	23	9	0	0	8	124
	%	67.7	18.5	7.3	0	0	6.5	100
11. その他(空白)	人数	32	18	7	0	0	4	61
	%	52.5	29.5	11.5	0	0	6.6	100
【無回答】	人数	11	5	1	0	0	1	18
	%	61.1	27.8	5.6	0	0	5.6	100
総計	人数	3,578	806	215	8	2	155	4,764
	%	75.1	16.9	4.5	0.2	0	3.3	100

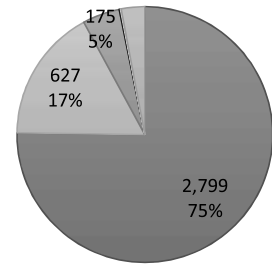
現在の更年期症状について(職種別)

- 1. 更年期様症状は、ほとんどない。
- 2. 更年期様症状はあるが、日常生活は普通に行える。
- 3. 更年期様症状があり、日常生活に差し支えることがある。仕事を休むことはほとんどない。
- 4. 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。仕事を休むことが多い。
- 5. 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。一日中横になっていることが多い。
- 【無回答】

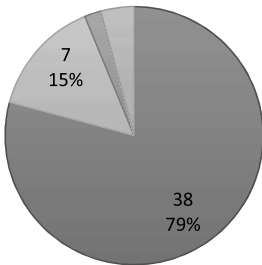
1. 医師



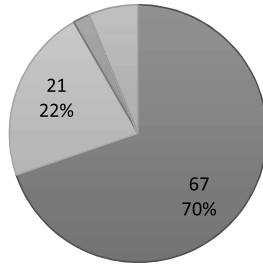
2. 看護師・看護助手



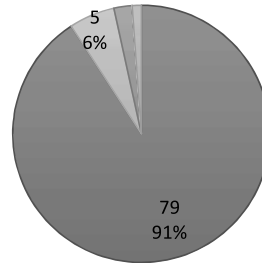
3. 薬剤師



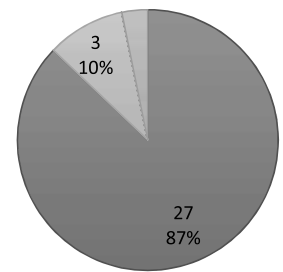
4. 臨床検査技師



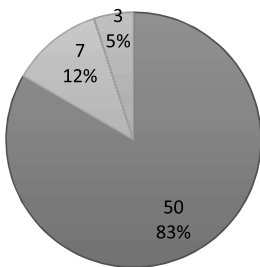
5. 理学療法士・言語聴覚士



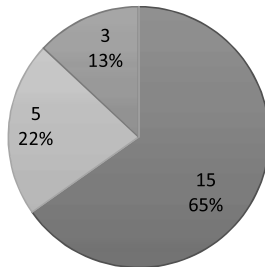
6. 放射線技師



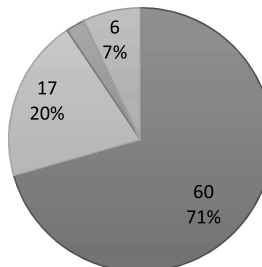
7. 管理栄養士・栄養士



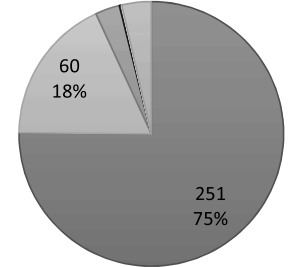
8. 診療情報管理士



9. メディカルクラーク



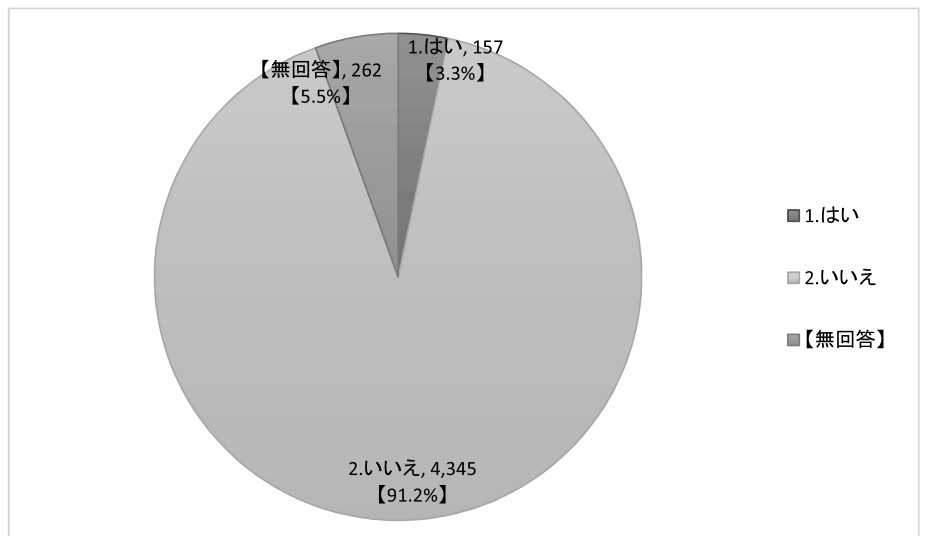
10. 事務職



質問20: 更年期様症状のために、薬剤を使用していますか? -----

1. はい 2. いいえ

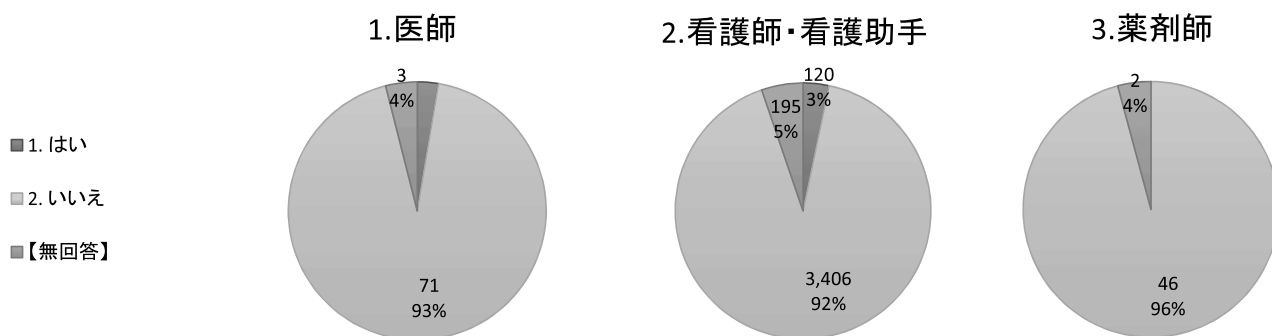
	集計数	%
1. はい	157	3.3
2. いいえ	4,345	91.2
【無回答】	262	5.5



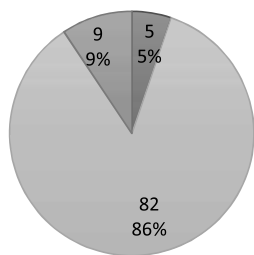
現在、更年期症状の為の薬剤使用しているか(職種別)

		1. はい	2. いいえ	【無回答】	計
1. 医師	人数	2	71	3	76
	%	2.6	93.4	3.9	100
2. 看護師・看護助手	人数	120	3,406	195	3,721
	%	3.2	91.5	5.2	100
3. 薬剤師	人数	0	46	2	48
	%	0	95.8	4.2	100
4. 臨床検査技師	人数	5	82	9	96
	%	5.2	85.4	9.4	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	2	84	1	87
	%	2.3	96.6	1.1	100
6. 放射線技師	人数	0	27	4	31
	%	0	87.1	12.9	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	0	57	3	60
	%	0	95	5	100
8. 診療情報管理士	人数	0	22	1	23
	%	0	95.7	4.3	100
9. メディカルクラーク	人数	3	75	7	85
	%	3.5	88.2	8.2	100
10. 事務職	人数	10	305	19	334
	%	3	91.3	5.7	100
11. その他(回答有)	人数	10	100	14	124
	%	8.1	80.6	11.3	100
11. その他(空白)	人数	5	53	3	61
	%	8.2	86.9	4.9	100
【無回答】	人数	0	17	1	18
	%	0	94.4	5.6	100
総計	人数	157	4,345	262	4,764
	%	3.3	91.2	5.5	100

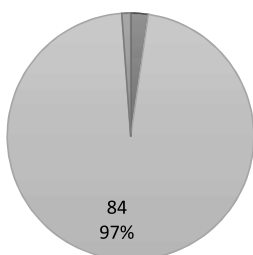
現在、更年期症状の為の薬剤使用しているか(職種別)



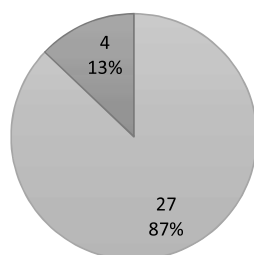
4.臨床検査技師



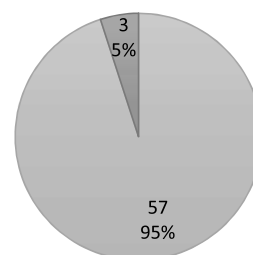
5.理学療法士・言語聴覚士



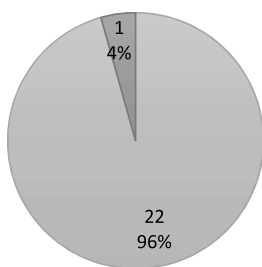
6.放射線技師



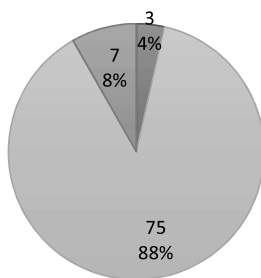
7.管理栄養士・栄養士



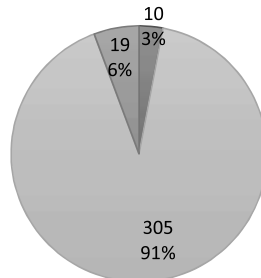
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



10.事務職

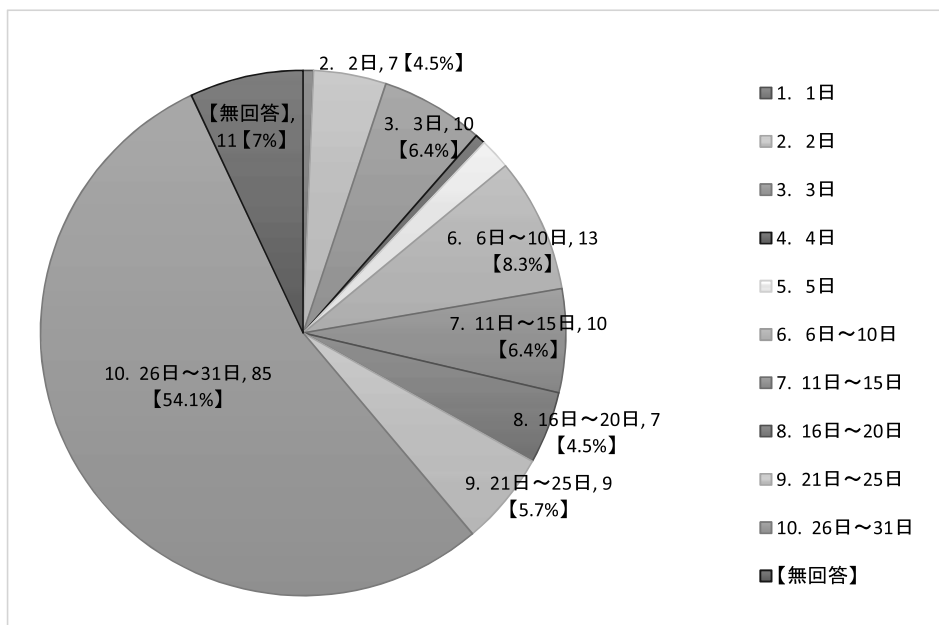


「はい」と答えた方へ:

質問20-2:1ヶ月で何日間ぐらい薬剤を使用しますか? -----

1. 1日 2. 2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日 6. 6日～10日 7. 11日～15日 8. 16日～20日 9. 21日～25日
10. 26日～31日

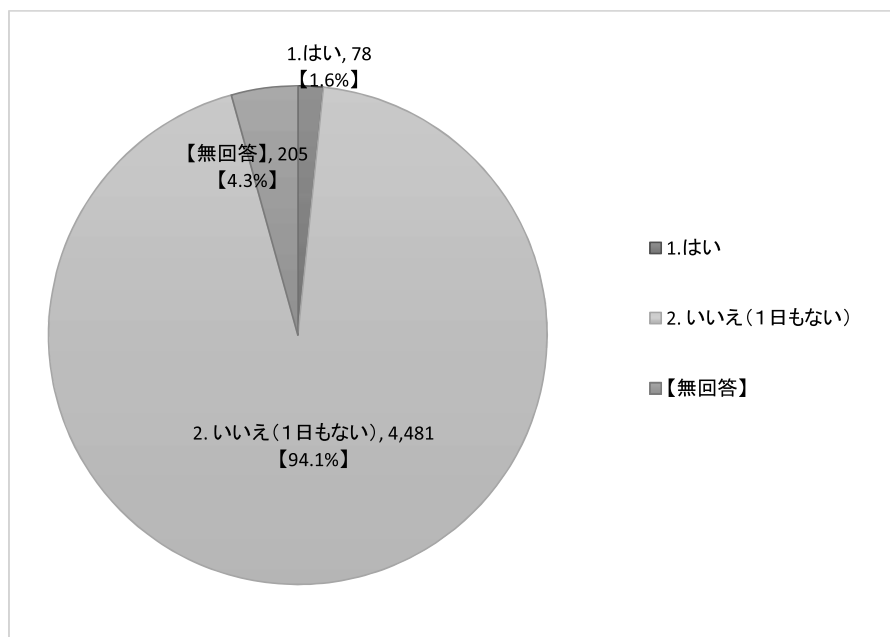
	集計数	%
1. 1日	1	0.6
2. 2日	7	4.5
3. 3日	10	6.4
4. 4日	1	0.6
5. 5日	3	1.9
6. 6日～10日	13	8.3
7. 11日～15日	10	6.4
8. 16日～20日	7	4.5
9. 21日～25日	9	5.7
10. 26日～31日	85	54.1
【無回答】	11	7



質問21:この半年間で、更年期様症状のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかったことが、1日でもありましたか？

1.はい 2.いいえ(1日もない)

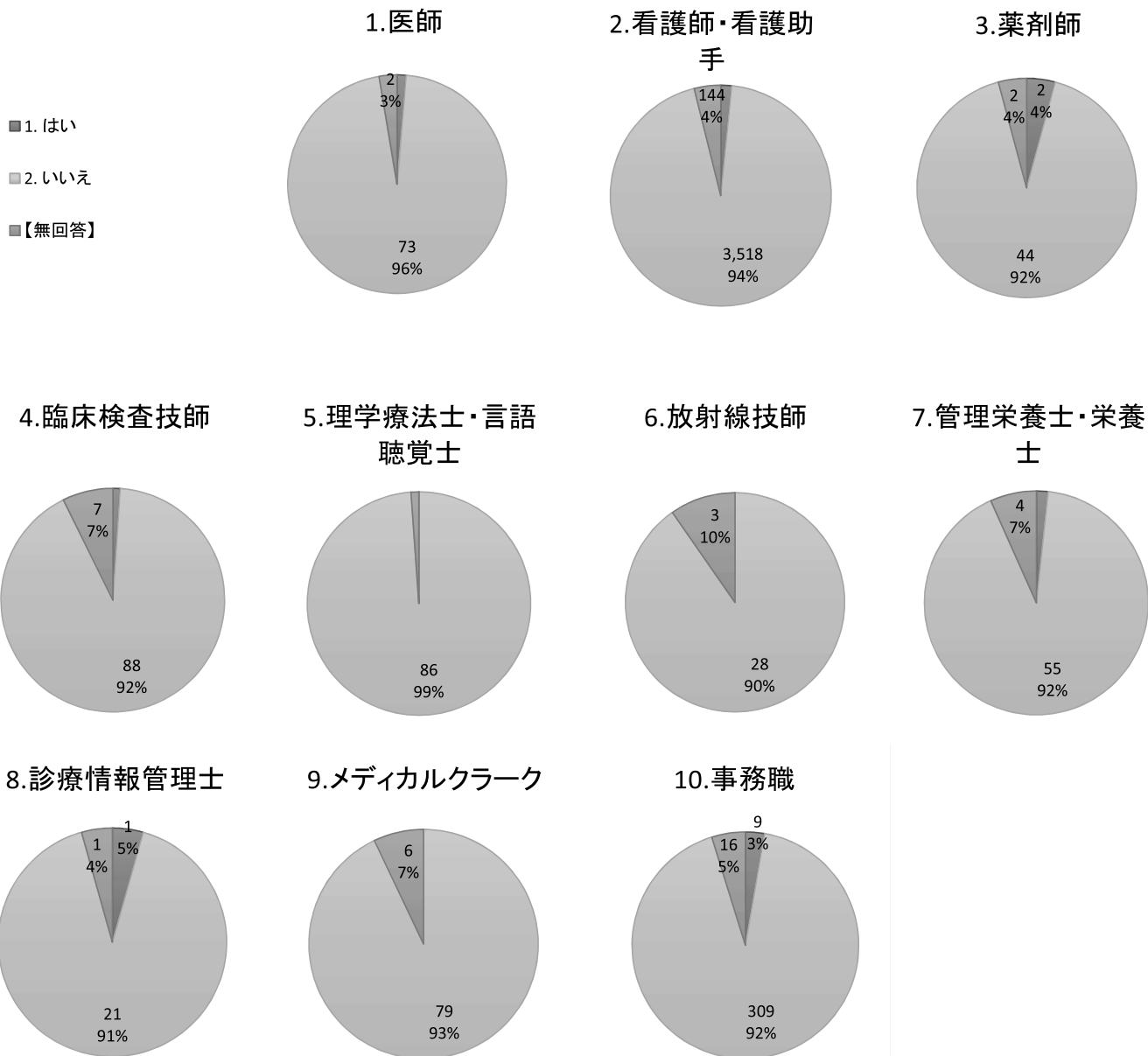
	集計数	%
1.はい	78	1.6
2.いいえ(1日もない)	4,481	94.1
【無回答】	205	4.3



この半年間で、更年期症状で欠勤等があったか(職種別)

		1. はい	2. いいえ	【無回答】	計
1. 医師	人数	1	73	2	76
	%	1.3	96.1	2.6	100
2. 看護師・看護助手	人数	59	3,518	144	3,721
	%	1.6	94.5	3.9	100
3. 薬剤師	人数	2	44	2	48
	%	4.2	91.7	4.2	100
4. 臨床検査技師	人数	1	88	7	96
	%	1	91.7	7.3	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	0	86	1	87
	%	0	98.9	1.1	100
6. 放射線技師	人数	0	28	3	31
	%	0	90.3	9.7	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	1	55	4	60
	%	1.7	91.7	6.7	100
8. 診療情報管理士	人数	1	21	1	23
	%	4.3	91.3	4.3	100
9. メディカルクラーク	人数	0	79	6	85
	%	0	92.9	7.1	100
10. 事務職	人数	9	309	16	334
	%	2.7	92.5	4.8	100
11. その他(回答有)	人数	3	109	12	124
	%	2.4	87.9	9.7	100
11. その他(空白)	人数	1	54	6	61
	%	1.6	88.5	9.8	100
【無回答】	人数	0	17	1	18
	%	0	94.4	5.6	100
総計	人数	78	4,481	205	4,764
	%	1.6	94.1	4.3	100

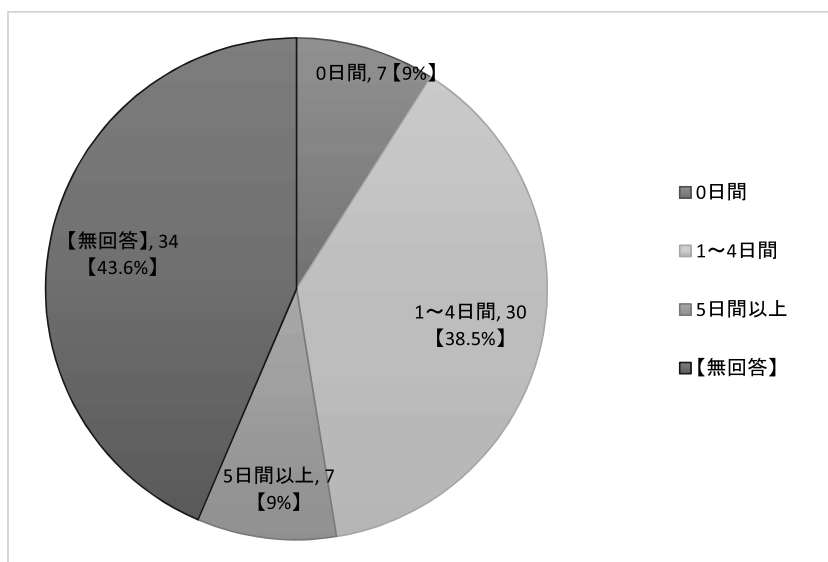
この半年間で、更年期症状で欠勤等があったか(職種別)



「はい」と答えた方へ:

質問21-2:この半年間で、仕事を休んだのは何日間ですか? ----- 約 日間

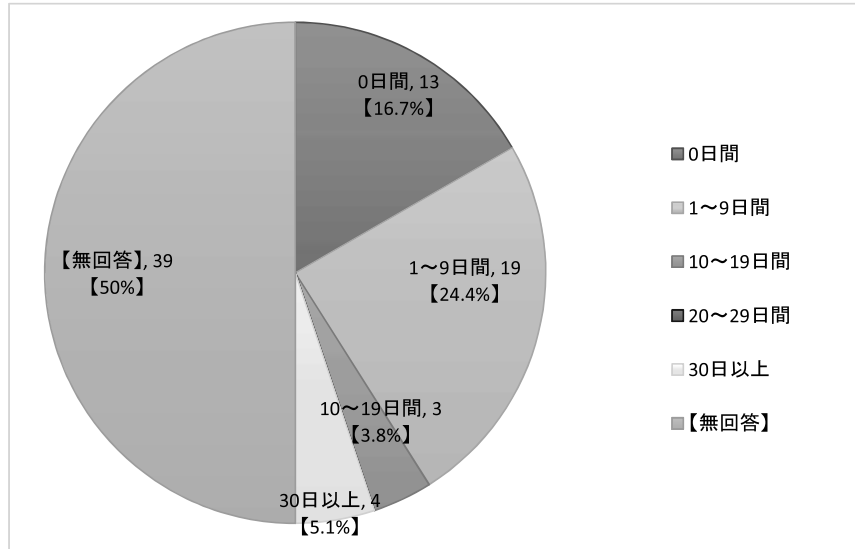
	集計数	%
0日間	7	9
1~4日間	30	38.5
5日間以上	7	9
【無回答】	34	43.6



質問21-3:この半年間で、仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか？

約 日間

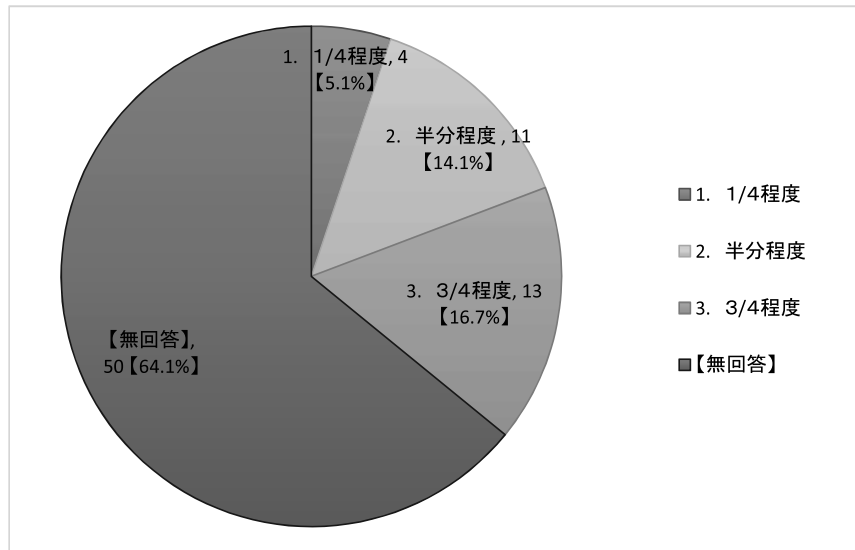
	集計数	%
0日間	13	16.7
1～9日間	19	24.4
10～19日間	3	3.8
20～29日間	0	0
30日以上	4	5.1
【無回答】	39	50



質問21-4:それらの日の仕事は平均して、普段の仕事のどの程度でしたか？-----

1. 1/4程度 2. 半分程度 3. 3/4程度

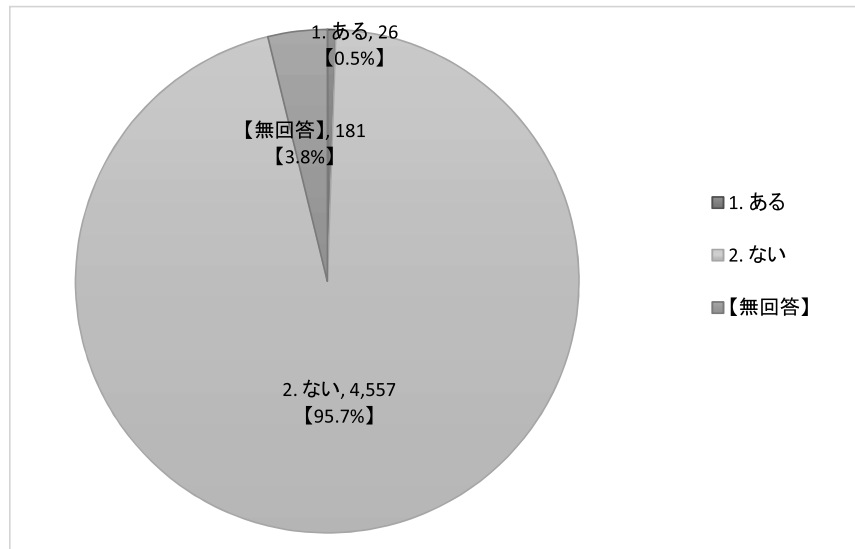
	集計数	%
1. 1/4程度	4	5.1
2. 半分程度	11	14.1
3. 3/4程度	13	16.7
【無回答】	50	64.1



質問22:更年期様症状のため、仕事を辞めたり転職したことがありますか？-----

1. ある 2. ない

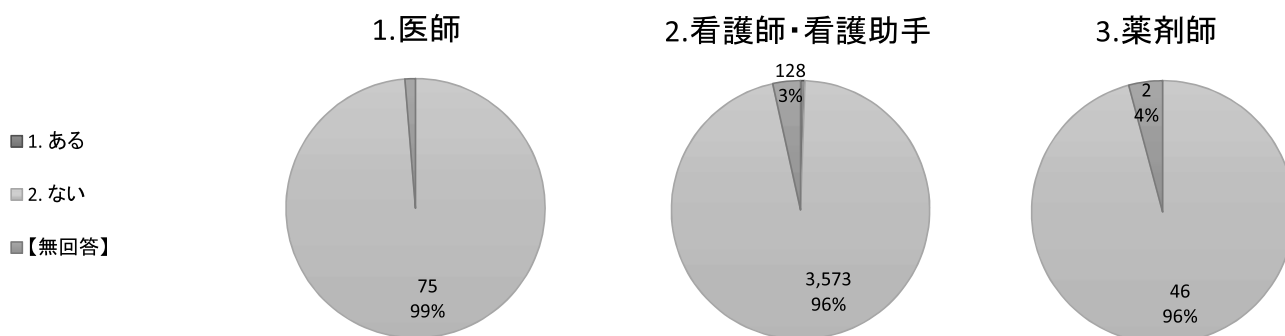
	集計数	%
1. ある	26	0.5
2. ない	4,557	95.7
【無回答】	181	3.8



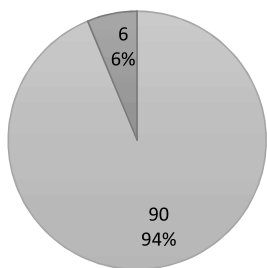
今まで、更年期症状を理由で辞職や転職をしたか(職種別)

		1. ある	2. ない	【無回答】	計
1. 医師	人数	0	75	1	76
	%	0	98.7	1.3	100
2. 看護師・看護助手	人数	20	3,573	128	3,721
	%	0.5	96	3.4	100
3. 薬剤師	人数	0	46	2	48
	%	0	95.8	4.2	100
4. 臨床検査技師	人数	0	90	6	96
	%	0	93.8	6.3	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	0	86	1	87
	%	0	98.9	1.1	100
6. 放射線技師	人数	0	27	4	31
	%	0	87.1	12.9	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	0	55	5	60
	%	0	91.7	8.3	100
8. 診療情報管理士	人数	0	23	0	23
	%	0	100	0	100
9. メディカルクラーク	人数	0	79	6	85
	%	0	92.9	7.1	100
10. 事務職	人数	3	316	15	334
	%	0.9	94.6	4.5	100
11. その他(回答有)	人数	3	112	9	124
	%	2.4	90.3	7.3	100
11. その他(空白)	人数	0	59	2	61
	%	0	96.7	3.3	100
【無回答】	人数	0	16	2	18
	%	0	88.9	11.1	100
総計	人数	26	4,557	181	4,764
	%	0.5	95.7	3.8	100

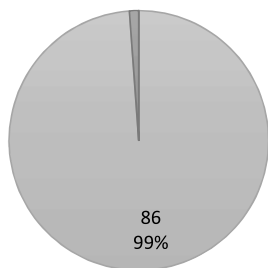
今まで、更年期症状を理由で辞職や転職をしたか(職種別)



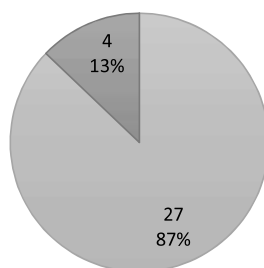
4.臨床検査技師



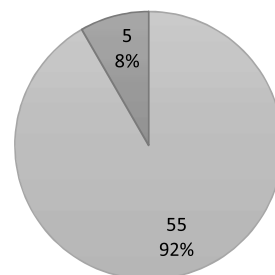
5.理学療法士・言語聴覚士



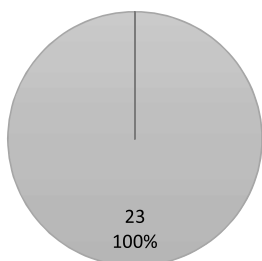
6.放射線技師



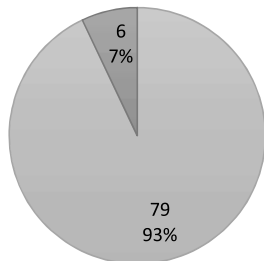
7.管理栄養士・栄養士



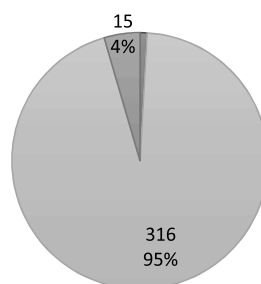
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



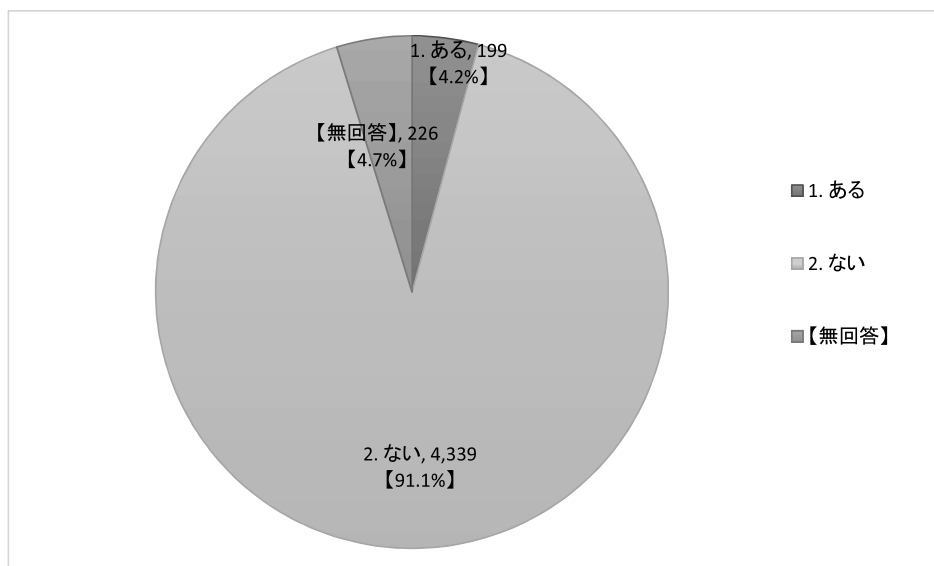
10.事務職



質問23: 更年期様症状のために、病院・医院など医療機関を受診したことがありますか? -----

1. ある 2. ない

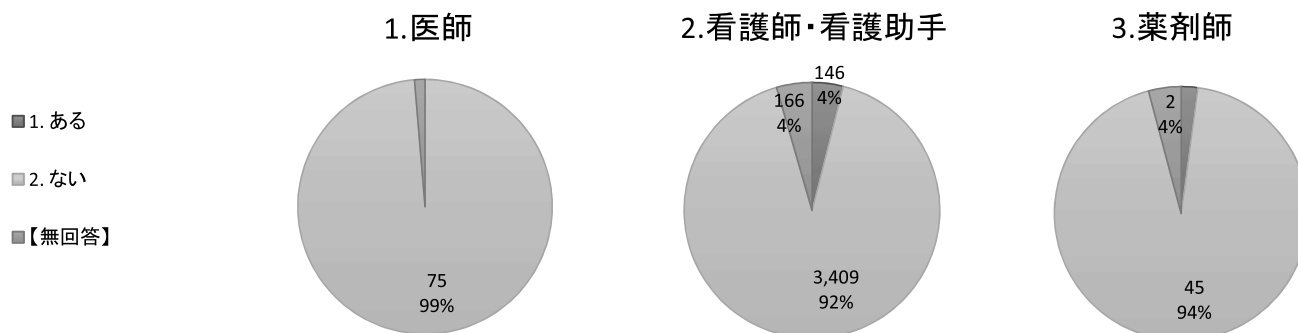
	集計数	%
1. ある	199	4.2
2. ない	4,339	91.1
【無回答】	226	4.7



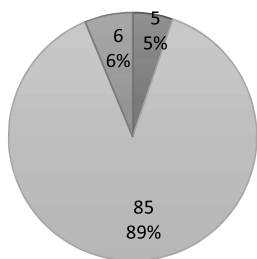
更年期症状が理由で医療機関の受診はあるか(職種別)

		1. ある	2. ない	【無回答】	計
1. 医師	人数	0	75	1	76
	%	0	98.7	1.3	100
2. 看護師・看護助手	人数	146	3,409	166	3,721
	%	3.9	91.6	4.5	100
3. 薬剤師	人数	1	45	2	48
	%	2.1	93.8	4.2	100
4. 臨床検査技師	人数	5	85	6	96
	%	5.2	88.5	6.3	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	6	80	1	87
	%	6.9	92	1.1	100
6. 放射線技師	人数	0	27	4	31
	%	0	87.1	12.9	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	1	52	7	60
	%	1.7	86.7	11.7	100
8. 診療情報管理士	人数	0	23	0	23
	%	0	100	0	100
9. メディカルクラーク	人数	3	77	5	85
	%	3.5	90.6	5.9	100
10. 事務職	人数	20	295	19	334
	%	6	88.3	5.7	100
11. その他(回答有)	人数	10	104	10	124
	%	8.1	83.9	8.1	100
11. その他(空白)	人数	7	51	3	61
	%	11.5	83.6	4.9	100
【無回答】	人数	0	16	2	18
	%	0	88.9	11.1	100
総計	人数	199	4,339	226	4,764
	%	4.2	91.1	4.7	100

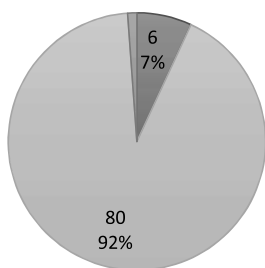
更年期症状が理由で医療機関の受診はあるか(職種別)



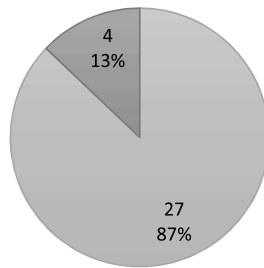
4.臨床検査技師



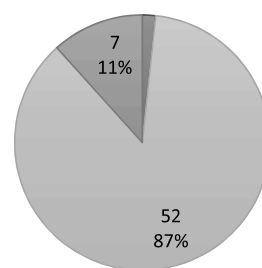
5.理学療法士・言語聴覚士



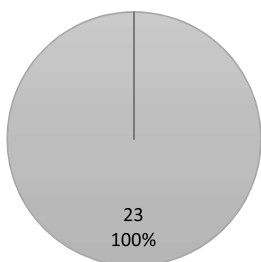
6.放射線技師



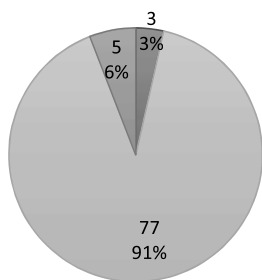
7.管理栄養士・栄養士



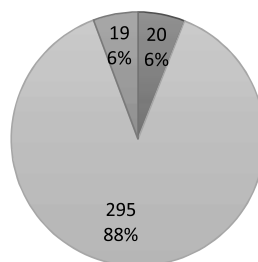
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



10.事務職

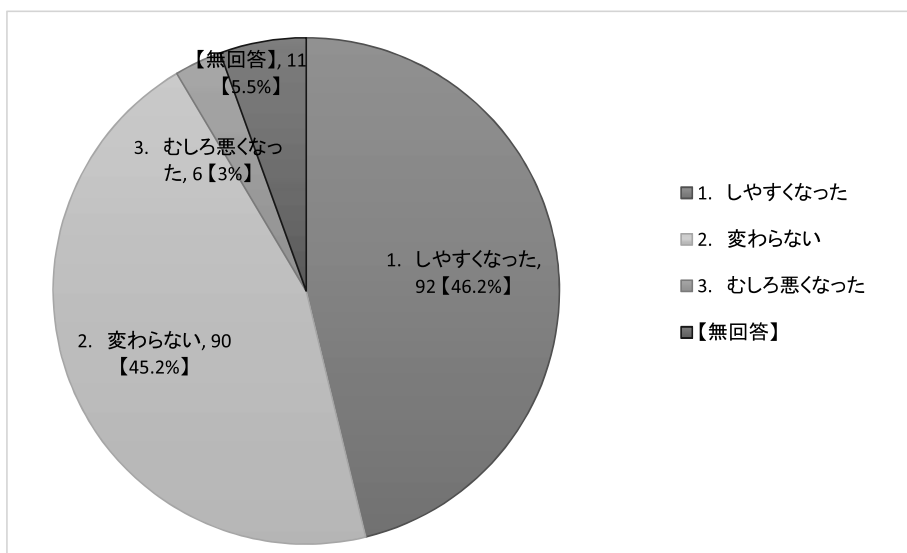


「ある」と答えた方へ:

質問23-2:治療によって、仕事がしやすくなりましたか? -----

1. しやすくなった 2. 変わらない 3. むしろ悪くなった

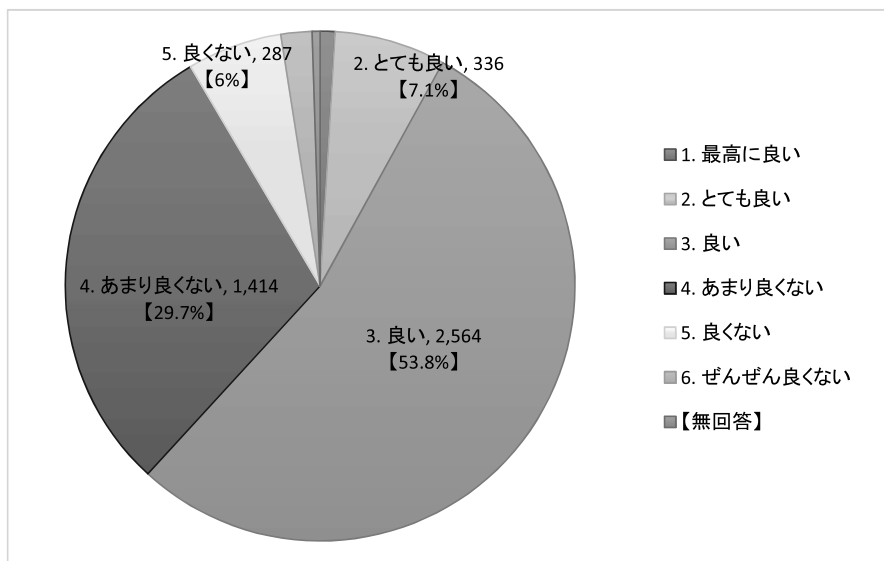
	集計数	%
1. しやすくなった	92	46.2
2. 変わらない	90	45.2
3. むしろ悪くなった	6	3
【無回答】	11	5.5



質問24: 全体的にみて、過去1か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？-----

1. 最高に良い 2. とても良い 3. 良い 4. あまり良くない 5. 良くない 6. ぜんぜん良くない

	集計数	%
1. 最高に良い	45	0.9
2. とても良い	336	7.1
3. 良い	2,564	53.8
4. あまり良くない	1,414	29.7
5. 良くない	287	6
6. ぜんぜん良くない	94	2
【無回答】	24	0.5



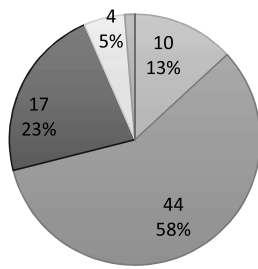
この1か月間の健康状態は(職種別)

		1. 最高に良い	2. とても良い	3. 良い	4. あまり良くない	5. 良くない	6. ぜんぜん良くない	【無回答】	計
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
1. 医師	人数	0	10	44	17	4	1	0	76
	%	0	13.2	57.9	22.4	5.3	1.3	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	34	234	1,975	1,155	231	76	16	3,721
	%	0.9	6.3	53.1	31	6.2	2	0.4	100
3. 薬剤師	人数	1	5	25	13	3	1	0	48
	%	2.1	10.4	52.1	27.1	6.3	2.1	0	100
4. 臨床検査技師	人数	0	7	63	19	4	2	1	96
	%	0	7.3	65.6	19.8	4.2	2.1	1	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	2	8	46	25	4	1	1	87
	%	2.3	9.2	52.9	28.7	4.6	1.1	1.1	100
6. 放射線技師	人数	0	4	18	5	1	3	0	31
	%	0	12.9	58.1	16.1	3.2	9.7	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	1	11	34	9	3	2	0	60
	%	1.7	18.3	56.7	15	5	3.3	0	100
8. 診療情報管理士	人数	0	3	10	7	2	1	0	23
	%	0	13	43.5	30.4	8.7	4.3	0	100
9. メディカルクラーク	人数	2	3	50	23	3	2	2	85
	%	2.4	3.5	58.8	27.1	3.5	2.4	2.4	100
10. 事務職	人数	4	22	196	91	15	4	2	334
	%	1.2	6.6	58.7	27.2	4.5	1.2	0.6	100
11. その他(回答有)	人数	1	18	60	34	11	0	0	124
	%	0.8	14.5	48.4	27.4	8.9	0	0	100
11. その他(空白)	人数	0	10	34	13	4	0	0	61
	%	0	16.4	55.7	21.3	6.6	0	0	100
【無回答】	人数	0	1	9	3	2	1	2	18
	%	0	5.6	50	16.7	11.1	5.6	11.1	100
総計	人数	45	336	2,564	1,414	287	94	24	4,764
	%	0.9	7.1	53.8	29.7	6	2	0.5	100

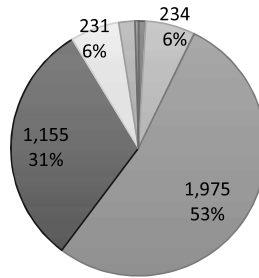
この1か月間の健康状態は(職種別)

- 1. 最高に良い
- 2. とても良い
- 3. 良い
- 4. あまり良くない
- 5. 良くない
- 6. ぜんぜん良くない
- 【無回答】

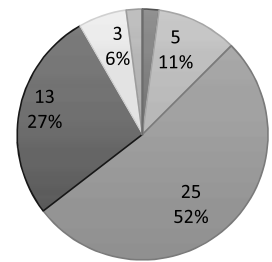
1. 医師



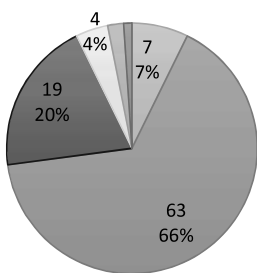
2. 看護師・看護助手



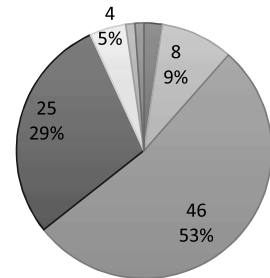
3. 薬剤師



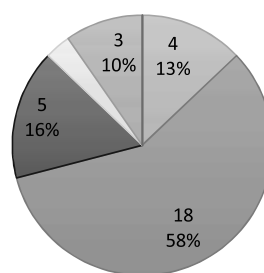
4. 臨床検査技師



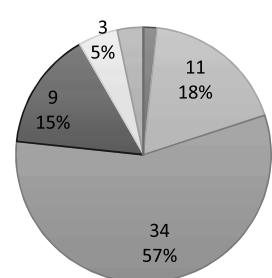
5. 理学療法士・言語聴覚士



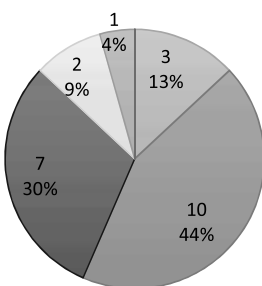
6. 放射線技師



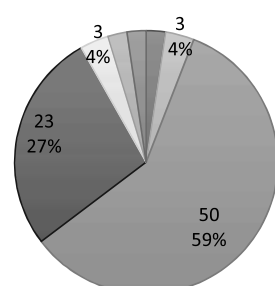
7. 管理栄養士・栄養士



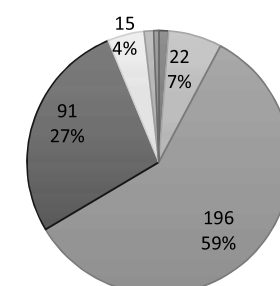
8. 診療情報管理士



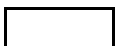
9. メディカルクラーク



10. 事務職

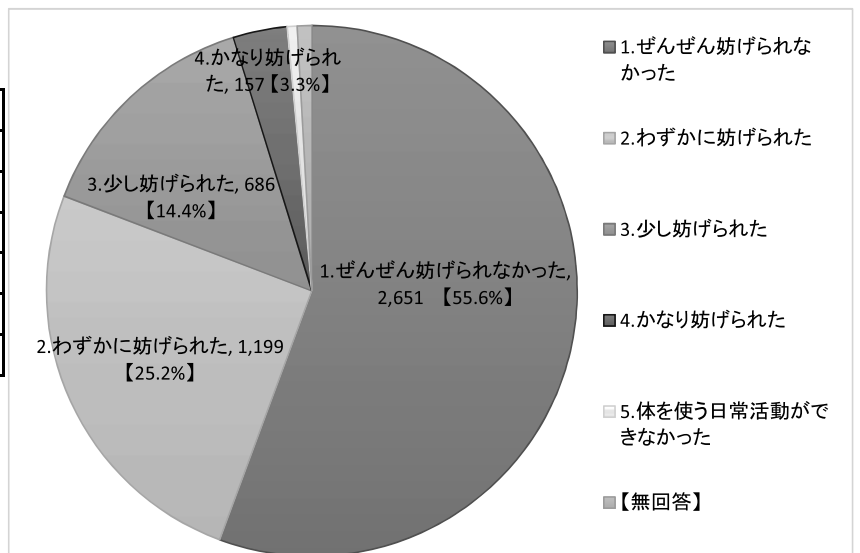


質問25: 過去1か月に、体を使う日常活動(歩いたり階段を昇ったりなど)をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか?



- 1. ぜんぜん妨げられなかった
- 2. わずかに妨げられた
- 3. 少し妨げられた
- 4. かなり妨げられた
- 5. 体を使う日常活動ができなかった

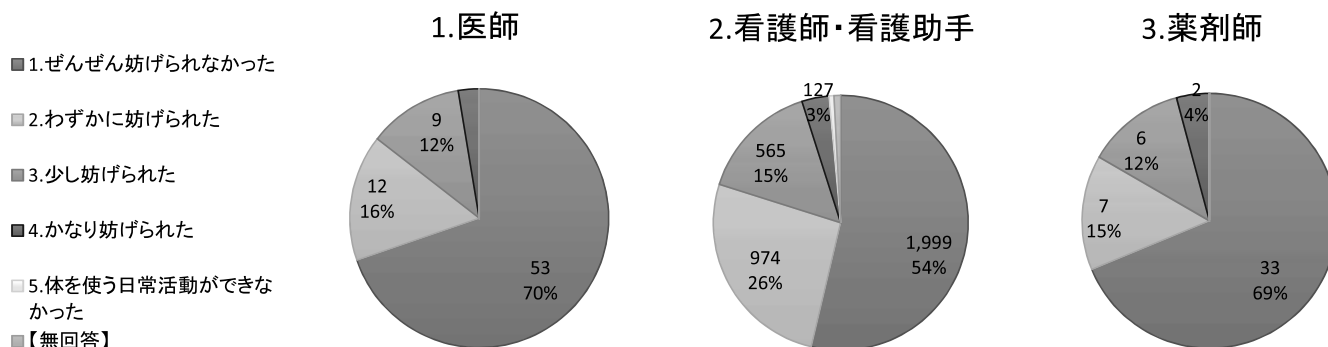
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	2,651	55.6
2. わずかに妨げられた	1,199	25.2
3. 少し妨げられた	686	14.4
4. かなり妨げられた	157	3.3
5. 体を使う日常活動ができなかった	29	0.6
【無回答】	42	0.9



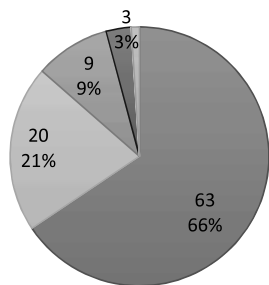
この1か月間、身体的な理由で日常活動が妨げられたか(職種別)

		1	2	3	4	5	【無回答】	計
1. 医師	人数	53	12	9	2	0	0	76
	%	69.7	15.8	11.8	2.6	0	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	1,999	974	565	127	24	32	3,721
	%	53.7	26.2	15.2	3.4	0.6	0.9	100
3. 薬剤師	人数	33	7	6	2	0	0	48
	%	68.8	14.6	12.5	4.2	0	0	100
4. 臨床検査技師	人数	63	20	9	3	0	1	96
	%	65.6	20.8	9.4	3.1	0	1	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	50	22	12	3	0	0	87
	%	57.5	25.3	13.8	3.4	0	0	100
6. 放射線技師	人数	24	5	2	0	0	0	31
	%	77.4	16.1	6.5	0	0	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	44	9	6	1	0	0	60
	%	73.3	15	10	1.7	0	0	100
8. 診療情報管理士	人数	13	5	4	1	0	0	23
	%	56.5	21.7	17.4	4.3	0	0	100
9. メディカルクラーク	人数	56	19	6	1	2	1	85
	%	65.9	22.4	7.1	1.2	2.4	1.2	100
10. 事務職	人数	208	74	34	12	2	4	334
	%	62.3	22.2	10.2	3.6	0.6	1.2	100
11. その他(回答有)	人数	60	36	24	3	0	1	124
	%	48.4	29	19.4	2.4	0	0.8	100
11. その他(空白)	人数	41	11	7	1	0	1	61
	%	67.2	18	11.5	1.6	0	1.6	100
【無回答】	人数	7	5	2	1	1	2	18
	%	38.9	27.8	11.1	5.6	5.6	11.1	100
総計	人数	2,651	1,199	686	157	29	42	4,764
	%	55.6	25.2	14.4	3.3	0.6	0.9	100

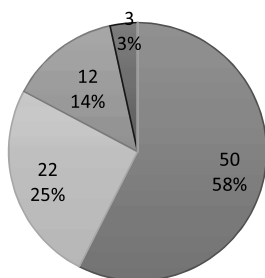
この1か月間、身体的な理由で日常活動が妨げられたか(職種別)



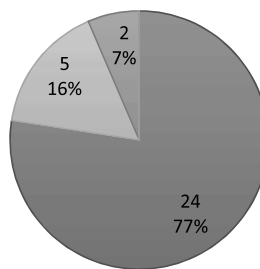
4.臨床検査技師



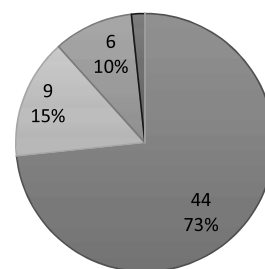
5.理学療法士・言語聴覚士



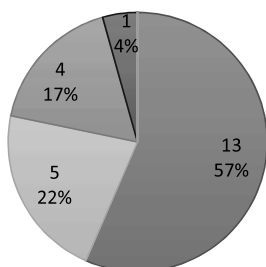
6.放射線技師



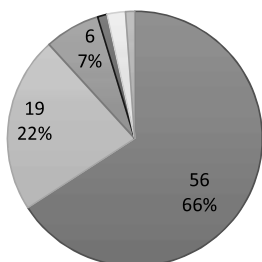
7.管理栄養士・栄養士



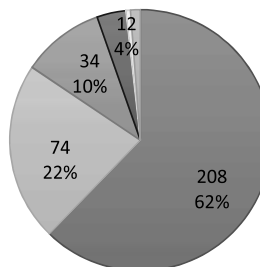
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



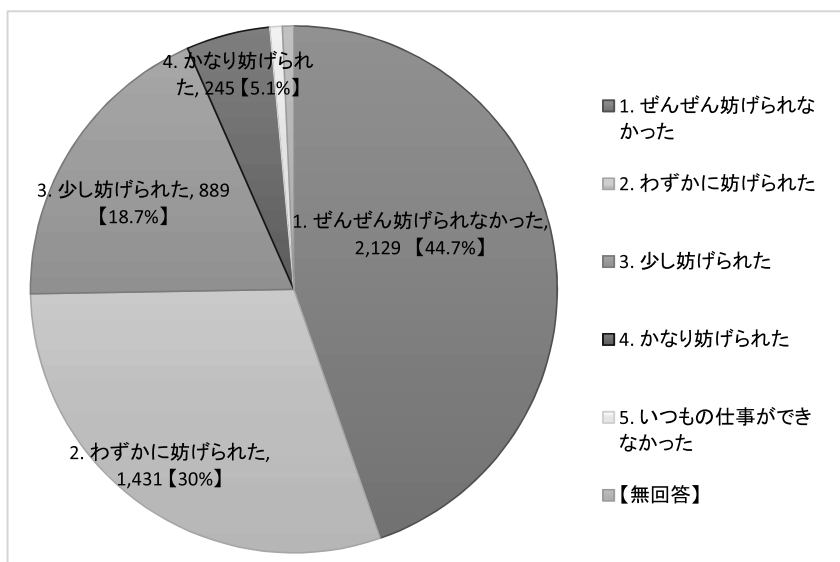
10.事務職



質問26: 過去1か月間に、いつもの仕事(家事も含みます)をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか? -----

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. いつもの仕事ができなかった

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	2,129	44.7
2. わずかに妨げられた	1,431	30
3. 少し妨げられた	889	18.7
4. かなり妨げられた	245	5.1
5. いつもの仕事ができなかった	37	0.8
【無回答】	33	0.7



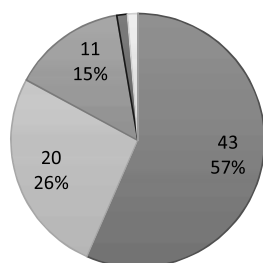
この1か月間、身体的な理由でいつもの仕事が妨げられたか(職種別)

		1	2	3	4	5	【無回答】	計
1. 医師	人数	43	20	11	1	1	0	76
	%	56.6	26.3	14.5	1.3	1.3	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	1,601	1,125	740	203	30	22	3,721
	%	43	30.2	19.9	5.5	0.8	0.6	100
3. 薬剤師	人数	27	10	9	2	0	0	48
	%	56.3	20.8	18.8	4.2	0	0	100
4. 臨床検査技師	人数	50	29	12	4	0	1	96
	%	52.1	30.2	12.5	4.2	0	1	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	45	25	11	5	1	0	87
	%	51.7	28.7	12.6	5.7	1.1	0	100
6. 放射線技師	人数	19	9	1	1	1	0	31
	%	61.3	29	3.2	3.2	3.2	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	40	12	5	3	0	0	60
	%	66.7	20	8.3	5	0	0	100
8. 診療情報管理士	人数	9	9	4	1	0	0	23
	%	39.1	39.1	17.4	4.3	0	0	100
9. メディカルクレーク	人数	44	21	14	3	2	1	85
	%	51.8	24.7	16.5	3.5	2.4	1.2	100
10. 事務職	人数	165	107	40	15	2	5	334
	%	49.4	32	12	4.5	0.6	1.5	100
11. その他(回答有)	人数	46	43	31	3	0	1	124
	%	37.1	34.7	25	2.4	0	0.8	100
11. その他(空白)	人数	35	15	8	2	0	1	61
	%	57.4	24.6	13.1	3.3	0	1.6	100
【無回答】	人数	5	6	3	2	0	2	18
	%	27.8	33.3	16.7	11.1	0	11.1	100
総計	人数	2,129	1,431	889	245	37	33	4,764
	%	44.7	30	18.7	5.1	0.8	0.7	100

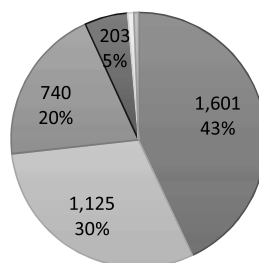
この1か月間、身体的な理由でいつもの仕事が妨げられたか(職種別)

- 1. ぜんぜん妨げられなかった
- 2. わずかに妨げられた
- 3. 少し妨げられた
- 4. かなり妨げられた
- 5. いつもの仕事ができなかった
- 【無回答】

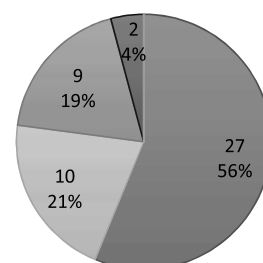
1. 医師



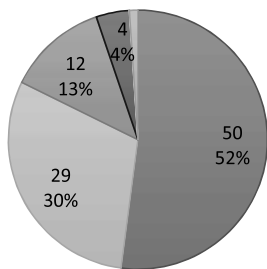
2. 看護師・看護助手



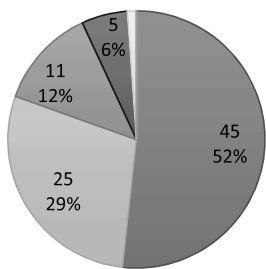
3. 薬剤師



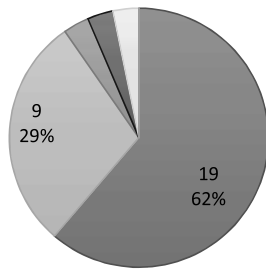
4.臨床検査技師



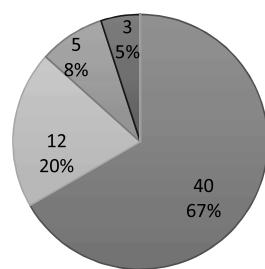
5.理学療法士・言語聴覚士



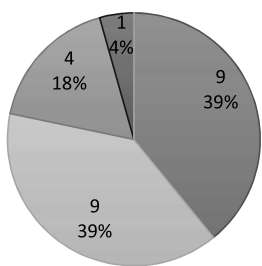
6.放射線技師



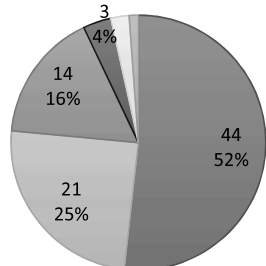
7.管理栄養士・栄養士



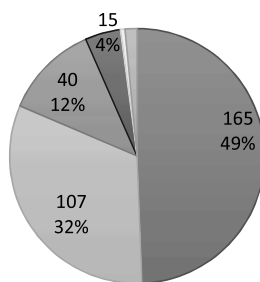
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



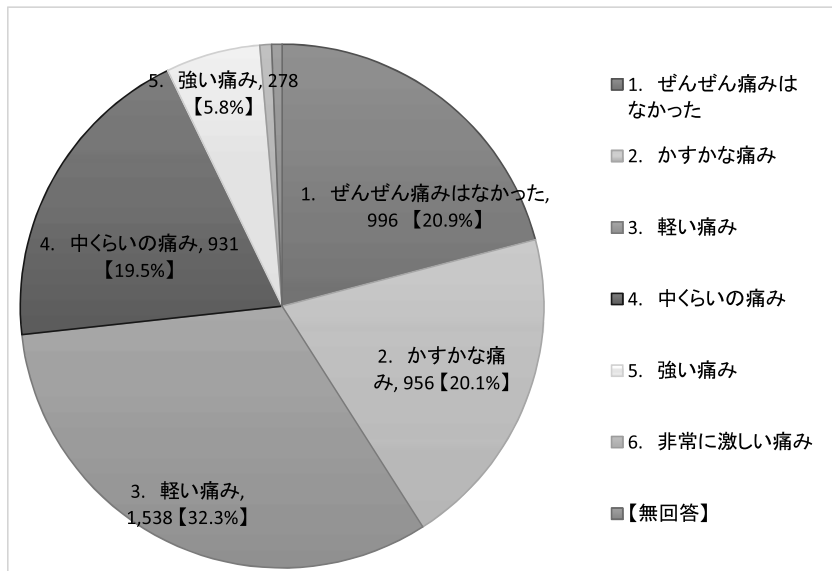
10.事務職



質問27: 過去1か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？

1. ぜんぜん痛みはなかった 2. かすかな痛み 3. 軽い痛み 4. 中くらいの痛み 5. 強い痛み
6. 非常に激しい痛み

	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	996	20.9
2. かすかな痛み	956	20.1
3. 軽い痛み	1,538	32.3
4. 中くらいの痛み	931	19.5
5. 強い痛み	278	5.8
6. 非常に激しい痛み	35	0.7
【無回答】	30	0.6

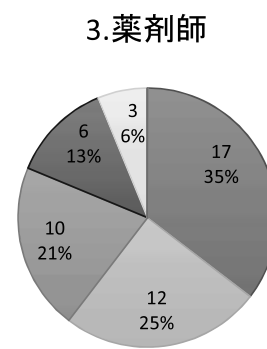
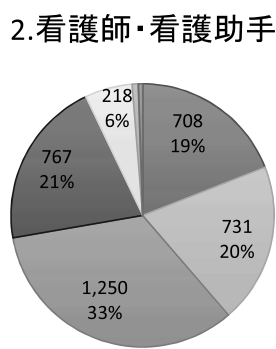
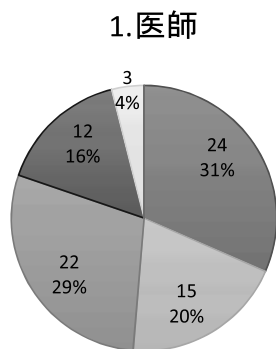


この1か月間、体の痛みがあったか(職種別)

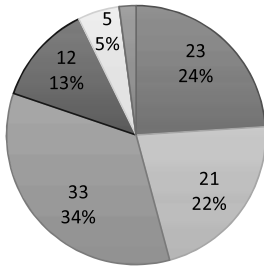
		1	2	3	4	5	6	【無回答】	計
1. 医師	人数	24	15	22	12	3	0	0	76
	%	31.6	19.7	28.9	15.8	3.9	0	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	708	731	1,250	767	218	28	19	3,721
	%	19	19.6	33.6	20.6	5.9	0.8	0.5	100
3. 薬剤師	人数	17	12	10	6	3	0	0	48
	%	35.4	25	20.8	12.5	6.3	0	0	100
4. 臨床検査技師	人数	23	21	33	12	5	0	2	96
	%	24	21.9	34.4	12.5	5.2	0	2.1	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	19	13	28	21	6	0	0	87
	%	21.8	14.9	32.2	24.1	6.9	0	0	100
6. 放射線技師	人数	9	5	11	4	2	0	0	31
	%	29	16.1	35.5	12.9	6.5	0	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	20	19	10	9	2	0	0	60
	%	33.3	31.7	16.7	15	3.3	0	0	100
8. 診療情報管理士	人数	4	7	8	1	2	1	0	23
	%	17.4	30.4	34.8	4.3	8.7	4.3	0	100
9. メディカルクラーク	人数	27	17	17	15	7	1	1	85
	%	31.8	20	20	17.6	8.2	1.2	1.2	100
10. 事務職	人数	87	83	92	46	19	1	6	334
	%	26	24.9	27.5	13.8	5.7	0.3	1.8	100
11. その他(回答有)	人数	37	24	31	26	4	2	0	124
	%	29.8	19.4	25	21	3.2	1.6	0	100
11. その他(空白)	人数	18	8	19	10	4	2	0	61
	%	29.5	13.1	31.1	16.4	6.6	3.3	0	100
【無回答】	人数	3	1	7	2	3	0	2	18
	%	16.7	5.6	38.9	11.1	16.7	0	11.1	100
総計	人数	996	956	1,538	931	278	35	30	4,764
	%	20.9	20.1	32.3	19.5	5.8	0.7	0.6	100

この1か月間、体の痛みがあったか(職種別)

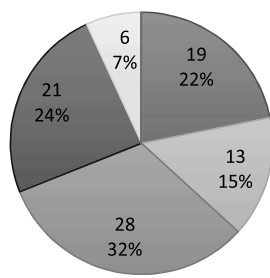
- 1. ぜんぜん痛みはなかった
- 2. かすかな痛み
- 3. 軽い痛み
- 4. 中くらいの痛み
- 5. 強い痛み
- 6. 非常に激しい痛み
- 【無回答】



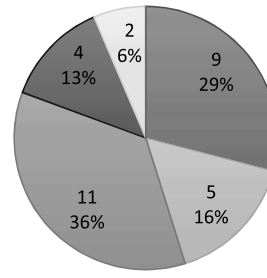
4.臨床検査技師



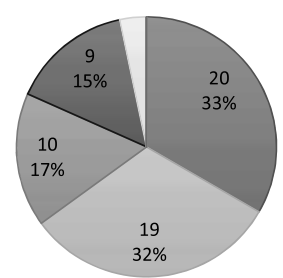
5.理学療法士・言語聴覚士



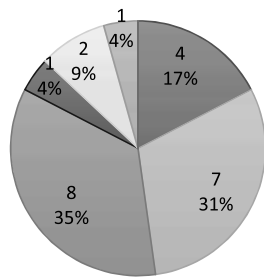
6.放射線技師



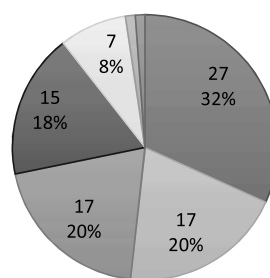
7.管理栄養士・栄養士



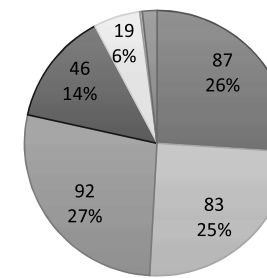
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



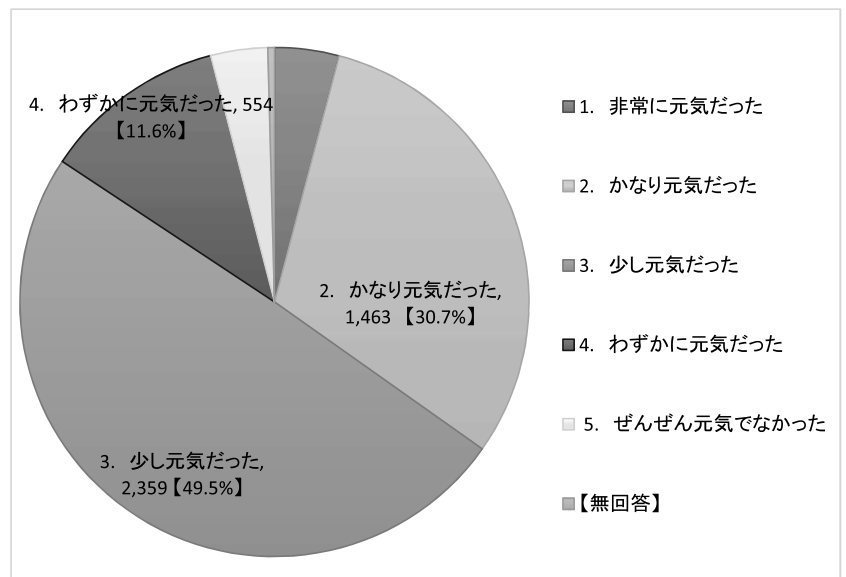
10.事務職



質問28: 過去1か月間、どのくらい元気でしたか? -----

1. 非常に元気だった 2. かなり元気だった 3. 少し元気だった 4. わずかに元気だった 5. ぜんぜん元気でなかった

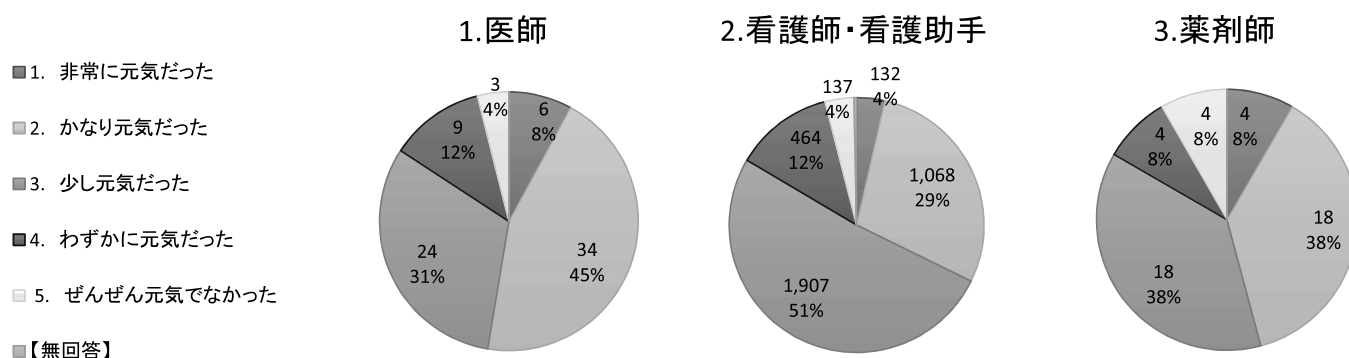
	集計数	%
1. 非常に元気だった	195	4.1
2. かなり元気だった	1,463	30.7
3. 少し元気だった	2,359	49.5
4. わずかに元気だった	554	11.6
5. ぜんぜん元気でなかった	173	3.6
【無回答】	20	0.4



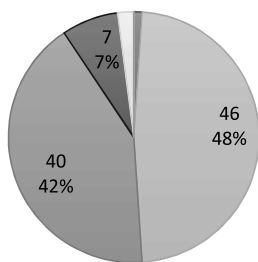
この1ヶ月間、どのくらい元気だったか(職種別)

		1	2	3	4	5	【無回答】	計
1. 医師	人数	6	34	24	9	3	0	76
	%	7.9	44.7	31.6	11.8	3.9	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	132	1,068	1,907	464	137	13	3,721
	%	3.5	28.7	51.2	12.5	3.7	0.3	100
3. 薬剤師	人数	4	18	18	4	4	0	48
	%	8.3	37.5	37.5	8.3	8.3	0	100
4. 臨床検査技師	人数	1	46	40	7	2	0	96
	%	1	47.9	41.7	7.3	2.1	0	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	5	28	42	10	2	0	87
	%	5.7	32.2	48.3	11.5	2.3	0	100
6. 放射線技師	人数	2	14	11	3	1	0	31
	%	6.5	45.2	35.5	9.7	3.2	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	8	23	23	4	1	1	60
	%	13.3	38.3	38.3	6.7	1.7	1.7	100
8. 診療情報管理士	人数	1	8	10	3	1	0	23
	%	4.3	34.8	43.5	13	4.3	0	100
9. メディカルクラーク	人数	8	29	41	6	1	0	85
	%	9.4	34.1	48.2	7.1	1.2	0	100
10. 事務職	人数	13	121	152	32	12	4	334
	%	3.9	36.2	45.5	9.6	3.6	1.2	100
11. その他(回答有)	人数	8	49	54	7	6	0	124
	%	6.5	39.5	43.5	5.6	4.8	0	100
11. その他(空白)	人数	6	21	28	4	2	0	61
	%	9.8	34.4	45.9	6.6	3.3	0	100
【無回答】	人数	1	4	9	1	1	2	18
	%	5.6	22.2	50	5.6	5.6	11.1	100
総計	人数	195	1,463	2,359	554	173	20	4,764
	%	4.1	30.7	49.5	11.6	3.6	0.4	100

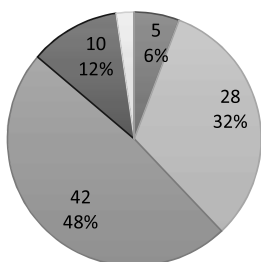
この1ヶ月間、どのくらい元気だったか(職種別)



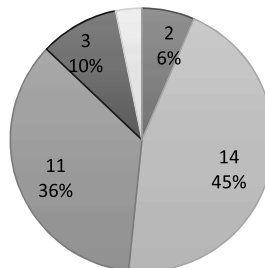
4.臨床検査技師



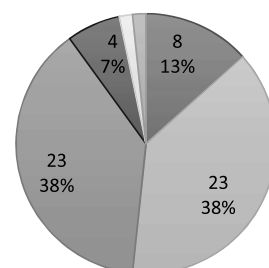
5.理学療法士・言語聴覚士



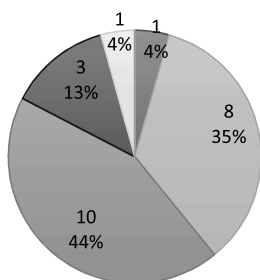
6.放射線技師



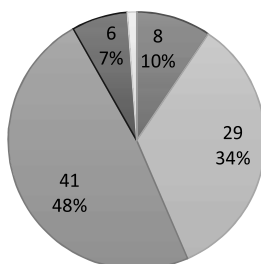
7.管理栄養士・栄養士



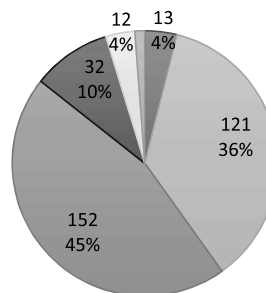
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



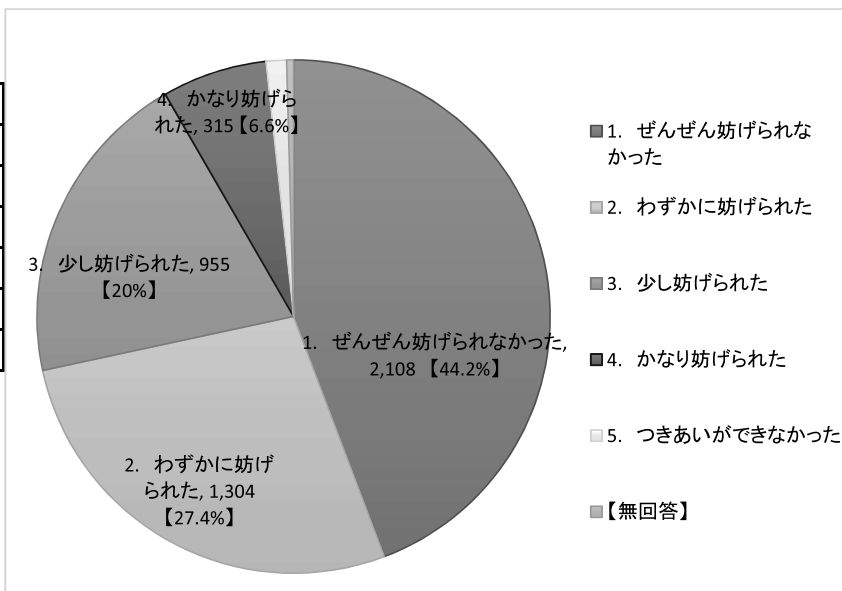
10.事務職



質問29: 過去1か月間に、家族や友人との普段のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. つきあいができなかった

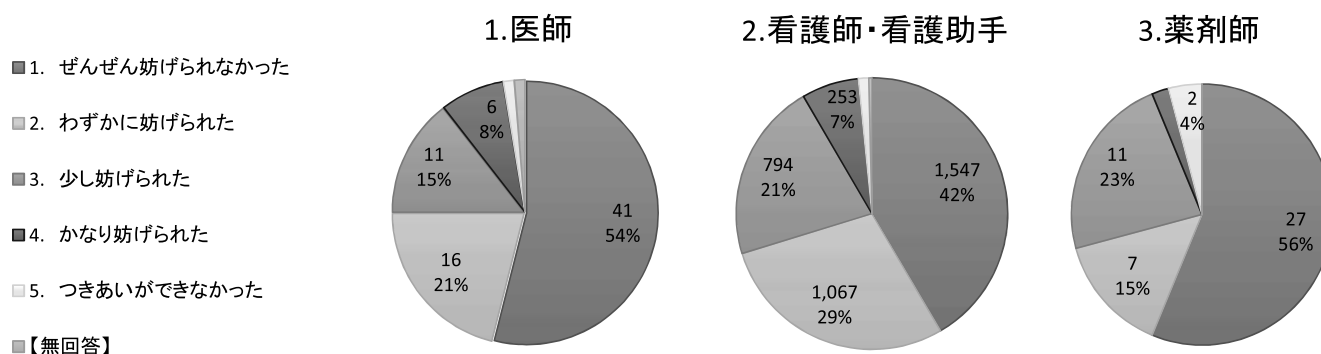
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	2,108	44.2
2. わずかに妨げられた	1,304	27.4
3. 少し妨げられた	955	20
4. かなり妨げられた	315	6.6
5. つきあいができなかった	61	1.3
【無回答】	21	0.4



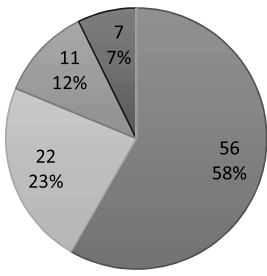
この1か月間、身体的心理的な理由で普段の付き合いがどのくらい妨げられたか(職種別)

		1	2	3	4	5	【無回答】	計
1. 医師	人数	41	16	11	6	1	1	76
	%	53.9	21.1	14.5	7.9	1.3	1.3	100
2. 看護師・看護助手	人数	1,547	1,067	794	253	47	13	3,721
	%	41.6	28.7	21.3	6.8	1.3	0.3	100
3. 薬剤師	人数	27	7	11	1	2	0	48
	%	56.3	14.6	22.9	2.1	4.2	0	100
4. 臨床検査技師	人数	56	22	11	7	0	0	96
	%	58.3	22.9	11.5	7.3	0	0	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	46	20	16	4	1	0	87
	%	52.9	23	18.4	4.6	1.1	0	100
6. 放射線技師	人数	19	5	5	1	1	0	31
	%	61.3	16.1	16.1	3.2	3.2	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	31	16	11	2	0	0	60
	%	51.7	26.7	18.3	3.3	0	0	100
8. 診療情報管理士	人数	12	5	2	3	1	0	23
	%	52.2	21.7	8.7	13	4.3	0	100
9. メディカルクレーク	人数	45	23	7	9	1	0	85
	%	52.9	27.1	8.2	10.6	1.2	0	100
10. 事務職	人数	181	83	46	15	5	4	334
	%	54.2	24.9	13.8	4.5	1.5	1.2	100
11. その他(回答有)	人数	60	28	27	7	2	0	124
	%	48.4	22.6	21.8	5.6	1.6	0	100
11. その他(空白)	人数	37	7	10	6	0	1	61
	%	60.7	11.5	16.4	9.8	0	1.6	100
【無回答】	人数	6	5	4	1	0	2	18
	%	33.3	27.8	22.2	5.6	0	11.1	100
総計	人数	2,108	1,304	955	315	61	21	4,764
	%	44.2	27.4	20	6.6	1.3	0.4	100

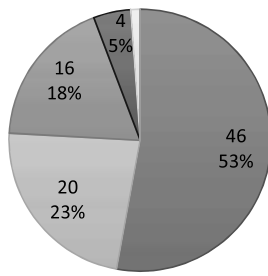
この1か月間、身体的心理的な理由で普段の付き合いがどのくらい妨げられたか(職種別)



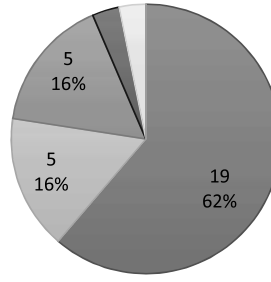
4.臨床検査技師



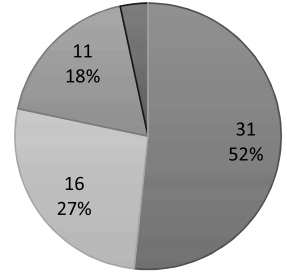
5.理学療法士・言語聴覚士



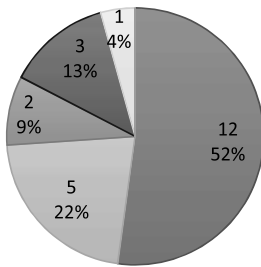
6.放射線技師



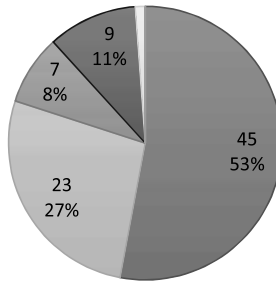
7.管理栄養士・栄養士



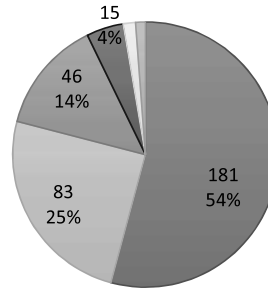
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



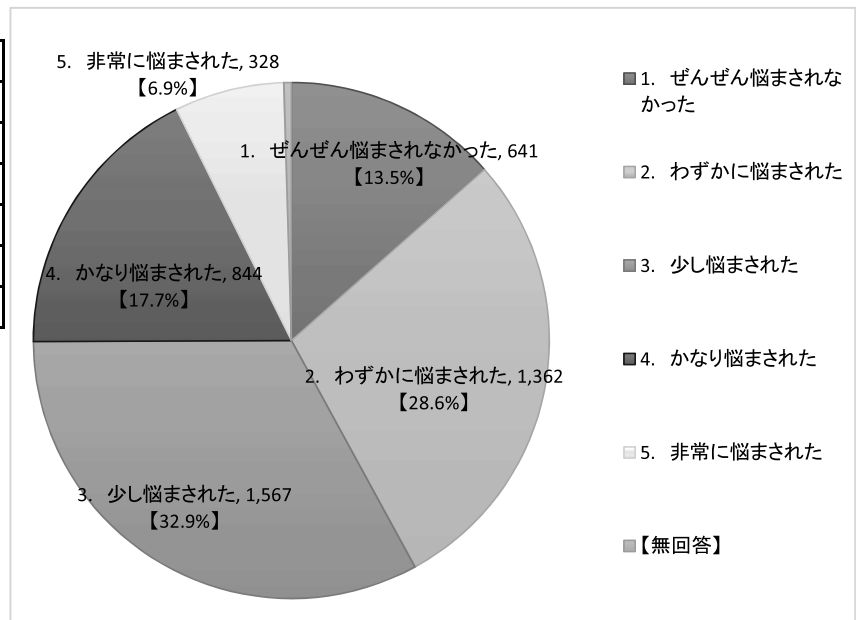
10.事務職



質問30: 過去1か月間に、心理的な問題(不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり)に、どのくらい悩まされましたか？

1. ぜんぜん悩まされなかった 2. わずかに悩まされた 3. 少し悩まされた 4. かなり悩まされた
5. 非常に悩まされた

	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	641	13.5
2. わずかに悩まされた	1,362	28.6
3. 少し悩まされた	1,567	32.9
4. かなり悩まされた	844	17.7
5. 非常に悩まされた	328	6.9
【無回答】	22	0.5



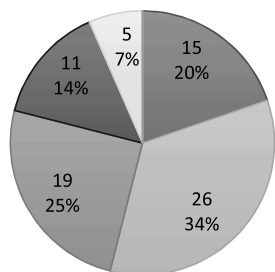
この1か月間、心理的な問題でどのくらい悩まされたか(職種別)

		1	2	3	4	5	【無回答】	計
1. 医師	人数	15	26	19	11	5	0	76
	%	19.7	34.2	25	14.5	6.6	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	482	1,044	1,242	687	252	14	3,721
	%	13	28.1	33.4	18.5	6.8	0.4	100
3. 薬剤師	人数	7	18	11	8	4	0	48
	%	14.6	37.5	22.9	16.7	8.3	0	100
4. 臨床検査技師	人数	10	31	37	16	2	0	96
	%	10.4	32.3	38.5	16.7	2.1	0	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	12	27	28	16	4	0	87
	%	13.8	31	32.2	18.4	4.6	0	100
6. 放射線技師	人数	5	8	11	2	5	0	31
	%	16.1	25.8	35.5	6.5	16.1	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	2	21	24	7	6	0	60
	%	3.3	35	40	11.7	10	0	100
8. 診療情報管理士	人数	4	7	6	4	2	0	23
	%	17.4	30.4	26.1	17.4	8.7	0	100
9. メディカルクラーク	人数	18	18	26	11	12	0	85
	%	21.2	21.2	30.6	12.9	14.1	0	100
10. 事務職	人数	51	94	108	52	24	5	334
	%	15.3	28.1	32.3	15.6	7.2	1.5	100
11. その他(回答有)	人数	18	43	37	19	7	0	124
	%	14.5	34.7	29.8	15.3	5.6	0	100
11. その他(空白)	人数	16	17	14	10	3	1	61
	%	26.2	27.9	23	16.4	4.9	1.6	100
【無回答】	人数	1	8	4	1	2	2	18
	%	5.6	44.4	22.2	5.6	11.1	11.1	100
総計	人数	641	1,362	1,567	844	328	22	4,764
	%	13.5	28.6	32.9	17.7	6.9	0.5	100

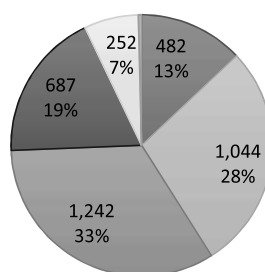
この1か月間、心理的な問題でどのくらい悩まされたか(職種別)

- 1. ぜんぜん悩まされなかった
- 2. わずかに悩まされた
- 3. 少し悩まされた
- 4. かなり悩まされた
- 5. 非常に悩まされた
- 【無回答】

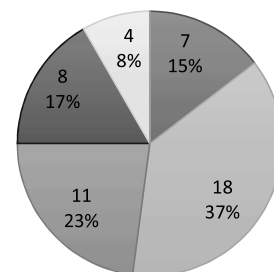
1. 医師



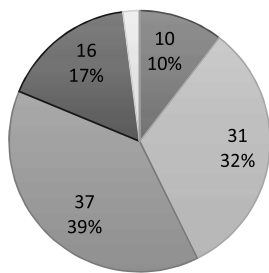
2. 看護師・看護助手



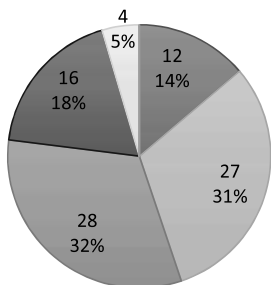
3. 薬剤師



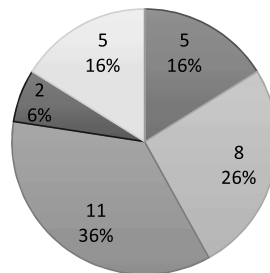
4.臨床検査技師



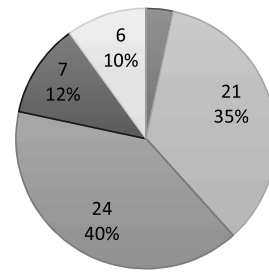
5.理学療法士・言語聴覚士



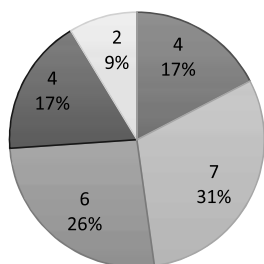
6.放射線技師



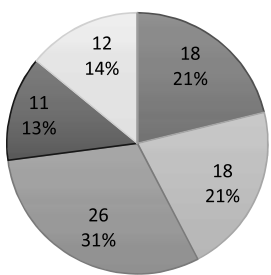
7.管理栄養士・栄養士



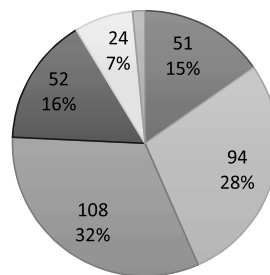
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



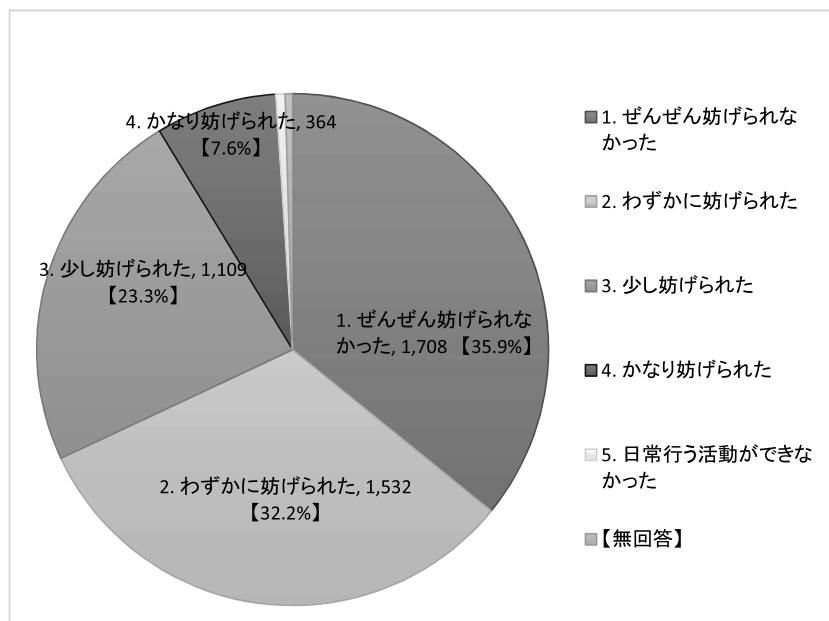
10.事務職



質問31: 過去1か月間に、日常行う活動(仕事・学校・家事などの普段の行動)が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. 日常行う活動ができなかった

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	1,708	35.9
2. わずかに妨げられた	1,532	32.2
3. 少し妨げられた	1,109	23.3
4. かなり妨げられた	364	7.6
5. 日常行う活動ができなかった	29	0.6
【無回答】	22	0.5



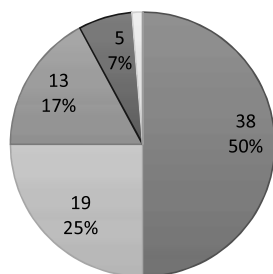
この1か月間、心理的な理由で日常生活がどのくらい妨げられたか(職種別)

		1	2	3	4	5	【無回答】	計
1. 医師	人数	38	19	13	5	1	0	76
	%	50	25	17.1	6.6	1.3	0	100
2. 看護師・看護助手	人数	1,270	1,208	906	298	24	15	3,721
	%	34.1	32.5	24.3	8	0.6	0.4	100
3. 薬剤師	人数	18	18	10	2	0	0	48
	%	37.5	37.5	20.8	4.2	0	0	100
4. 臨床検査技師	人数	44	29	20	3	0	0	96
	%	45.8	30.2	20.8	3.1	0	0	100
5. 理学療法士・言語聴覚士	人数	34	31	16	6	0	0	87
	%	39.1	35.6	18.4	6.9	0	0	100
6. 放射線技師	人数	14	8	6	3	0	0	31
	%	45.2	25.8	19.4	9.7	0	0	100
7. 管理栄養士・栄養士	人数	18	25	13	2	2	0	60
	%	30	41.7	21.7	3.3	3.3	0	100
8. 診療情報管理士	人数	6	8	8	1	0	0	23
	%	26.1	34.8	34.8	4.3	0	0	100
9. メディカルクラーク	人数	39	19	19	8	0	0	85
	%	45.9	22.4	22.4	9.4	0	0	100
10. 事務職	人数	129	113	60	28	0	4	334
	%	38.6	33.8	18	8.4	0	1.2	100
11. その他(回答有)	人数	58	35	27	2	2	0	124
	%	46.8	28.2	21.8	1.6	1.6	0	100
11. その他(空白)	人数	32	15	10	3	0	1	61
	%	52.5	24.6	16.4	4.9	0	1.6	100
【無回答】	人数	8	4	1	3	0	2	18
	%	44.4	22.2	5.6	16.7	0	11.1	100
総計	人数	1,708	1,532	1,109	364	29	22	4,764
	%	35.9	32.2	23.3	7.6	0.6	0.5	100

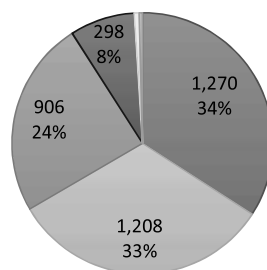
この1か月間、心理的な理由で日常生活がどのくらい妨げられたか(職種別)

- 1. ぜんぜん妨げられなかった
- 2. わずかに妨げられた
- 3. 少し妨げられた
- 4. かなり妨げられた
- 5. 日常行う活動ができなかった
- 【無回答】

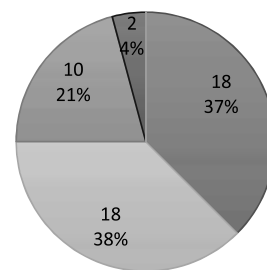
1. 医師



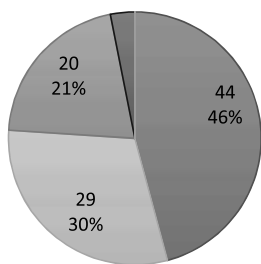
2. 看護師・看護助手



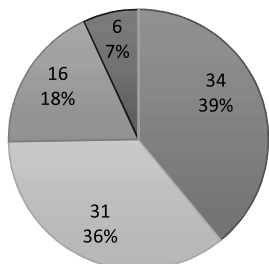
3. 薬剤師



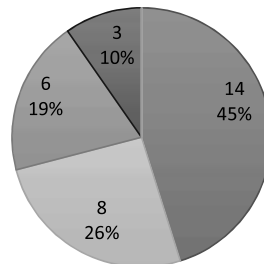
4.臨床検査技師



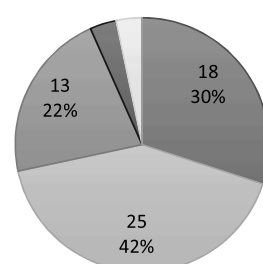
5.理学療法士・言語聴覚士



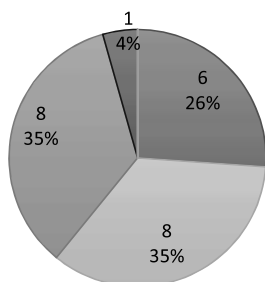
6.放射線技師



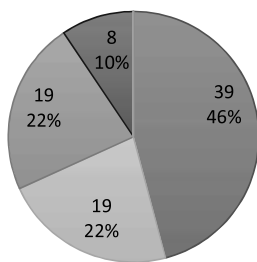
7.管理栄養士・栄養士



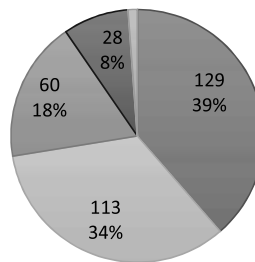
8.診療情報管理士



9.メディカルクラーク



10.事務職



質問32:最後にあなたの身長などをお教えてください。

身長 _____ cm

体重 _____ kg

身長

	集計数	%
145cm以下	17	0.4
145～149	181	3.8
150～154	946	19.9
155～159	1,647	34.6
160～164	1,377	28.9
165～169	452	9.5
170cm以上	83	1.7
【無回答】	61	1.3

体重

	集計数	%
40kg以下	48	1
40～49	1,531	32.1
50～59	2,219	46.6
60～69	640	13.4
70kg以上	217	4.6
【無回答】	109	2.3

②産婦人科外来患者へのアンケート調査
(当院産婦人科を受診された患者様へ)

労災病院を受診し子宮筋腫、子宮内膜症、更年期障害など女性特有の疾患と診断された女性のうち 55.7%が 40 歳代であり、18.2%が 50 歳代、16.2%が 30 歳代であった。

労災病院を受診した女性のうち、20.2%が他院で異常を指摘されていた。「月経痛、月経の量が多い」を訴えて受診した女性は全体の 18.2%であり、就労女性の 18.1%であり、専業主婦の 18.8%と差を認めなかった。なお、月経に関連する訴えをすべて統合すると 28.8%となり、やはり女性にとって月経は大きな問題と考えた。

受診した理由で最も多いのは、就労女性では 25.2%が「たいした症状はないが自分が深刻な病気にかかっているかどうかを確かめたい」であり、専業主婦でも 29.4%が同じ理由であった。次いで、就労女性では 24.8%が「しばらく自分で様子を見ていたがよくなる」であり、専業主婦でも 29.4%が同じ理由であった。つまり、受診理由は就労女性でも専業主婦でも同様であった。

診察の結果、就労女性では 25.7%が「経過観察」と告げられ、19.9%が「手術が必要」と告げられていた。一方、専業主婦では 40%が「経過観察」と告げられ、14.1%が「投薬治療が必要」と告げられ、「手術が必要」と告げられていたのは 10.6%であった。

自分の不安や体調不良に対して、就労女性では 62.8%が「女性の方が理解がある」と感じ、専業主婦でも 74.1%が、「女性の方が理解がある」と感じていた。

不正出血が 2、3 回続いていると、就労女性の 42.7%が「産婦人科（総合病院）」を、31.3%が「産婦人科（個人病院・開業医）を受診する」と答えている。一方、専業主婦では 47.1%が「産婦人科（総合病院）」を、28.2%が「産婦人科（個人病院・開業医）を受診する」と答えている。なお、「様子を見る」と答えた女性は就労女性では 22%であり、専業主婦では 12.9%と就労女性より有意に低い値であった。

「月経時に痛みがあると仮定して、産婦人科を受診しようとするのはどのような状態になった時ですか」との問いに、就労女性の 61.1%は「日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い」と受診する、次いで 18.6%が「痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている」と受診すると答えている。一方、専業主婦の 48.2%が「日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い」と受診する、次いで 20%が「痛みのために日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない」と受診すると答えて、専業主婦が就労女性より症状の軽い段階で受診しようとしていた。

「この 1 か月間の健康状態」は、就労女性では「良い」が 46.9%であり、「あまり良くない」が 35.8%であった。一方、専業主婦では「良い」が 48.2%であり、「あまり良くない」が 24.7%であった。

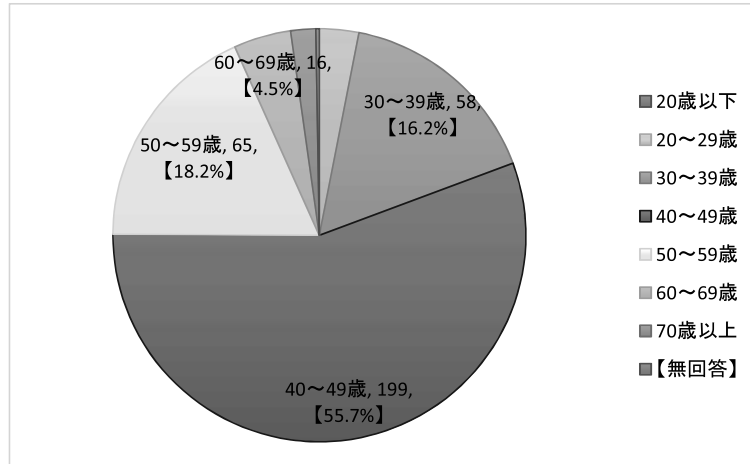
当院産婦人科を受診された患者様へ

集計総数 357

質問1：あなたの年齢をお教えてください。----- 歳

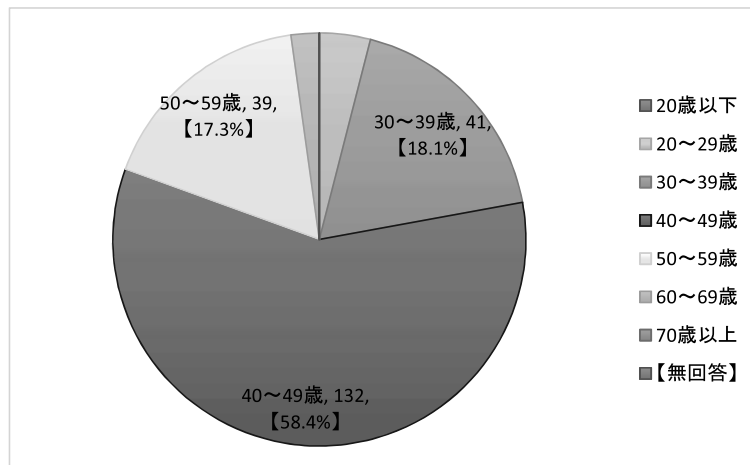
〈全体人数〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	11	3.1
30～39歳	58	16.2
40～49歳	199	55.7
50～59歳	65	18.2
60～69歳	16	4.5
70歳以上	7	2
【無回答】	1	0.3
計	357	100



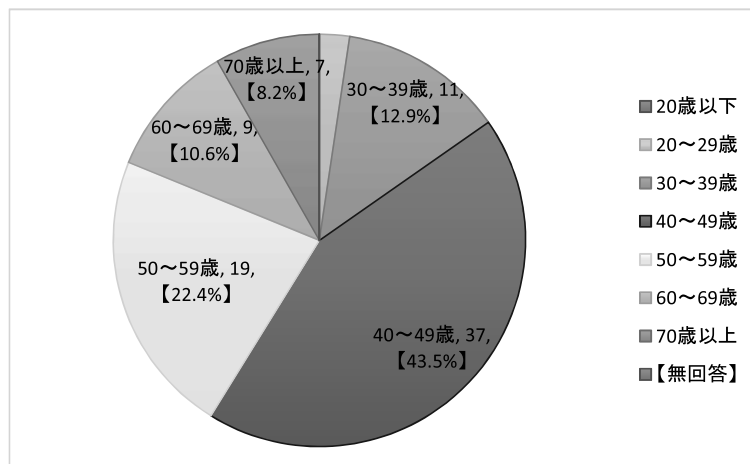
〈働いている女性〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	9	4
30～39歳	41	18.1
40～49歳	132	58.4
50～59歳	39	17.3
60～69歳	5	2.2
70歳以上	0	0
【無回答】	0	0
計	226	100



〈専業主婦〉

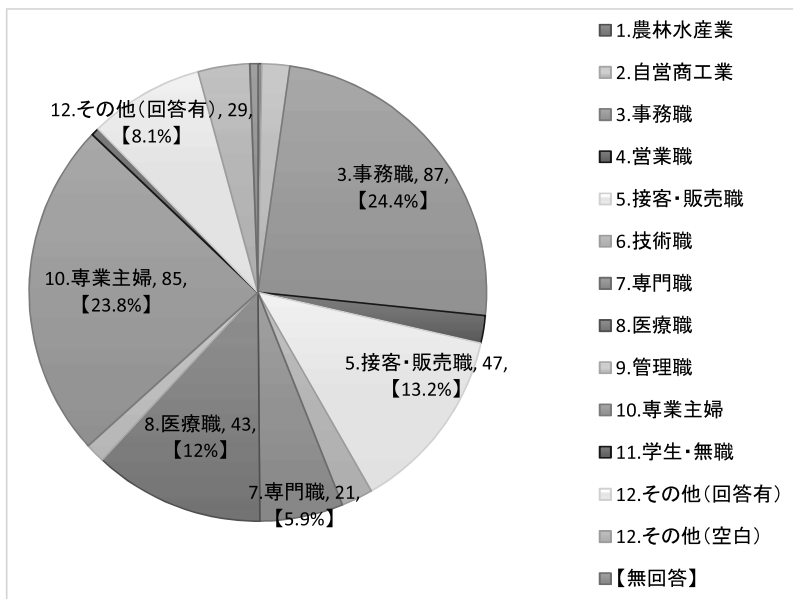
	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	2	2.4
30～39歳	11	12.9
40～49歳	37	43.5
50～59歳	19	22.4
60～69歳	9	10.6
70歳以上	7	8.2
【無回答】	0	0
計	85	100



質問2：あなたの職業について最もあてはまるものを1つ選んでください。

〈全体人数〉

	集計数	%
1. 農林水産業	1	0.3
2. 自営商工業	7	2
3. 事務職	87	24.4
4. 営業職	7	2
5. 接客・販売職	47	13.2
6. 技術職	8	2.2
7. 専門職	21	5.9
8. 医療職	43	12
9. 管理職	5	1.4
10. 専業主婦	85	23.8
11. 学生・無職	2	0.6
12. その他（回答有）	29	8.1
12. その他（空白）	13	3.6
【無回答】	2	0.6
計	357	100

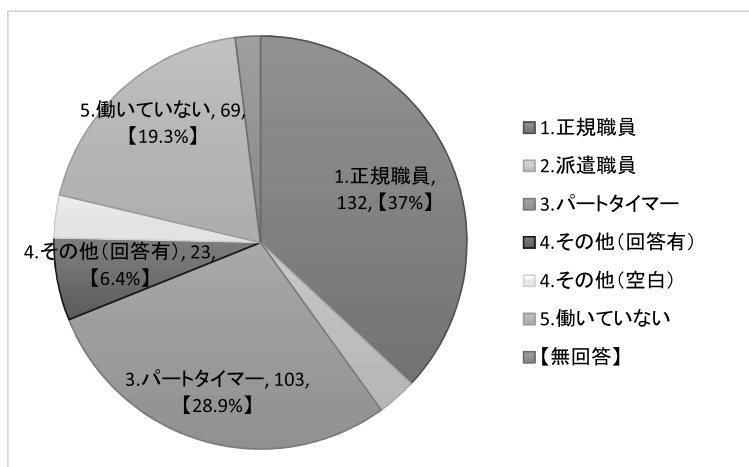


質問3：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 正規職員 2. 派遣職員 3. パートタイマー 4. その他（ ） 5. 働いていない

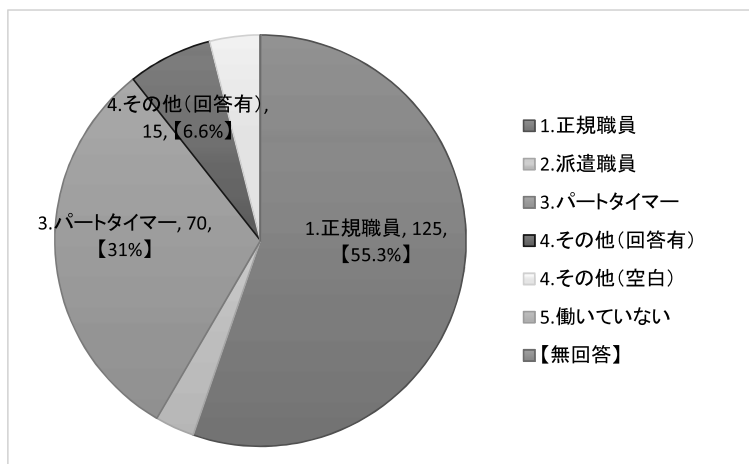
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 正規職員	132	37
2. 派遣職員	11	3.1
3. パートタイマー	103	28.9
4. その他（回答有）	23	6.4
4. その他（空白）	12	3.4
5. 働いていない	69	19.3
【無回答】	7	2
計	357	100



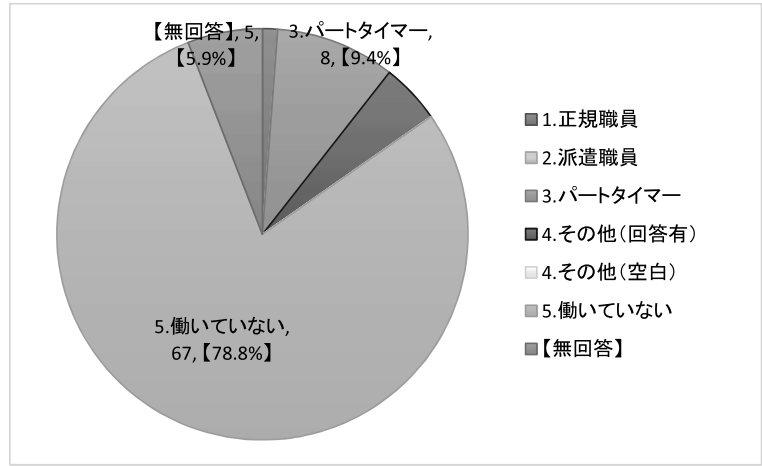
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 正規職員	125	55.3
2. 派遣職員	7	3.1
3. パートタイマー	70	31
4. その他（回答有）	15	6.6
4. その他（空白）	9	4
5. 働いていない	0	0
【無回答】	0	0
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 正規職員	1	1.2
2. 派遣職員	0	0
3. パートタイマー	8	9.4
4. その他（回答有）	4	4.7
4. その他（空白）	0	0
5. 働いていない	67	78.8
【無回答】	5	5.9
計	85	100

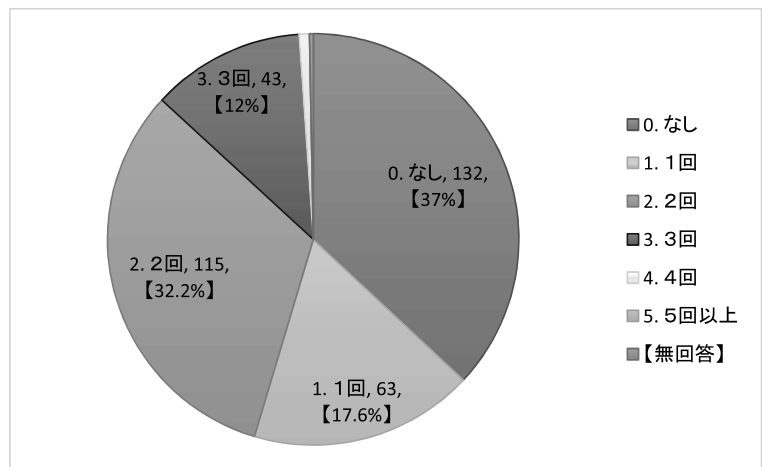


質問4：これまでに出産した回数は何回ですか？

0. なし 1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回以上

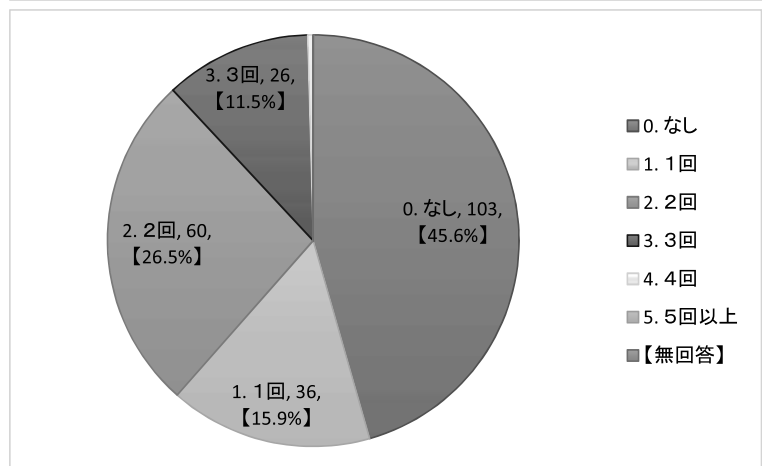
〈全体人数〉

	集計数	%
0. なし	132	37
1. 1回	63	17.6
2. 2回	115	32.2
3. 3回	43	12
4. 4回	3	0.8
5. 5回以上	0	0
【無回答】	1	0.3
計	357	100



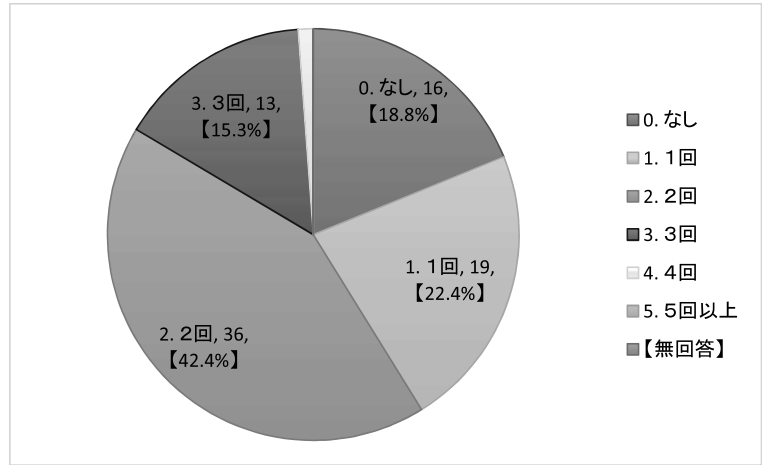
〈働いている女性〉

	集計数	%
0. なし	103	45.6
1. 1回	36	15.9
2. 2回	60	26.5
3. 3回	26	11.5
4. 4回	1	0.4
5. 5回以上	0	0
【無回答】	0	0
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
0. なし	16	18.8
1. 1回	19	22.4
2. 2回	36	42.4
3. 3回	13	15.3
4. 4回	1	1.2
5. 5回以上	0	0
【無回答】	0	0
計	85	100

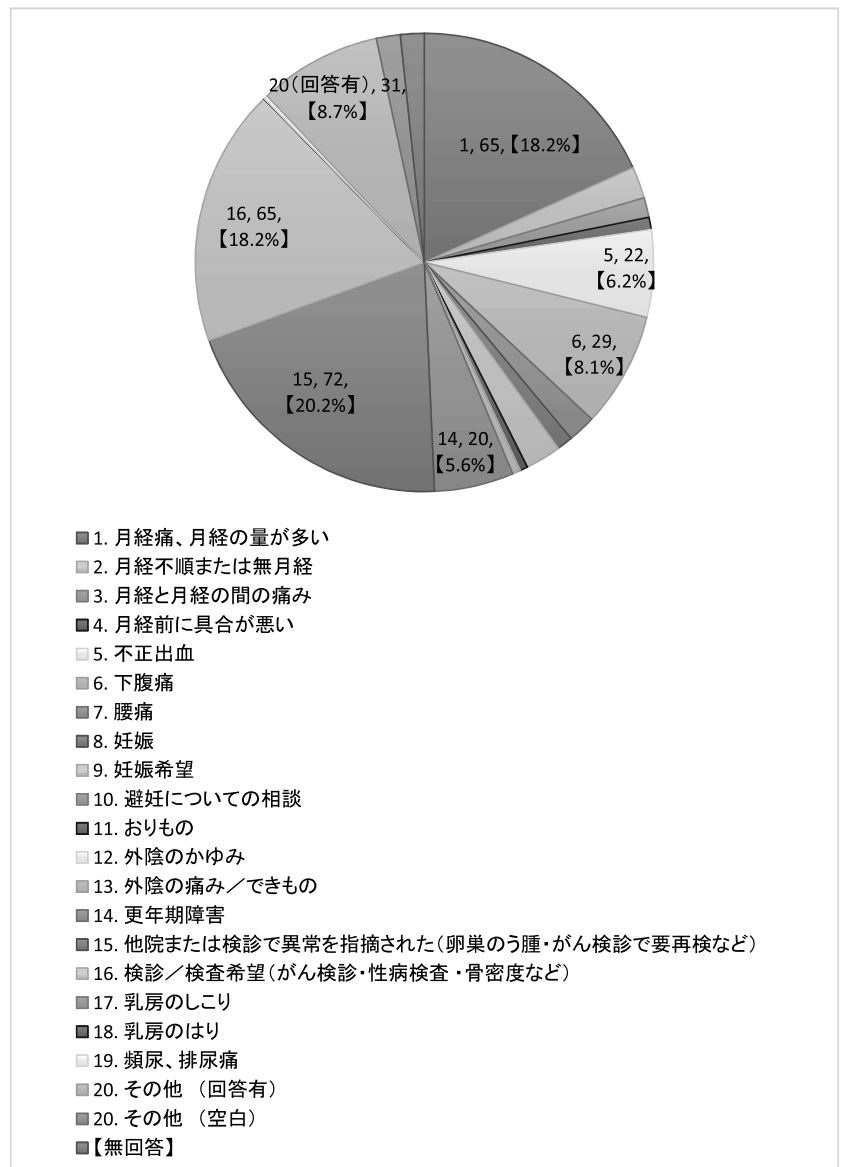


質問5：受診の理由となった症状・悩みを下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 月経痛、月経の量が多い
2. 月経不順または無月経
3. 月経と月経の間の痛み
4. 月経前に具合が悪い
5. 不正出血
6. 下腹痛
7. 腰痛
8. 妊娠
9. 妊娠希望
10. 避妊についての相談
11. おりもの
12. 外陰のかゆみ
13. 外陰の痛み／できもの
14. 更年期障害
15. 他院または検診で異常を指摘された(卵巣のう腫・がん検診で要再検など)
16. 検診／検査希望(がん検診・性病検査・骨密度など)
17. 乳房のしこり
18. 乳房のはり
19. 頻尿、排尿痛
20. その他()

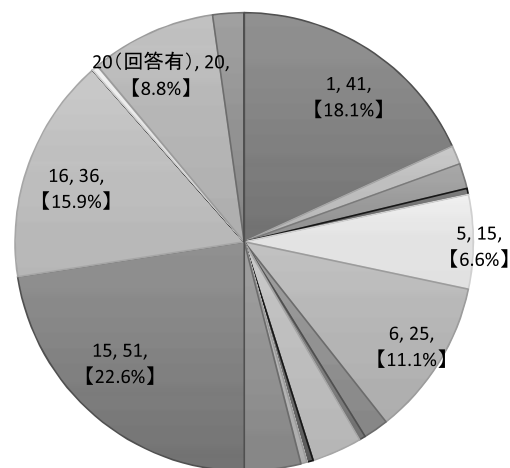
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	65	18.2
2. 月経不順または無月経	8	2.2
3. 月経と月経の間の痛み	5	1.4
4. 月経前に具合が悪い	3	0.8
5. 不正出血	22	6.2
6. 下腹痛	29	8.1
7. 腰痛	7	2
8. 妊娠	4	1.1
9. 妊娠希望	9	2.5
10. 避妊についての相談	0	0
11. おりもの	2	0.6
12. 外陰のかゆみ	0	0
13. 外陰の痛み／できもの	2	0.6
14. 更年期障害	20	5.6
15. 他院または検診で異常を指摘された(卵巣のう腫・がん検診で要再検など)	72	20.2
16. 検診／検査希望(がん検診・性病検査・骨密度など)	65	18.2
17. 乳房のしこり	0	0
18. 乳房のはり	0	0
19. 頻尿、排尿痛	1	0.3
20. その他(回答有)	31	8.7
20. その他(空白)	6	1.7
【無回答】	6	1.7
計	357	100



〈働いている女性〉

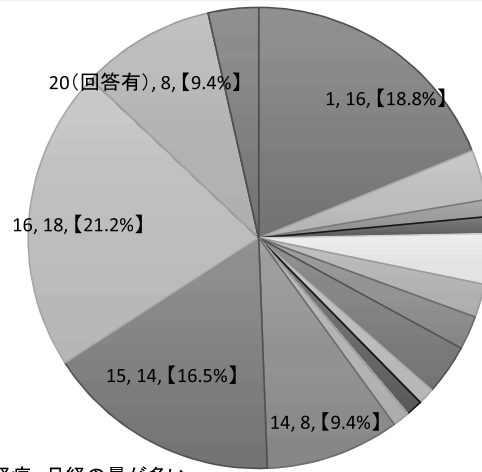
	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	41	18.1
2. 月経不順または無月経	3	1.3
3. 月経と月経の間の痛み	4	1.8
4. 月経前に具合が悪い	1	0.4
5. 不正出血	15	6.6
6. 下腹痛	25	11.1
7. 腰痛	4	1.8
8. 妊娠	1	0.4
9. 妊娠希望	8	3.5
10. 避妊についての相談	0	0
11. おりもの	1	0.4
12. 外陰のかゆみ	0	0
13. 外陰の痛み／できもの	1	0.4
14. 更年期障害	9	4
15. 他院または検診で異常を指摘された(卵巣のう腫・がん検診で要再検など)	51	22.6
16. 検診／検査希望(がん検診・性病検査・骨密度など)	36	15.9
17. 乳房のしこり	0	0
18. 乳房のはり	0	0
19. 頻尿、排尿痛	1	0.4
20. その他 (回答有)	20	8.8
20. その他 (空白)	5	2.2
【無回答】	0	0
計	226	100



- 1. 月経痛、月経の量が多い
- 2. 月経不順または無月経
- 3. 月経と月経の間の痛み
- 4. 月経前に具合が悪い
- 5. 不正出血
- 6. 下腹痛
- 7. 腰痛
- 8. 妊娠
- 9. 妊娠希望
- 10. 避妊についての相談
- 11. おりもの
- 12. 外陰のかゆみ
- 13. 外陰の痛み／できもの
- 14. 更年期障害
- 15. 他院または検診で異常を指摘された(卵巣のう腫・がん検診で要再検など)
- 16. 検診／検査希望(がん検診・性病検査・骨密度など)
- 17. 乳房のしこり
- 18. 乳房のはり
- 19. 頻尿、排尿痛
- 20. その他 (回答有)
- 20. その他 (空白)
- 【無回答】

〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	16	18.8
2. 月経不順または無月経	3	3.5
3. 月経と月経の間の痛み	1	1.2
4. 月経前に具合が悪い	1	1.2
5. 不正出血	3	3.5
6. 下腹痛	2	2.4
7. 腰痛	2	2.4
8. 妊娠	3	3.5
9. 妊娠希望	1	1.2
10. 避妊についての相談	0	0
11. おりもの	1	1.2
12. 外陰のかゆみ	0	0
13. 外陰の痛み／できもの	1	1.2
14. 更年期障害	8	9.4
15. 他院または検診で異常を指摘された(卵巣のう腫・がん検診で要再検など)	14	16.5
16. 検診／検査希望(がん検診・性病検査・骨密度など)	18	21.2
17. 乳房のしこり	0	0
18. 乳房のはり	0	0
19. 頻尿、排尿痛	0	0
20. その他 (回答有)	8	9.4
20. その他 (空白)	0	0
【無回答】	3	3.5
計	85	100



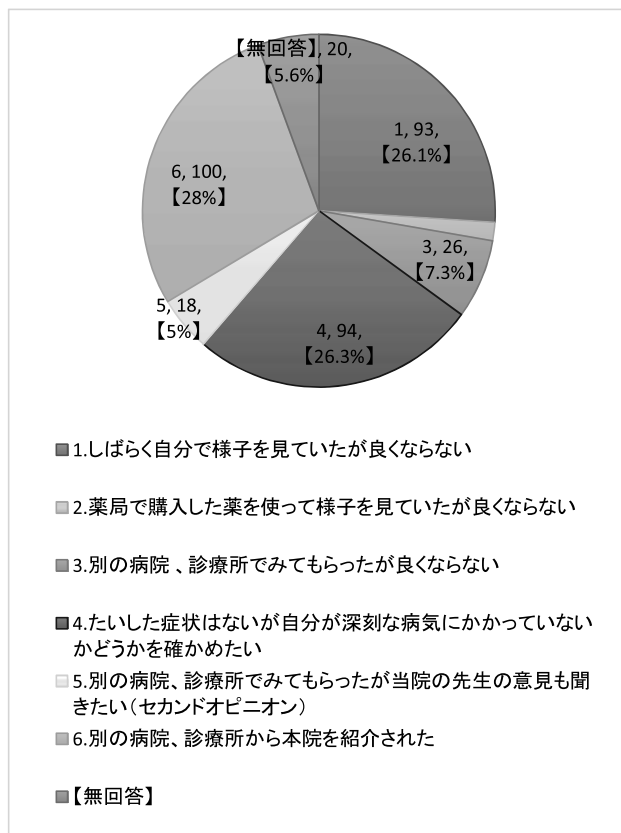
- 1. 月経痛、月経の量が多い
- 2. 月経不順または無月経
- 3. 月経と月経の間の痛み
- 4. 月経前に具合が悪い
- 5. 不正出血
- 6. 下腹痛
- 7. 腰痛
- 8. 妊娠
- 9. 妊娠希望
- 10. 避妊についての相談
- 11. おりもの
- 12. 外陰のかゆみ
- 13. 外陰の痛み／できもの
- 14. 更年期障害
- 15. 他院または検診で異常を指摘された(卵巣のう腫・がん検診で要再検など)
- 16. 検診／検査希望(がん検診・性病検査・骨密度など)
- 17. 乳房のしこり
- 18. 乳房のはり
- 19. 頻尿、排尿痛
- 20. その他 (回答有)
- 20. その他 (空白)
- 【無回答】

質問6：今回、この病院にご来院された理由に最も近いものを1つ選んでください。-----

1. しばらく自分で様子を見ていたが良くならない
2. 薬局で購入した薬を使って様子を見ていたが良くならない
3. 別の病院、診療所でみてもらったが良くならない
4. たいした症状はないが自分が深刻な病気にかかっていないかどうかを確かめたい
5. 別の病院、診療所でみてもらったが当院の先生の意見も聞きたい（セカンドオピニオン）
6. 別の病院、診療所から本院を紹介された

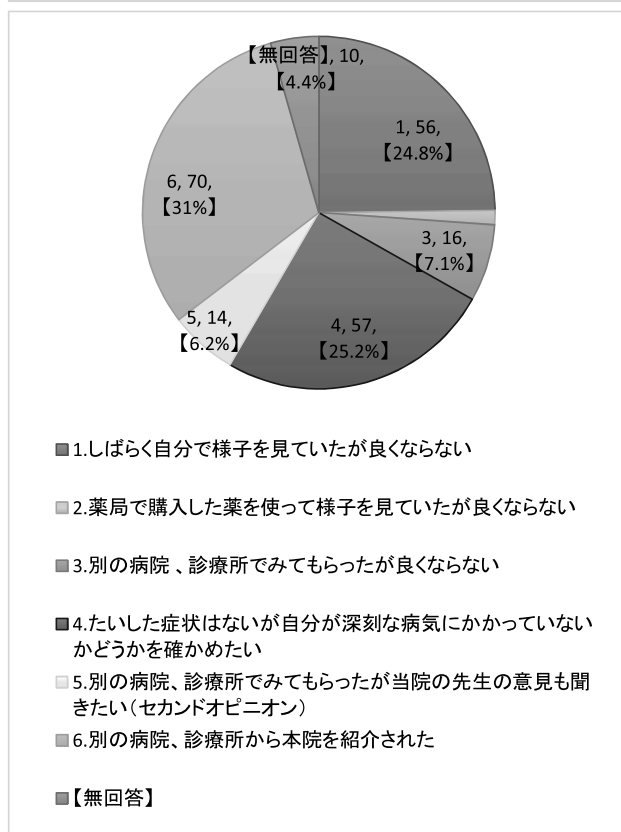
〈全体人数〉

	集計数	%
1. しばらく自分で様子を見ていたが良くならない	93	26.1
2. 薬局で購入した薬を使って様子を見ていたが良くならない	6	1.7
3. 別の病院、診療所でみてもらったが良くならない	26	7.3
4. たいした症状はないが自分が深刻な病気にかかっていないかどうかを確かめたい	94	26.3
5. 別の病院、診療所でみてもらったが当院の先生の意見も聞きたい（セカンドオピニオン）	18	5
6. 別の病院、診療所から本院を紹介された	100	28
【無回答】	20	5.6
計	357	100



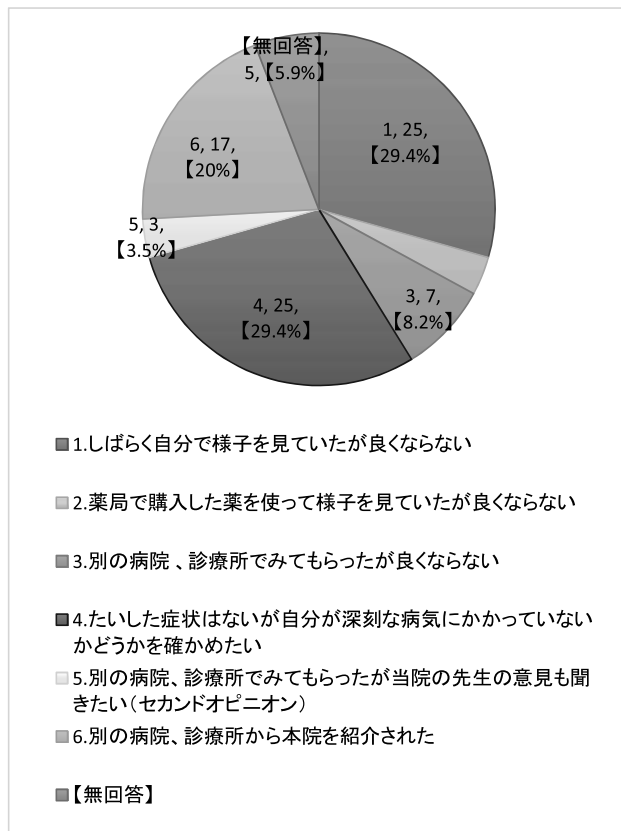
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. しばらく自分で様子を見ていたが良くならない	56	24.8
2. 薬局で購入した薬を使って様子を見ていたが良くならない	3	1.3
3. 別の病院、診療所でみてもらったが良くならない	16	7.1
4. たいした症状はないが自分が深刻な病気にかかっていないかどうかを確かめたい	57	25.2
5. 別の病院、診療所でみてもらったが当院の先生の意見も聞きたい（セカンドオピニオン）	14	6.2
6. 別の病院、診療所から本院を紹介された	70	31
【無回答】	10	4.4
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. しばらく自分で様子を見ていたが良くならない	25	29.4
2. 薬局で購入した薬を使って様子を見ていたが良くならない	3	3.5
3. 別の病院、診療所でみてもらったが良くならない	7	8.2
4. たいした症状はないが自分が深刻な病気にかかっていないかどうか確かめたい	25	29.4
5. 別の病院、診療所でみてもらったが当院の先生の意見も聞きたい(セカンドオピニオン)	3	3.5
6. 別の病院、診療所から本院を紹介された	17	20
【無回答】	5	5.9
計	85	100

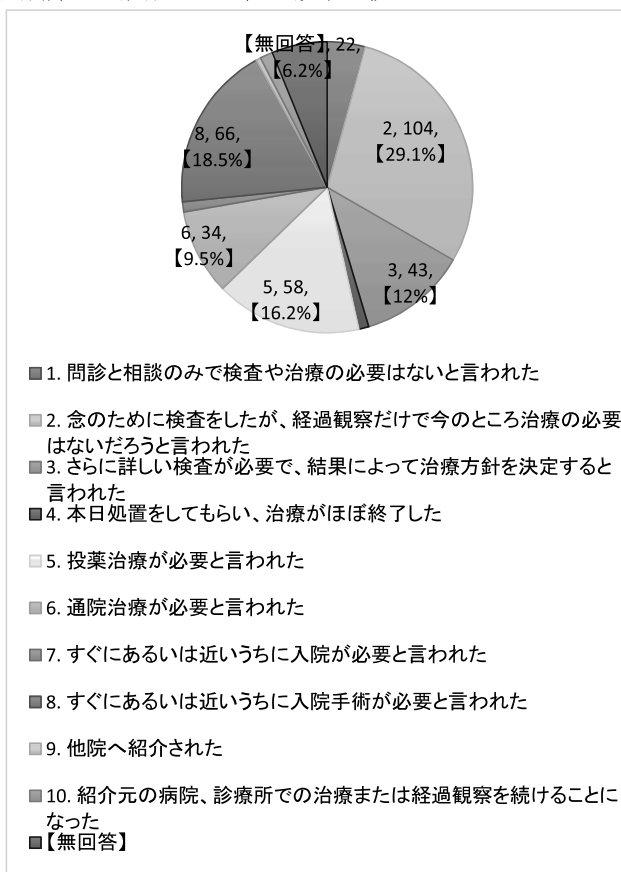


質問7：本日の受診の結果はどうになりましたか？最も近いものを1つ選んでください。-----

1. 問診と相談のみで検査や治療の必要はないと言われた
2. 念のために検査をしたが、経過観察だけで今のところ治療の必要はないだろうと言われた
3. さらに詳しい検査が必要で、結果によって治療方針を決定すると言われた
4. 本日処置をしてもらい、治療がほぼ終了した
5. 投薬治療が必要と言われた
6. 通院治療が必要と言われた
7. すぐにあるいは近いうちに入院が必要と言われた
8. すぐにあるいは近いうちに入院手術が必要と言われた
9. 他院へ紹介された
10. 紹介元の病院、診療所での治療または経過観察を続けることになった

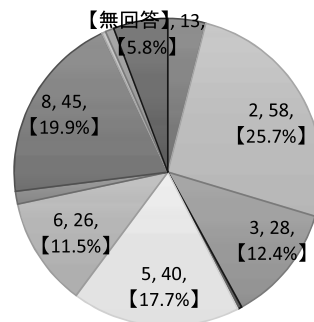
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 問診と相談のみで検査や治療の必要はないと言われた	15	4.2
2. 念のために検査をしたが、経過観察だけで今のところ治療の必要はないだろうと言われた	104	29.1
3. さらに詳しい検査が必要で、結果によって治療方針を決定すると言われた	43	12
4. 本日処置をしてもらい、治療がほぼ終了した	4	1.1
5. 投薬治療が必要と言われた	58	16.2
6. 通院治療が必要と言われた	34	9.5
7. すぐにあるいは近いうちに入院が必要と言われた	4	1.1
8. すぐにあるいは近いうちに入院手術が必要と言われた	66	18.5
9. 他院へ紹介された	2	0.6
10. 紹介元の病院、診療所での治療または経過観察を続けることになった	5	1.4
【無回答】	22	6.2
計	357	100



〈働いている女性〉

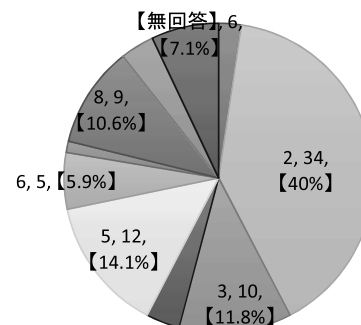
	集計数	%
1. 問診と相談のみで検査や治療の必要はないと言われた	9	4
2. 念のために検査をしたが、経過観察だけで今のところ治療の必要はないだろうと言われた	58	25.7
3. さらに詳しい検査が必要で、結果によって治療方針を決定するとされた	28	12.4
4. 本日処置をしてもらい、治療がほぼ終了した	1	0.4
5. 投薬治療が必要と言われた	40	17.7
6. 通院治療が必要と言われた	26	11.5
7. すぐにあるいは近いうちに入院が必要と言われた	3	1.3
8. すぐにあるいは近いうちに入院手術が必要と言われた	45	19.9
9. 他院へ紹介された	1	0.4
10. 紹介元の病院、診療所での治療または経過観察を続けることになった	2	0.9
【無回答】	13	5.8
計	226	100



- 1. 問診と相談のみで検査や治療の必要はないと言われた
- 2. 念のために検査をしたが、経過観察だけで今のところ治療の必要はないだろうと言われた
- 3. さらに詳しい検査が必要で、結果によって治療方針を決定するとされた
- 4. 本日処置をしてもらい、治療がほぼ終了した
- 5. 投薬治療が必要と言われた
- 6. 通院治療が必要と言われた
- 7. すぐにあるいは近いうちに入院が必要と言われた
- 8. すぐにあるいは近いうちに入院手術が必要と言われた
- 9. 他院へ紹介された
- 10. 紹介元の病院、診療所での治療または経過観察を続けることになった
- 【無回答】

〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 問診と相談のみで検査や治療の必要はないと言われた	2	2.4
2. 念のために検査をしたが、経過観察だけで今のところ治療の必要はないだろうと言われた	34	40
3. さらに詳しい検査が必要で、結果によって治療方針を決定するとされた	10	11.8
4. 本日処置をしてもらい、治療がほぼ終了した	3	3.5
5. 投薬治療が必要と言われた	12	14.1
6. 通院治療が必要と言われた	5	5.9
7. すぐにあるいは近いうちに入院が必要と言われた	1	1.2
8. すぐにあるいは近いうちに入院手術が必要と言われた	9	10.6
9. 他院へ紹介された	0	0
10. 紹介元の病院、診療所での治療または経過観察を続けることになった	3	3.5
【無回答】	6	7.1
計	85	100



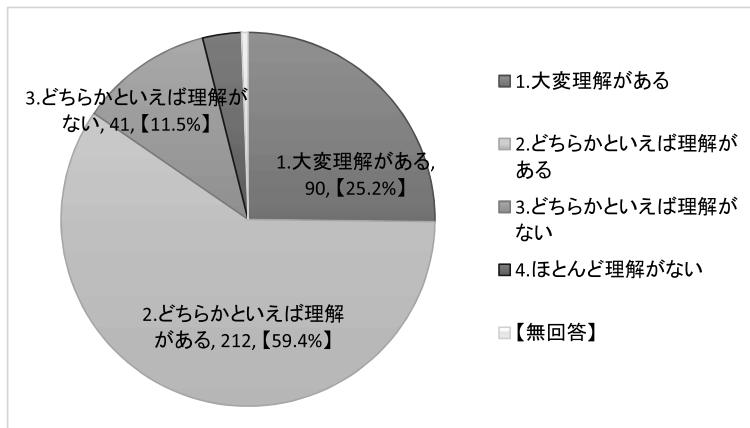
- 1. 問診と相談のみで検査や治療の必要はないと言われた
- 2. 念のために検査をしたが、経過観察だけで今のところ治療の必要はないだろうと言われた
- 3. さらに詳しい検査が必要で、結果によって治療方針を決定するとされた
- 4. 本日処置をしてもらい、治療がほぼ終了した
- 5. 投薬治療が必要と言われた
- 6. 通院治療が必要と言われた
- 7. すぐにあるいは近いうちに入院が必要と言われた
- 8. すぐにあるいは近いうちに入院手術が必要と言われた
- 9. 他院へ紹介された
- 10. 紹介元の病院、診療所での治療または経過観察を続けることになった
- 【無回答】

質問8：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか？-----

1. 大変理解がある 2. どちらかといえば理解がある 3. どちらかといえば理解がない 4. ほとんど理解がない

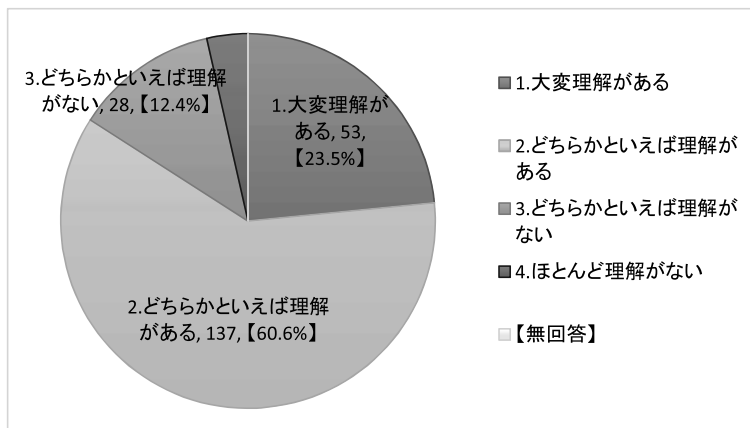
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	90	25.2
2. どちらかといえば理解がある	212	59.4
3. どちらかといえば理解がない	41	11.5
4. ほとんど理解がない	12	3.4
【無回答】	2	0.6
計	357	100



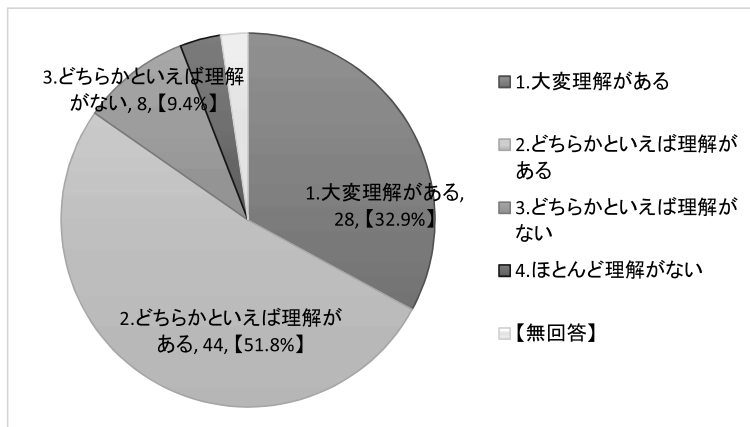
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	53	23.5
2. どちらかといえば理解がある	137	60.6
3. どちらかといえば理解がない	28	12.4
4. ほとんど理解がない	8	3.5
【無回答】	0	0
計	226	100

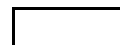


〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	28	32.9
2. どちらかといえば理解がある	44	51.8
3. どちらかといえば理解がない	8	9.4
4. ほとんど理解がない	3	3.5
【無回答】	2	2.4
計	85	100



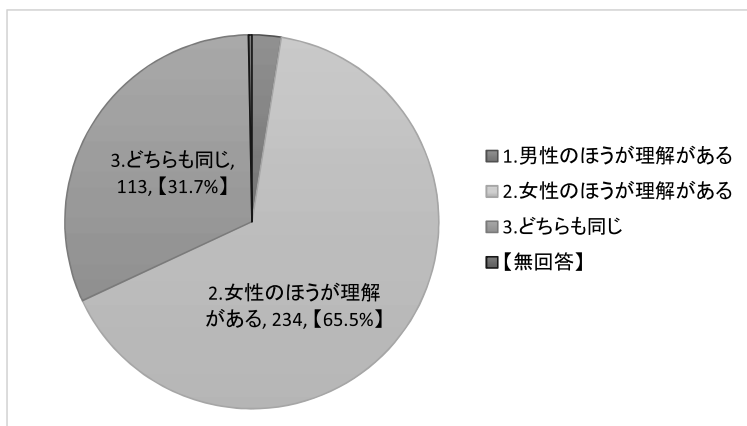
質問9： 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性と女性のいずれから、より理解されていると思いますか？



1. 男性のほうが理解がある 2. 女性のほうが理解がある 3. どちらも同じ

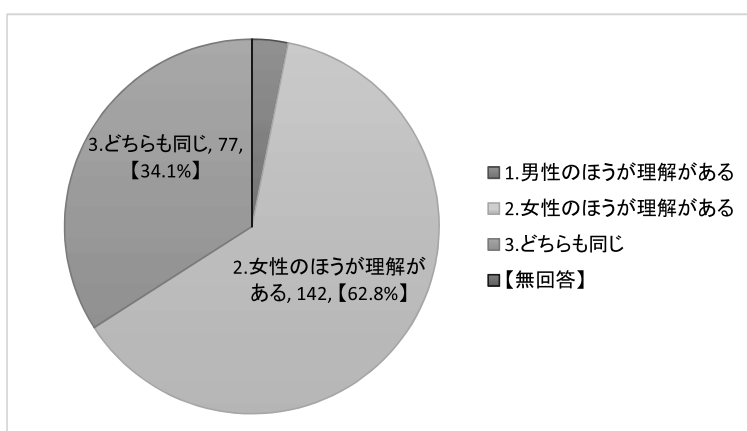
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 男性のほうが理解がある	9	2.5
2. 女性のほうが理解がある	234	65.5
3. どちらも同じ	113	31.7
【無回答】	1	0.3
計	357	100



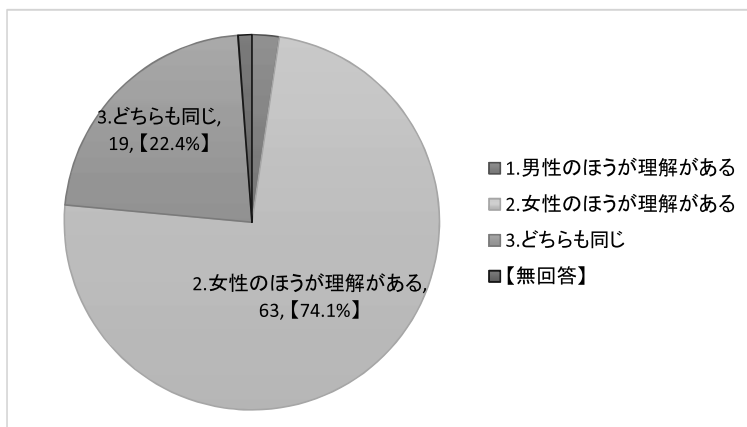
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 男性のほうが理解がある	7	3.1
2. 女性のほうが理解がある	142	62.8
3. どちらも同じ	77	34.1
【無回答】	0	0
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 男性のほうが理解がある	2	2.4
2. 女性のほうが理解がある	63	74.1
3. どちらも同じ	19	22.4
【無回答】	1	1.2
計	85	100



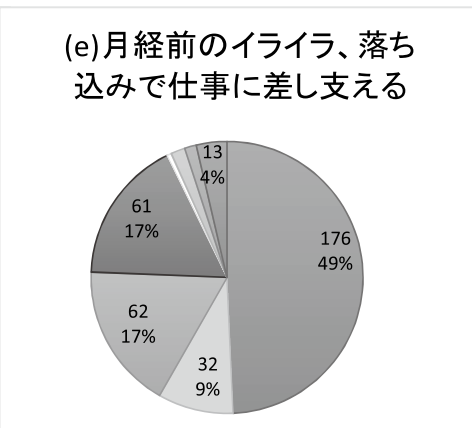
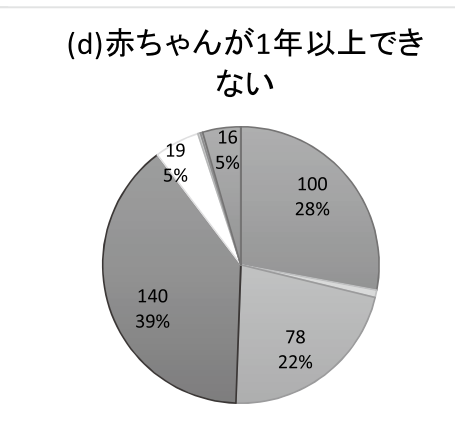
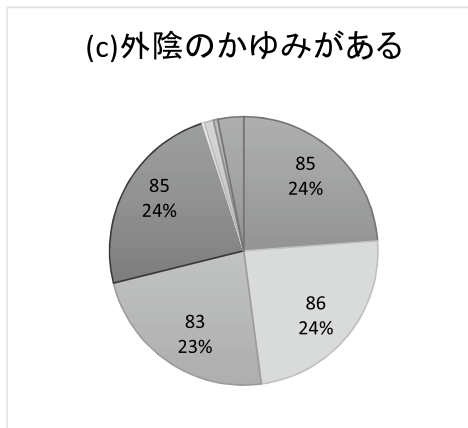
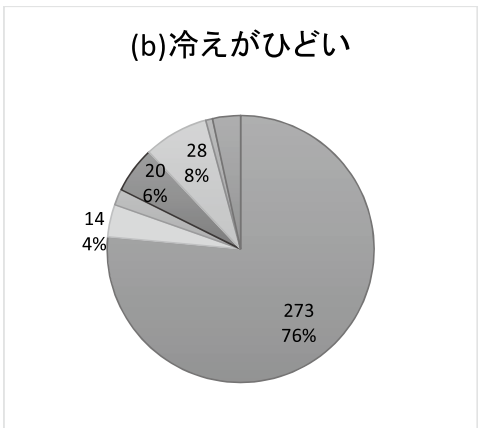
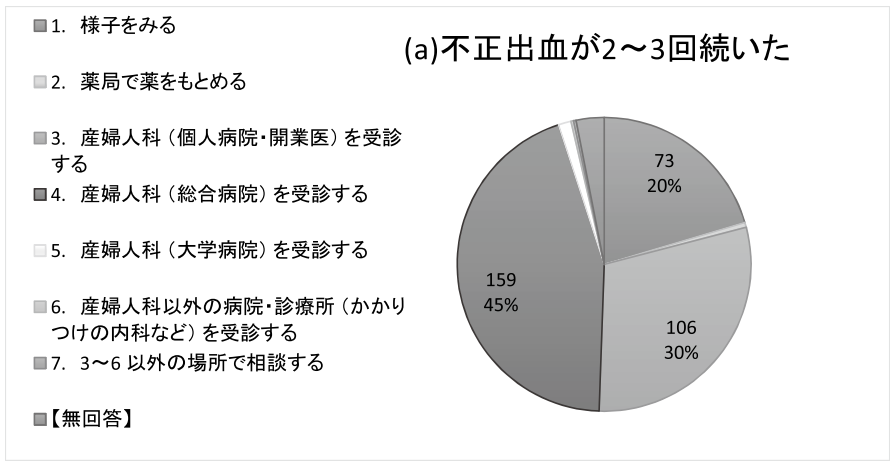
質問10：もしもあなたが次の(a)～(e)のような症状を初めて経験したと仮定して、あなたならどうしますか？
それぞれ以下の1～7 中から選んでください。

- (a) 不正出血が2～3 回続いた-----
- (b) 冷えがひどい-----
- (c) 外陰のかゆみがある-----
- (d) 赤ちゃんが1年以上できない-----
- (e) 月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える-----

1. 様子を見る
2. 薬局で薬をもとめる
3. 産婦人科（個人病院・開業医）を受診する
4. 産婦人科（総合病院）を受診する
5. 産婦人科（大学病院）を受診する
6. 産婦人科以外の病院・診療所（かかりつけの内科など）を受診する
7. 3～6以外の場所で相談する

〈全体人数〉

	(a)不正出血が2～3回 続いた	(b)冷えがひどい	(c)外陰のかゆみがある	(d)赤ちゃんが1年以上 できない	(e)月経前のイライラ、落ち 込みで仕事に差し支える
1.様子を見る	73	273	85	100	176
%	20.4	76.5	23.8	27.9	49.3
2.薬局で薬をもとめる	2	14	86	3	32
%	0.6	3.9	24.1	0.8	9
3.産婦人科(個人病院・開 業医)を受診する	106	7	83	78	62
%	29.6	2	23.2	21.8	17.4
4.産婦人科(総合病院)を 受診する	159	20	85	140	61
%	44.4	5.6	23.8	39.1	17.1
5.産婦人科(大学病院)を 受診する	5	0	1	19	2
%	1.4	0	0.3	5.3	0.6
6.産婦人科以外の病院・ 診療所(かかりつけの内 科など)を受診する	1	28	4	1	6
%	0.3	7.8	1.1	0.3	1.7
7.3～6以外の場所で相談 する	1	3	2	1	5
%	0.3	0.8	0.6	0.3	1.4
【無回答】	11	12	11	16	13
%	3.1	3.4	3.1	4.5	3.6
計	358	357	357	358	357

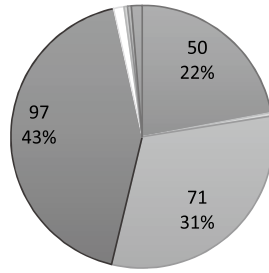


〈働いている女性〉

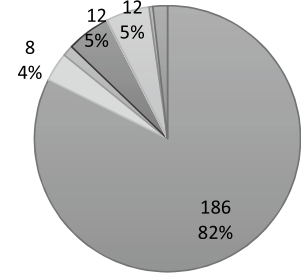
	(a)不正出血が2～3回続いた	(b)冷えがひどい	(c)外陰のかゆみがある	(d)赤ちゃんが1年以上できない	(e)月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える
1.様子を見る	50	186	61	62	119
%	22	82.3	27	27.3	52.7
2.薬局で薬をもとめる	1	8	51	3	16
%	0.4	3.5	22.6	1.3	7.1
3.産婦人科(個人病院・開業医)を受診する	71	3	54	53	38
%	31.3	1.3	23.9	23.3	16.8
4.産婦人科(総合病院)を受診する	97	12	51	88	42
%	42.7	5.3	22.6	38.8	18.6
5.産婦人科(大学病院)を受診する	3	0	1	14	1
%	1.3	0	0.4	6.2	0.4
6.産婦人科以外の病院・診療所(かかりつけの内科など)を受診する	1	12	3	0	3
%	0.4	5.3	1.3	0	1.3
7.3～6以外の場所で相談する	1	1	2	1	4
%	0.4	0.4	0.9	0.4	1.8
【無回答】	3	4	3	6	3
%	1.3	1.8	1.3	2.6	1.3
計	227	226	226	227	226

- 1. 様子を見る
- 2. 薬局で薬をもとめる
- 3. 産婦人科（個人病院・開業医）を受診する
- 4. 産婦人科（総合病院）を受診する
- 5. 産婦人科（大学病院）を受診する
- 6. 産婦人科以外の病院・診療所（かかりつけの内科など）を受診する
- 7. 3～6以外の場所で相談する
- 【無回答】

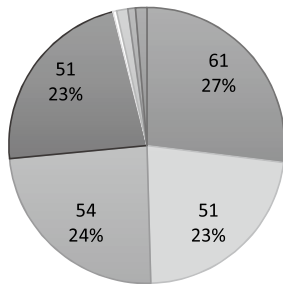
(a)不正出血が2～3回続いた



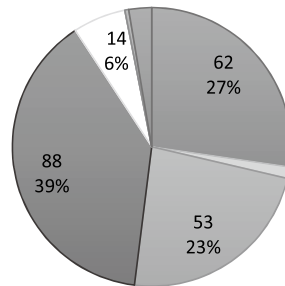
(b)冷えがひどい



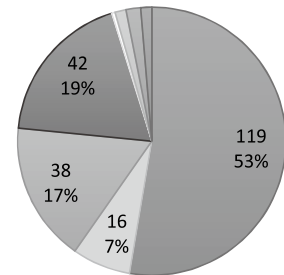
(c)外陰のかゆみがある



(d)赤ちゃんが1年以上できない

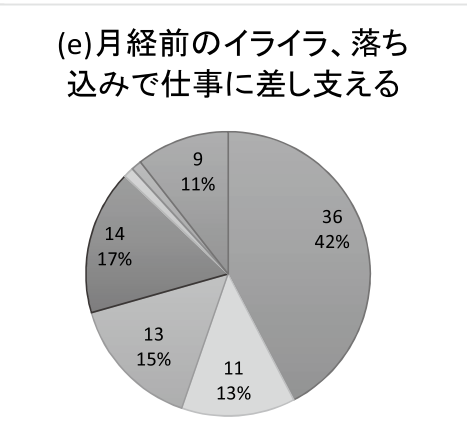
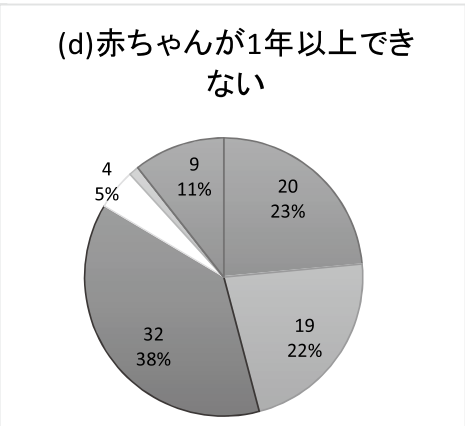
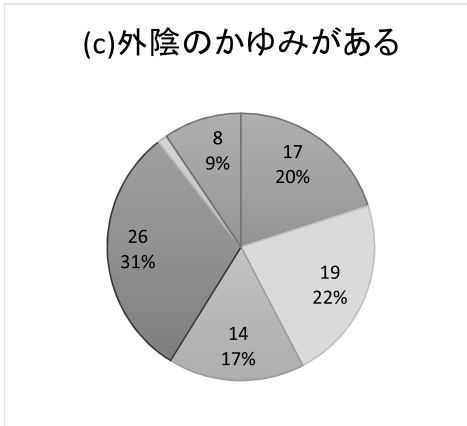
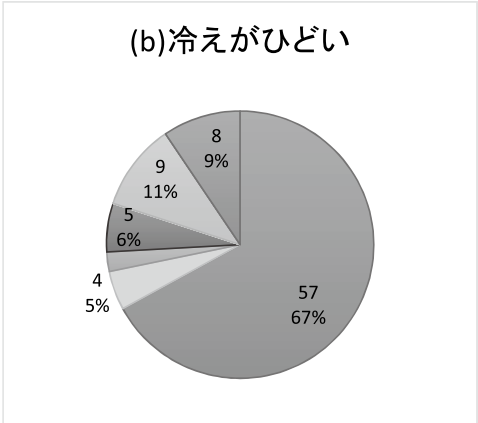
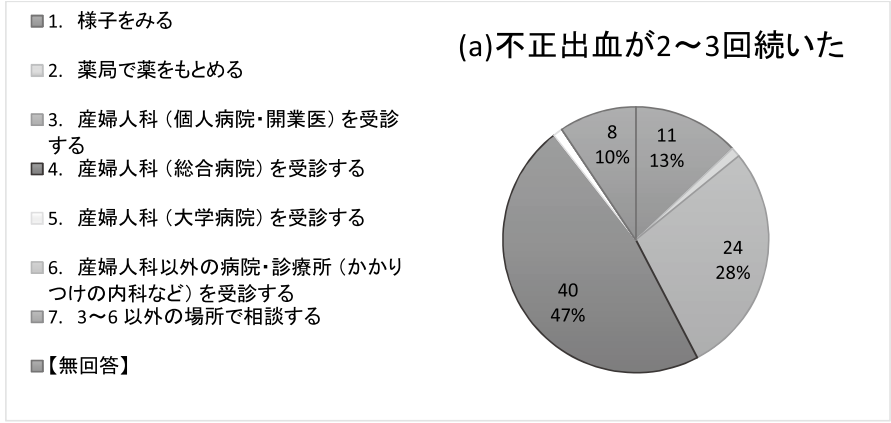


(e)月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える



〈専業主婦〉

	(a)不正出血が2～3回続いた	(b)冷えがひどい	(c)外陰のかゆみがある	(d)赤ちゃんが1年以上できない	(e)月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える
1.様子を見る	11	57	17	20	36
%	12.9	67.1	20	23.5	42.4
2.薬局で薬をもとめる	1	4	19	0	11
%	1.2	4.7	22.4	0	12.9
3.産婦人科(個人病院・開業医)を受診する	24	2	14	19	13
%	28.2	2.4	16.5	22.4	15.3
4.産婦人科(総合病院)を受診する	40	5	26	32	14
%	47.1	5.9	30.6	37.6	16.5
5.産婦人科(大学病院)を受診する	1	0	0	4	0
%	1.2	0	0	4.7	0
6.産婦人科以外の病院・診療所(かかりつけの内科など)を受診する	0	9	1	1	1
%	0	10.6	1.2	1.2	1.2
7.3～6以外の場所で相談する	0	0	0	0	1
%	0	0	0	0	1.2
【無回答】	8	8	8	9	9
%	9.4	9.4	9.4	10.6	10.6
計	85	85	85	85	85

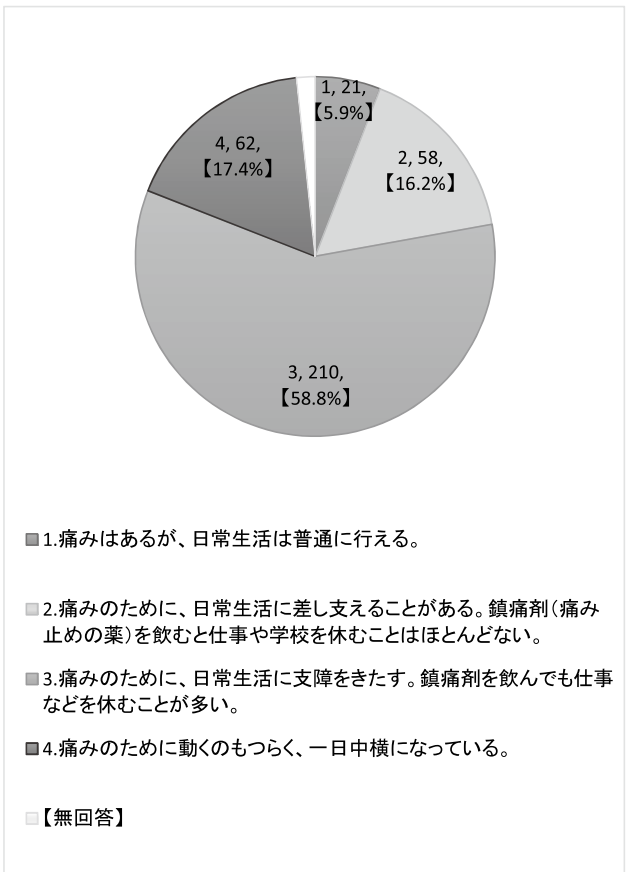


質問 11：もしもあなたに月経時の痛み（下腹部痛、腰痛など）があると仮定して、次の1～4のうち、どれくらいの状態を経験したら、産婦人科を受診しようと思いますか？最も近い状態を一つ選んでください。

1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。

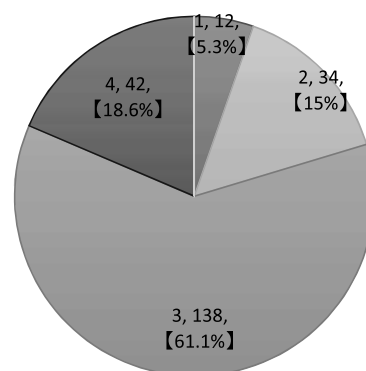
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	21	5.9
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	58	16.2
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	210	58.8
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	62	17.4
【無回答】	6	1.7
計	357	100



〈働いている女性〉

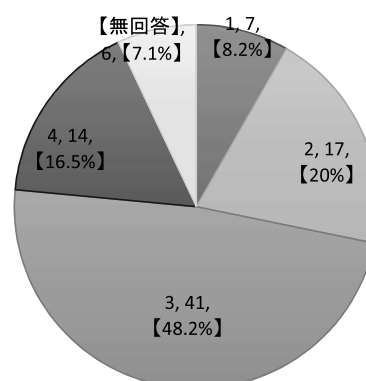
	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	12	5.3
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	34	15
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	138	61.1
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	42	18.6
【無回答】	0	0
計	226	100



- 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
- 2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
- 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
- 4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。
- 【無回答】

〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	7	8.2
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	17	20
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	41	48.2
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	14	16.5
【無回答】	6	7.1
計	85	100



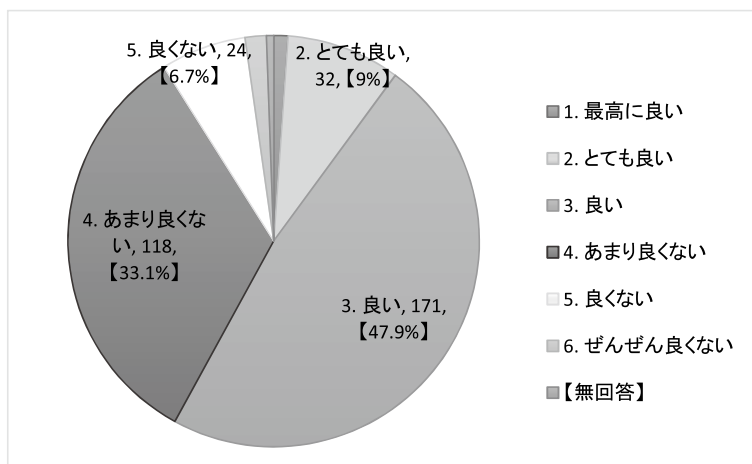
- 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
- 2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
- 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
- 4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。
- 【無回答】

質問12：全体的にみて、過去1か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？ -----

1. 最高に良い 2. とても良い 3. 良い 4. あまり良くない 5. 良くない 6. ぜんぜん良くない

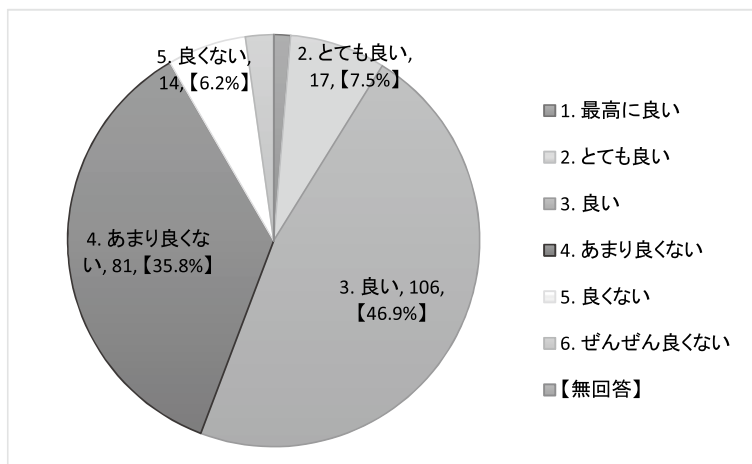
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 最高に良い	4	1.1
2. とても良い	32	9
3. 良い	171	47.9
4. あまり良くない	118	33.1
5. 良くない	24	6.7
6. ぜんぜん良くない	6	1.7
【無回答】	2	0.6
計	357	100



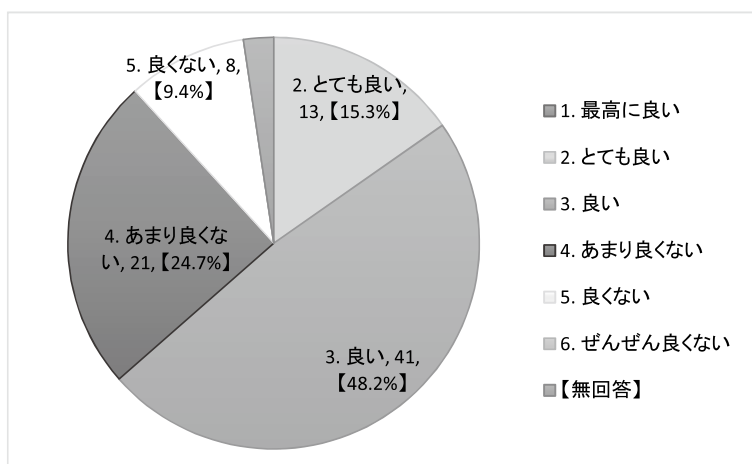
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 最高に良い	3	1.3
2. とても良い	17	7.5
3. 良い	106	46.9
4. あまり良くない	81	35.8
5. 良くない	14	6.2
6. ぜんぜん良くない	5	2.2
【無回答】	0	0
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 最高に良い	0	0
2. とても良い	13	15.3
3. 良い	41	48.2
4. あまり良くない	21	24.7
5. 良くない	8	9.4
6. ぜんぜん良くない	0	0
【無回答】	2	2.4
計	85	100



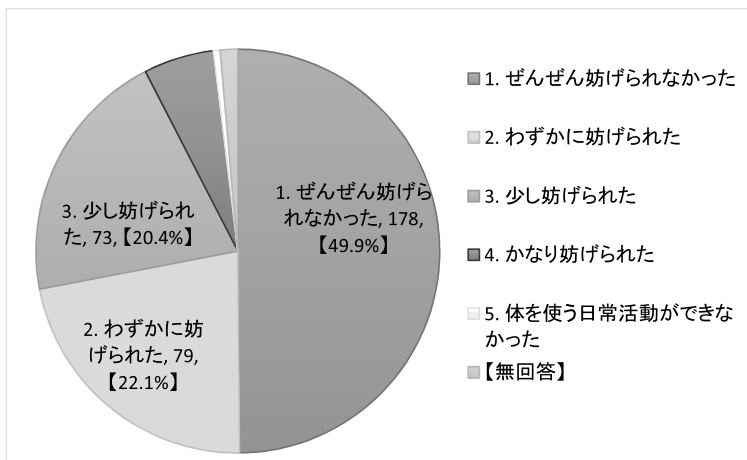
質問13：過去1か月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？



1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. 体を使う日常活動ができなかった

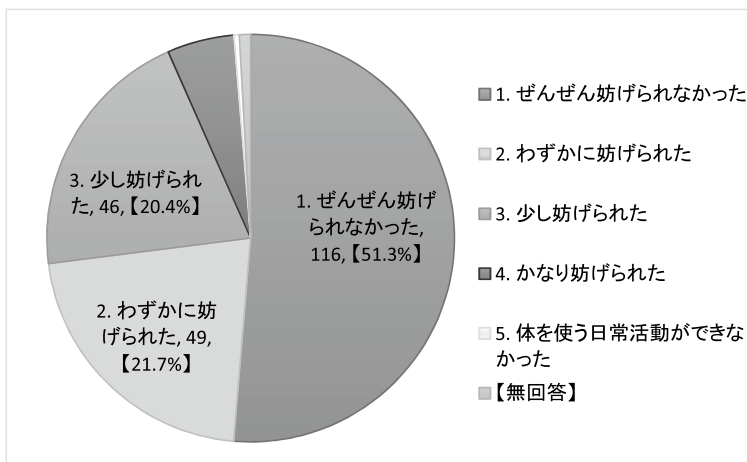
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	178	49.9
2. わずかに妨げられた	79	22.1
3. 少し妨げられた	73	20.4
4. かなり妨げられた	20	5.6
5. 体を使う日常活動ができなかった	2	0.6
【無回答】	5	1.4
計	357	100



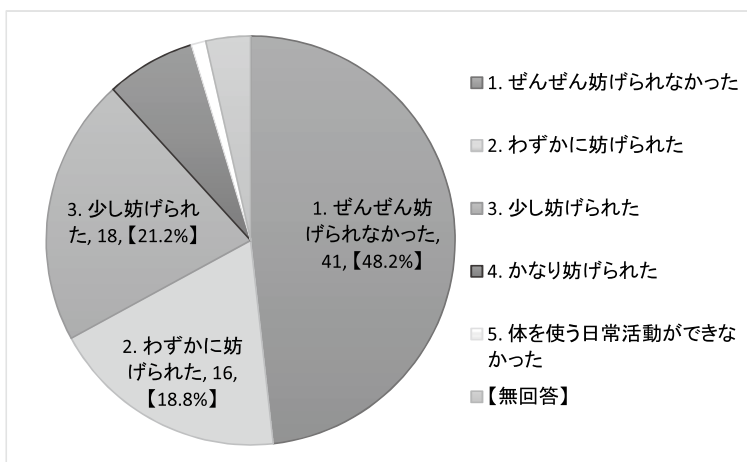
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	116	51.3
2. わずかに妨げられた	49	21.7
3. 少し妨げられた	46	20.4
4. かなり妨げられた	12	5.3
5. 体を使う日常活動ができなかった	1	0.4
【無回答】	2	0.9
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	41	48.2
2. わずかに妨げられた	16	18.8
3. 少し妨げられた	18	21.2
4. かなり妨げられた	6	7.1
5. 体を使う日常活動ができなかった	1	1.2
【無回答】	3	3.5
計	85	100

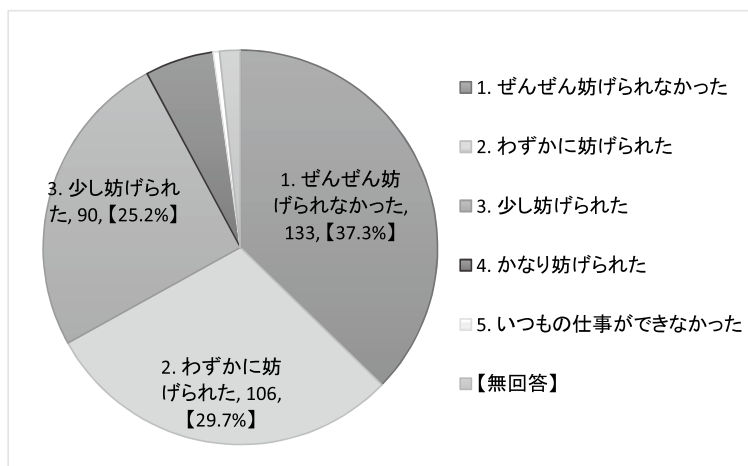


質問14：過去1か月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. いつもの仕事ができなかった

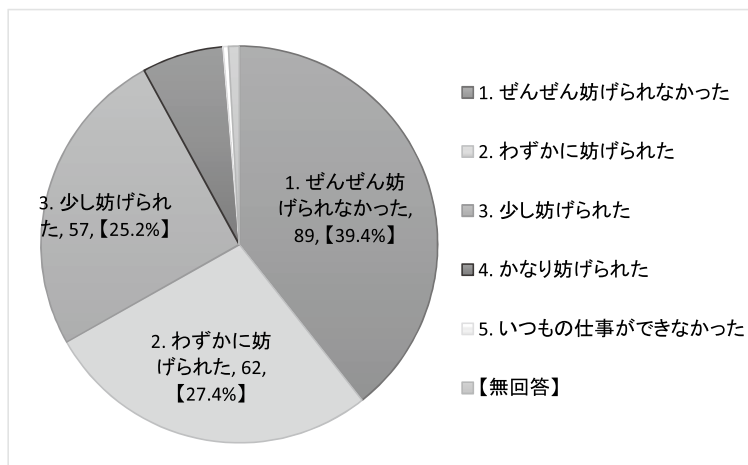
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	133	37.3
2. わずかに妨げられた	106	29.7
3. 少し妨げられた	90	25.2
4. かなり妨げられた	20	5.6
5. いつもの仕事ができなかった	2	0.6
【無回答】	6	1.7
計	357	100



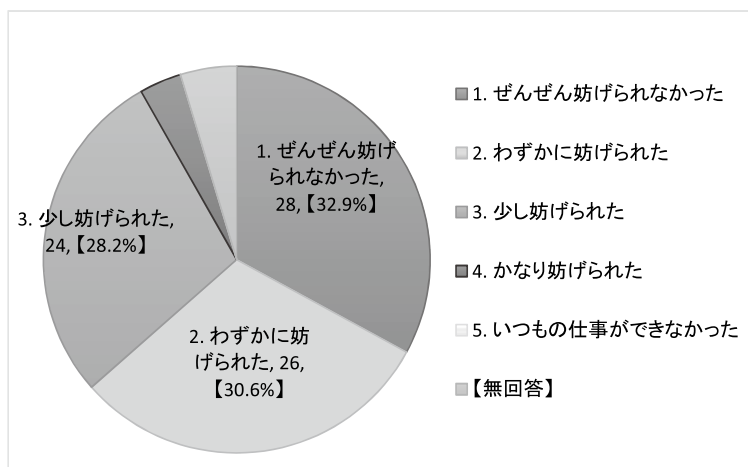
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	89	39.4
2. わずかに妨げられた	62	27.4
3. 少し妨げられた	57	25.2
4. かなり妨げられた	15	6.6
5. いつもの仕事ができなかった	1	0.4
【無回答】	2	0.9
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	28	32.9
2. わずかに妨げられた	26	30.6
3. 少し妨げられた	24	28.2
4. かなり妨げられた	3	3.5
5. いつもの仕事ができなかった	0	0
【無回答】	4	4.7
計	85	100

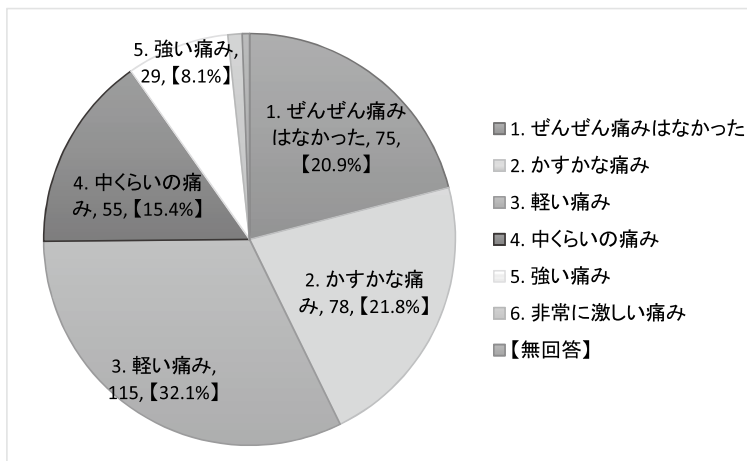


質問15：過去1か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？ -----

1. ぜんぜん痛みはなかった 2. かすかな痛み 3. 軽い痛み 4. 中くらいの痛み 5. 強い痛み
6. 非常に激しい痛み

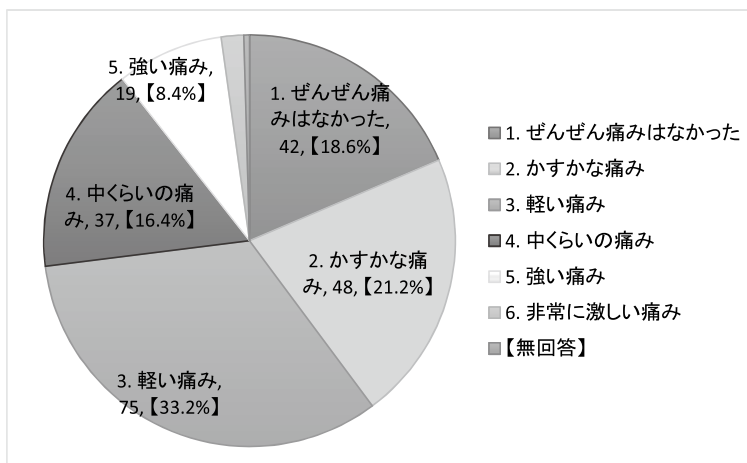
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	75	20.9
2. かすかな痛み	78	21.8
3. 軽い痛み	115	32.1
4. 中くらいの痛み	55	15.4
5. 強い痛み	29	8.1
6. 非常に激しい痛み	4	1.1
【無回答】	2	0.6
計	358	100



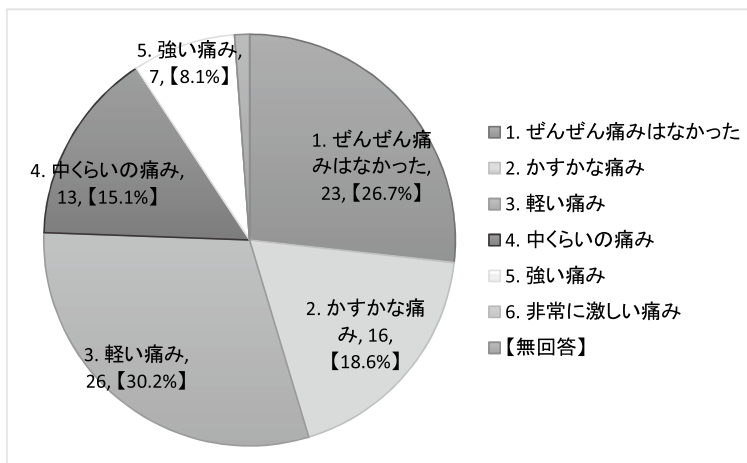
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	42	18.6
2. かすかな痛み	48	21.2
3. 軽い痛み	75	33.2
4. 中くらいの痛み	37	16.4
5. 強い痛み	19	8.4
6. 非常に激しい痛み	4	1.8
【無回答】	1	0.4
計	226	100

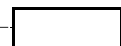


〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	23	26.7
2. かすかな痛み	16	18.6
3. 軽い痛み	26	30.2
4. 中くらいの痛み	13	15.1
5. 強い痛み	7	8.1
6. 非常に激しい痛み	0	0
【無回答】	1	1.2
計	86	100



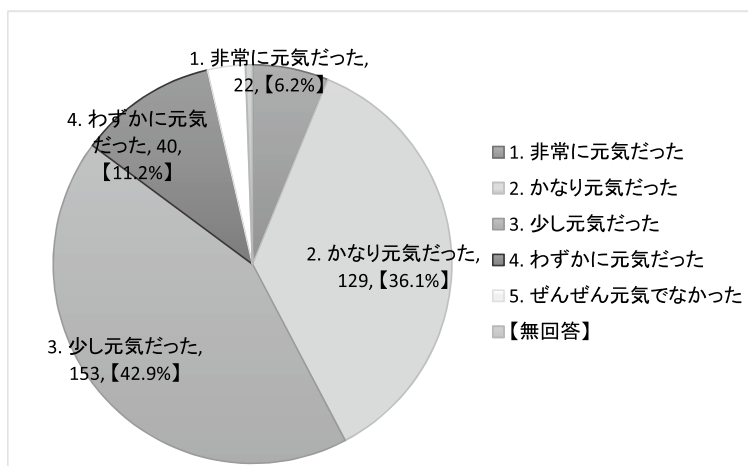
質問16：過去1か月間、どのくらい元気でしたか？



1. 非常に元気だった 2. かなり元気だった
3. 少し元気だった 4. わずかに元気だった
5. ぜんぜん元気でなかった

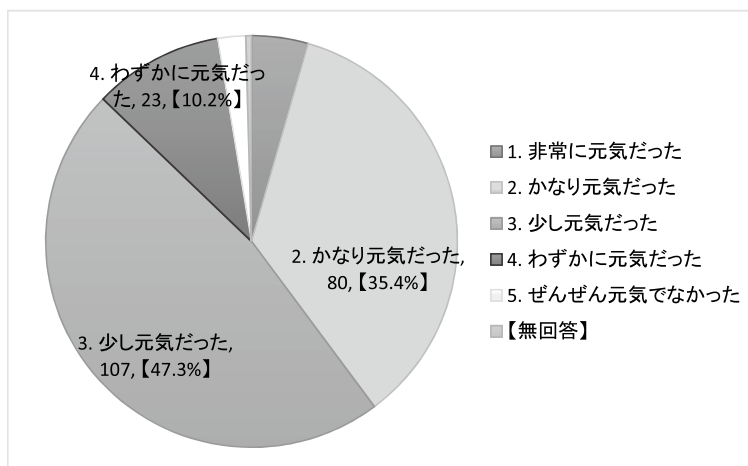
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 非常に元気だった	22	6.2
2. かなり元気だった	129	36.1
3. 少し元気だった	153	42.9
4. わずかに元気だった	40	11.2
5. ぜんぜん元気でなかった	11	3.1
【無回答】	2	0.6
計	357	100



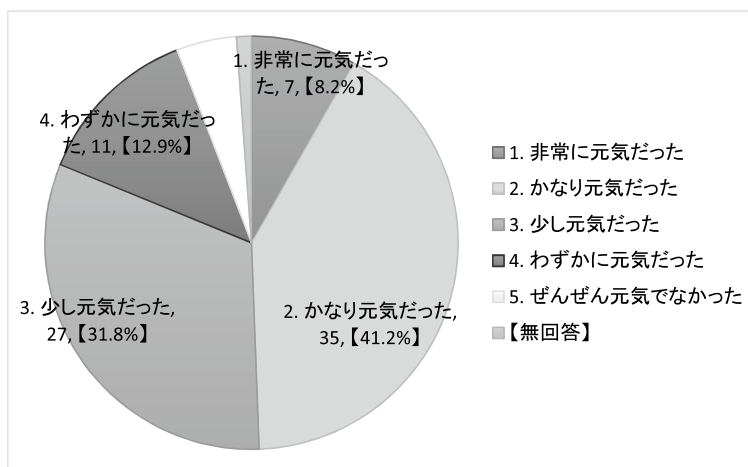
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 非常に元気だった	10	4.4
2. かなり元気だった	80	35.4
3. 少し元気だった	107	47.3
4. わずかに元気だった	23	10.2
5. ぜんぜん元気でなかった	5	2.2
【無回答】	1	0.4
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 非常に元気だった	7	8.2
2. かなり元気だった	35	41.2
3. 少し元気だった	27	31.8
4. わずかに元気だった	11	12.9
5. ぜんぜん元気でなかった	4	4.7
【無回答】	1	1.2
計	85	100

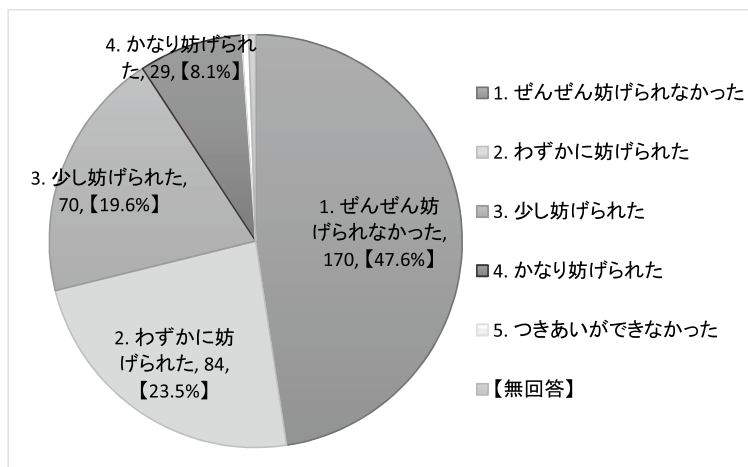


質問17：過去1か月間に、家族や友人との普段のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. つきあいができなかった

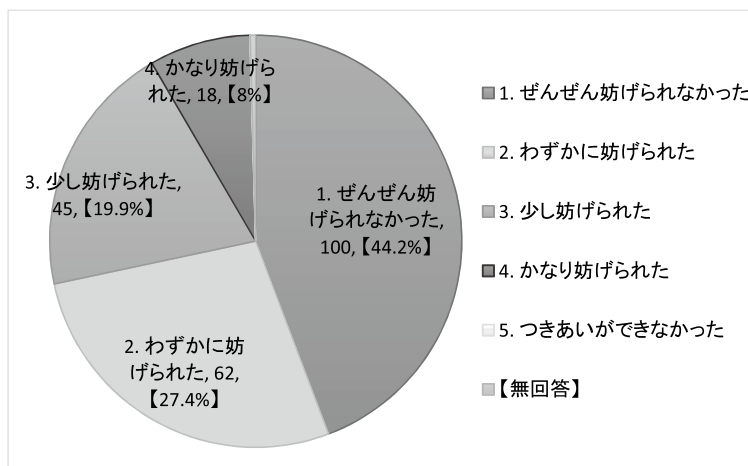
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	170	47.6
2. わずかに妨げられた	84	23.5
3. 少し妨げられた	70	19.6
4. かなり妨げられた	29	8.1
5. つきあいができなかった	2	0.6
【無回答】	2	0.6
計	357	100



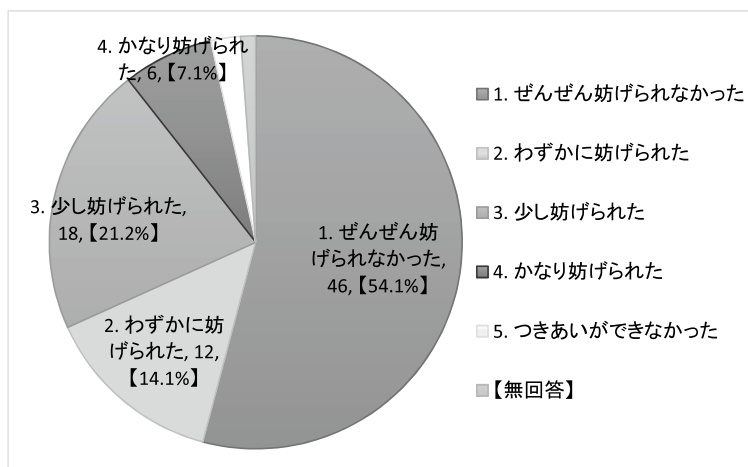
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	100	44.2
2. わずかに妨げられた	62	27.4
3. 少し妨げられた	45	19.9
4. かなり妨げられた	18	8
5. つきあいができなかった	0	0
【無回答】	1	0.4
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	46	54.1
2. わずかに妨げられた	12	14.1
3. 少し妨げられた	18	21.2
4. かなり妨げられた	6	7.1
5. つきあいができなかった	2	2.4
【無回答】	1	1.2
計	85	100



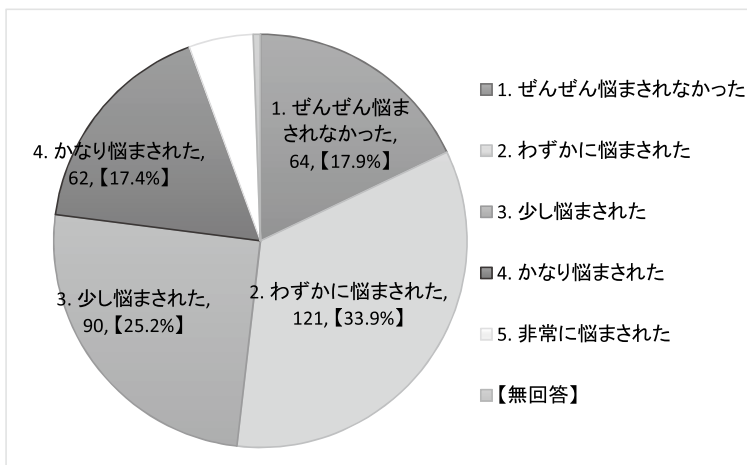
質問18：過去1か月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか？



1. ぜんぜん悩まされなかった 2. わずかに悩まされた 3. 少し悩まされた 4. かなり悩まされた
5. 非常に悩まされた

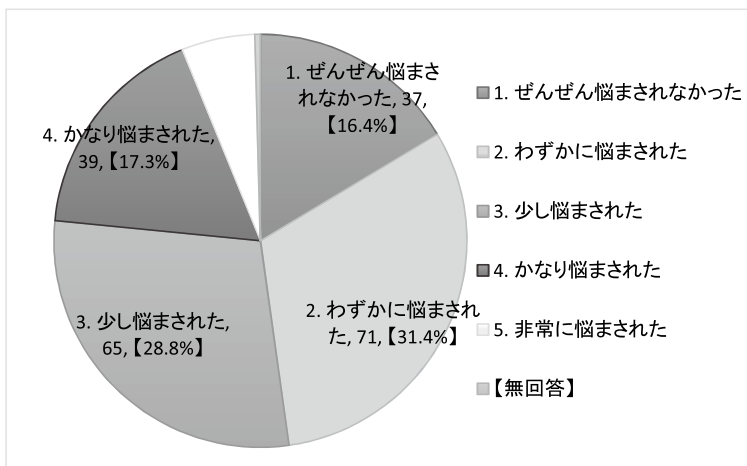
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	64	17.9
2. わずかに悩まされた	121	33.9
3. 少し悩まされた	90	25.2
4. かなり悩まされた	62	17.4
5. 非常に悩まされた	18	5
【無回答】	2	0.6
計	357	100



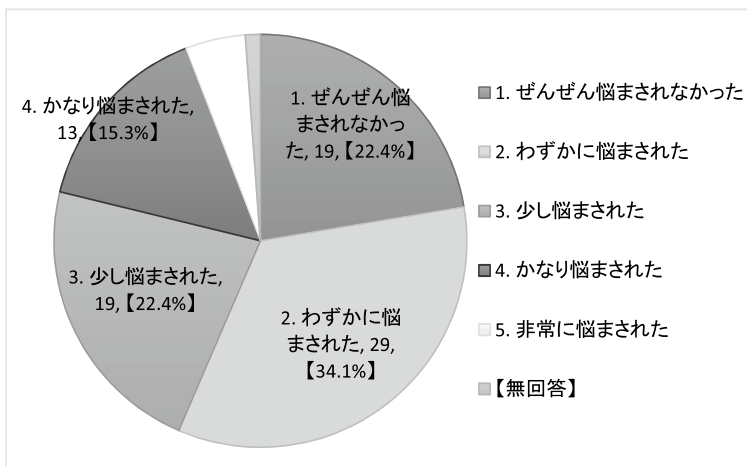
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	37	16.4
2. わずかに悩まされた	71	31.4
3. 少し悩まされた	65	28.8
4. かなり悩まされた	39	17.3
5. 非常に悩まされた	13	5.8
【無回答】	1	0.4
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	19	22.4
2. わずかに悩まされた	29	34.1
3. 少し悩まされた	19	22.4
4. かなり悩まされた	13	15.3
5. 非常に悩まされた	4	4.7
【無回答】	1	1.2
計	85	100

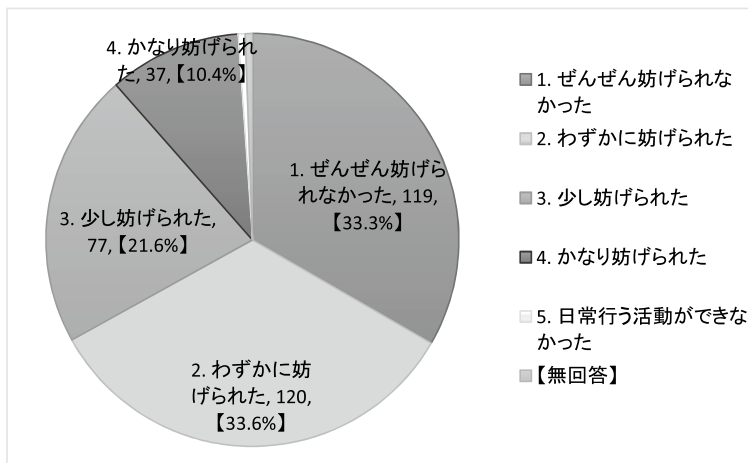


質問19：過去1か月間に、日常行う活動（仕事・学校・家事などの普段の行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. 日常行う活動ができなかった

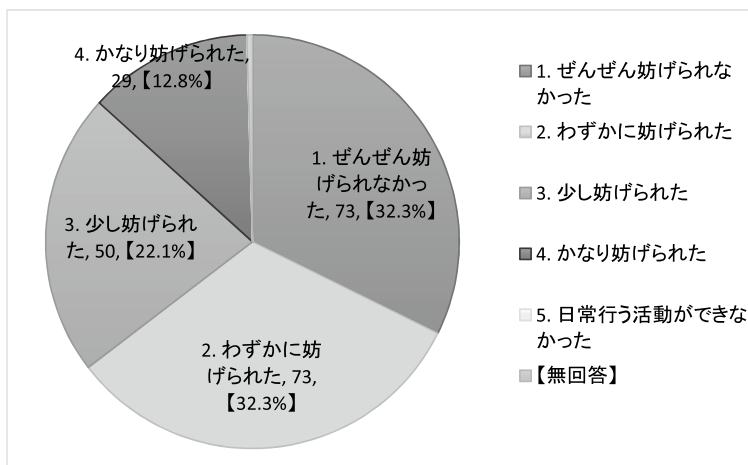
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	119	33.3
2. わずかに妨げられた	120	33.6
3. 少し妨げられた	77	21.6
4. かなり妨げられた	37	10.4
5. 日常行う活動ができなかった	2	0.6
【無回答】	2	0.6
計	357	100



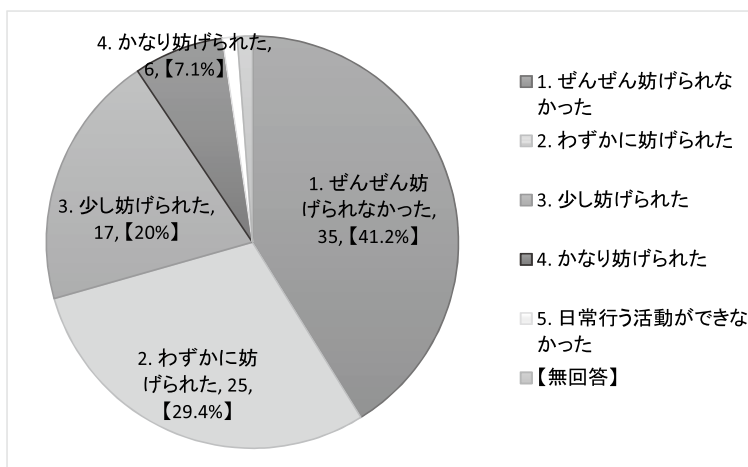
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	73	32.3
2. わずかに妨げられた	73	32.3
3. 少し妨げられた	50	22.1
4. かなり妨げられた	29	12.8
5. 日常行う活動ができなかった	0	0
【無回答】	1	0.4
計	226	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	35	41.2
2. わずかに妨げられた	25	29.4
3. 少し妨げられた	17	20
4. かなり妨げられた	6	7.1
5. 日常行う活動ができなかった	1	1.2
【無回答】	1	1.2
計	85	100



③手術を受けた患者へのアンケート調査
(当院産婦人科で手術をお受けになった患者様へ)

労災病院で手術を受けた女性のうち、就労女性では40歳代が46.8%と大半を占めていた。一方、専業主婦では60歳代が最も多く、次いで40歳代であった。

「自分が病気ではないか」と疑いながらも外来を受診するまでの期間が、就労女性では22.7%が「1年以上」経過して受診し、17%が「1週間以内」で受診しており、就労女性の対応は両極端であった。一方、専業主婦の多くは18.8%がともに「1年以上」と「2週間」であり、次いで15.6%が「1ヶ月間」であった。受診を躊躇った理由が、就労女性では最も多かったのが「そのうちに自然に治るだろうと期待した」が23.4%であり、「深刻な病気だったらどうしようかと不安だった」が21.3%であった。一方、専業主婦では「どこかに良い病院がないか」と医療機関を探したが25%であり、次いで「どうしようかと不安だった」が18.8%であった。

入院時に配慮した事情では、就労女性では53.2%が「職場の事情」であり、次いで29.8%が「家族の事情」を配慮して入院時期を決めていた。一方、専業主婦では43.8%が「家庭の事情」、次いで「産婦人科病院の事情」が31.3%であった。

入院中に気になったこと、心配したことは、就労女性では39.7%が「退院後の自分の体調」を、次いで24.8%が「家族の調子」を心配していた。一方、専業主婦では34.4%が「退院後の体の調子」を心配し、31.3%が「入院中の自分の体の調子」を心配していた。

退院時期を決めるのに配慮した事情は、就労女性では43.3%が「家族への配慮」であり、次いで27.7%が「産婦人科医・病院の事情」であった。一方、専業主婦では46.9%が「産婦人科医・病院の事情」であり、37.5%が「家族に配慮」して退院時期を決定していた。

退院して気になったこと・心配したことは、就労女性では33.3%が「現在の自分の体の調子」であり、32.6%が「将来の自分の体の調子」であった。なお、19.9%の就労女性が「復職時期」を、9.2%が「職場の様子」を気にしていた。一方、専業主婦56.3%が「現在の自分の体の調子」であり、37.5%が「将来の自分の体の調子」であった。

就労女性が復職した場合43.6%が「満足」しているものの、残りの約50%の就労女性は「自宅での療養期間」「職場環境」「上司の理解」「同僚の理解」「家族の理解」などに不満を感じていた。

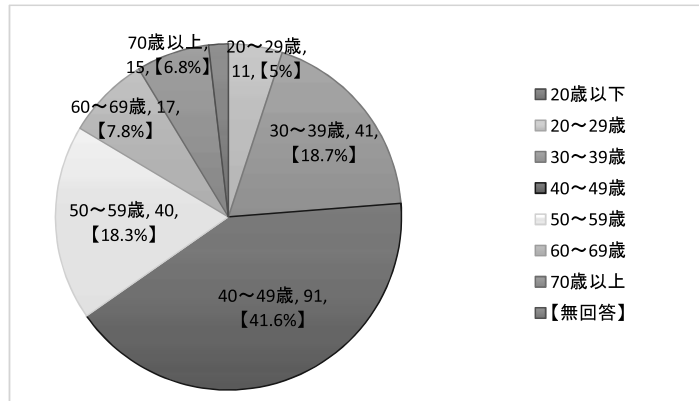
当院産婦人科で手術をお受けになった患者様へ

集計総数 219

質問1：あなたの年齢をお教えてください。----- 歳

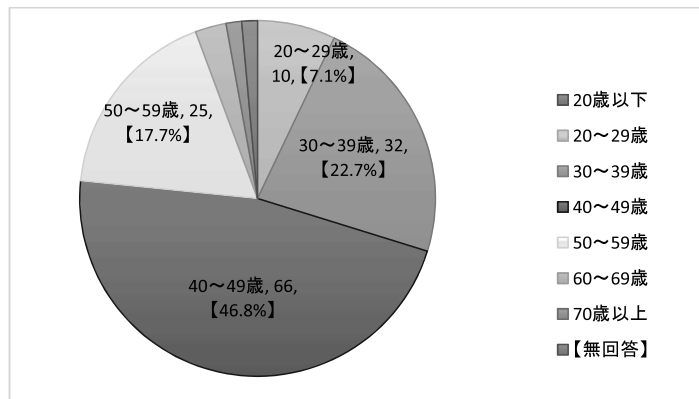
〈全体人数〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	11	5
30～39歳	41	18.7
40～49歳	91	41.6
50～59歳	40	18.3
60～69歳	17	7.8
70歳以上	15	6.8
【無回答】	4	1.8
計	219	100



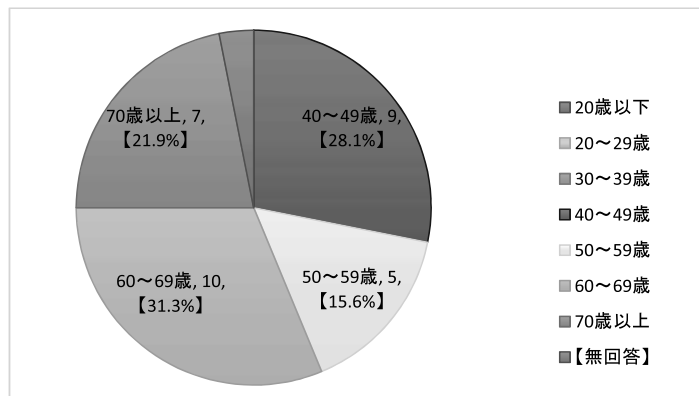
〈働いている女性〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	10	7.1
30～39歳	32	22.7
40～49歳	66	46.8
50～59歳	25	17.7
60～69歳	4	2.8
70歳以上	2	1.4
【無回答】	2	1.4
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	0	0
40～49歳	9	28.1
50～59歳	5	15.6
60～69歳	10	31.3
70歳以上	7	21.9
【無回答】	1	3.1
計	32	100

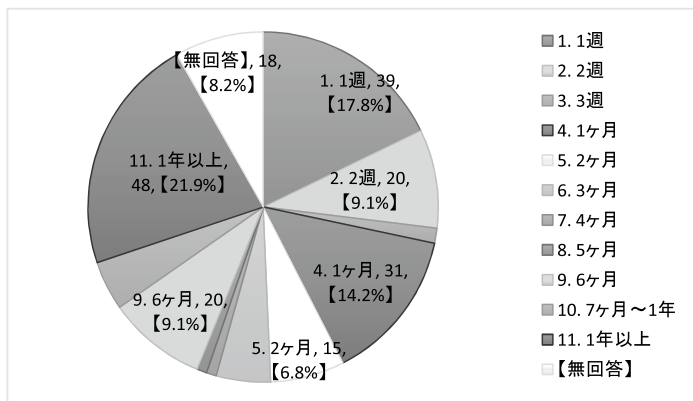


質問2：自分が病気ではないかと疑いながら、外来を受診するまでの期間はどのくらいでしたか？-----

1. 1週 2. 2週 3. 3週 4. 1ヶ月 5. 2ヶ月 6. 3ヶ月 7. 4ヶ月 8. 5ヶ月 9. 6ヶ月 10. 7ヶ月～1年
11. 1年以上

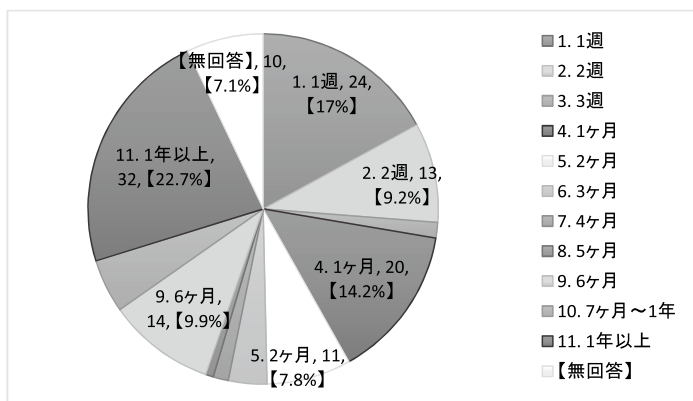
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 1週	39	17.8
2. 2週	20	9.1
3. 3週	3	1.4
4. 1ヶ月	31	14.2
5. 2ヶ月	15	6.8
6. 3ヶ月	11	5
7. 4ヶ月	2	0.9
8. 5ヶ月	2	0.9
9. 6ヶ月	20	9.1
10. 7ヶ月～1年	10	4.6
11. 1年以上	48	21.9
【無回答】	18	8.2
計	219	100



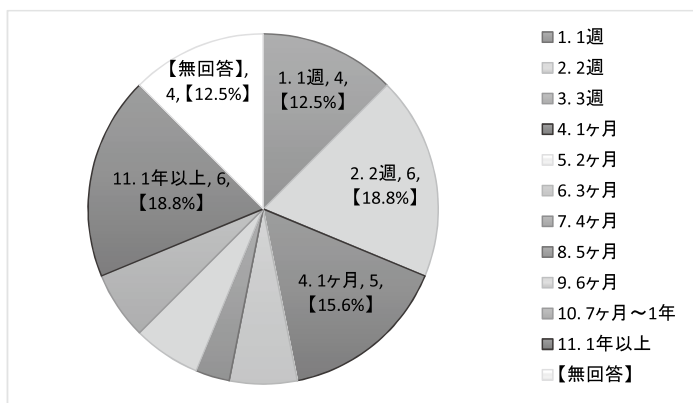
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 1週	24	17
2. 2週	13	9.2
3. 3週	2	1.4
4. 1ヶ月	20	14.2
5. 2ヶ月	11	7.8
6. 3ヶ月	5	3.5
7. 4ヶ月	2	1.4
8. 5ヶ月	1	0.7
9. 6ヶ月	14	9.9
10. 7ヶ月～1年	7	5
11. 1年以上	32	22.7
【無回答】	10	7.1
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 1週	4	12.5
2. 2週	6	18.8
3. 3週	0	0
4. 1ヶ月	5	15.6
5. 2ヶ月	0	0
6. 3ヶ月	2	6.3
7. 4ヶ月	0	0
8. 5ヶ月	1	3.1
9. 6ヶ月	2	6.3
10. 7ヶ月～1年	2	6.3
11. 1年以上	6	18.8
【無回答】	4	12.5
計	32	100

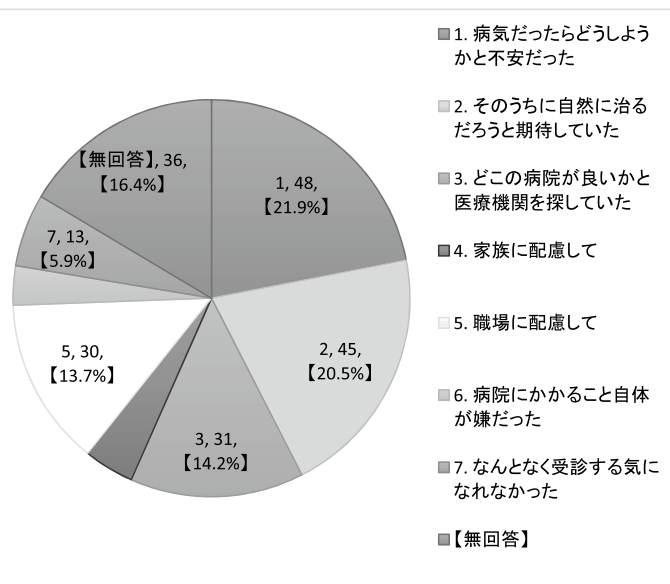


質問3：自分が病気ではないかと疑いながら、受診を躊躇った理由は何ですか？一つ選んでください。-----

1. 病気だったらどうしようかと不安だった
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた
4. 家族に配慮して
5. 職場に配慮して
6. 病院にかかること自体が嫌だった
7. なんとなく受診する気になれなかった

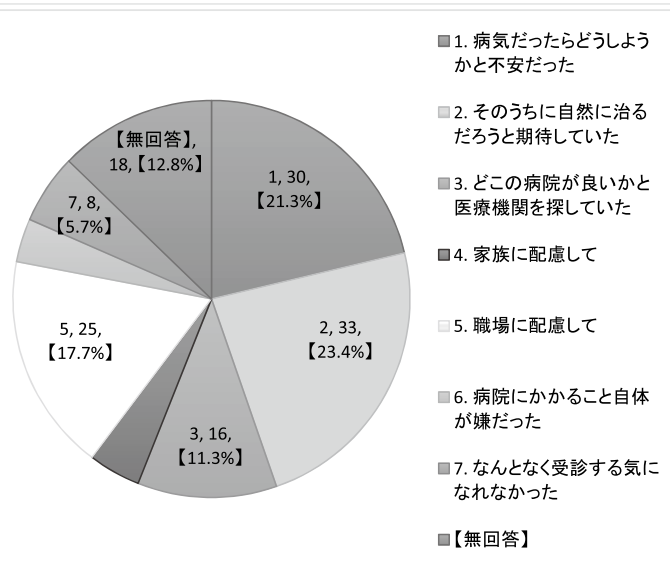
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 病気だったらどうしようかと不安だった	48	21.9
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた	45	20.5
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた	31	14.2
4. 家族に配慮して	9	4.1
5. 職場に配慮して	30	13.7
6. 病院にかかること自体が嫌だった	7	3.2
7. なんとなく受診する気になれなかった	13	5.9
【無回答】	36	16.4
計	219	100



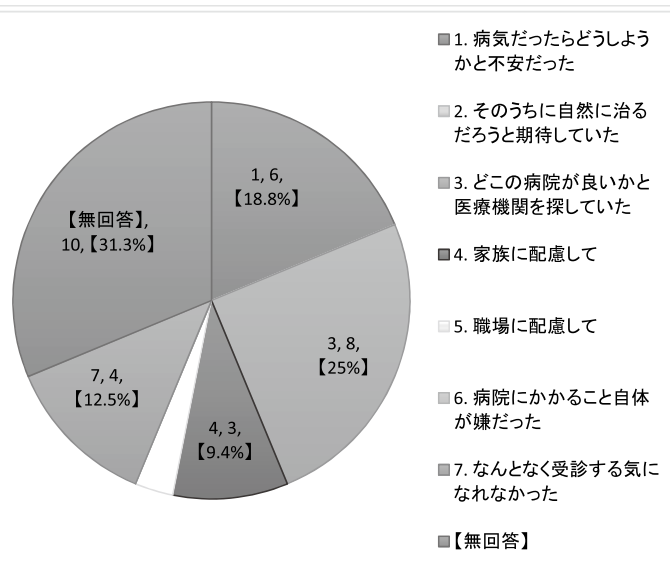
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 病気だったらどうしようかと不安だった	30	21.3
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた	33	23.4
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた	16	11.3
4. 家族に配慮して	6	4.3
5. 職場に配慮して	25	17.7
6. 病院にかかること自体が嫌だった	5	3.5
7. なんとなく受診する気になれなかった	8	5.7
【無回答】	18	12.8
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 病気だったらどうしようかと不安だった	6	18.8
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた	0	0
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた	8	25
4. 家族に配慮して	3	9.4
5. 職場に配慮して	1	3.1
6. 病院にかかること自体が嫌だった	0	0
7. なんとなく受診する気になれなかった	4	12.5
【無回答】	10	31.3
計	32	100



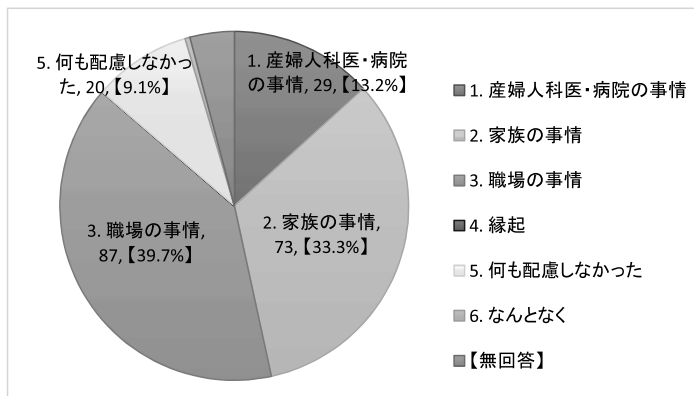
質問4：実際に入院する時に配慮したのは何でしたか？一つ選んでください。-----



1. 産婦人科医・病院の事情 2. 家族の事情 3. 職場の事情 4. 縁起 5. 何も配慮しなかった 6. なんとなく

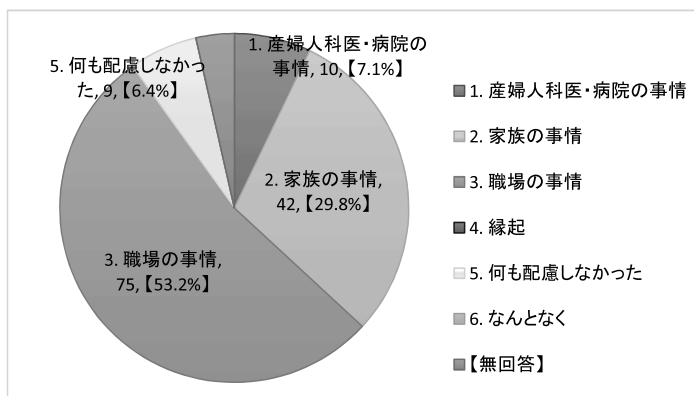
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	29	13.2
2. 家族の事情	73	33.3
3. 職場の事情	87	39.7
4. 縁起	0	0
5. 何も配慮しなかった	20	9.1
6. なんとなく	1	0.5
【無回答】	9	4.1
計	219	100



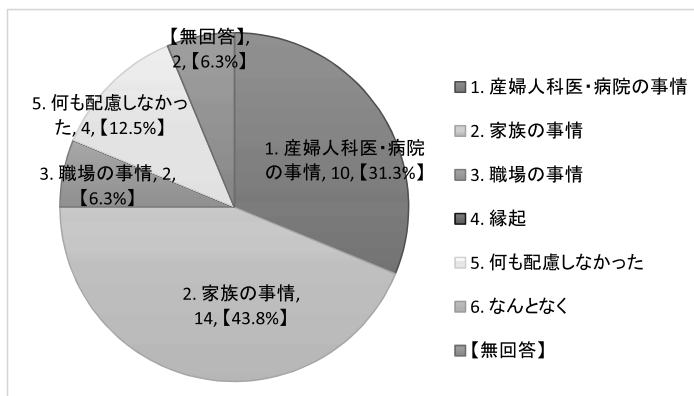
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	10	7.1
2. 家族の事情	42	29.8
3. 職場の事情	75	53.2
4. 縁起	0	0
5. 何も配慮しなかった	9	6.4
6. なんとなく	0	0
【無回答】	5	3.5
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	10	31.3
2. 家族の事情	14	43.8
3. 職場の事情	2	6.3
4. 縁起	0	0
5. 何も配慮しなかった	4	12.5
6. なんとなく	0	0
【無回答】	2	6.3
計	32	100

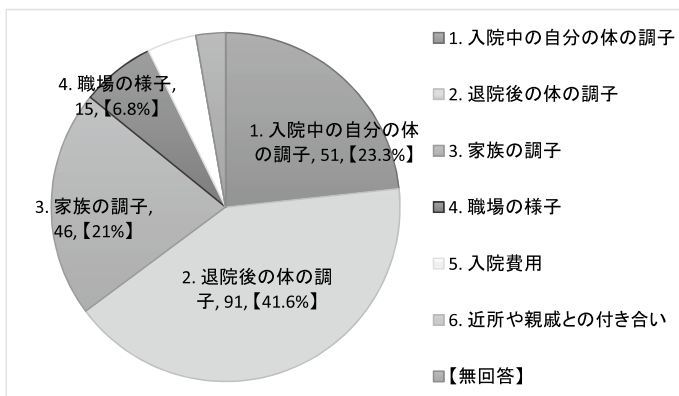


質問5：入院中に気になったこと、心配したことは何ですか？一つ選んでください。

1. 入院中の自分の体の調子 2. 退院後の体の調子 3. 家族の調子 4. 職場の様子 5. 入院費用
6. 近所や親戚との付き合い

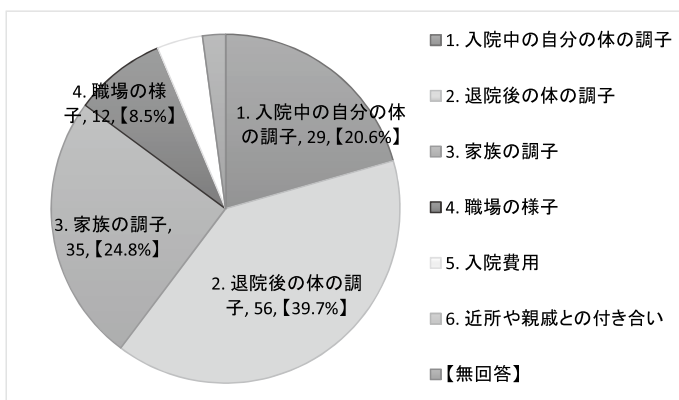
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 入院中の自分の体の調子	51	23.3
2. 退院後の体の調子	91	41.6
3. 家族の調子	46	21
4. 職場の様子	15	6.8
5. 入院費用	10	4.6
6. 近所や親戚との付き合い	0	0
【無回答】	6	2.7
計	219	100



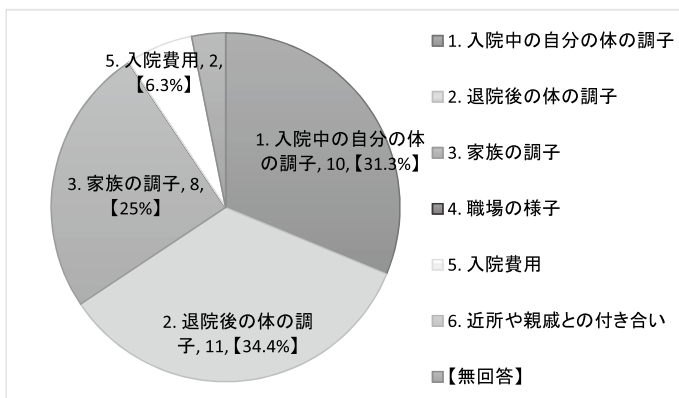
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 入院中の自分の体の調子	29	20.6
2. 退院後の体の調子	56	39.7
3. 家族の調子	35	24.8
4. 職場の様子	12	8.5
5. 入院費用	6	4.3
6. 近所や親戚との付き合い	0	0
【無回答】	3	2.1
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 入院中の自分の体の調子	10	31.3
2. 退院後の体の調子	11	34.4
3. 家族の調子	8	25
4. 職場の様子	0	0
5. 入院費用	2	6.3
6. 近所や親戚との付き合い	0	0
【無回答】	1	3.1
計	32	100

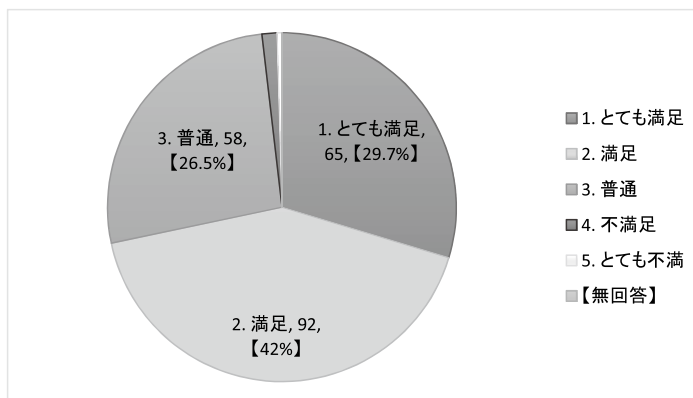


質問6：入院生活はどうでしたか？一つ選んでください。

1. とても満足 2. 満足 3. 普通 4. 不満足 5. とても不満

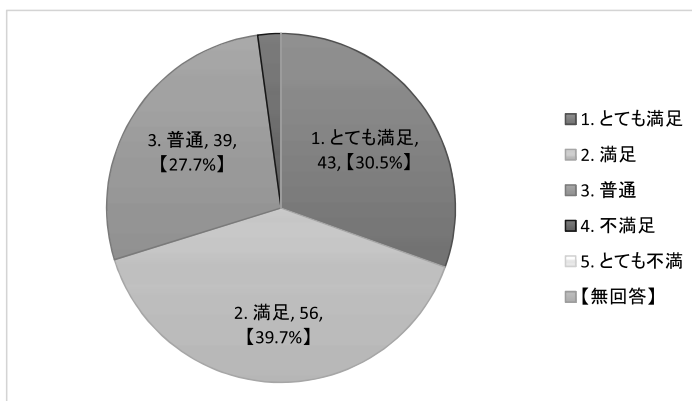
〈全体人数〉

	集計数	%
1. とても満足	65	29.7
2. 満足	92	42
3. 普通	58	26.5
4. 不満足	3	1.4
5. とても不満	1	0.5
【無回答】	0	0
計	219	100



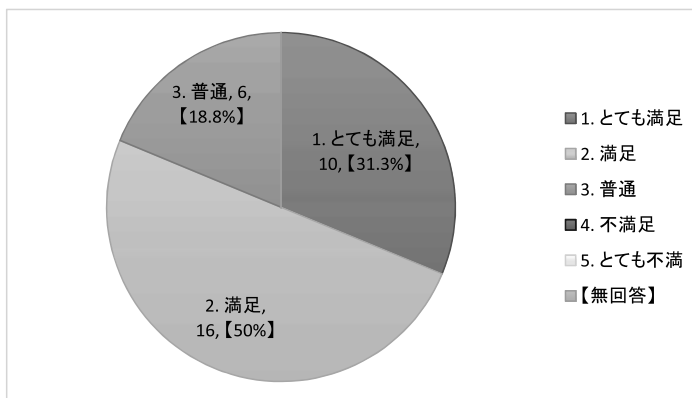
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. とても満足	43	30.5
2. 満足	56	39.7
3. 普通	39	27.7
4. 不満足	3	2.1
5. とても不満	0	0
【無回答】	0	0
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. とても満足	10	31.3
2. 満足	16	50
3. 普通	6	18.8
4. 不満足	0	0
5. とても不満	0	0
【無回答】	0	0
計	32	100

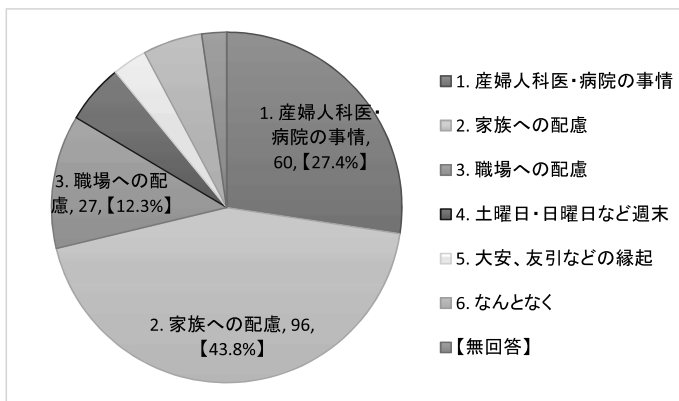


質問7：退院時期を決めるのに配慮したのは何ですか？一つ選んでください。

1. 産婦人科医・病院の事情 2. 家族への配慮 3. 職場への配慮 4. 土曜日・日曜日など週末 5. 大安、友引などの縁起
6. なんとなく

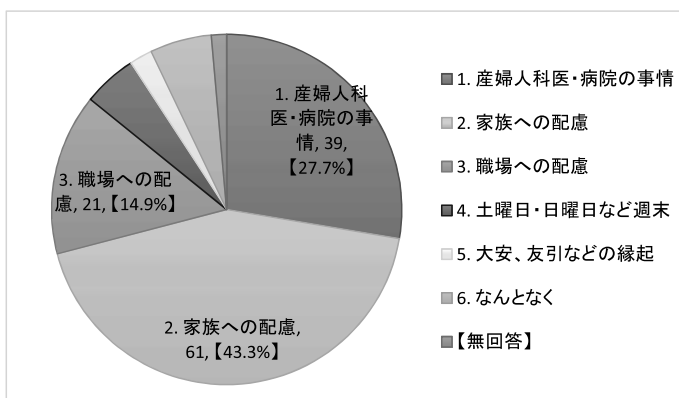
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	60	27.4
2. 家族への配慮	96	43.8
3. 職場への配慮	27	12.3
4. 土曜日・日曜日など週末	12	5.5
5. 大安、友引などの縁起	7	3.2
6. なんとなく	12	5.5
【無回答】	5	2.3
計	219	100



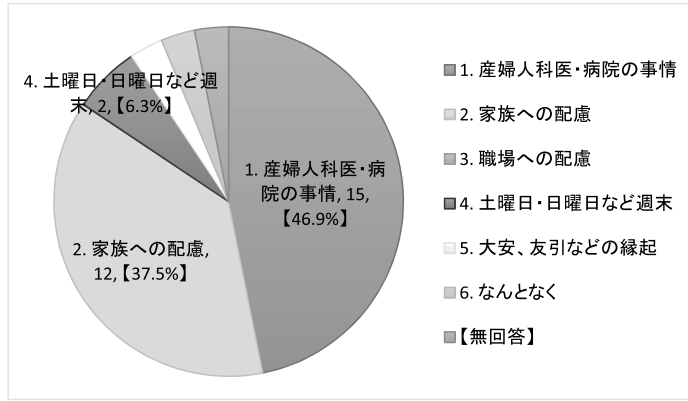
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	39	27.7
2. 家族への配慮	61	43.3
3. 職場への配慮	21	14.9
4. 土曜日・日曜日など週末	7	5
5. 大安、友引などの縁起	3	2.1
6. なんとなく	8	5.7
【無回答】	2	1.4
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	15	46.9
2. 家族への配慮	12	37.5
3. 職場への配慮	0	0
4. 土曜日・日曜日など週末	2	6.3
5. 大安、友引などの縁起	1	3.1
6. なんとなく	1	3.1
【無回答】	1	3.1
計	32	100

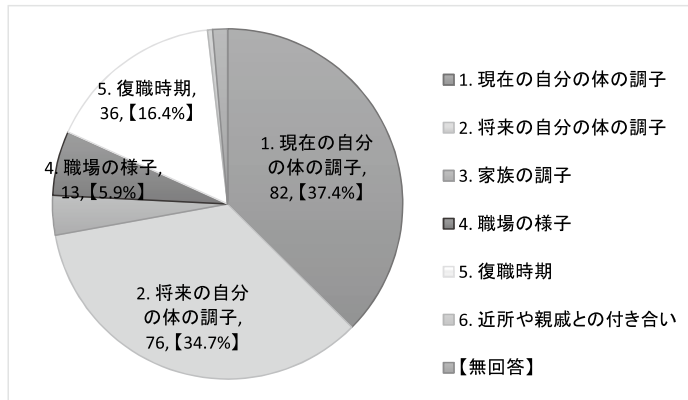


質問8：退院して気になったこと、心配したことは何ですか？一つ選んでください。

1. 現在の自分の体の調子 2. 将来の自分の体の調子 3. 家族の調子 4. 職場の様子 5. 復職時期
6. 近所や親戚との付き合い

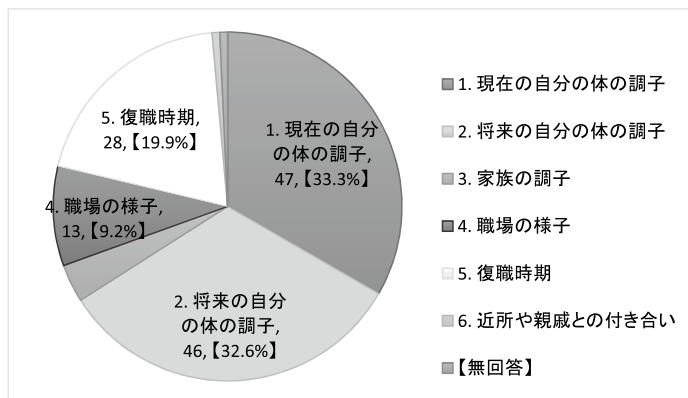
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 現在の自分の体の調子	82	37.4
2. 将来の自分の体の調子	76	34.7
3. 家族の調子	8	3.7
4. 職場の様子	13	5.9
5. 復職時期	36	16.4
6. 近所や親戚との付き合い	1	0.5
【無回答】	3	1.4
計	219	100



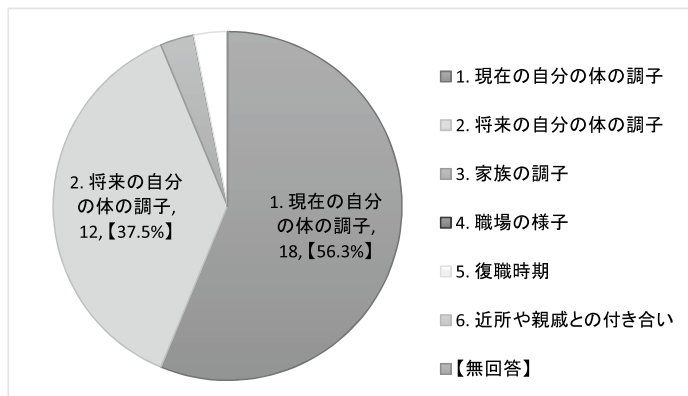
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 現在の自分の体の調子	47	33.3
2. 将来の自分の体の調子	46	32.6
3. 家族の調子	5	3.5
4. 職場の様子	13	9.2
5. 復職時期	28	19.9
6. 近所や親戚との付き合い	1	0.7
【無回答】	1	0.7
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 現在の自分の体の調子	18	56.3
2. 将来の自分の体の調子	12	37.5
3. 家族の調子	1	3.1
4. 職場の様子	0	0
5. 復職時期	1	3.1
6. 近所や親戚との付き合い	0	0
【無回答】	0	0
計	32	100

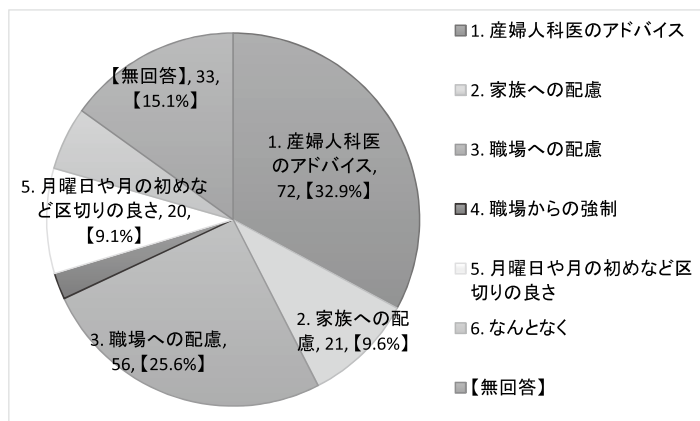


質問9：復職の時期を決めるのに配慮したのは何ですか？一つ選んでください。-----

1. 産婦人科医のアドバイス 2. 家族への配慮 3. 職場への配慮 4. 職場からの強制 5. 月曜日や月の初めなど区切りの良さ
6. なんとなく

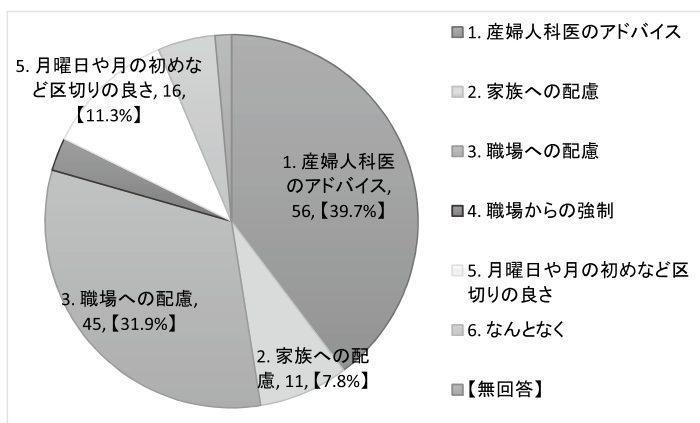
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 産婦人科医のアドバイス	72	32.9
2. 家族への配慮	21	9.6
3. 職場への配慮	56	25.6
4. 職場からの強制	5	2.3
5. 月曜日や月の初めなど区切りの良さ	20	9.1
6. なんとなく	12	5.5
【無回答】	33	15.1
計	219	100



〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 産婦人科医のアドバイス	56	39.7
2. 家族への配慮	11	7.8
3. 職場への配慮	45	31.9
4. 職場からの強制	4	2.8
5. 月曜日や月の初めなど区切りの良さ	16	11.3
6. なんとなく	7	5
【無回答】	2	1.4
計	141	100

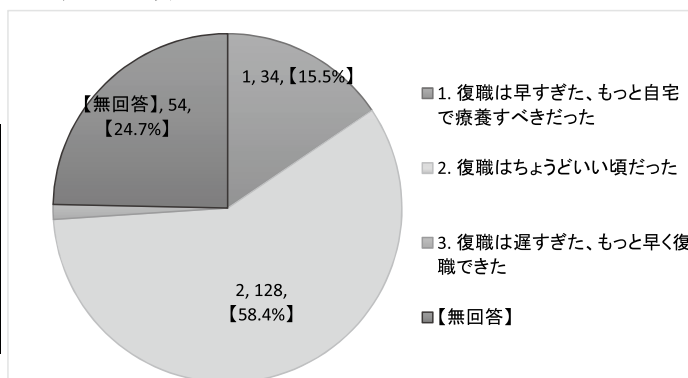


質問10：復職してみて、どうでしたか？一つ選んでください。-----

1. 復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった 2. 復職はちょうどいい頃だった
3. 復職は遅すぎた、もっと早く復職できた

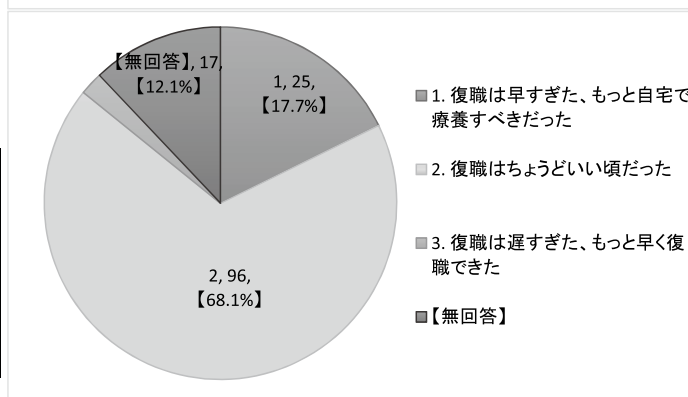
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった	34	15.5
2. 復職はちょうどいい頃だった	128	58.4
3. 復職は遅すぎた、もっと早く復職できた	3	1.4
【無回答】	54	24.7
計	219	100



〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった	25	17.7
2. 復職はちょうどいい頃だった	96	68.1
3. 復職は遅すぎた、もっと早く復職できた	3	2.1
【無回答】	17	12.1
計	141	100

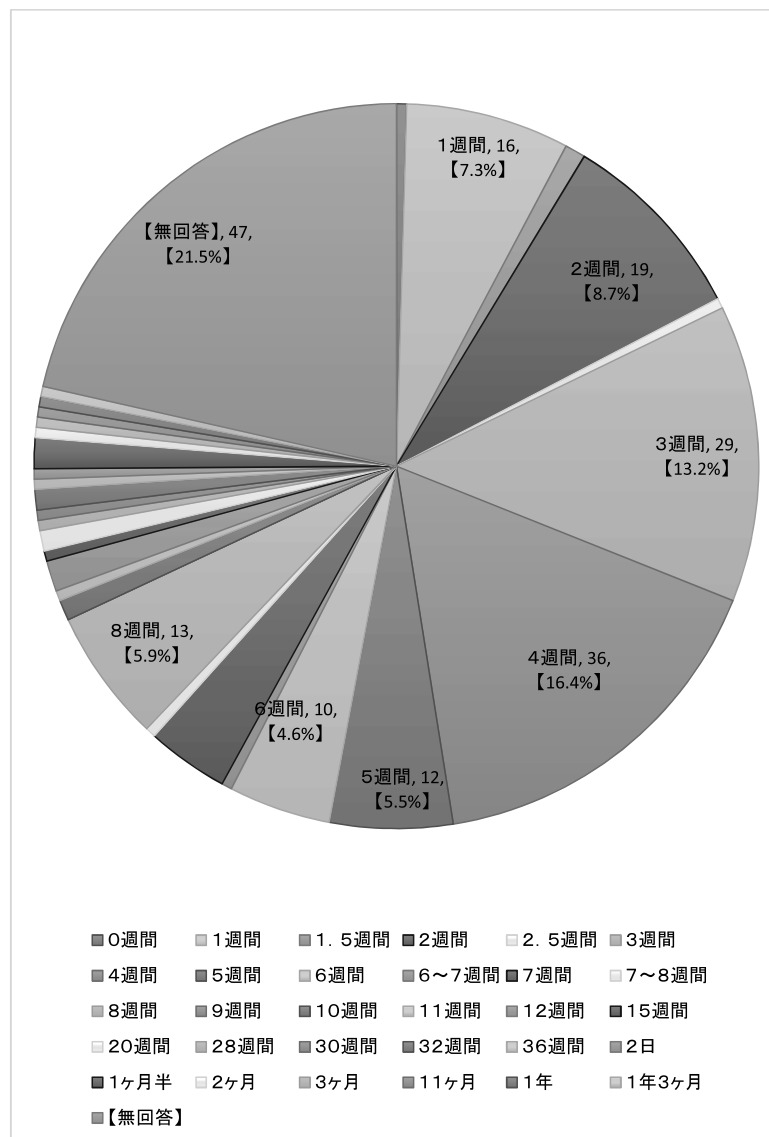


質問11：手術から復職までの期間をお教えください。-----

約 週間

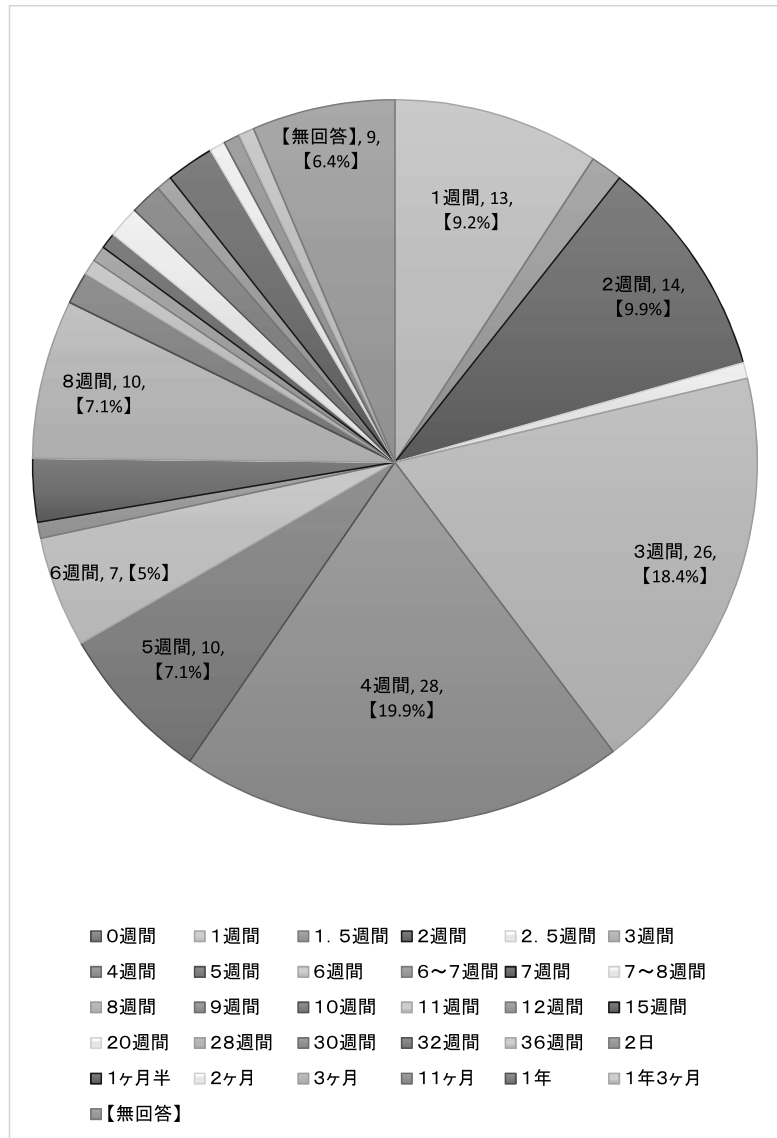
〈全体人数〉

	集計数	%
0週間	1	0.5
1週間	16	7.3
1.5週間	2	0.9
2週間	19	8.7
2.5週間	1	0.5
3週間	29	13.2
4週間	36	16.4
5週間	12	5.5
6週間	10	4.6
6～7週間	1	0.5
7週間	8	3.7
7～8週間	1	0.5
8週間	13	5.9
9週間	0	0
10週間	2	0.9
11週間	1	0.5
12週間	3	1.4
15週間	1	0.5
20週間	2	0.9
28週間	1	0.5
30週間	1	0.5
32週間	2	0.9
36週間	1	0.5
2日	1	0.5
1ヶ月半	3	1.4
2ヶ月	1	0.5
3ヶ月	1	0.5
11ヶ月	1	0.5
1年	1	0.5
1年3ヶ月	1	0.5
【無回答】	47	21.5
計	219	100



〈働いている女性〉

	集計数	%
0週間	0	0
1週間	13	9.2
1.5週間	2	1.4
2週間	14	9.9
2.5週間	1	0.7
3週間	26	18.4
4週間	28	19.9
5週間	10	7.1
6週間	7	5
6~7週間	1	0.7
7週間	4	2.8
7~8週間	0	0
8週間	10	7.1
9週間	0	0
10週間	2	1.4
11週間	1	0.7
12週間	1	0.7
15週間	1	0.7
20週間	2	1.4
28週間	0	0
30週間	0	0
32週間	2	1.4
36週間	0	0
2日	1	0.7
1ヶ月半	3	2.1
2ヶ月	1	0.7
3ヶ月	0	0
11ヶ月	1	0.7
1年	0	0
1年3ヶ月	1	0.7
【無回答】	9	6.4
計	141	100

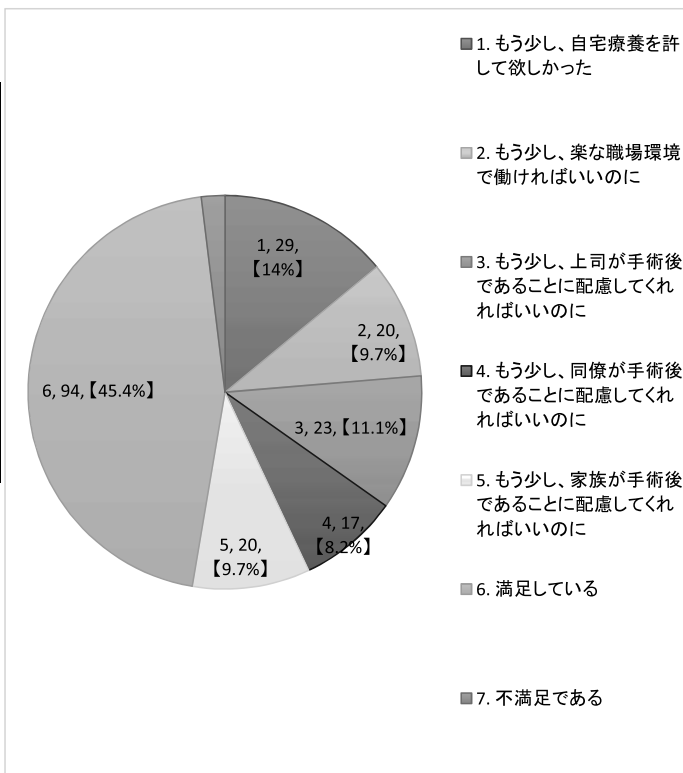


質問12：復職してみて、職場への要望があれば、お教えてください。お答えは幾つでも結構です。-----

1. もう少し、自宅療養を許して欲しかった
2. もう少し、楽な職場環境で働ければいいのに
3. もう少し、上司が手術後であることに配慮してくれればいいのに
4. もう少し、同僚が手術後であることに配慮してくれればいいのに
5. もう少し、家族が手術後であることに配慮してくれればいいのに
6. 満足している
7. 不満足である

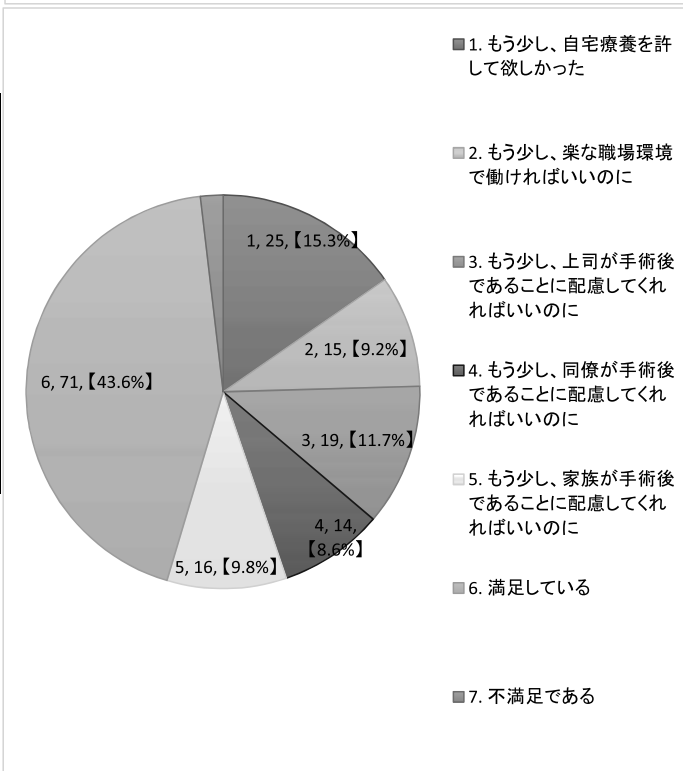
〈全体人数〉

	集計数	%
1. もう少し、自宅療養を許して欲しかった	29	14
2. もう少し、楽な職場環境で働ければいいのに	20	9.7
3. もう少し、上司が手術後であることに配慮してくれればいいのに	23	11.1
4. もう少し、同僚が手術後であることに配慮してくれればいいのに	17	8.2
5. もう少し、家族が手術後であることに配慮してくれればいいのに	20	9.7
6. 満足している	94	45.4
7. 不満足である	4	1.9
計	207	100



〈働いている女性〉

	集計数	%
1. もう少し、自宅療養を許して欲しかった	25	15.3
2. もう少し、楽な職場環境で働ければいいのに	15	9.2
3. もう少し、上司が手術後であることに配慮してくれればいいのに	19	11.7
4. もう少し、同僚が手術後であることに配慮してくれればいいのに	14	8.6
5. もう少し、家族が手術後であることに配慮してくれればいいのに	16	9.8
6. 満足している	71	43.6
7. 不満足である	3	1.8
計	163	100

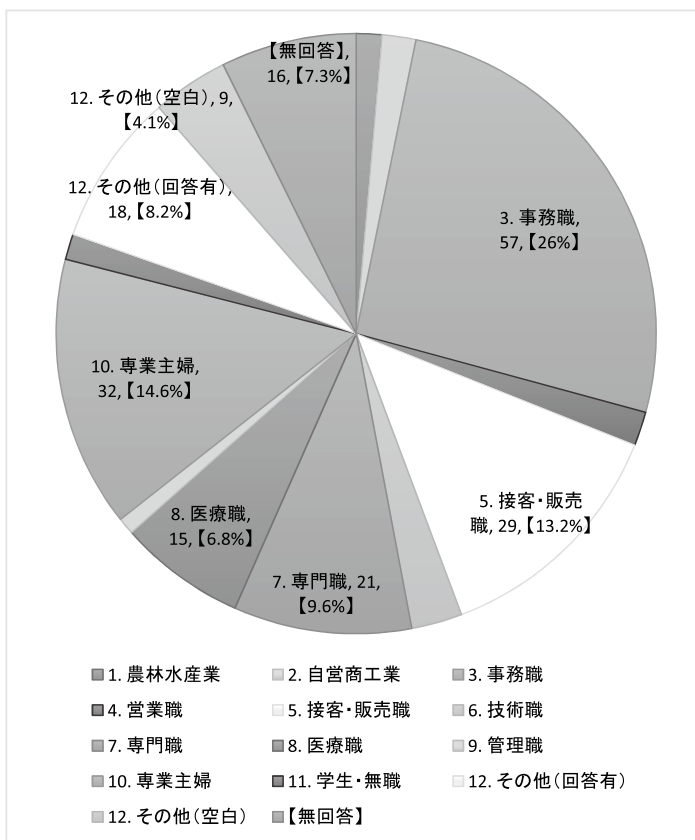


質問13：あなたの職業について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 農林水産業 2. 自営商工業 3. 事務職 4. 営業職 5. 接客・販売職 6. 技術職 7. 専門職
 8. 医療職 9. 管理職 10. 専業主婦 11. 学生・無職 12. その他（ ）

〈全体人数〉

	集計数	%
1. 農林水産業	3	1.4
2. 自営商工業	4	1.8
3. 事務職	57	26
4. 営業職	4	1.8
5. 接客・販売職	29	13.2
6. 技術職	6	2.7
7. 専門職	21	9.6
8. 医療職	15	6.8
9. 管理職	2	0.9
10. 専業主婦	32	14.6
11. 学生・無職	3	1.4
12. その他(回答有)	18	8.2
12. その他(空白)	9	4.1
【無回答】	16	7.3
計	219	100

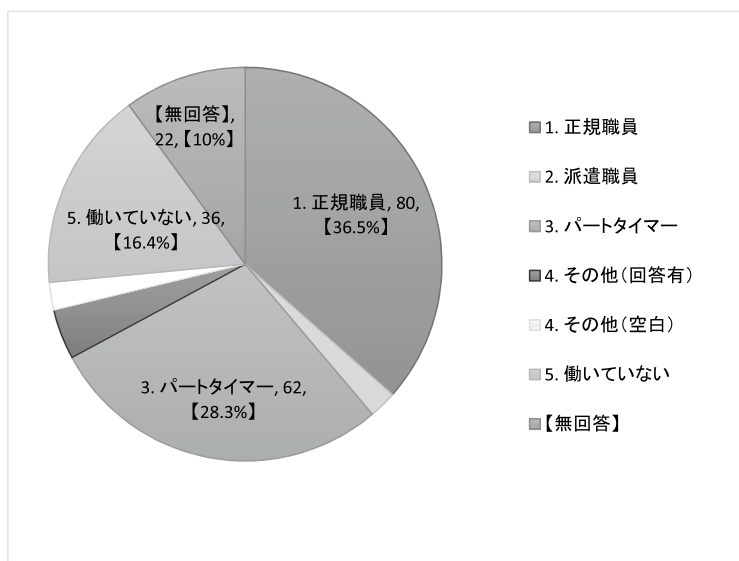


質問14：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 正規職員 2. 派遣職員 3. パートタイマー 4. その他（ ） 5. 働いていない

〈全体人数〉

	集計数	%
1. 正規職員	80	36.5
2. 派遣職員	5	2.3
3. パートタイマー	62	28.3
4. その他(回答有)	9	4.1
4. その他(空白)	5	2.3
5. 働いていない	36	16.4
【無回答】	22	10
計	219	100

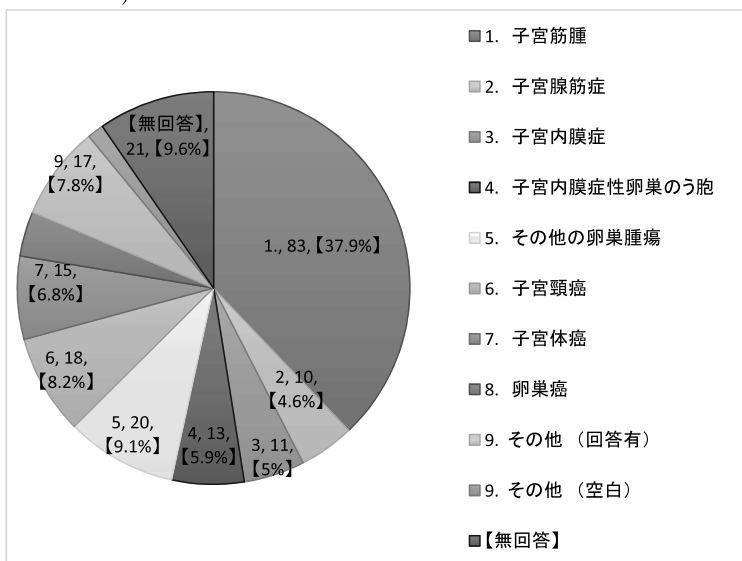


質問15：手術を受けた病気は何ですか？最も近い病態を一つ選んでください。-----

1. 子宮筋腫 2. 子宮腺筋症 3. 子宮内膜症 4. 子宮内膜症性卵巣のう胞 5. その他の卵巣腫瘍 6. 子宮頸癌
 7. 子宮体癌 8. 卵巣癌 9. その他 ()

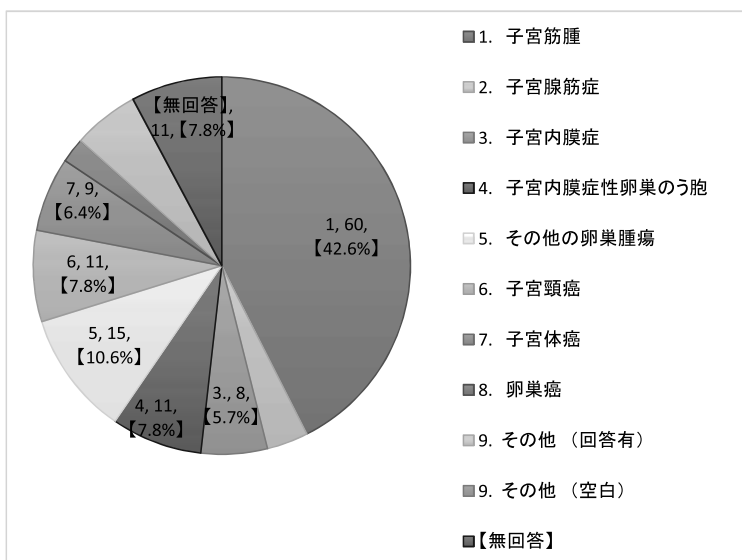
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 子宮筋腫	83	37.9
2. 子宮腺筋症	10	4.6
3. 子宮内膜症	11	5
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞	13	5.9
5. その他の卵巣腫瘍	20	9.1
6. 子宮頸癌	18	8.2
7. 子宮体癌	15	6.8
8. 卵巣癌	8	3.7
9. その他 (回答有)	17	7.8
9. その他 (空白)	3	1.4
【無回答】	21	9.6
計	219	100



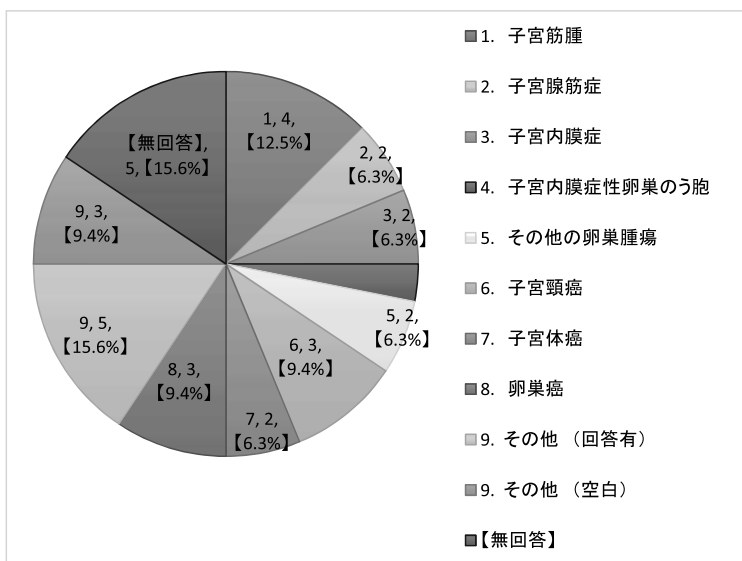
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 子宮筋腫	60	42.6
2. 子宮腺筋症	5	3.5
3. 子宮内膜症	8	5.7
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞	11	7.8
5. その他の卵巣腫瘍	15	10.6
6. 子宮頸癌	11	7.8
7. 子宮体癌	9	6.4
8. 卵巣癌	3	2.1
9. その他 (回答有)	8	5.7
9. その他 (空白)	0	0
【無回答】	11	7.8
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 子宮筋腫	4	12.5
2. 子宮腺筋症	2	6.3
3. 子宮内膜症	2	6.3
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞	1	3.1
5. その他の卵巣腫瘍	2	6.3
6. 子宮頸癌	3	9.4
7. 子宮体癌	2	6.3
8. 卵巣癌	3	9.4
9. その他 (回答有)	5	15.6
9. その他 (空白)	3	9.4
【無回答】	5	15.6
計	32	100



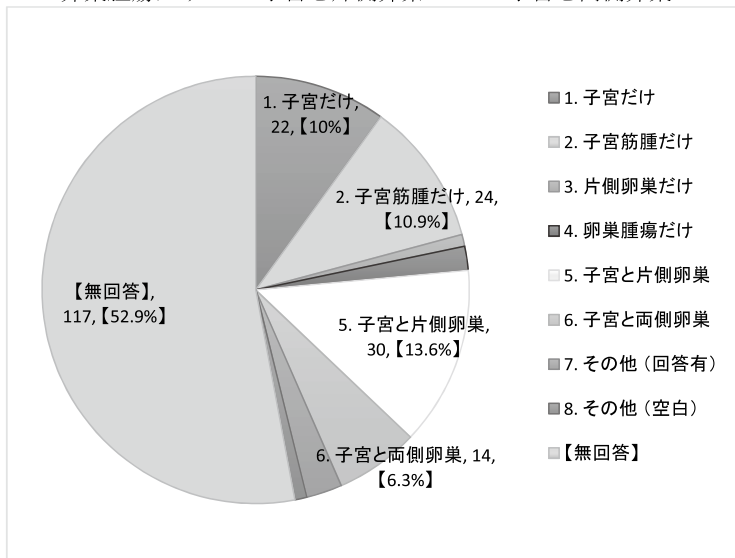
上記「1. 2. 3.」とお答えされた方へ

質問15-2：手術で摘出したのは？

1. 子宮だけ 2. 子宮筋腫だけ 3. 片側卵巣だけ 4. 卵巣腫瘍だけ 5. 子宮と片側卵巣 6. 子宮と両側卵巣
7. その他 ()

〈全体人数〉

	集計数	%
1. 子宮だけ	22	10
2. 子宮筋腫だけ	24	10.9
3. 片側卵巣だけ	2	0.9
4. 卵巣腫瘍だけ	4	1.8
5. 子宮と片側卵巣	30	13.6
6. 子宮と両側卵巣	14	6.3
7. その他(回答有)	6	2.7
8. その他(空白)	2	0.9
【無回答】	117	52.9
計	221	100



質問16：これから手術を受ける働く女性に、何かアドバイスがあればご自由に記入してください。

〈全体人数〉

	集計数	%
回答有	78	35.6
【無回答】	141	64.4
計	219	100

質問17：これから働く女性を受け入れる病院に、何かアドバイスがあればご自由に記入してください。

〈全体人数〉

	集計数	%
回答有	49	22.4
【無回答】	170	77.6
計	219	100

④一般女性へのアンケート調査

(職場や自治会の皆様、人間ドックを受診されている皆様へ)

一般婦人 2,353 名のうち、就労女性では「40 歳～49 歳」の 40 歳代が 31.5%を占め、次いで「50 歳～59 歳」の 50 歳代が 23.3%を占めていた。一方、専業主婦では「60 歳～69 歳」の 60 歳代が 39.9%であり、次いで 40 歳代が 18.4%であった。なお、就労女性の 70%が「正規職員」であり、「パートタイマー」が 20.3%であった。

「現在、不安や体調不良を自覚しているか」との問いに、就労女性の 15%が「腰痛」を訴え、9.8%が「更年期障害」を、9.6%が「月経痛、月経の量が多い」を、7.6%が「月経前に具合が悪い」を訴えていた。一方、専業主婦では 19.7%が「腰痛」を訴え、7.5%が「更年期障害」を、6.6%が「月経前に具合が悪い」を訴えていた。「月経痛、月経の量が多い」「月経と月経の間の痛み」「月経前に具合が悪い」「不正出血」を加えた月経関連症状の合計は就労女性では 21.6%であり、専業主婦では 11.9%と就労女性の約半分であった。なお、これといった訴えを自覚していない女性は、就労女性では 28.2%であり、専業主婦では 35.5%であった。自分が感じている不安や体の不調について、就労女性も、専業主婦も「周囲からよく理解されている」と感じていた。

もしも不正出血が 2、3 回続いた場合、就労女性では「産婦人科（個人病院、開業医）を受診する」が圧倒的に多く 50.5%であり、次いで「様子を見る」が 22.1%であった。一方、専業主婦では同様に 50%の女性が「産婦人科（個人病院、開業医）を受診する」と答え、次いで 20.2%が「産婦人科（総合病院）を受診する」と答えていた。もしも月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支えた場合、就労女性では 45.1%の女性が「様子を見る」と答え、次いで 25.4%の女性が「産婦人科（個人病院、開業医）を受診する」と答えていた。一方、専業主婦では 30.3%の女性が「様子を見る」と答え、次いで 27.2%の女性が「産婦人科（個人病院、開業医）を受診する」と答えていた。

痛みのために日常生活に支障をきたし、鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多くなると就労女性では 62.8%の女性が産婦人科を受診すると答え、一方、専業主婦でも 43%の女性が同様の答えであった。

この 1 か月間の健康状態は、就労女性では「とても良い」が 9.6%、「良い」が 56.1%であった。一方、専業主婦では「とても良い」が 8.3%、「良い」が 62.7%であった。「この 1 か月間に、体を使う日常活動が身体的な理由で妨げられたか」どうかの質問に対して、就労女性と専業主婦ともにほぼ同じような回答であった。また、「いつもの仕事をするのが身体的な理由で妨げられたか」どうかの質問に対しても、就労女性と専業主婦とも同じような回答であった。この 1 か月間の体の痛みに対しても、就労女性と専業主婦でほぼ同じような回答であった。「過去 1 か月間、どのくらい元気でしたか」との問いに対して、就労女性では「非常に元気だった」が 5.1%、「かなり元気だった」が 34.2%であった。一方、専業主婦では「非常に元気だった」が 5.3%、「かなり元気だった」が 40.8%であった。つまり、専業主婦は就労女性よりも、かなり元気だったことが伺えた。「この 1 か月間に、心理的な問題でどれくらい悩まされたか」との回答は就労女性と専業主婦ともにほぼ同じようであった。「この 1 か月間に、日常行う活動が心理的な理由でどれくらい妨げられたか」との回答は就労女性と専業主婦ともほぼ同様であった。

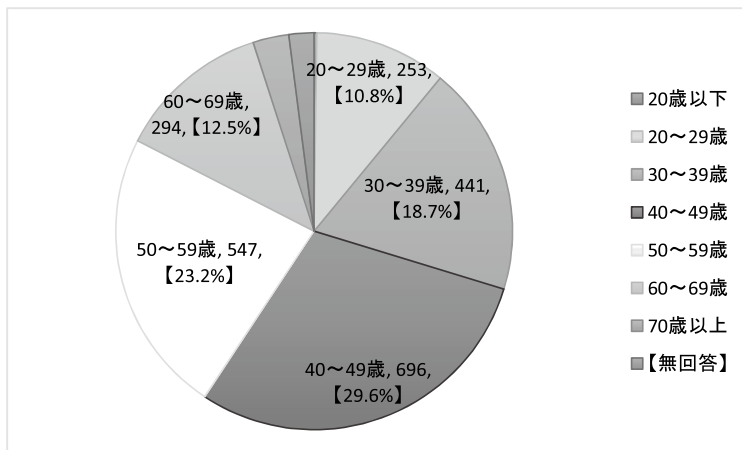
職場や自治会の皆様、人間ドックを受診されている皆様へ

集計総数 2,353

質問1：あなたの年齢をお教えてください。----- 歳

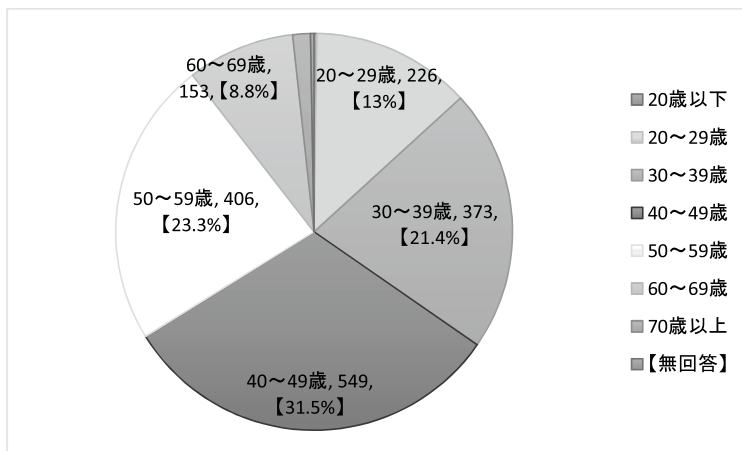
〈全体人数〉

	集計数	%
20歳以下	5	0.2
20～29歳	253	10.8
30～39歳	441	18.7
40～49歳	696	29.6
50～59歳	547	23.2
60～69歳	294	12.5
70歳以上	69	2.9
【無回答】	48	2
計	2,353	100



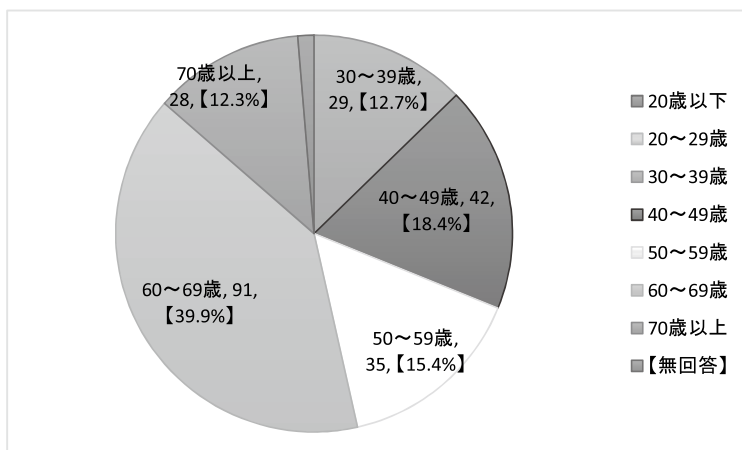
〈働いている女性〉

	集計数	%
20歳以下	4	0.2
20～29歳	226	13
30～39歳	373	21.4
40～49歳	549	31.5
50～59歳	406	23.3
60～69歳	153	8.8
70歳以上	25	1.4
【無回答】	5	0.3
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	29	12.7
40～49歳	42	18.4
50～59歳	35	15.4
60～69歳	91	39.9
70歳以上	28	12.3
【無回答】	3	1.3
計	228	100

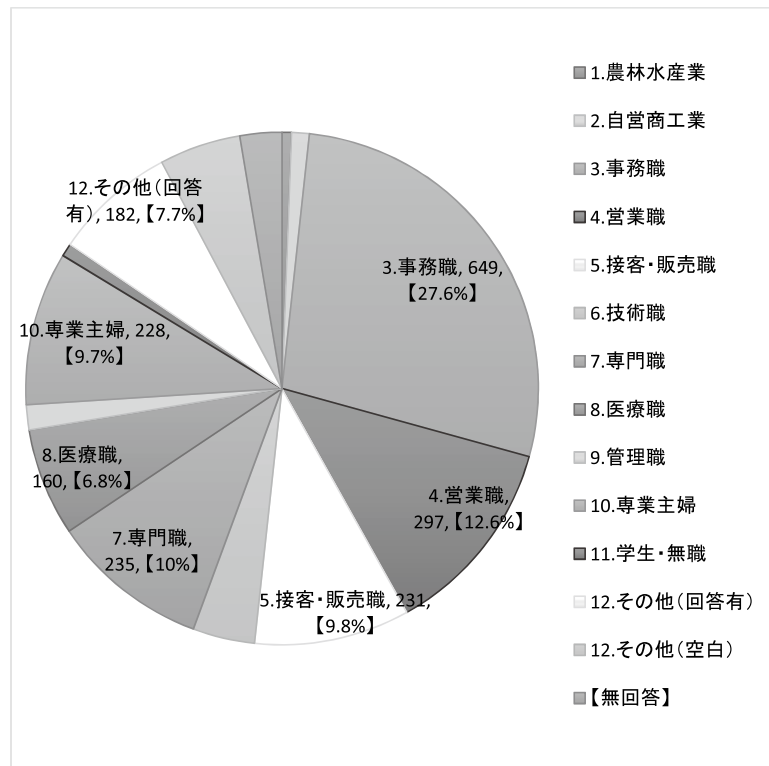


質問2：あなたの職業について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 農林水産業 2. 自営商工業 3. 事務職 4. 営業職 5. 接客・販売職 6. 技術職
 7. 専門職 8. 医療職 9. 管理職 10. 専業主婦 11. 学生・無職
 12. その他（ ）

〈全体人数〉

	集計数	%
1. 農林水産業	14	0.6
2. 自営商工業	26	1.1
3. 事務職	649	27.6
4. 営業職	297	12.6
5. 接客・販売職	231	9.8
6. 技術職	92	3.9
7. 専門職	235	10
8. 医療職	160	6.8
9. 管理職	37	1.6
10. 専業主婦	228	9.7
11. 学生・無職	19	0.8
12. その他（回答有）	182	7.7
12. その他（空白）	121	5.1
【無回答】	62	2.6
計	2,353	100

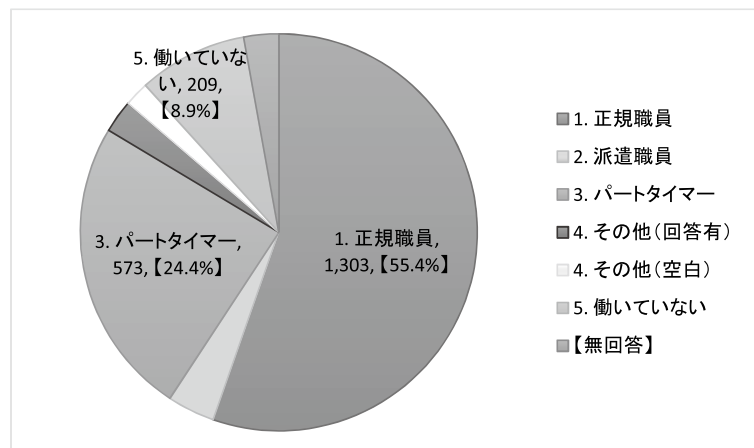


質問3：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 正規職員 2. 派遣職員 3. パートタイマー 4. その他（ ） 5. 働いていない

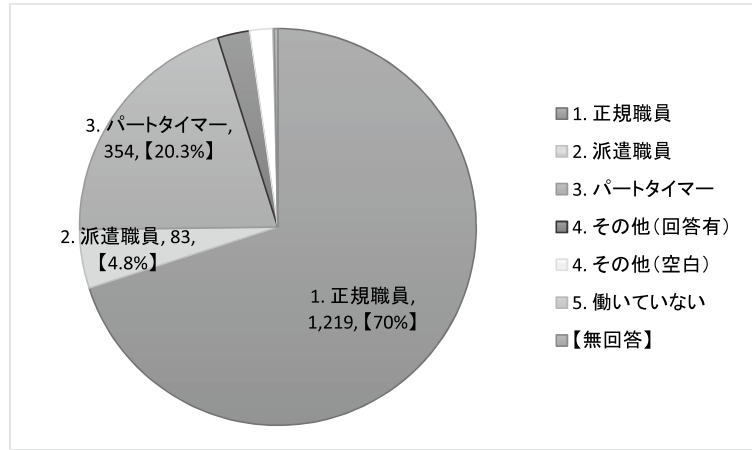
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 正規職員	1,303	55.4
2. 派遣職員	91	3.9
3. パートタイマー	573	24.4
4. その他（回答有）	63	2.7
4. その他（空白）	47	2
5. 働いていない	209	8.9
【無回答】	67	2.8
計	2,353	100



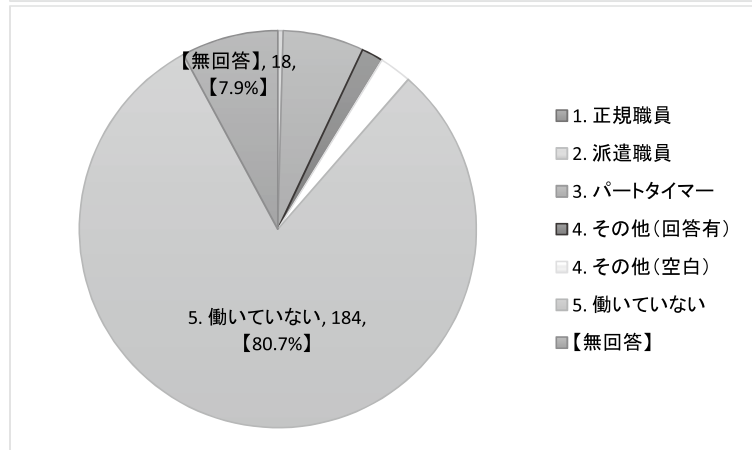
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 正規職員	1,219	70
2. 派遣職員	83	4.8
3. パートタイマー	354	20.3
4. その他(回答有)	45	2.6
4. その他(空白)	33	1.9
5. 働いていない	2	0.1
【無回答】	5	0.3
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 正規職員	0	0
2. 派遣職員	1	0.4
3. パートタイマー	15	6.6
4. その他(回答有)	4	1.8
4. その他(空白)	6	2.6
5. 働いていない	184	80.7
【無回答】	18	7.9
計	228	100

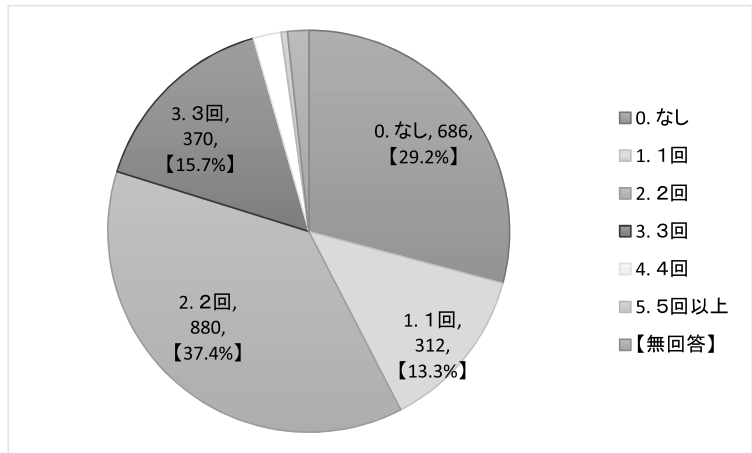


質問4： これまでに出産した回数は何回ですか？

0. なし 1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回以上

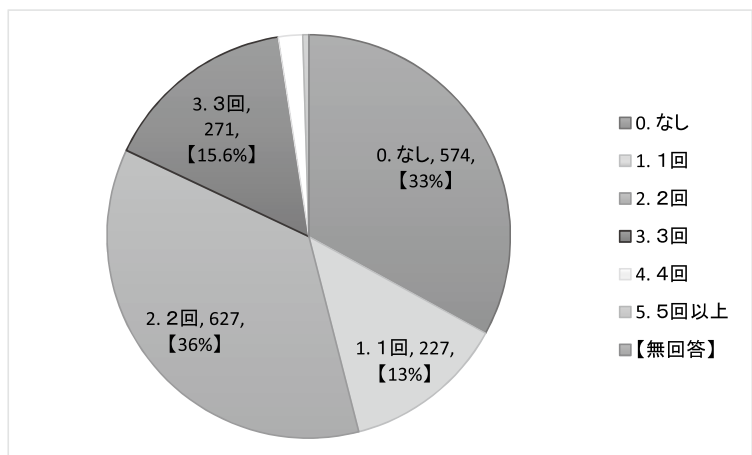
〈全体人数〉

	集計数	%
0. なし	686	29.2
1. 1回	312	13.3
2. 2回	880	37.4
3. 3回	370	15.7
4. 4回	53	2.3
5. 5回以上	12	0.5
【無回答】	40	1.7
計	2,353	100



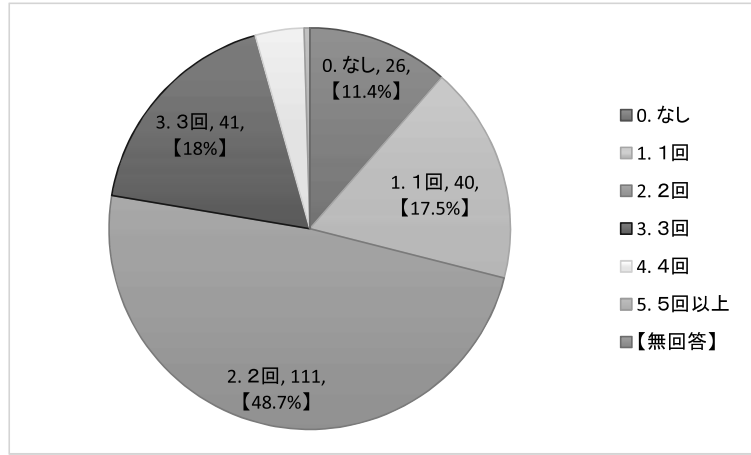
〈働いている女性〉

	集計数	%
0. なし	574	33
1. 1回	227	13
2. 2回	627	36
3. 3回	271	15.6
4. 4回	34	2
5. 5回以上	8	0.5
【無回答】	0	0
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
0. なし	26	11.4
1. 1回	40	17.5
2. 2回	111	48.7
3. 3回	41	18
4. 4回	9	3.9
5. 5回以上	1	0.4
【無回答】	0	0
計	228	100

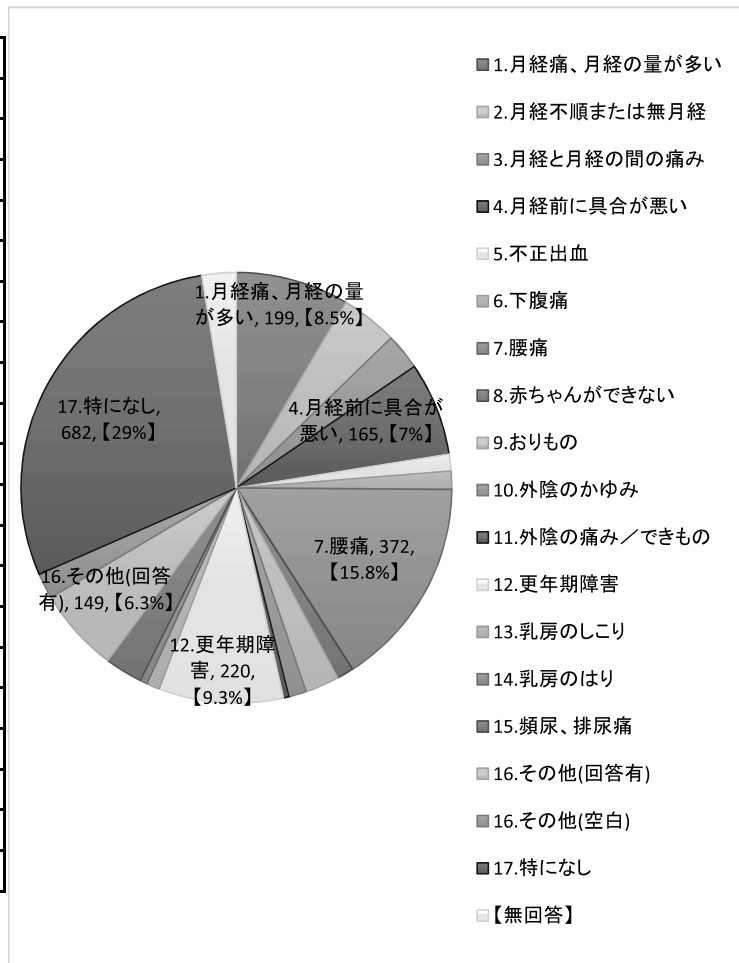


質問5：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 月経痛、月経の量が多い 2. 月経不順または無月経 3. 月経と月経の間の痛み 4. 月経前に具合が悪い
5. 不正出血 6. 下腹痛 7. 腰痛 8. 赤ちゃんができない 9. おりもの 10. 外陰のかゆみ
11. 外陰の痛み／できもの 12. 更年期障害 13. 乳房のしこり 14. 乳房のはり 15. 頻尿、排尿痛
16. その他 () 17. 特になし

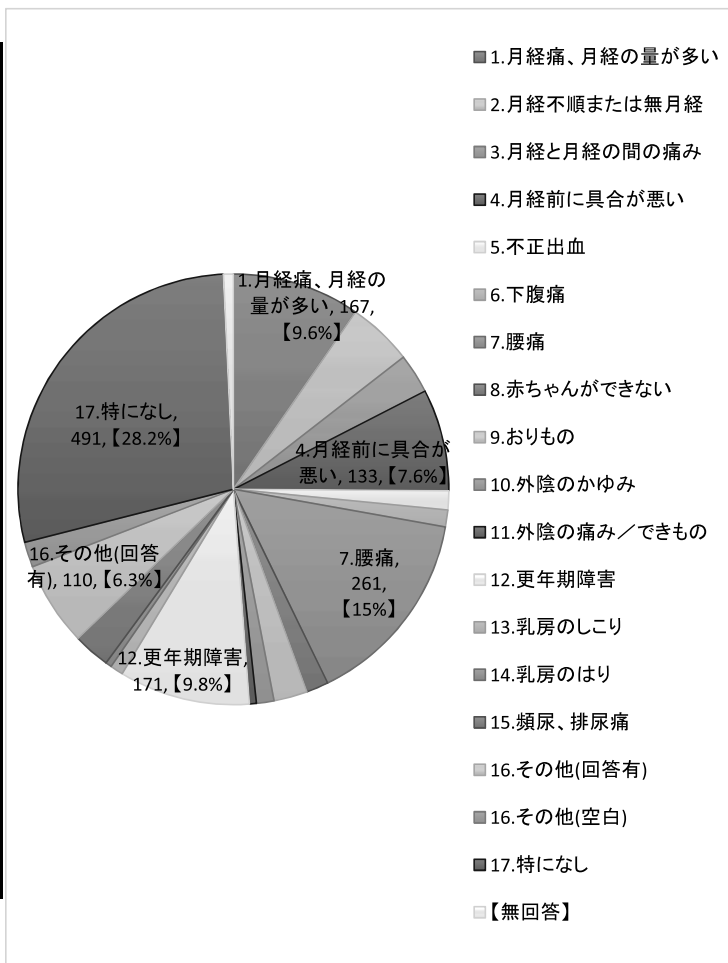
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	199	8.5
2. 月経不順または無月経	101	4.3
3. 月経と月経の間の痛み	64	2.7
4. 月経前に具合が悪い	165	7
5. 不正出血	30	1.3
6. 下腹痛	32	1.4
7. 腰痛	372	15.8
8. 赤ちゃんができない	30	1.3
9. おりもの	60	2.5
10. 外陰のかゆみ	31	1.3
11. 外陰の痛み／できもの	10	0.4
12. 更年期障害	220	9.3
13. 乳房のしこり	23	1
14. 乳房のはり	13	0.6
15. 頻尿、排尿痛	66	2.8
16. その他(回答有)	149	6.3
16. その他(空白)	45	1.9
17. 特になし	682	29
【無回答】	61	2.6
計	2,353	100



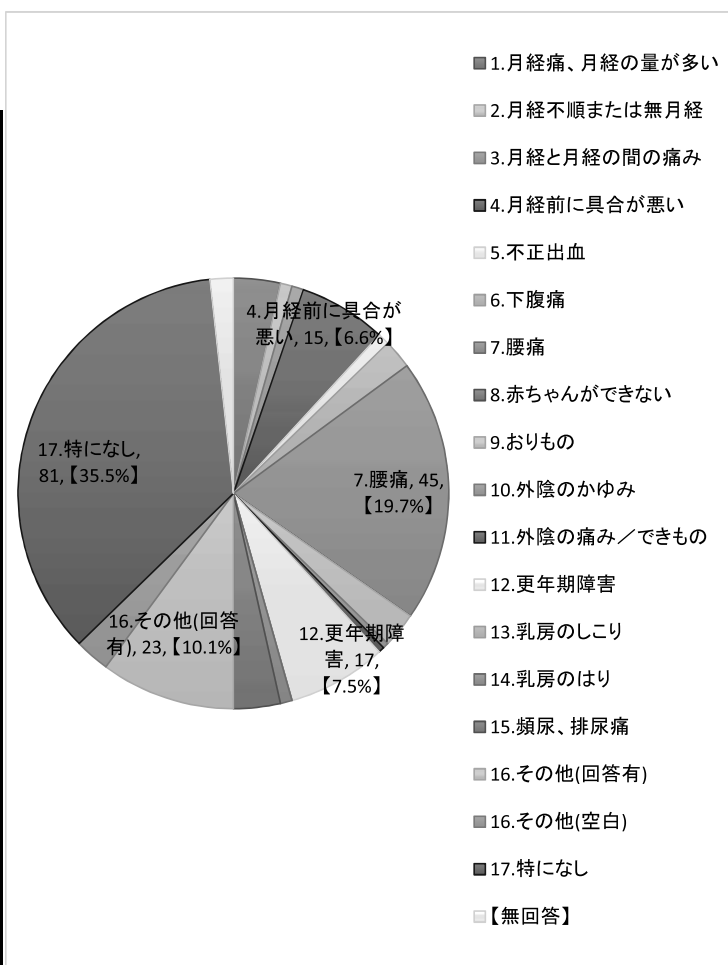
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	167	9.6
2. 月経不順または無月経	85	4.9
3. 月経と月経の間の痛み	52	3
4. 月経前に具合が悪い	133	7.6
5. 不正出血	25	1.4
6. 下腹痛	22	1.3
7. 腰痛	261	15
8. 赤ちゃんだできない	29	1.7
9. おりもの	44	2.5
10. 外陰のかゆみ	23	1.3
11. 外陰の痛み／できもの	9	0.5
12. 更年期障害	171	9.8
13. 乳房のしこり	17	1
14. 乳房のはり	8	0.5
15. 頻尿、排尿痛	48	2.8
16. その他(回答有)	110	6.3
16. その他(空白)	33	1.9
17. 特になし	491	28.2
【無回答】	13	0.7
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	8	3.5
2. 月経不順または無月経	2	0.9
3. 月経と月経の間の痛み	2	0.9
4. 月経前に具合が悪い	15	6.6
5. 不正出血	2	0.9
6. 下腹痛	5	2.2
7. 腰痛	45	19.7
8. 赤ちゃんだできない	0	0
9. おりもの	6	2.6
10. 外陰のかゆみ	1	0.4
11. 外陰の痛み／できもの	1	0.4
12. 更年期障害	17	7.5
13. 乳房のしこり	0	0
14. 乳房のはり	2	0.9
15. 頻尿、排尿痛	8	3.5
16. その他(回答有)	23	10.1
16. その他(空白)	6	2.6
17. 特になし	81	35.5
【無回答】	4	1.8
計	228	100

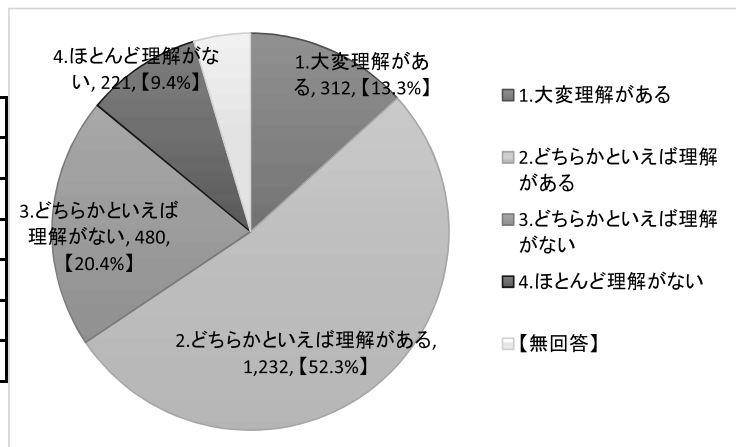


質問6：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか？—

1. 大変理解がある
2. どちらかといえば理解がある
3. どちらかといえば理解がない
4. ほとんど理解がない

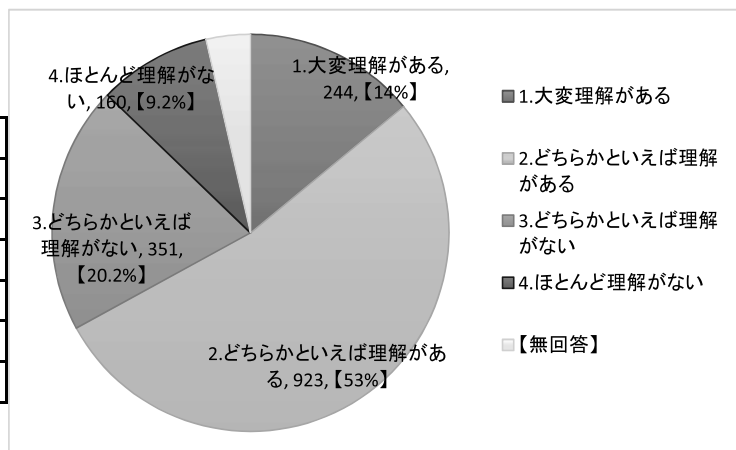
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	312	13.3
2. どちらかといえば理解がある	1,232	52.3
3. どちらかといえば理解がない	480	20.4
4. ほとんど理解がない	221	9.4
【無回答】	109	4.6
計	2,354	100



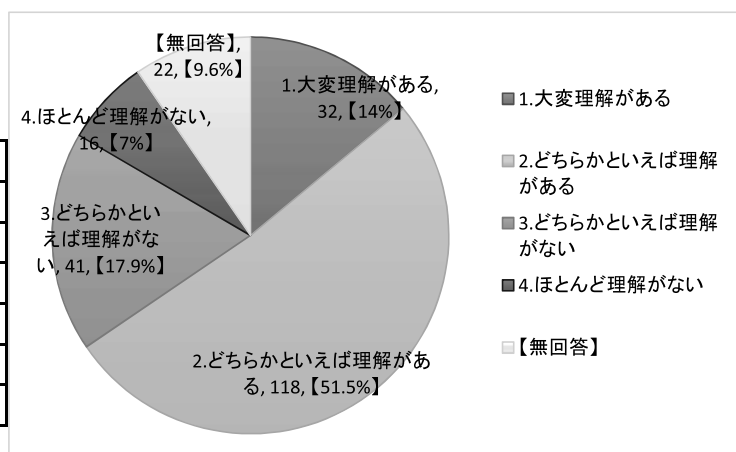
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	244	14
2. どちらかといえば理解がある	923	53
3. どちらかといえば理解がない	351	20.2
4. ほとんど理解がない	160	9.2
【無回答】	63	3.6
計	1,741	100

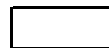


〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	32	14
2. どちらかといえば理解がある	118	51.5
3. どちらかといえば理解がない	41	17.9
4. ほとんど理解がない	16	7
【無回答】	22	9.6
計	229	100



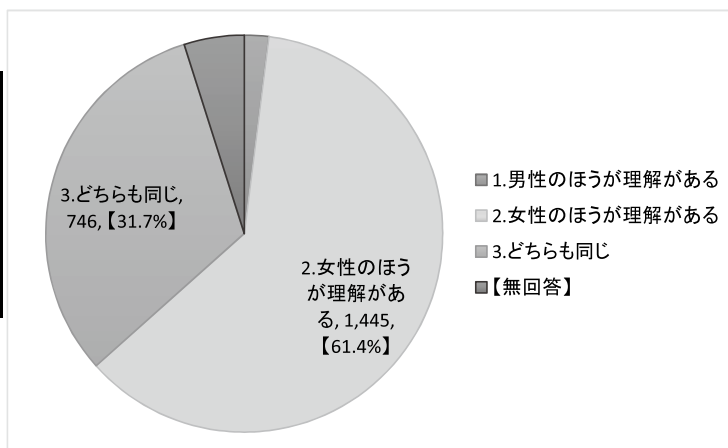
質問7：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性と女性のいずれから、より理解されていると思いますか？



1. 男性のほうが理解がある 2. 女性のほうが理解がある 3. どちらも同じ

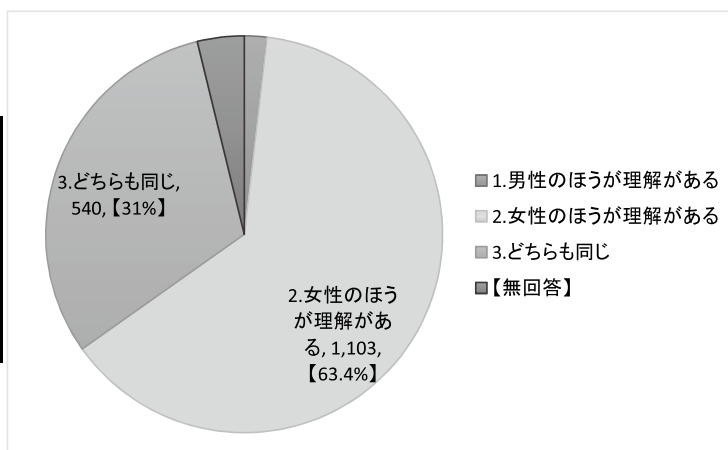
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 男性のほうが理解がある	47	2
2. 女性のほうが理解がある	1,445	61.4
3. どちらも同じ	746	31.7
【無回答】	115	4.9
計	2,353	100



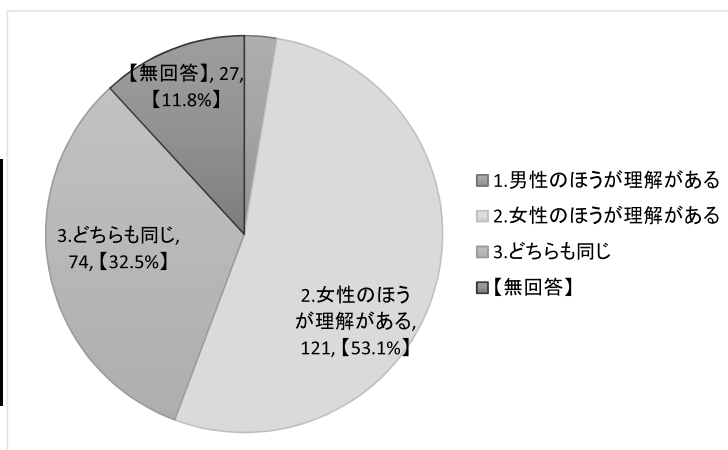
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 男性のほうが理解がある	32	1.8
2. 女性のほうが理解がある	1,103	63.4
3. どちらも同じ	540	31
【無回答】	66	3.8
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 男性のほうが理解がある	6	2.6
2. 女性のほうが理解がある	121	53.1
3. どちらも同じ	74	32.5
【無回答】	27	11.8
計	228	100



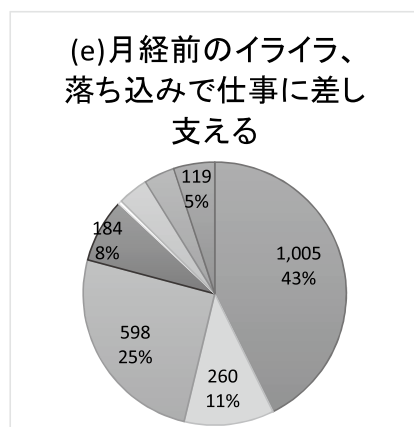
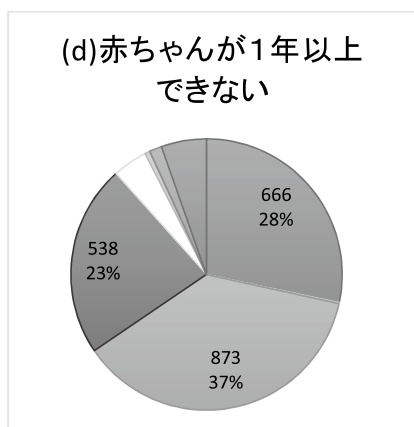
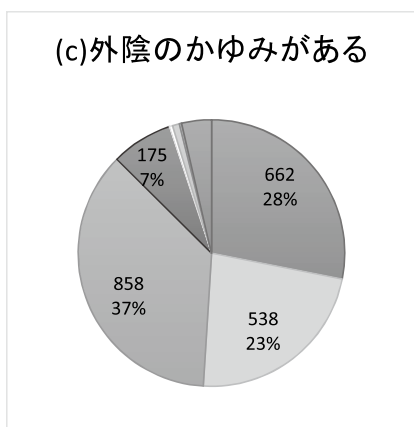
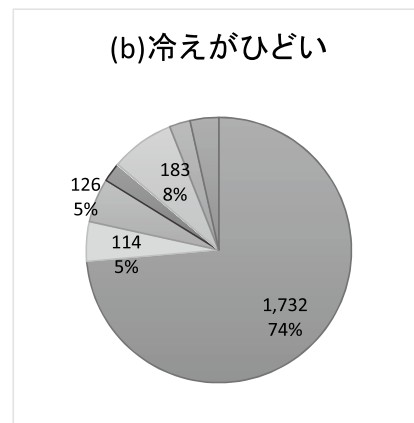
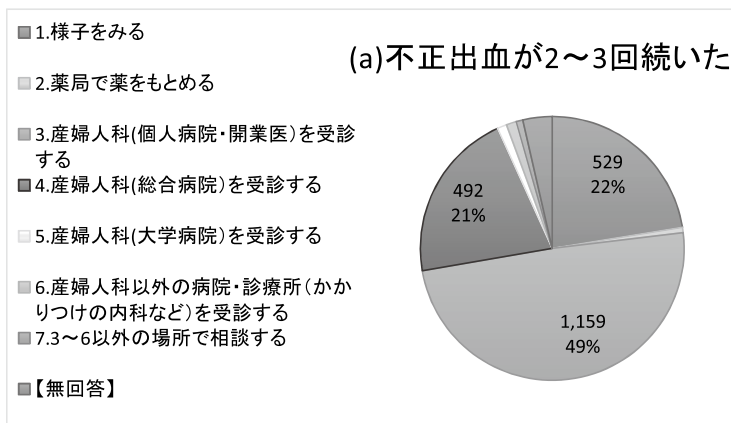
質問8：もしもあなたが次の(a)～(e)のような症状を初めて経験したと仮定して、あなたならどうしますか？それぞれ以下の1～7 中から選んでください。

- (a) 不正出血が2～3 回続いた-----
- (b) 冷えがひどい-----
- (c) 外陰のかゆみがある-----
- (d) 赤ちゃんが1年以上できない-----
- (e) 月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える-----

1. 様子を見る
2. 薬局で薬をもとめる
3. 産婦人科（個人病院・開業医）を受診する
4. 産婦人科（総合病院）を受診する
5. 産婦人科（大学病院）を受診する
6. 産婦人科以外の病院・診療所（かかりつけの内科など）を受診する
7. 3～6以外の場所で相談する

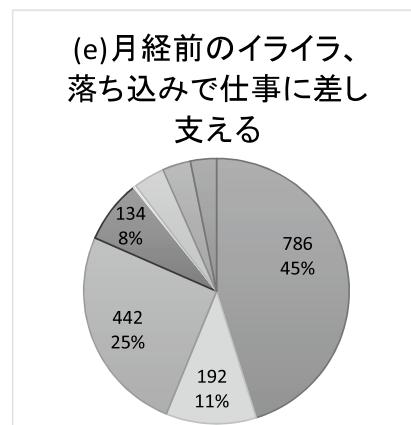
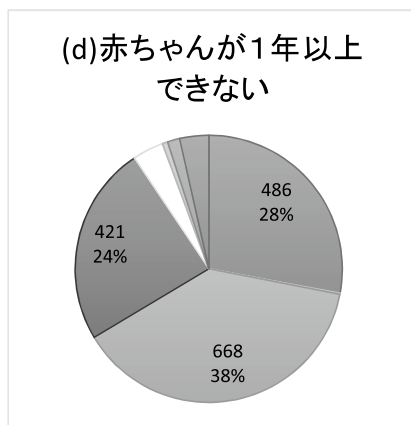
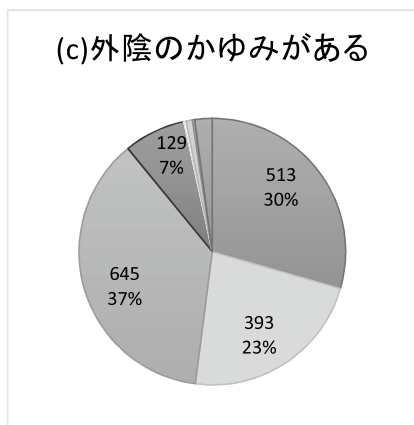
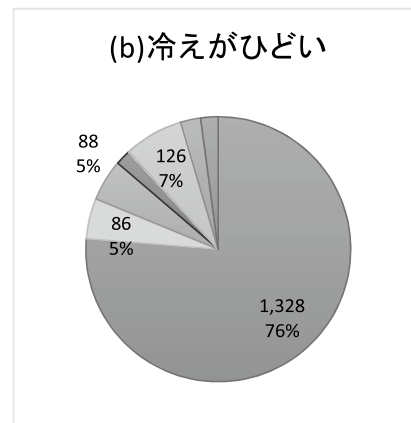
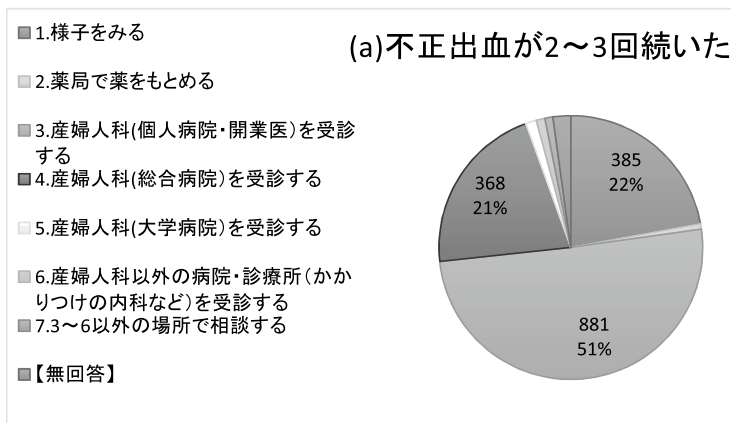
〈全体人数〉

	(a) 不正出血が2～3回続いた	(b) 冷えがひどい	(c) 外陰のかゆみがある	(d) 赤ちゃんが1年以上できない	(e) 月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える
1. 様子を見る	529	1,732	662	666	1,005
%	22.5	73.6	28.1	28.3	42.7
2. 薬局で薬をもとめる	15	114	538	4	260
%	0.6	4.8	22.9	0.2	11
3. 産婦人科(個人病院・開業医)を受診する	1,159	126	858	873	598
%	49.2	5.4	36.4	37.1	25.4
4. 産婦人科(総合病院)を受診する	492	54	175	538	184
%	20.9	2.3	7.4	22.8	7.8
5. 産婦人科(大学病院)を受診する	28	2	10	98	11
%	1.2	0.1	0.4	4.2	0.5
6. 産婦人科以外の病院・診療所(かかりつけの内科など)を受診する	29	183	20	14	88
%	1.2	7.8	0.8	0.6	3.7
7. 3～6以外の場所で相談する	19	60	6	35	89
%	0.8	2.5	0.3	1.5	3.8
【無回答】	85	82	85	127	119
%	3.6	3.5	3.6	5.4	5.1
計	2,356	2,353	2,354	2,355	2,354



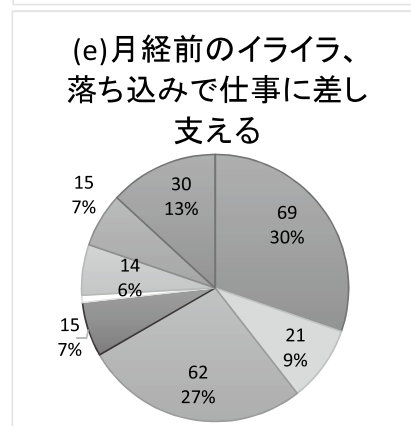
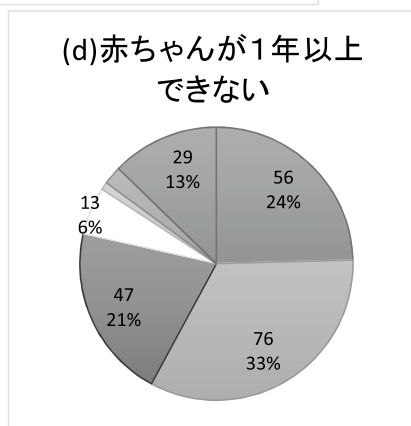
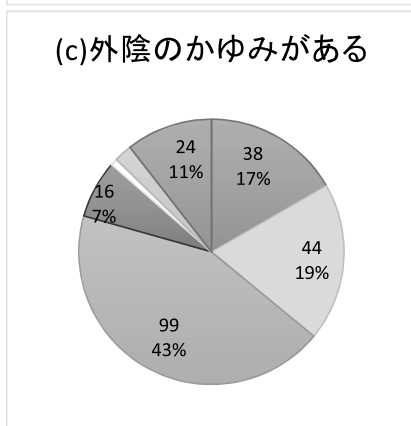
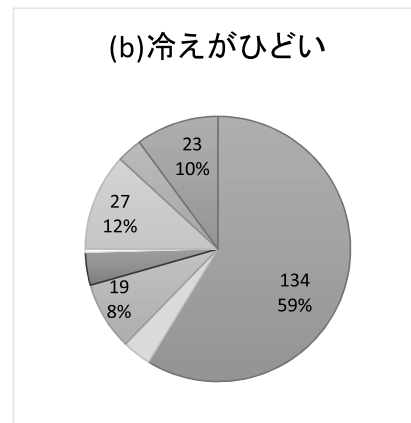
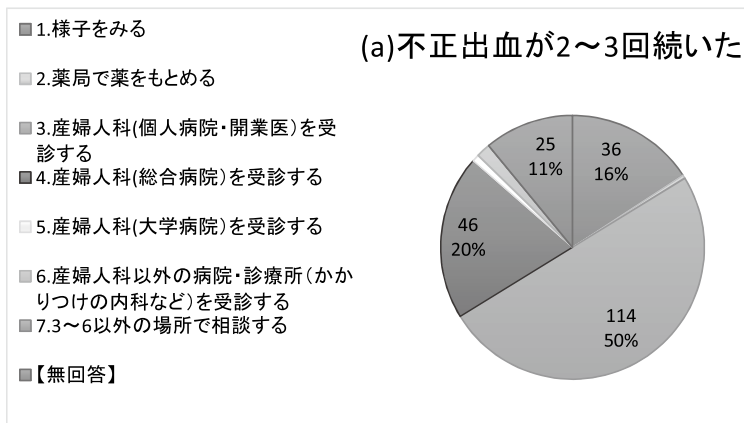
〈働いている女性〉

	(a)不正出血が2~3回続いた	(b)冷えがひどい	(c)外陰のかゆみがある	(d)赤ちゃんが1年以上できない	(e)月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える
1.様子を見る	385	1,328	513	486	786
%	22.1	76.3	29.5	27.9	45.1
2.薬局で薬をもとめる	12	86	393	3	192
%	0.7	4.9	22.6	0.2	11
3.産婦人科(個人病院・開業医)を受診する	881	88	645	668	442
%	50.5	5.1	37	38.3	25.4
4.産婦人科(総合病院)を受診する	368	32	129	421	134
%	21.1	1.8	7.4	24.2	7.7
5.産婦人科(大学病院)を受診する	23	1	6	66	6
%	1.3	0.1	0.3	3.8	0.3
6.産婦人科以外の病院・診療所(かかりつけの内科など)を受診する	19	126	13	11	66
%	1.1	7.2	0.7	0.6	3.8
7.3~6以外の場所で相談する	17	43	5	26	60
%	1	2.5	0.3	1.5	3.4
【無回答】	38	37	37	61	55
%	2.2	2.1	2.1	3.5	3.2
計	1,743	1,741	1,741	1,742	1,741

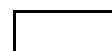


〈専業主婦〉

	(a)不正出血が2~3回続いた	(b)冷えがひどい	(c)外陰のかゆみがある	(d)赤ちゃんが1年以上できない	(e)月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える
1.様子を見る	36	134	38	56	69
%	15.8	58.8	16.7	24.6	30.3
2.薬局で薬をもとめる	1	8	44	0	21
%	0.4	3.5	19.3	0	9.2
3.産婦人科(個人病院・開業医)を受診する	114	19	99	76	62
%	50	8.3	43.4	33.3	27.2
4.産婦人科(総合病院)を受診する	46	9	16	47	15
%	20.2	3.9	7	20.6	6.6
5.産婦人科(大学病院)を受診する	2	1	2	13	2
%	0.9	0.4	0.9	5.7	0.9
6.産婦人科以外の病院・診療所(かかりつけの内科など)を受診する	4	27	5	2	14
%	1.8	11.8	2.2	0.9	6.1
7.3~6以外の場所で相談する	0	7	0	5	15
%	0	3.1	0	2.2	6.6
【無回答】	25	23	24	29	30
%	11	10.1	10.5	12.7	13.2
計	228	228	228	228	228



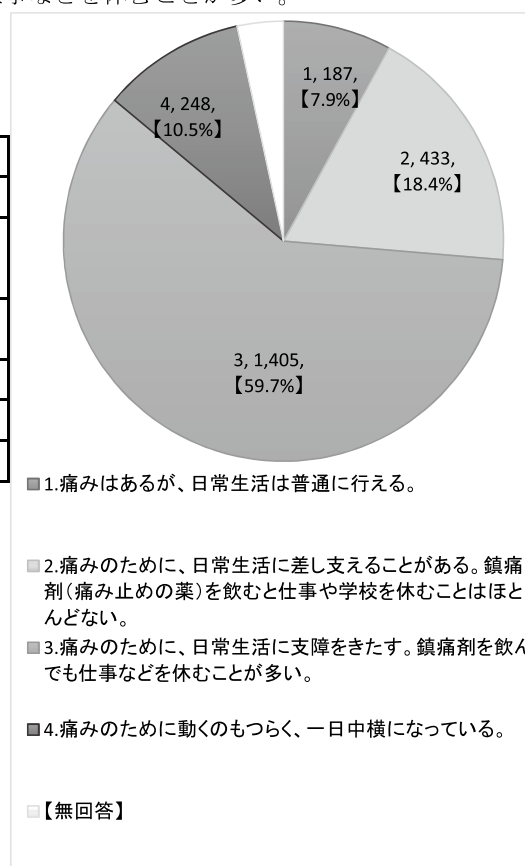
質問9：もしもあなたに月経時の痛み(下腹部痛、腰痛など)があると仮定して、次の1~4のうち、どれくらいの状態を経験したら、産婦人科を受診しようと思いますか？
最も近い状態を一つ選んでください。



1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。

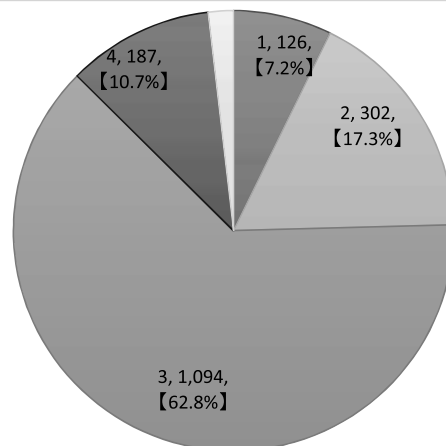
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	187	7.9
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	433	18.4
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	1,405	59.7
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	248	10.5
【無回答】	80	3.4
計	2,353	100



〈働いている女性〉

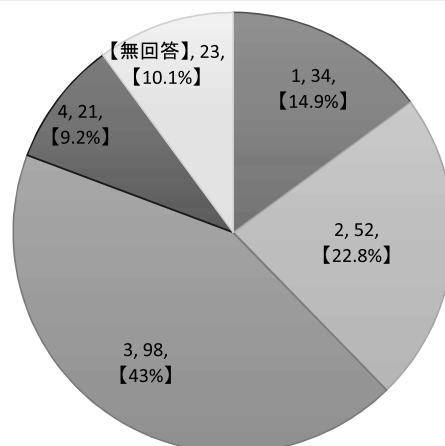
	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	126	7.2
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	302	17.3
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	1,094	62.8
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	187	10.7
【無回答】	32	1.8
計	1,741	100



- 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
- 2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
- 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
- 4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。
- 【無回答】

〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	34	14.9
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	52	22.8
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	98	43
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	21	9.2
【無回答】	23	10.1
計	228	100



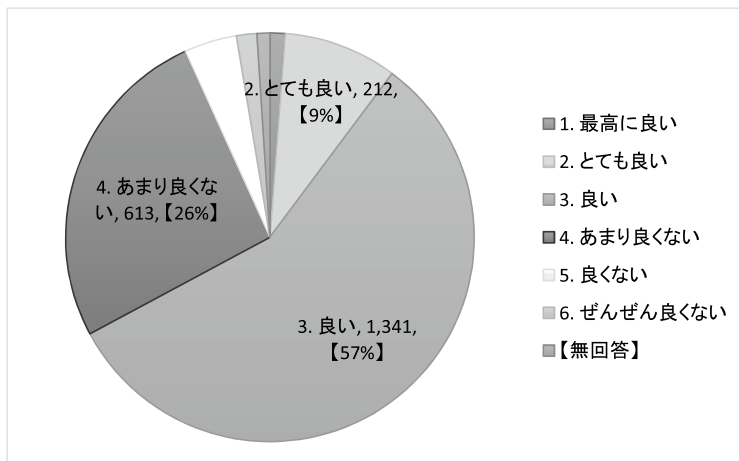
- 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
- 2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
- 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
- 4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。
- 【無回答】

質問10：全体的にみて、過去1か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？

1. 最高に良い 2. とても良い 3. 良い 4. あまり良くない 5. 良くない 6. ぜんぜん良くない

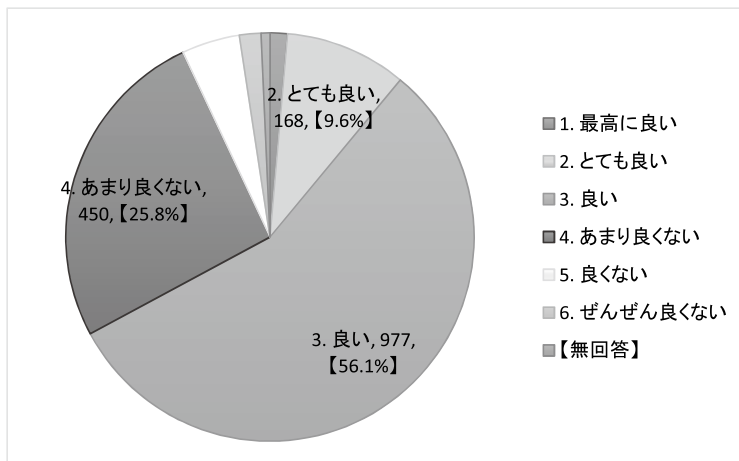
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 最高に良い	28	1.2
2. とても良い	212	9
3. 良い	1,341	57
4. あまり良くない	613	26
5. 良くない	98	4.2
6. ぜんぜん良くない	38	1.6
【無回答】	24	1
計	2,354	100



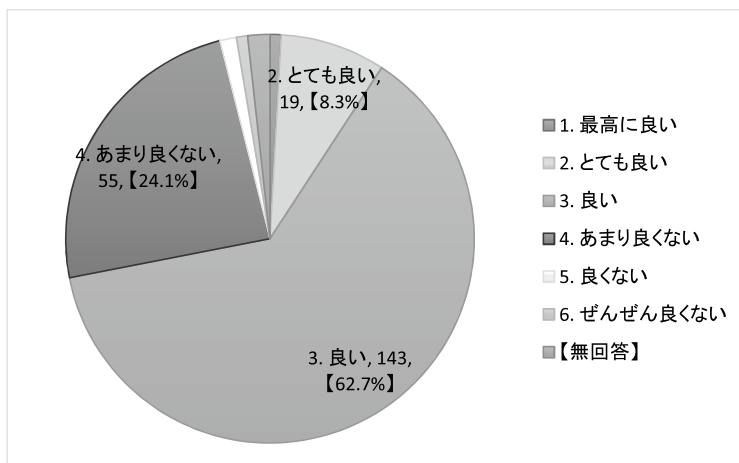
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 最高に良い	24	1.4
2. とても良い	168	9.6
3. 良い	977	56.1
4. あまり良くない	450	25.8
5. 良くない	80	4.6
6. ぜんぜん良くない	30	1.7
【無回答】	12	0.7
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 最高に良い	2	0.9
2. とても良い	19	8.3
3. 良い	143	62.7
4. あまり良くない	55	24.1
5. 良くない	3	1.3
6. ぜんぜん良くない	2	0.9
【無回答】	4	1.8
計	228	100

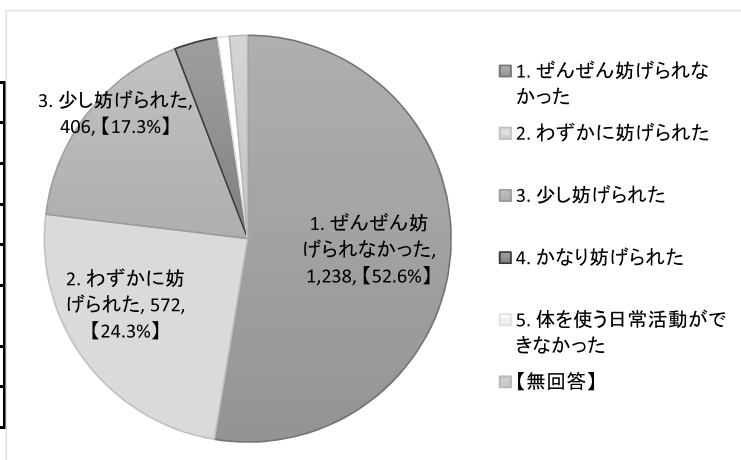


質問11：過去1か月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. 体を使う日常活動ができなかった

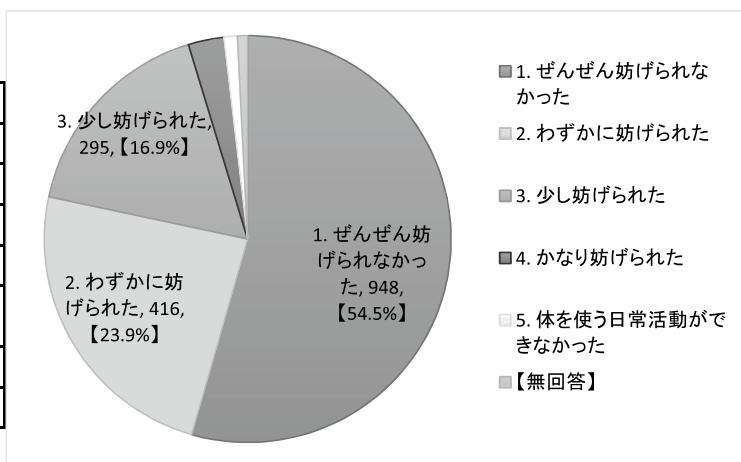
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	1,238	52.6
2. わずかに妨げられた	572	24.3
3. 少し妨げられた	406	17.3
4. かなり妨げられた	81	3.4
5. 体を使う日常活動ができなかった	22	0.9
【無回答】	34	1.4
計	2,353	100



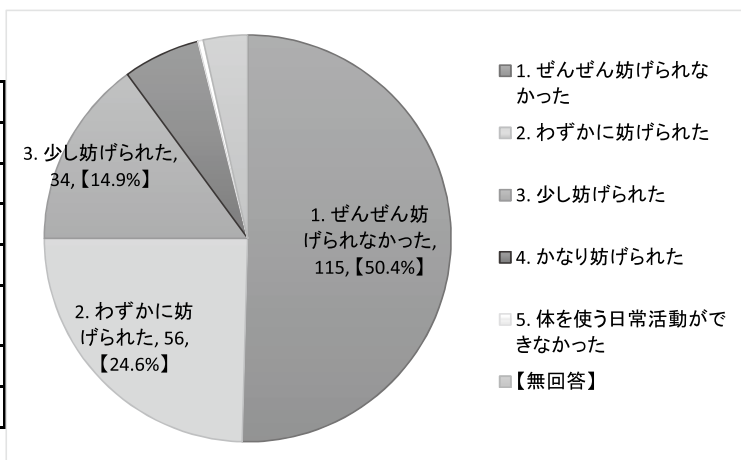
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	948	54.5
2. わずかに妨げられた	416	23.9
3. 少し妨げられた	295	16.9
4. かなり妨げられた	49	2.8
5. 体を使う日常活動ができなかった	19	1.1
【無回答】	14	0.8
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	115	50.4
2. わずかに妨げられた	56	24.6
3. 少し妨げられた	34	14.9
4. かなり妨げられた	14	6.1
5. 体を使う日常活動ができなかった	1	0.4
【無回答】	8	3.5
計	228	100

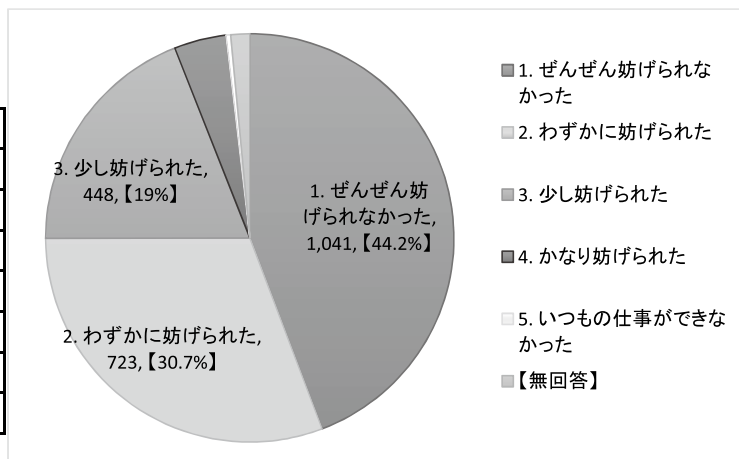


質問12：過去1か月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. いつもの仕事ができなかった

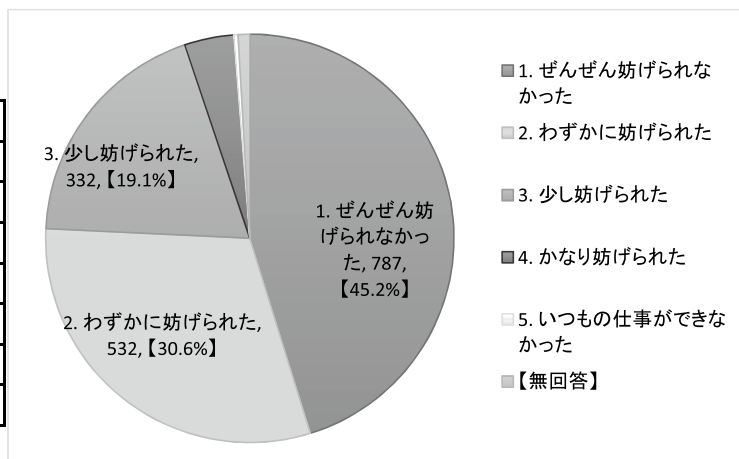
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	1,041	44.2
2. わずかに妨げられた	723	30.7
3. 少し妨げられた	448	19
4. かなり妨げられた	97	4.1
5. いつもの仕事ができなかった	9	0.4
【無回答】	35	1.5
計	2,353	100



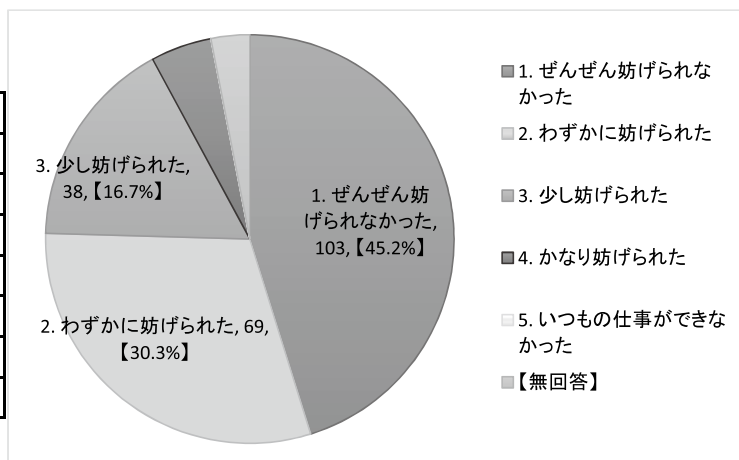
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	787	45.2
2. わずかに妨げられた	532	30.6
3. 少し妨げられた	332	19.1
4. かなり妨げられた	68	3.9
5. いつもの仕事ができなかった	6	0.3
【無回答】	16	0.9
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	103	45.2
2. わずかに妨げられた	69	30.3
3. 少し妨げられた	38	16.7
4. かなり妨げられた	11	4.8
5. いつもの仕事ができなかった	0	0
【無回答】	7	3.1
計	228	100

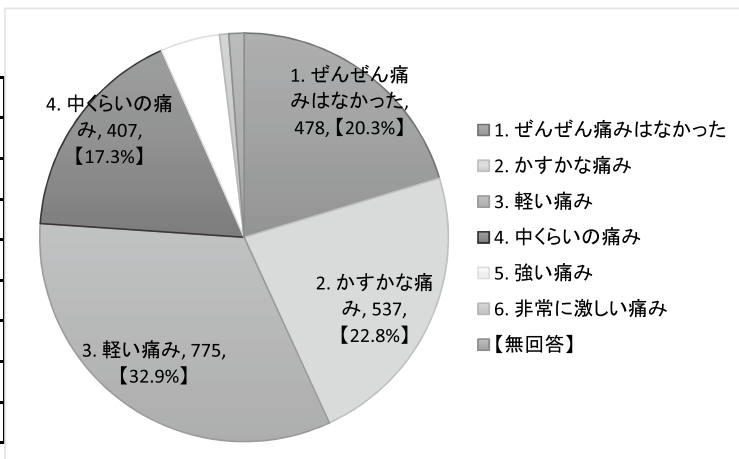


質問13：過去1か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？

1. ぜんぜん痛みはなかった 2. かすかな痛み 3. 軽い痛み 4. 中くらいの痛み 5. 強い痛み
6. 非常に激しい痛み

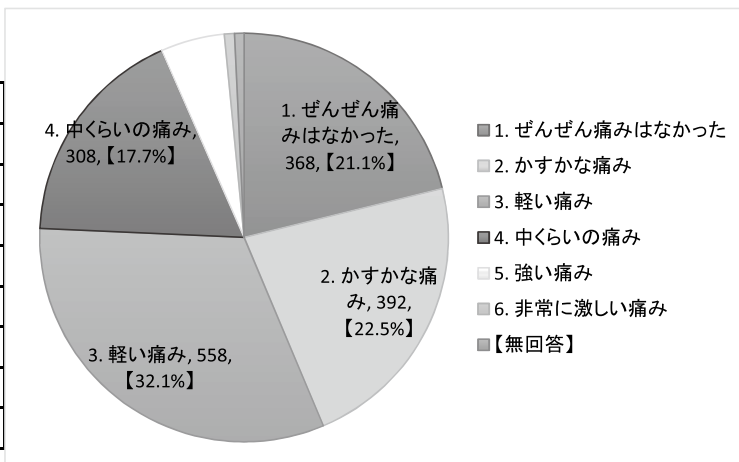
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	478	20.3
2. かすかな痛み	537	22.8
3. 軽い痛み	775	32.9
4. 中くらいの痛み	407	17.3
5. 強い痛み	111	4.7
6. 非常に激しい痛み	17	0.7
【無回答】	28	1.2
計	2,353	100



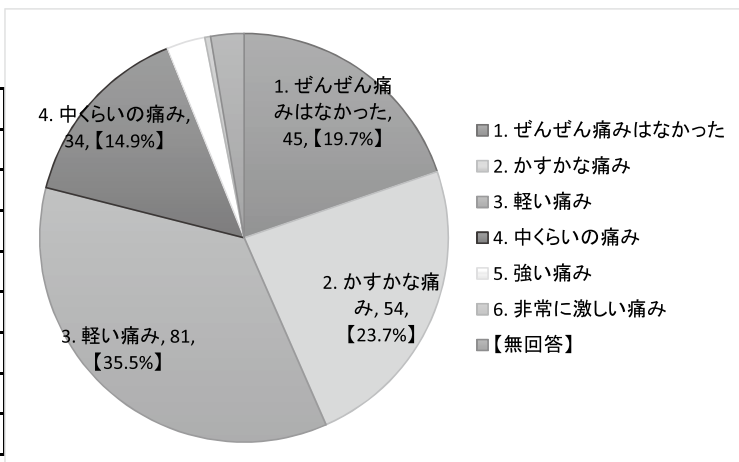
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	368	21.1
2. かすかな痛み	392	22.5
3. 軽い痛み	558	32.1
4. 中くらいの痛み	308	17.7
5. 強い痛み	88	5.1
6. 非常に激しい痛み	14	0.8
【無回答】	13	0.7
計	1,741	100

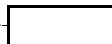


〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	45	19.7
2. かすかな痛み	54	23.7
3. 軽い痛み	81	35.5
4. 中くらいの痛み	34	14.9
5. 強い痛み	7	3.1
6. 非常に激しい痛み	1	0.4
【無回答】	6	2.6
計	228	100



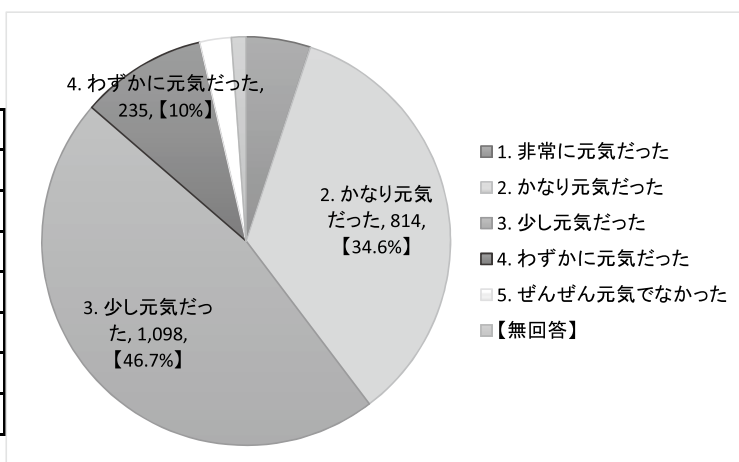
質問14：過去1か月間、どのくらい元気でしたか？



1. 非常に元気だった 2. かなり元気だった 3. 少し元気だった 4. わずかに元気だった
5. ぜんぜん元気でなかった

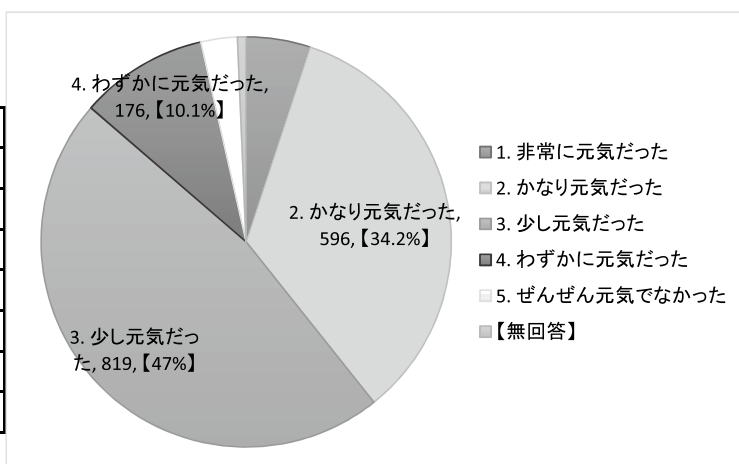
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 非常に元気だった	120	5.1
2. かなり元気だった	814	34.6
3. 少し元気だった	1,098	46.7
4. わずかに元気だった	235	10
5. ぜんぜん元気でなかった	59	2.5
【無回答】	27	1.1
計	2,353	100



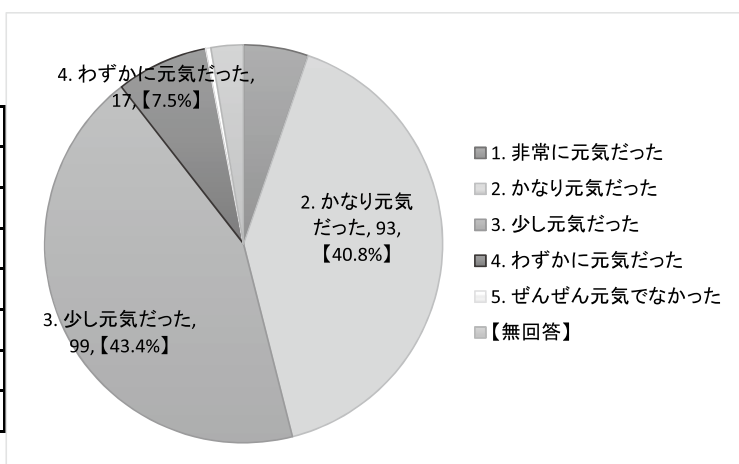
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 非常に元気だった	88	5.1
2. かなり元気だった	596	34.2
3. 少し元気だった	819	47
4. わずかに元気だった	176	10.1
5. ぜんぜん元気でなかった	50	2.9
【無回答】	12	0.7
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 非常に元気だった	12	5.3
2. かなり元気だった	93	40.8
3. 少し元気だった	99	43.4
4. わずかに元気だった	17	7.5
5. ぜんぜん元気でなかった	1	0.4
【無回答】	6	2.6
計	228	100

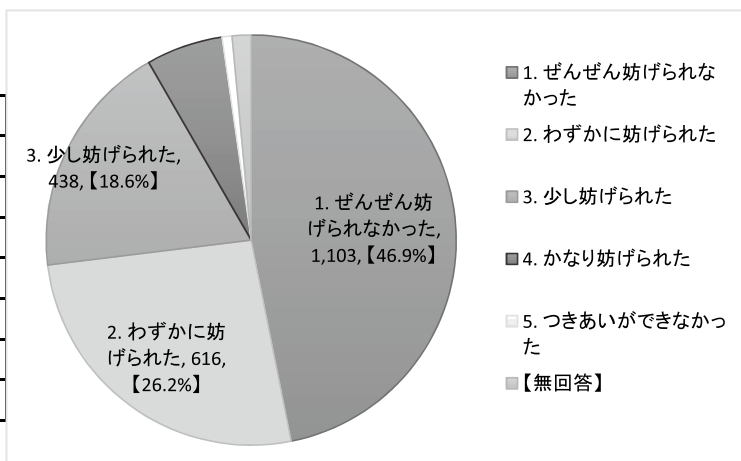


質問15：過去1か月間に、家族や友人との普段のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. つきあいができなかった

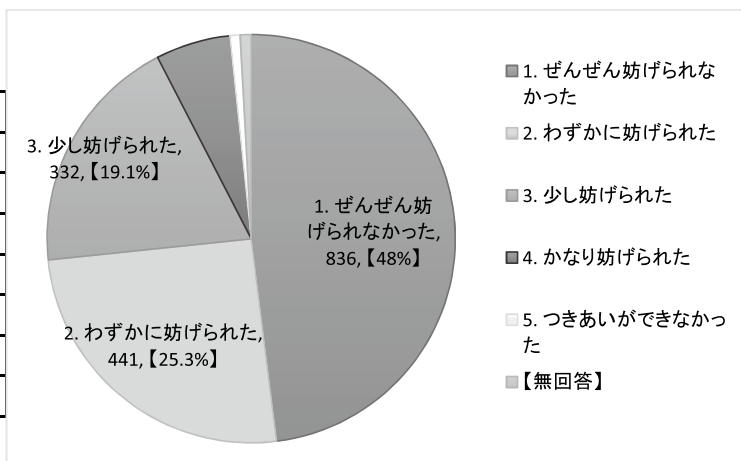
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	1,103	46.9
2. わずかに妨げられた	616	26.2
3. 少し妨げられた	438	18.6
4. かなり妨げられた	142	6
5. つきあいができなかった	19	0.8
【無回答】	35	1.5
計	2,353	100



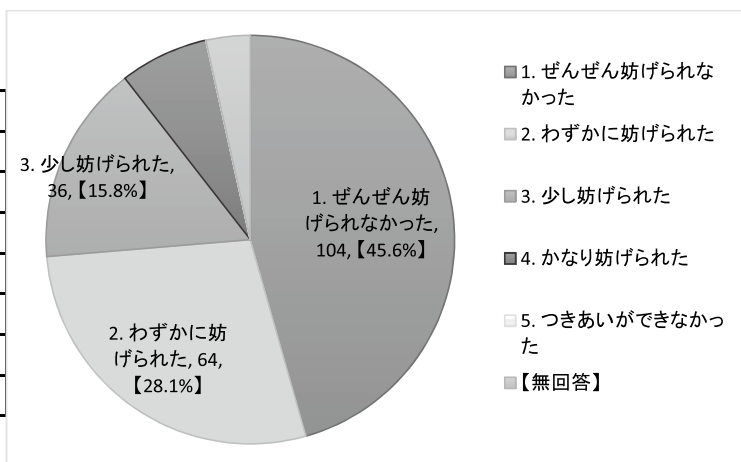
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	836	48
2. わずかに妨げられた	441	25.3
3. 少し妨げられた	332	19.1
4. かなり妨げられた	103	5.9
5. つきあいができなかった	14	0.8
【無回答】	15	0.9
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	104	45.6
2. わずかに妨げられた	64	28.1
3. 少し妨げられた	36	15.8
4. かなり妨げられた	16	7
5. つきあいができなかった	0	0
【無回答】	8	3.5
計	228	100



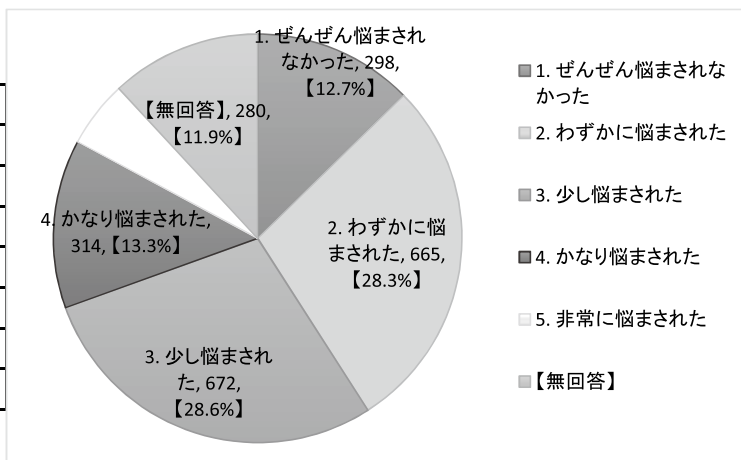
質問16：過去1か月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか？



1. ぜんぜん悩まされなかった 2. わずかに悩まされた 3. 少し悩まされた 4. かなり悩まされた
5. 非常に悩まされた

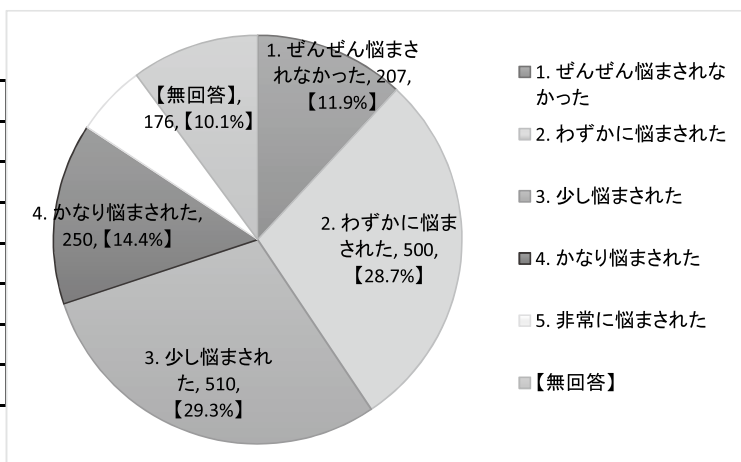
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	298	12.7
2. わずかに悩まされた	665	28.3
3. 少し悩まされた	672	28.6
4. かなり悩まされた	314	13.3
5. 非常に悩まされた	124	5.3
【無回答】	280	11.9
計	2,353	100



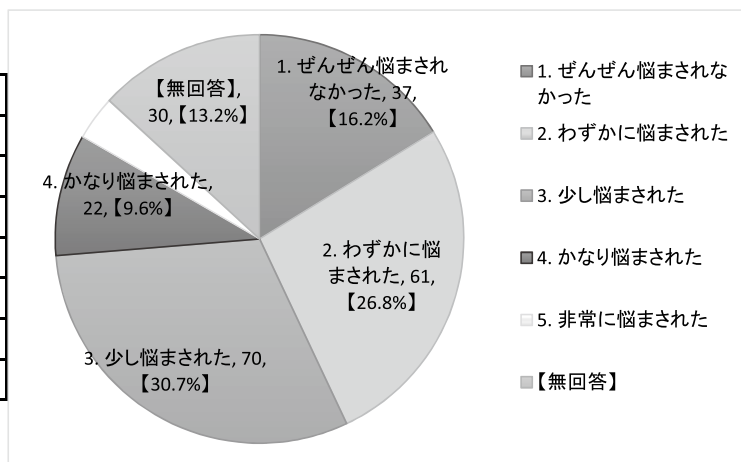
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	207	11.9
2. わずかに悩まされた	500	28.7
3. 少し悩まされた	510	29.3
4. かなり悩まされた	250	14.4
5. 非常に悩まされた	98	5.6
【無回答】	176	10.1
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	37	16.2
2. わずかに悩まされた	61	26.8
3. 少し悩まされた	70	30.7
4. かなり悩まされた	22	9.6
5. 非常に悩まされた	8	3.5
【無回答】	30	13.2
計	228	100



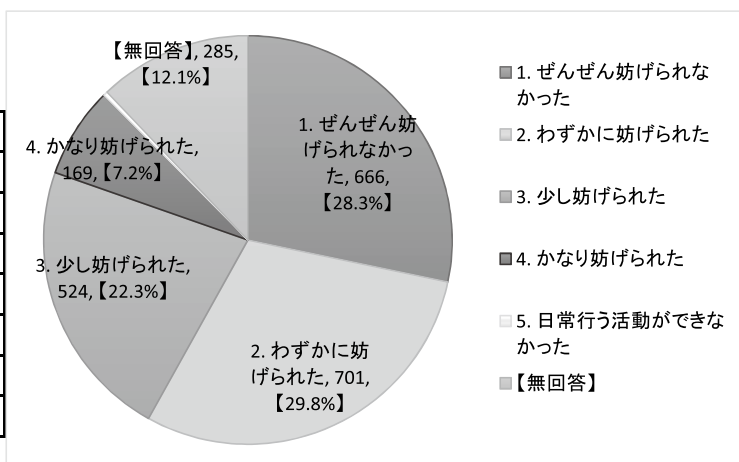
質問17：過去1か月間に、日常行う活動（仕事・学校・家事などの普段の行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？



1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた
5. 日常行う活動ができなかった

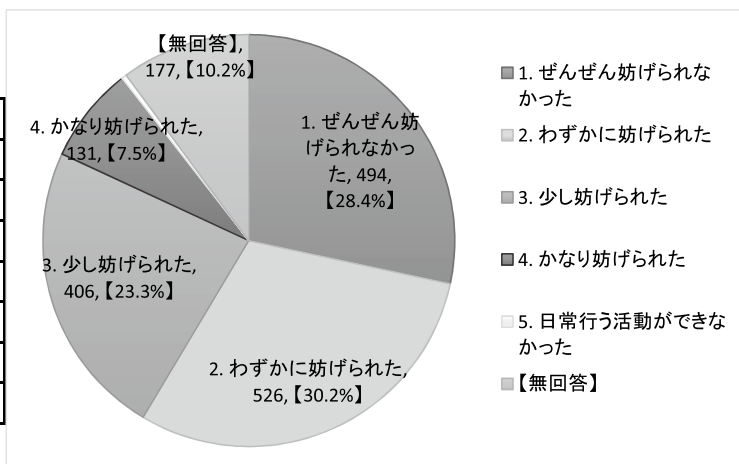
〈全体人数〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	666	28.3
2. わずかに妨げられた	701	29.8
3. 少し妨げられた	524	22.3
4. かなり妨げられた	169	7.2
5. 日常行う活動ができなかった	8	0.3
【無回答】	285	12.1
計	2,353	100



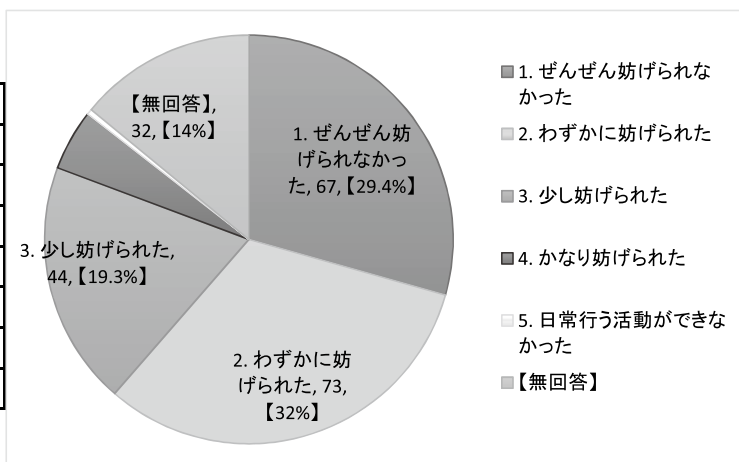
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	494	28.4
2. わずかに妨げられた	526	30.2
3. 少し妨げられた	406	23.3
4. かなり妨げられた	131	7.5
5. 日常行う活動ができなかった	7	0.4
【無回答】	177	10.2
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	67	29.4
2. わずかに妨げられた	73	32
3. 少し妨げられた	44	19.3
4. かなり妨げられた	11	4.8
5. 日常行う活動ができなかった	1	0.4
【無回答】	32	14
計	228	100



⑤中間管理職、衛生管理スタッフへのアンケート調査
(企業の中間管理職や衛生管理スタッフの皆様へ)

中間管理職のうち、「50歳～59歳」の50歳代が47.3%であり、「40歳～49歳」の40歳代が33.7%であった。一方、一般職の産業衛生管理スタッフは「40歳～49歳」の40歳代が34.5%であり、次いで「30歳～39歳」の30歳代が27.4%であった。中間管理職の77.4%が「男性」であり、中間管理職の48.4%が「衛生管理スタッフ」であった。一般職の23.8%が「男性」であり、一般職の69.1%は「衛生管理スタッフ」であった。

中間管理職の64.1%が月経痛を知っていたが、ほぼ半数が過多月経を知らず、頻発月経も月経困難症も月経前症候群も知らなかった。一方、一般職ではほとんどが過多月経や頻発月経など月経関連症状を知っていた。中間管理職がよく知っている疾患は高血圧、メタボリック症候群、胃がんであり、知らない病気はチョコレートとう胞、子宮体がん、卵巣嚢腫であった。一般職がよく知っている疾患は高血圧、大腸がん、メタボリック症候群であり、知らない疾患はチョコレートとう胞、卵巣嚢腫、子宮内膜症であった。

「月経痛など月経に関連した症状で、休暇を請求されたことがあるか」との問いに男性の中間管理職は47%が「ない」と答え、31.7%が「わからない・知らない」と答えた。一方、女性の中間管理職の54.3%が「ない」と答え、32.8%が「ある」と答えていた。「あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で治療を受けている女性がいるか」との問いに、男性の中間管理職では61.2%が「わからない・知らない」と答え、28.5%が「いない」と答えた。一方、女性の中間管理職では41.8%が「いる」、34.1%が「わからない・知らない」と答え、男性の中間管理職と女性の中間管理職では回答の出現率に有意の差を認めた。また、「あなたの職場で、更年期障害で治療を受けている女性がいるか」との問いに、男性の中間管理職では64.9%が「わからない・知らない」と答え、29.8%が「いない」と答えた。一方、女性の中間管理職では44%が「わからない・知らない」と答え、31.5%が「いない」と答えた。子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などで婦人科外来を受診している女性に「何か配慮をしているか」との問いに対して、男性の中間管理職では65.6%は「わからない・知らない」と答え、20.6%が「していない」と答えた。一方、女性の中間管理職では34.9%が「していない」と答え、33.6%が「わからない・知らない」と答えた。子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に「何か配慮をしているか」との問いに対して、男性の中間管理職では63.9%が「わからない・知らない」と答え、20.2%が「していない」と答えた。一方、女性の中間管理職では35.8%が「わからない・知らない」と答え、34.5%が「している」と答えた。「病気で1ヶ月間休職が必要と報告された時、考慮するもっとも重要な因子は何か」との問いに対して、男性の中間管理職では40%が「代替りの人材の手配」、30%が「これまで処理していた仕事量」と答えた。一方、女性の中間管理職では38.7%が「代替りの人材の手配」、34%が「これまで処理していた仕事量」と答えた。なお、一般職では32.3%が「これまで処理していた仕事量」と答え、25.9%は「代替りの人材の手配」と答えた。

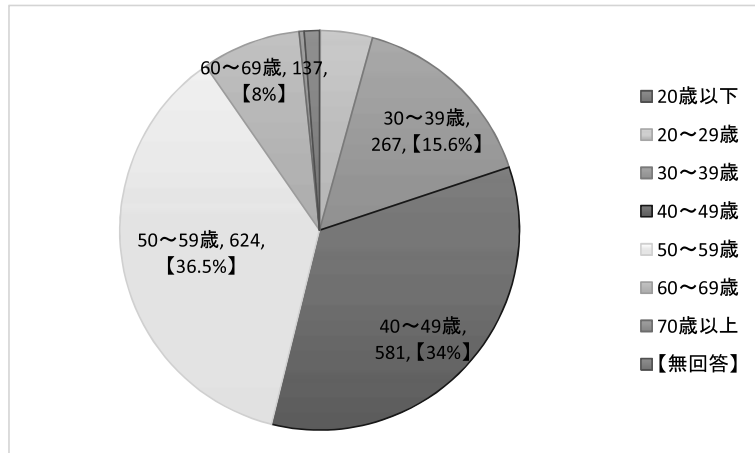
企業の間管理職や衛生管理スタッフの皆様へ

集計総数 1,710

質問1：あなたの年齢をお教えてください。----- 歳

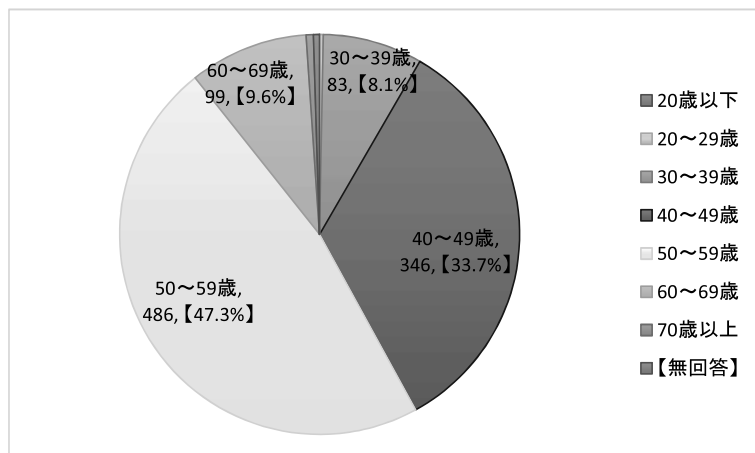
〈全体人数〉

	集計数	%
20歳以下	1	0.1
20～29歳	72	4.2
30～39歳	267	15.6
40～49歳	581	34
50～59歳	624	36.5
60～69歳	137	8
70歳以上	7	0.4
【無回答】	21	1.2
計	1,710	100



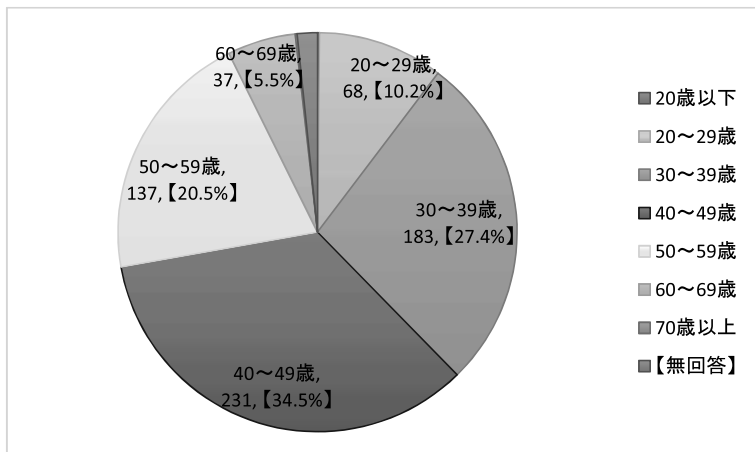
〈中間管理職〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	3	0.3
30～39歳	83	8.1
40～49歳	346	33.7
50～59歳	486	47.3
60～69歳	99	9.6
70歳以上	6	0.6
【無回答】	5	0.5
計	1,028	100



〈一般職〉

	集計数	%
20歳以下	1	0.1
20～29歳	68	10.2
30～39歳	183	27.4
40～49歳	231	34.5
50～59歳	137	20.5
60～69歳	37	5.5
70歳以上	1	0.1
【無回答】	11	1.6
計	669	100

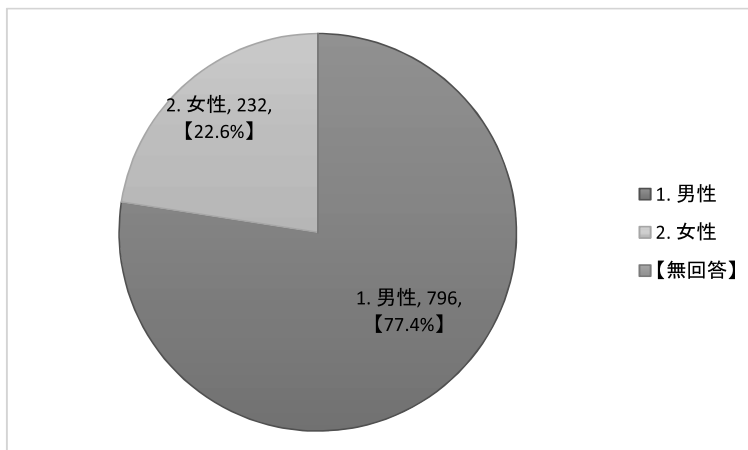


質問2：あなたの性別について教えてください。

1. 男性 2. 女性

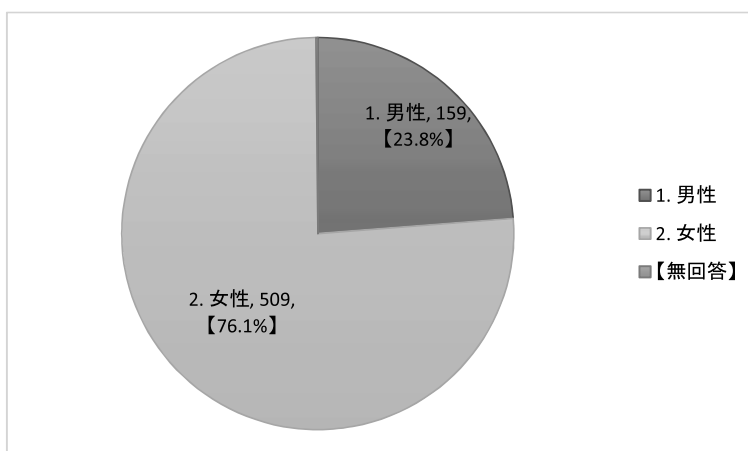
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 男性	796	77.4
2. 女性	232	22.6
【無回答】	0	0
計	1,028	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. 男性	159	23.8
2. 女性	509	76.1
【無回答】	1	0.1
計	669	100

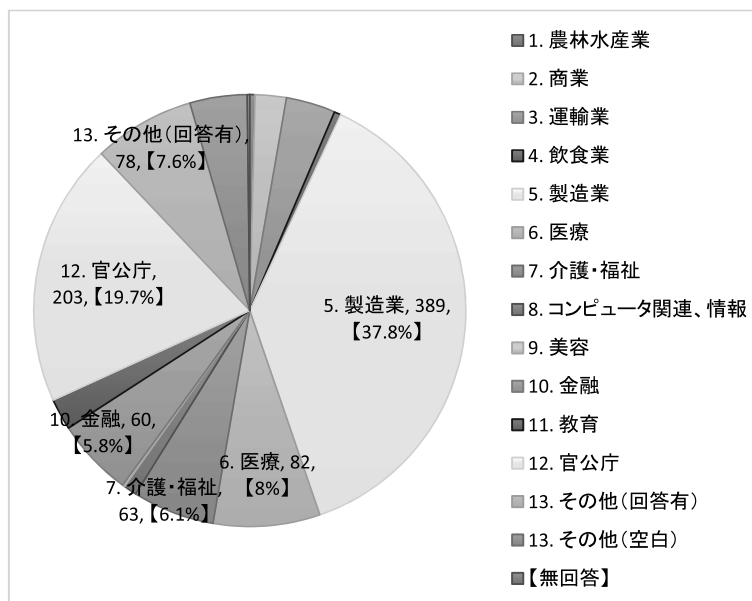


質問3：あなたの会社について最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 農林水産業 2. 商業 3. 運輸業 4. 飲食業 5. 製造業 6. 医療 7. 介護・福祉 8. コンピュータ関連、情報
9. 美容 10. 金融 11. 教育 12. 官公庁 13. その他 ()

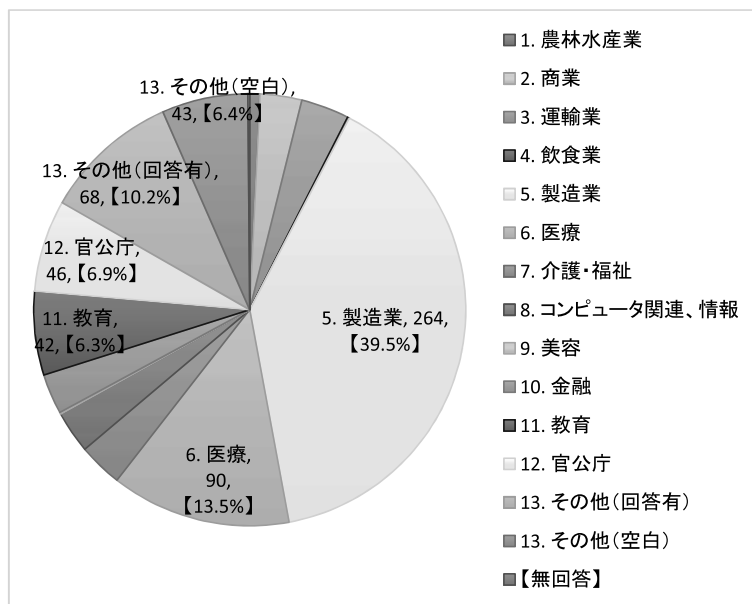
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 農林水産業	4	0.4
2. 商業	24	2.3
3. 運輸業	38	3.7
4. 飲食業	5	0.5
5. 製造業	389	37.8
6. 医療	82	8
7. 介護・福祉	63	6.1
8. コンピュータ関連、情報	10	1
9. 美容	2	0.2
10. 金融	60	5.8
11. 教育	24	2.3
12. 官公庁	203	19.7
13. その他 (回答有)	78	7.6
13. その他 (空白)	44	4.3
【無回答】	2	0.2
計	1,028	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. 農林水産業	5	0.7
2. 商業	21	3.1
3. 運輸業	24	3.6
4. 飲食業	1	0.1
5. 製造業	264	39.5
6. 医療	90	13.5
7. 介護・福祉	22	3.3
8. コンピュータ関連、情報	21	3.1
9. 美容	1	0.1
10. 金融	20	3
11. 教育	42	6.3
12. 官公庁	46	6.9
13. その他（回答有）	68	10.2
13. その他（空白）	43	6.4
【無回答】	1	0.1
計	669	100

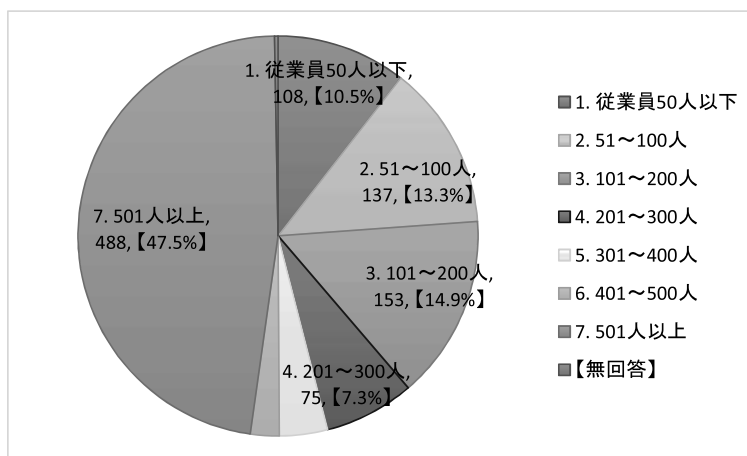


質問4：あなたの会社の規模について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 従業員50人以下 2. 51～100人 3. 101～200人 4. 201～300人 5. 301～400人 6. 401～500人
7. 501人以上

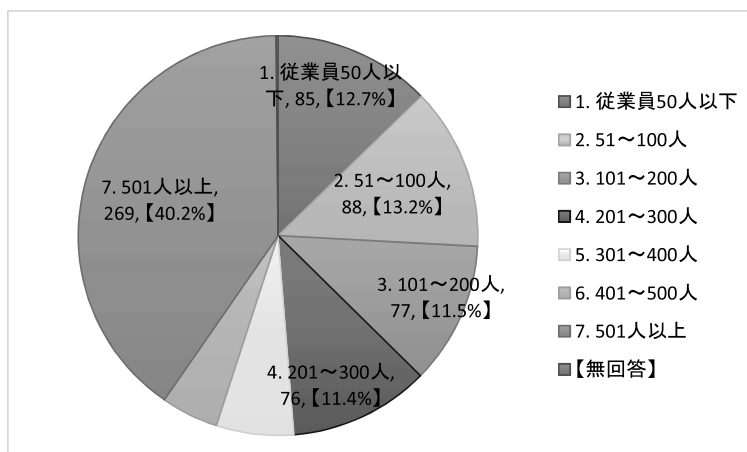
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 従業員50人以下	108	10.5
2. 51～100人	137	13.3
3. 101～200人	153	14.9
4. 201～300人	75	7.3
5. 301～400人	40	3.9
6. 401～500人	24	2.3
7. 501人以上	488	47.5
【無回答】	3	0.3
計	1,028	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. 従業員50人以下	85	12.7
2. 51～100人	88	13.2
3. 101～200人	77	11.5
4. 201～300人	76	11.4
5. 301～400人	42	6.3
6. 401～500人	31	4.6
7. 501人以上	269	40.2
【無回答】	1	0.1
計	669	100

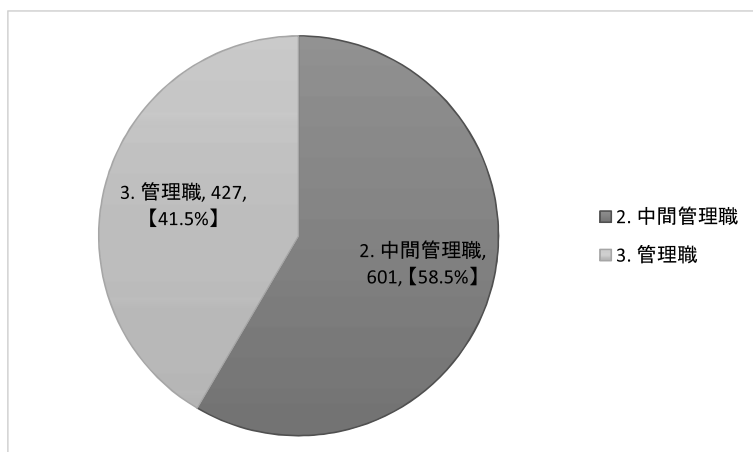


質問5：あなたの職位について最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 一般職 2. 中間管理職 3. 管理職

〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 一般職		
2. 中間管理職	601	58.5
3. 管理職	427	41.5
【無回答】		
計	1,028	100



〈一般職〉

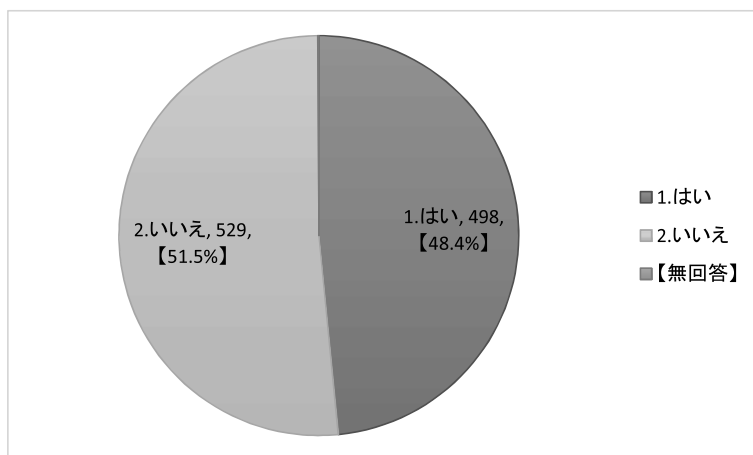
	集計数	%
1. 一般職	669	100
2. 中間管理職		
3. 管理職		
【無回答】		
計	669	100

質問6：あなたは衛生管理スタッフですか？

1. はい 2. いいえ

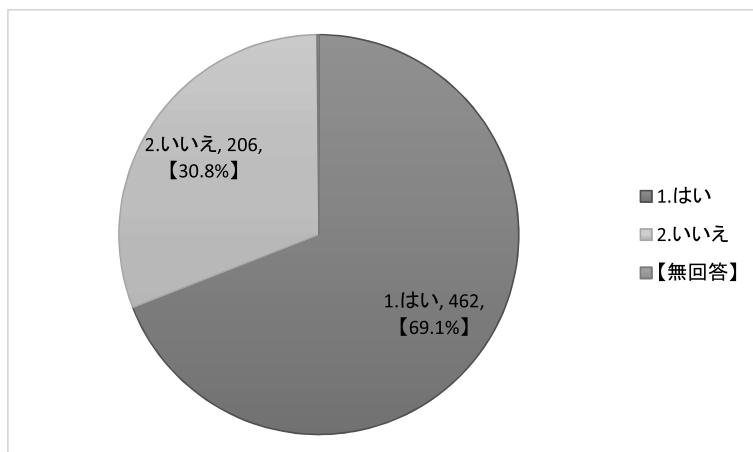
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. はい	498	48.4
2. いいえ	529	51.5
【無回答】	1	0.1
計	1,028	100



〈一般職〉

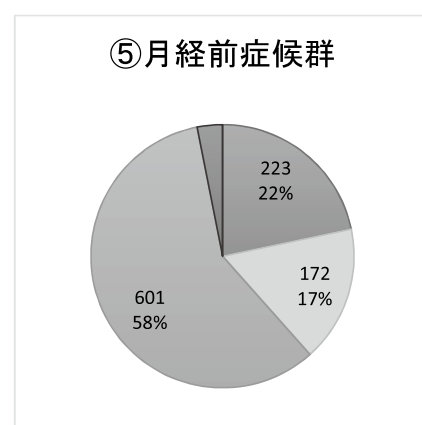
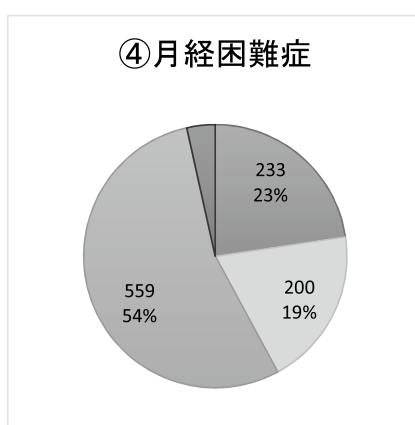
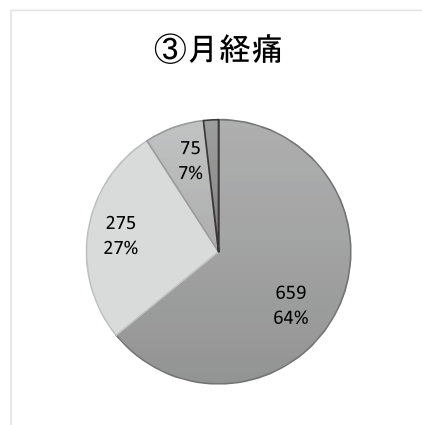
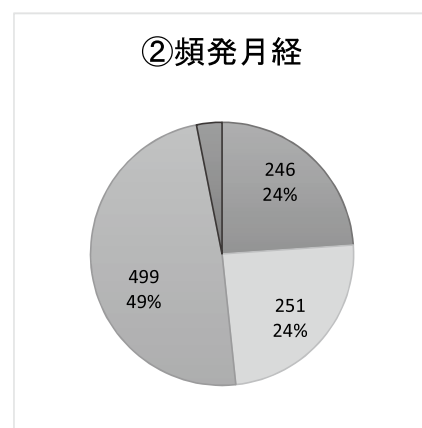
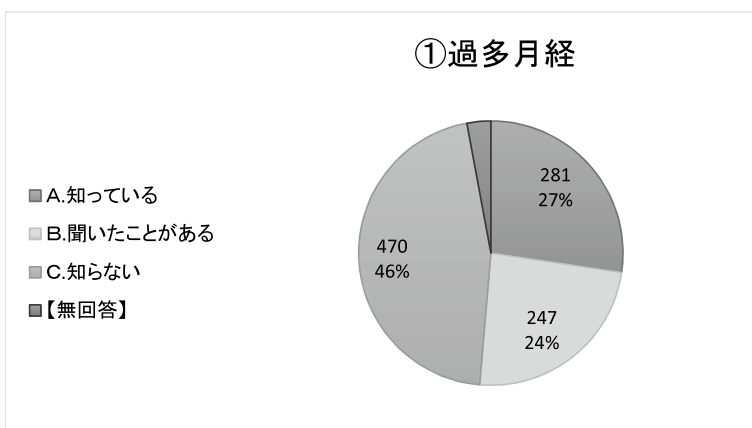
	集計数	%
1. はい	462	69.1
2. いいえ	206	30.8
【無回答】	1	0.1
計	669	100



質問7：月経に関連した症状で、知っている項目を教えてください。

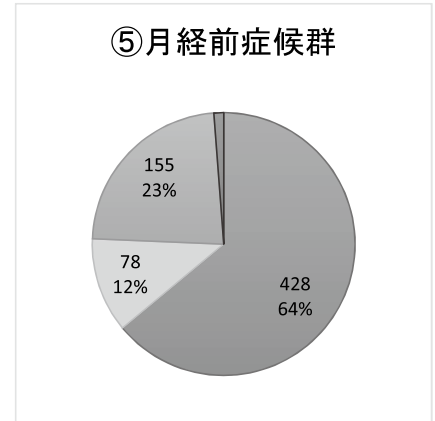
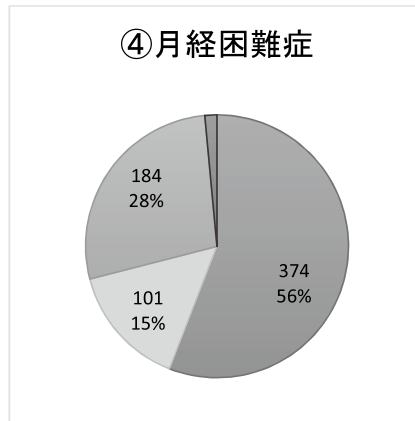
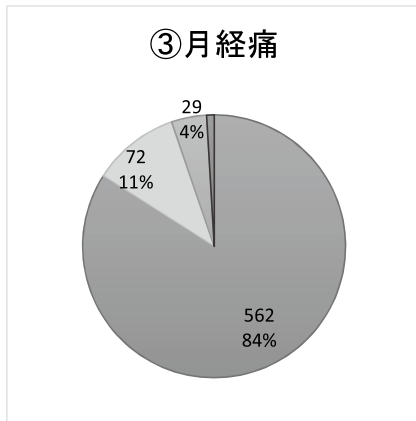
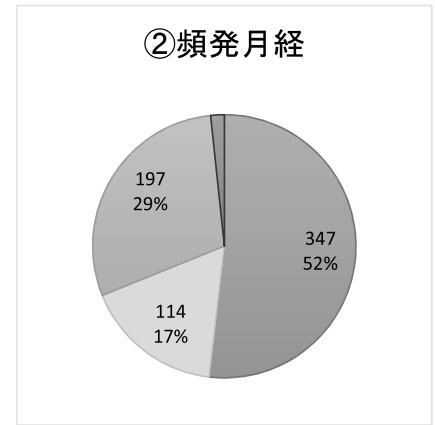
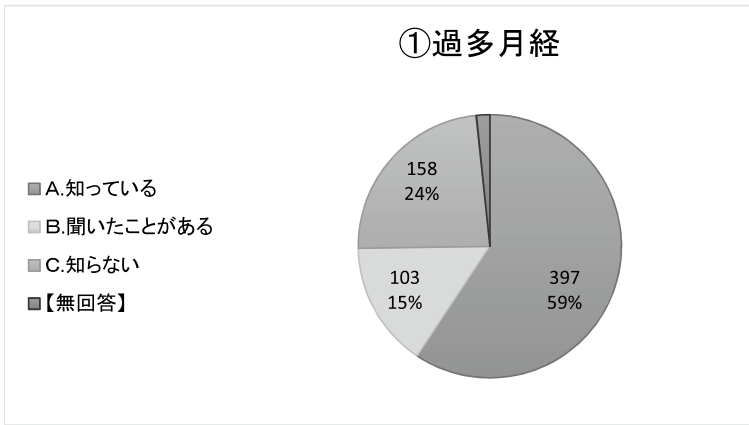
〈中間管理職〉

	A. 知っている		B. 聞いたことがある		C. 知らない		【無回答】		計	%
	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%		
① 過多月経	281	27.3	247	24	470	45.7	30	2.9	1,028	100
② 頻発月経	246	23.9	251	24.4	499	48.5	32	3.1	1,028	100
③ 月経痛	659	64.1	275	26.8	75	7.3	19	1.8	1,028	100
④ 月経困難症	233	22.7	200	19.5	559	54.4	36	3.5	1,028	100
⑤ 月経前症候群	223	21.7	172	16.7	601	58.5	32	3.1	1,028	100



〈一般職〉

	A. 知っている		B. 聞いたことがある		C. 知らない		【無回答】		計	%
	一般職	%	一般職	%	一般職	%	一般職	%		
① 過多月経	397	59.3	103	15.4	158	23.6	11	1.6	669	100
② 頻発月経	347	51.9	114	17	197	29.4	11	1.6	669	100
③ 月経痛	562	84	72	10.8	29	4.3	6	0.9	669	100
④ 月経困難症	374	55.9	101	15.1	184	27.5	10	1.5	669	100
⑤ 月経前症候群	428	64	78	11.7	155	23.2	8	1.2	669	100



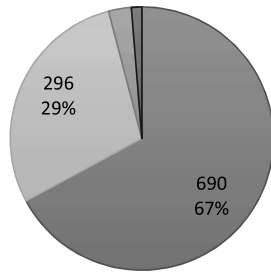
質問8：次の疾患について、知っている項目を教えてください。

〈中間管理職〉

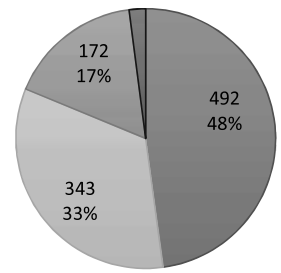
	A. 知っている		B. 聞いたことがある		C. 知らない		【無回答】		計	%
	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%		
① 子宮筋腫	690	67.1	296	28.8	29	2.8	13	1.3	1,028	100
② 子宮内膜症	492	47.9	343	33.4	172	16.7	21	2	1,028	100
③ 子宮頸がん	667	64.9	323	31.4	20	1.9	18	1.8	1,028	100
④ 子宮体がん	362	35.2	272	26.5	367	35.7	27	2.6	1,028	100
⑤ 卵巣嚢腫	408	39.7	307	29.9	287	27.9	26	2.5	1,028	100
⑥ チョコレートのう胞	223	21.7	184	17.9	579	56.3	42	4.1	1,028	100
⑦ 卵巣がん	631	61.4	329	32	44	4.3	24	2.3	1,028	100
⑧ 更年期障害	833	81	174	16.9	6	0.6	15	1.5	1,028	100
⑨ 胃がん	937	91.1	76	7.4	5	0.5	10	1	1,028	100
⑩ 大腸がん	935	91	78	7.6	5	0.5	10	1	1,028	100
⑪ 高血圧	952	92.6	60	5.8	5	0.5	11	1.1	1,028	100
⑫ メタリック症候群	945	91.9	58	5.6	2	0.2	23	2.2	1,028	100

①子宮筋腫

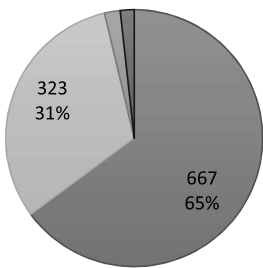
- A.知っている
- B.聞いたことがある
- C.知らない
- 【無回答】



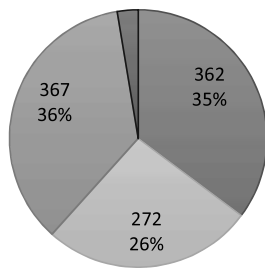
②子宮内膜症



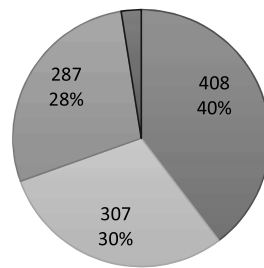
③子宮頸がん



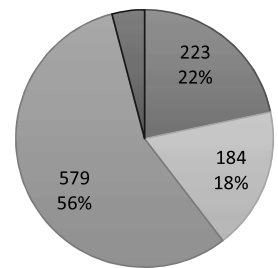
④子宮体がん



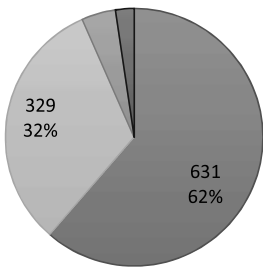
⑤卵巣嚢腫



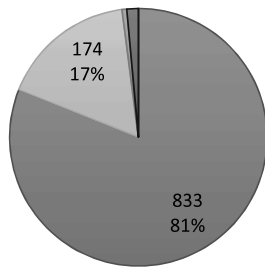
⑥チョコレートのう胞



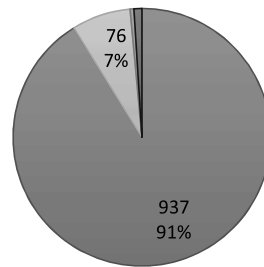
⑦卵巣がん



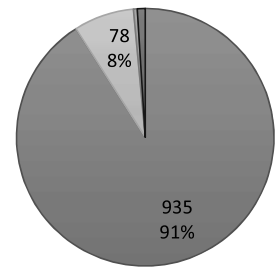
⑧更年期障害



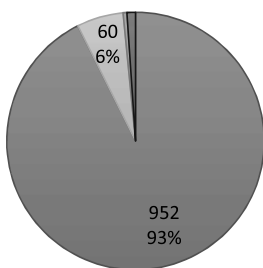
⑨胃がん



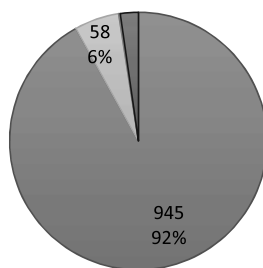
⑩大腸がん



⑪高血圧

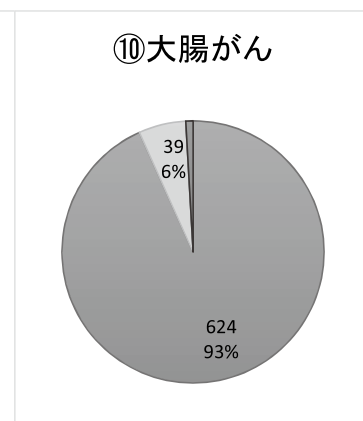
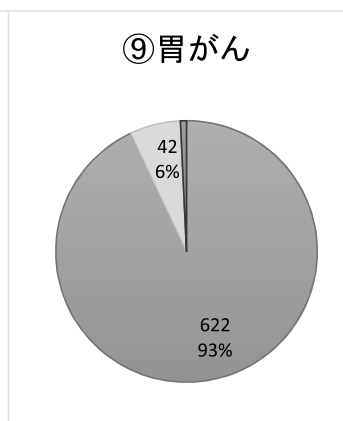
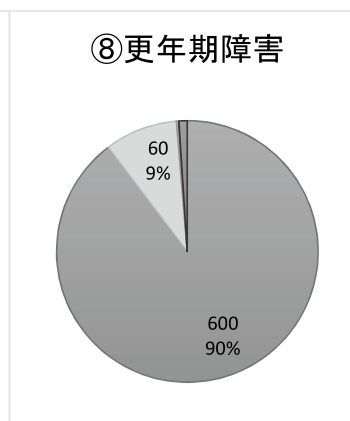
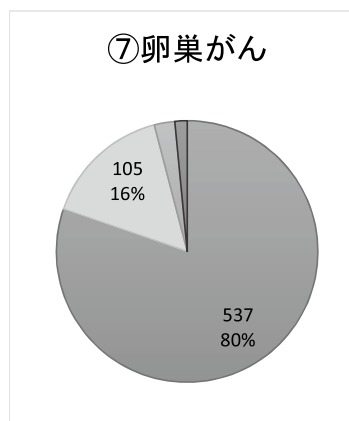
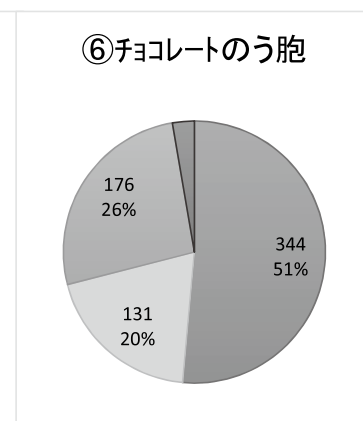
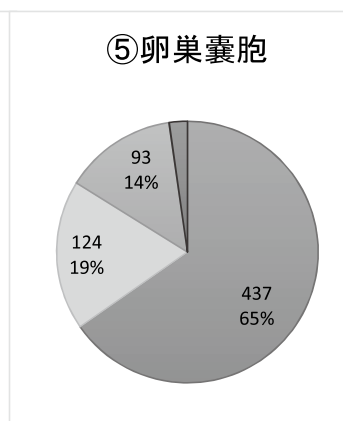
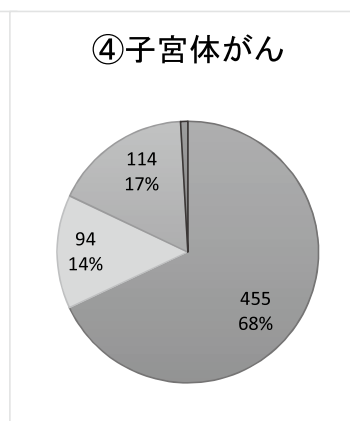
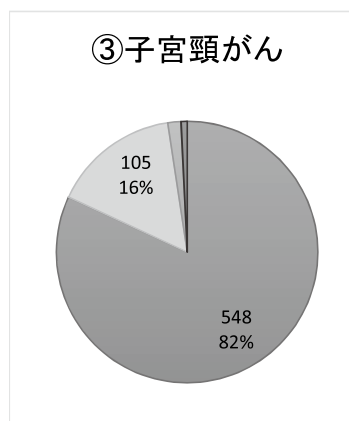
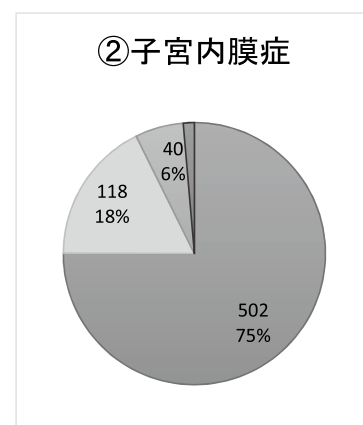
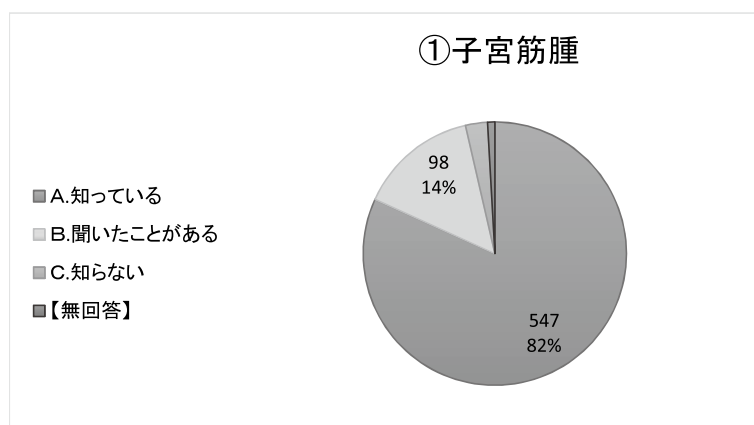


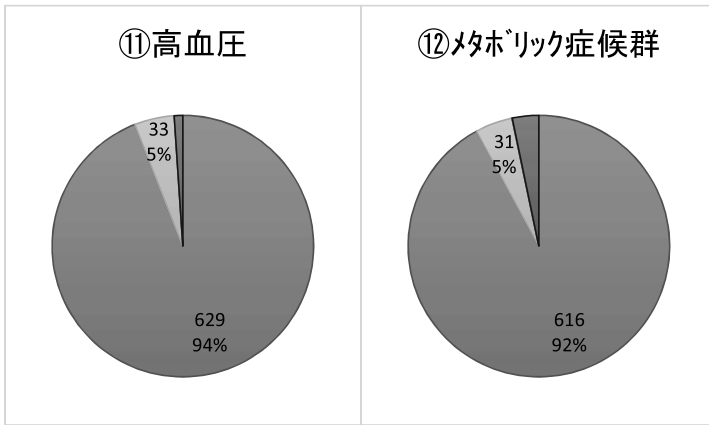
⑫メタリック症候群



〈一般職〉

	A. 知っている		B. 聞いたことがある		C. 知らない		【無回答】		計	%
	一般職	%	一般職	%	一般職	%	一般職	%		
① 子宮筋腫	547	81.8	98	14.6	18	2.7	6	0.9	669	100
② 子宮内膜症	502	75	118	17.6	40	6	9	1.3	669	100
③ 子宮頸がん	548	81.9	105	15.7	11	1.6	5	0.7	669	100
④ 子宮体がん	455	68	94	14.1	114	17	6	0.9	669	100
⑤ 卵巣嚢腫	437	65.3	124	18.5	93	13.9	15	2.2	669	100
⑥ チョコレートのう胞	344	51.4	131	19.6	176	26.3	18	2.7	669	100
⑦ 卵巣がん	537	80.3	105	15.7	17	2.5	10	1.5	669	100
⑧ 更年期障害	600	89.7	60	9	2	0.3	7	1	669	100
⑨ 胃がん	622	93	42	6.3	0	0	5	0.7	669	100
⑩ 大腸がん	624	93.3	39	5.8	0	0	6	0.9	669	100
⑪ 高血圧	629	94	33	4.9	0	0	7	1	669	100
⑫ メタボリック症候群	616	92.1	31	4.6	0	0	22	3.3	669	100



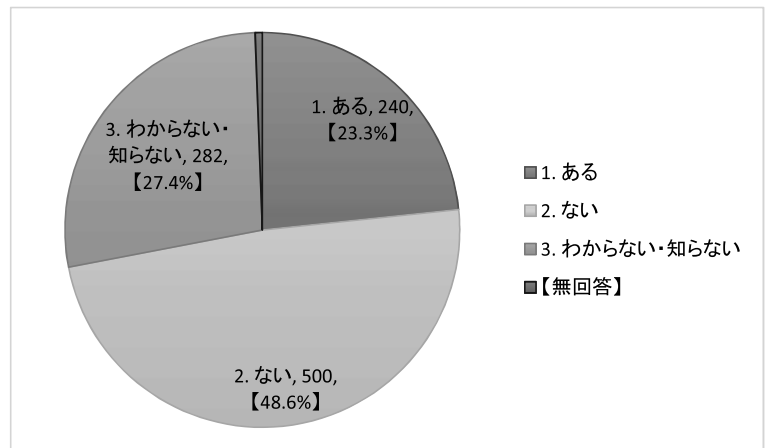


質問9：あなたの職場で、月経痛など月経に関連した症状で、休暇を請求されたことがありますか？-----

1. ある 2. ない 3. わからない・知らない

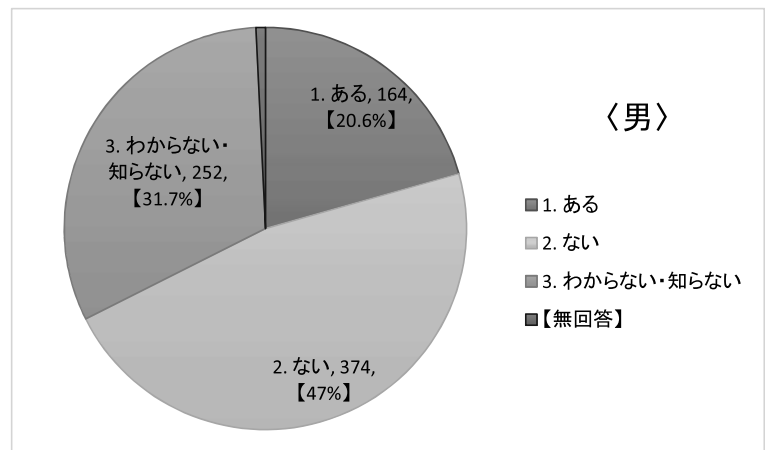
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. ある	240	23.3
2. ない	500	48.6
3. わからない・知らない	282	27.4
【無回答】	6	0.6
計	1,028	100



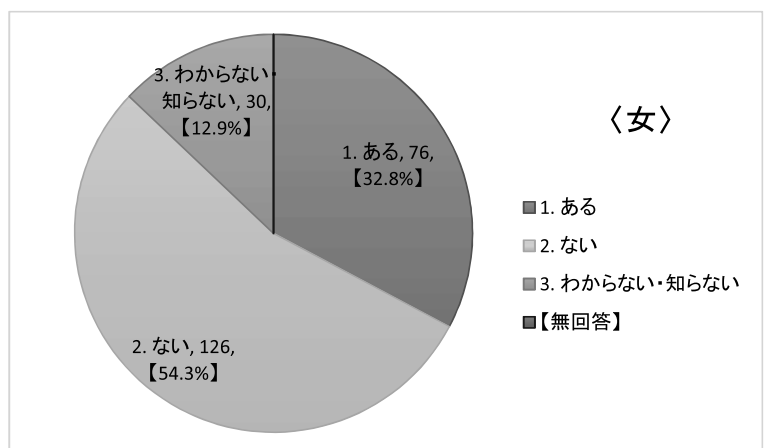
〈中間管理職一男〉

	集計数	%
1. ある	164	20.6
2. ない	374	47
3. わからない・知らない	252	31.7
【無回答】	6	0.8
計	796	100



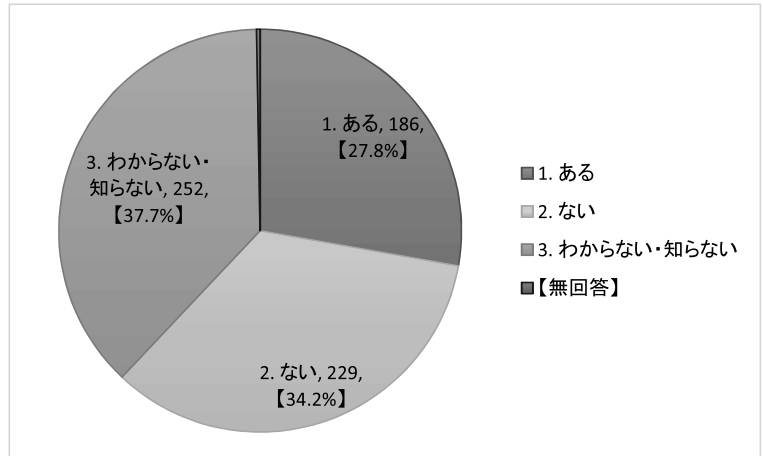
〈中間管理職一女〉

	集計数	%
1. ある	76	32.8
2. ない	126	54.3
3. わからない・知らない	30	12.9
【無回答】	0	0
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. ある	186	27.8
2. ない	229	34.2
3. わからない・知らない	252	37.7
【無回答】	2	0.3
計	669	100

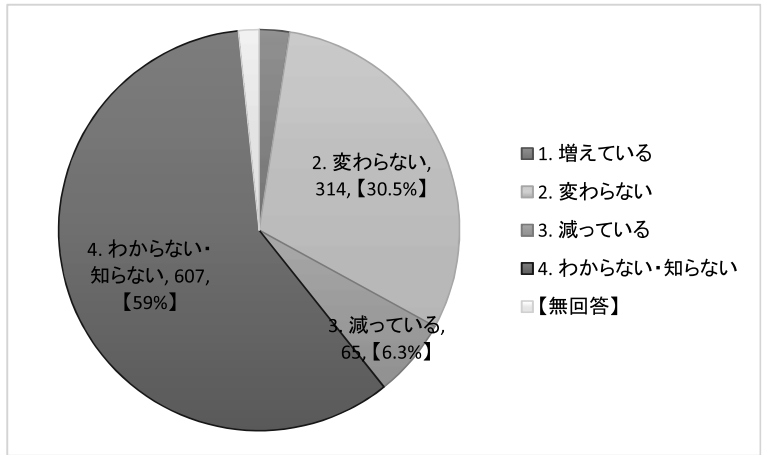


質問10：あなたの職場で、月経痛など月経に関連した症状で休暇を請求される女性の数が？-----

1. 増えている 2. 変わらない 3. 減っている 4. わからない・知らない

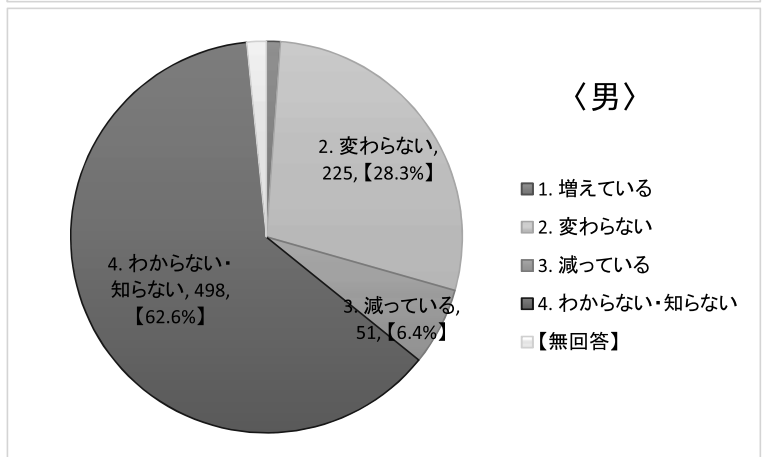
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 増えている	25	2.4
2. 変わらない	314	30.5
3. 減っている	65	6.3
4. わからない・知らない	607	59
【無回答】	17	1.7
計	1,028	100



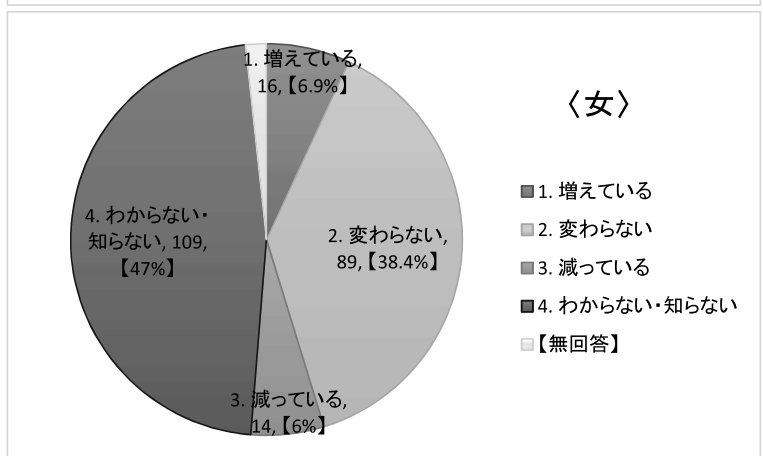
〈中間管理職一男〉

	集計数	%
1. 増えている	9	1.1
2. 変わらない	225	28.3
3. 減っている	51	6.4
4. わからない・知らない	498	62.6
【無回答】	13	1.6
計	796	100



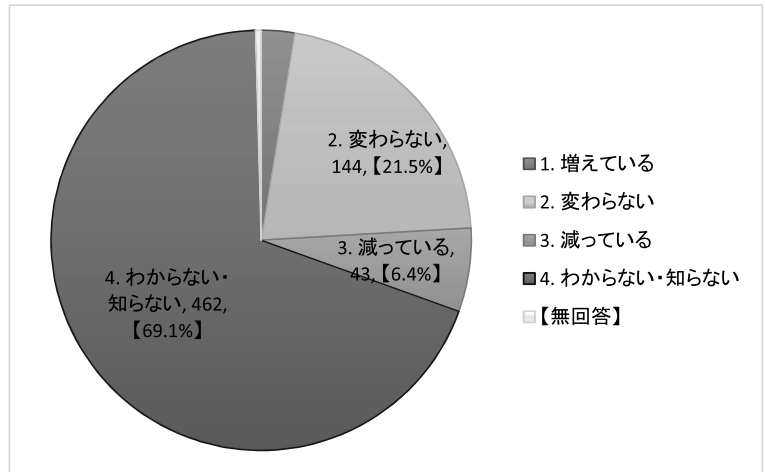
〈中間管理職一女〉

	集計数	%
1. 増えている	16	6.9
2. 変わらない	89	38.4
3. 減っている	14	6
4. わからない・知らない	109	47
【無回答】	4	1.7
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. 増えている	17	2.5
2. 変わらない	144	21.5
3. 減っている	43	6.4
4. わからない・知らない	462	69.1
【無回答】	3	0.4
計	669	100

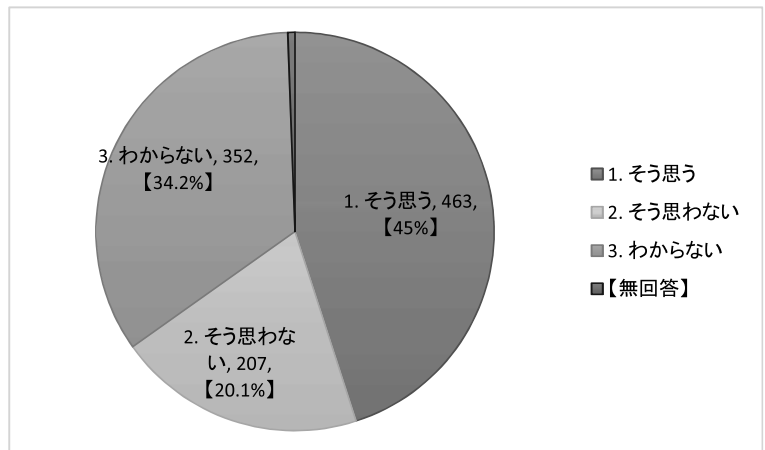


質問11：あなたの職場は、月経痛など月経に関連した症状で休暇が取りやすい職場ですか？-----

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

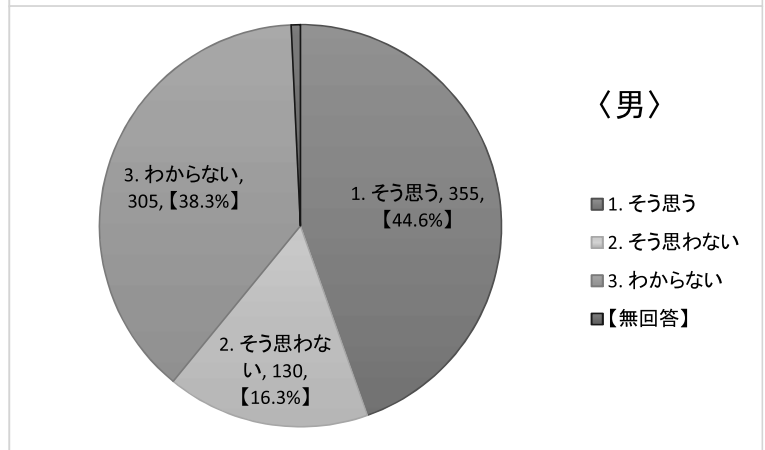
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. そう思う	463	45
2. そう思わない	207	20.1
3. わからない	352	34.2
【無回答】	6	0.6
計	1,028	100



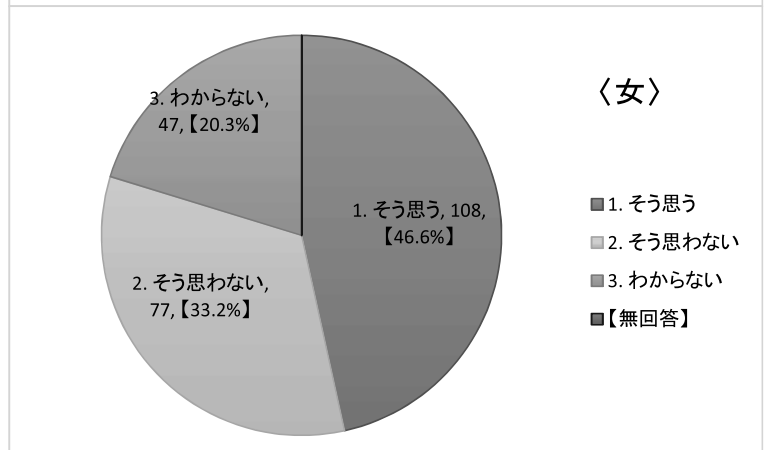
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. そう思う	355	44.6
2. そう思わない	130	16.3
3. わからない	305	38.3
【無回答】	6	0.8
計	796	100



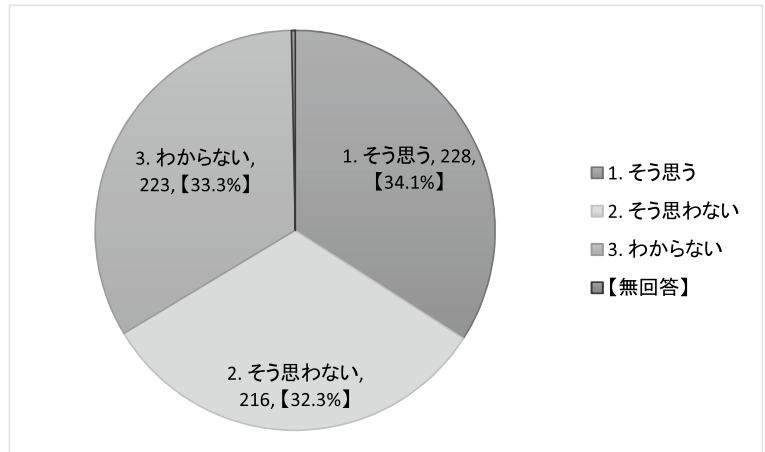
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. そう思う	108	46.6
2. そう思わない	77	33.2
3. わからない	47	20.3
【無回答】	0	0
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. そう思う	228	34.1
2. そう思わない	216	32.3
3. わからない	223	33.3
【無回答】	2	0.3
計	669	100

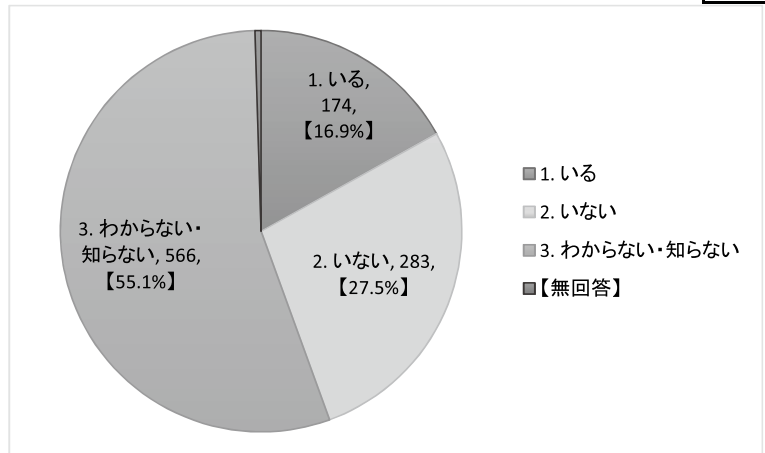


質問12：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で治療を受けている女性がいらっしゃいますか？-----

1. いる 2. いない 3. わからない・知らない

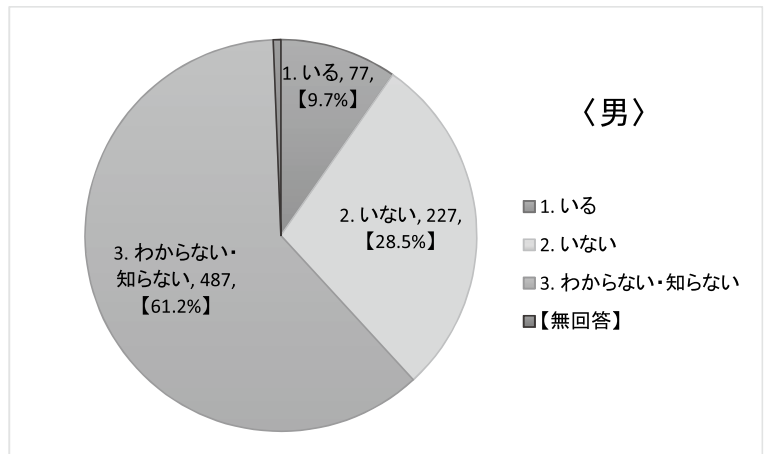
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. いる	174	16.9
2. いない	283	27.5
3. わからない・知らない	566	55.1
【無回答】	5	0.5
計	1,028	100



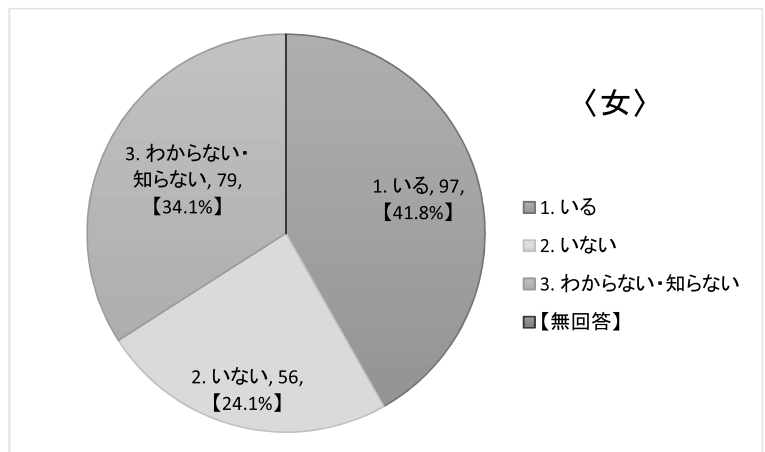
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. いる	77	9.7
2. いない	227	28.5
3. わからない・知らない	487	61.2
【無回答】	5	0.6
計	796	100



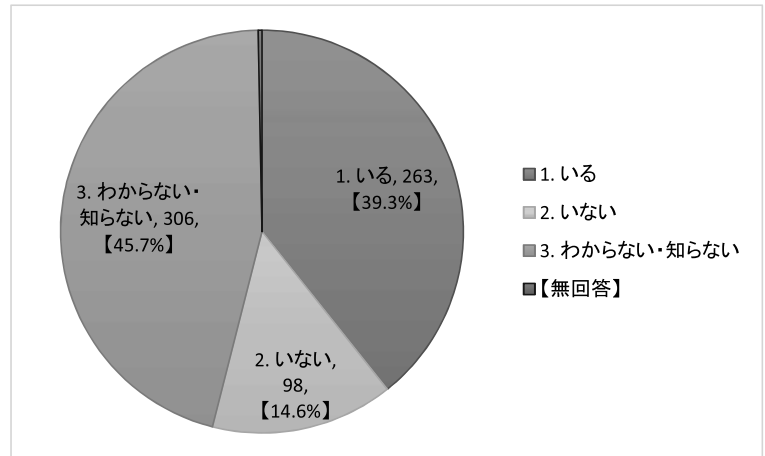
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. いる	97	41.8
2. いない	56	24.1
3. わからない・知らない	79	34.1
【無回答】	0	0
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. いる	263	39.3
2. いない	98	14.6
3. わからない・知らない	306	45.7
【無回答】	2	0.3
計	669	100

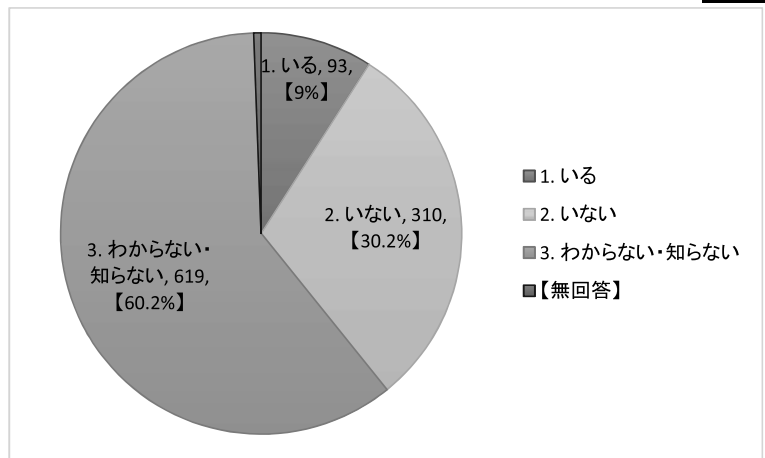


質問13：あなたの職場で、更年期障害で治療を受けている女性がいらっしゃいますか？-----

1. いる 2. いない 3. わからない・知らない

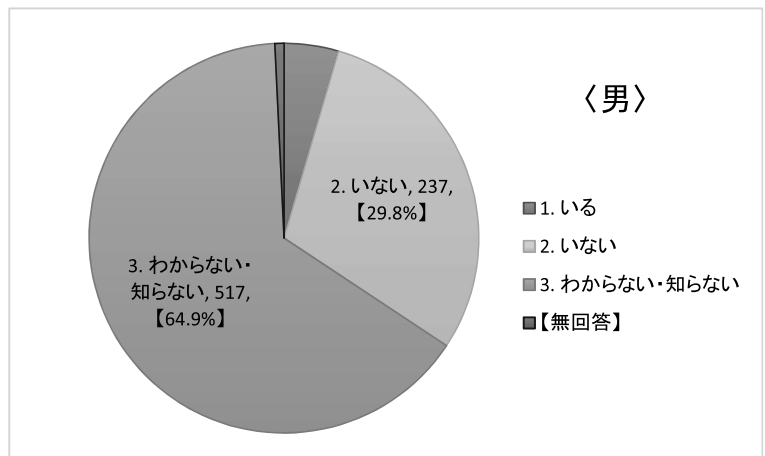
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. いる	93	9
2. いない	310	30.2
3. わからない・知らない	619	60.2
【無回答】	6	0.6
計	1,028	100



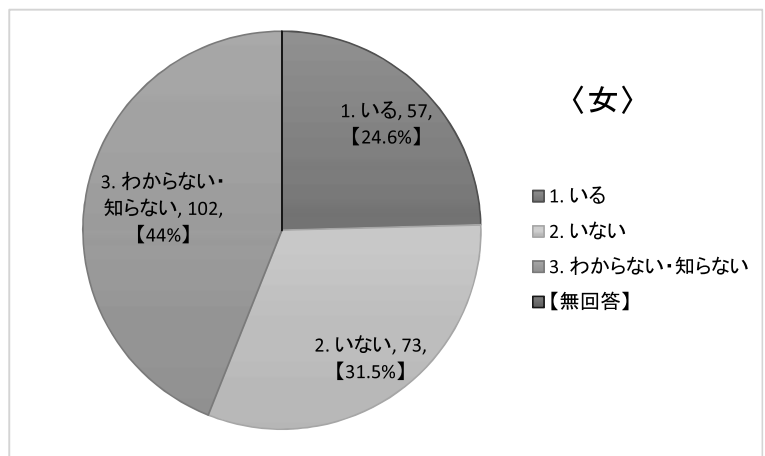
〈中間管理職一男〉

	集計数	%
1. いる	36	4.5
2. いない	237	29.8
3. わからない・知らない	517	64.9
【無回答】	6	0.8
計	796	100



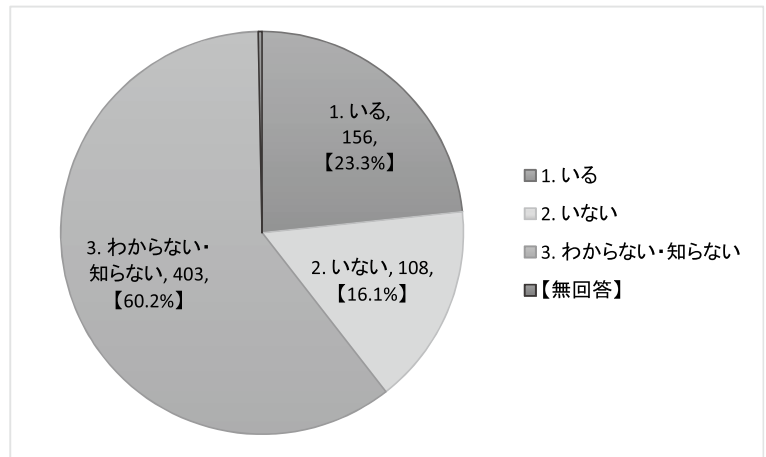
〈中間管理職一女〉

	集計数	%
1. いる	57	24.6
2. いない	73	31.5
3. わからない・知らない	102	44
【無回答】	0	0
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. いる	156	23.3
2. いない	108	16.1
3. わからない・知らない	403	60.2
【無回答】	2	0.3
計	669	100

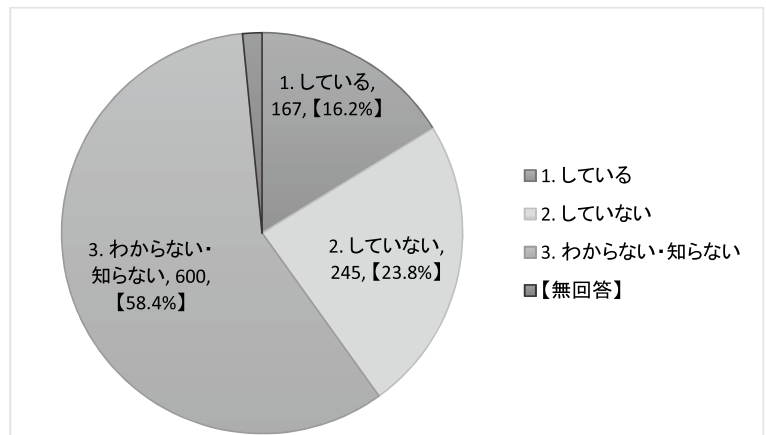


質問14：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などで婦人科外来を受診されている女性に、何か配慮をしておりますか？

1. している 2. していない 3. わからない・知らない

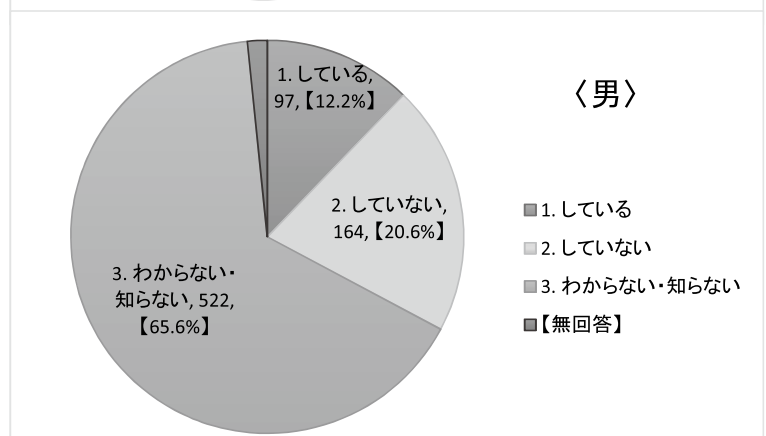
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. している	167	16.2
2. していない	245	23.8
3. わからない・知らない	600	58.4
【無回答】	16	1.6
計	1,028	100



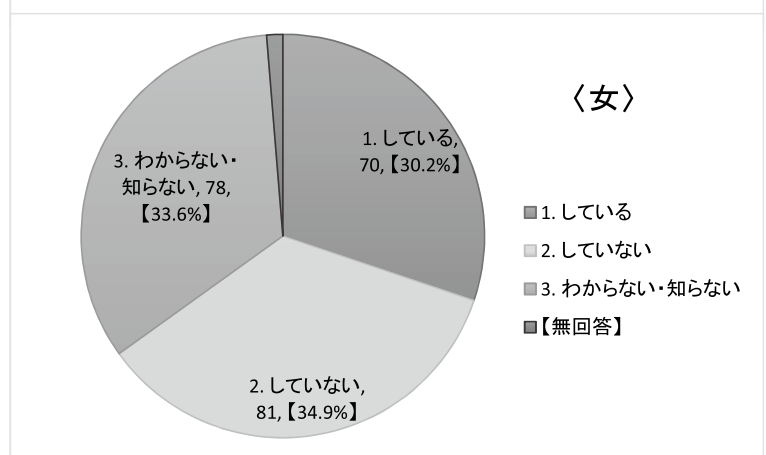
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. している	97	12.2
2. していない	164	20.6
3. わからない・知らない	522	65.6
【無回答】	13	1.6
計	796	100



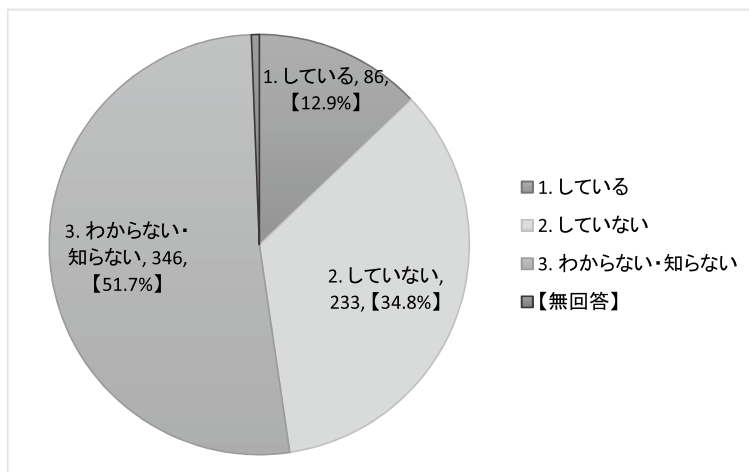
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. している	70	30.2
2. していない	81	34.9
3. わからない・知らない	78	33.6
【無回答】	3	1.3
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. している	86	12.9
2. していない	233	34.8
3. わからない・知らない	346	51.7
【無回答】	4	0.6
計	669	100

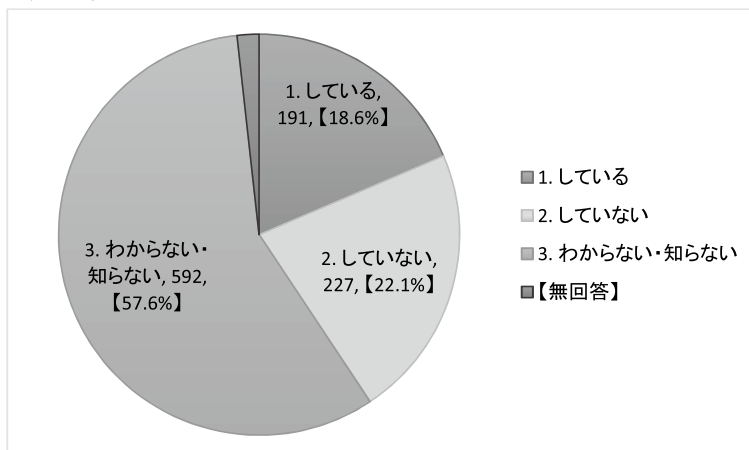


質問15：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に、何か配慮をされていますか？---

1. している 2. していない 3. わからない・知らない

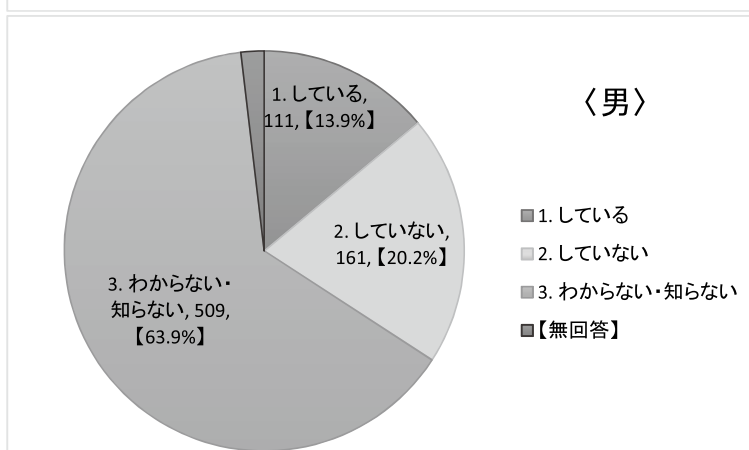
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. している	191	18.6
2. していない	227	22.1
3. わからない・知らない	592	57.6
【無回答】	18	1.8
計	1,028	100



〈中間管理職一男〉

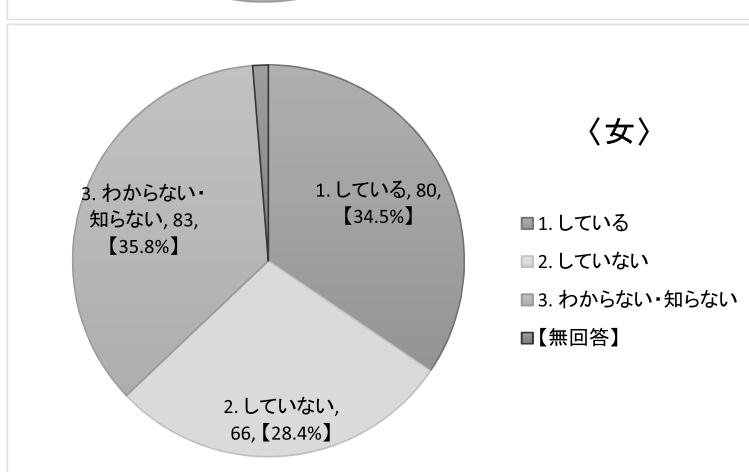
	集計数	%
1. している	111	13.9
2. していない	161	20.2
3. わからない・知らない	509	63.9
【無回答】	15	1.9
計	796	100



〈男〉

〈中間管理職一女〉

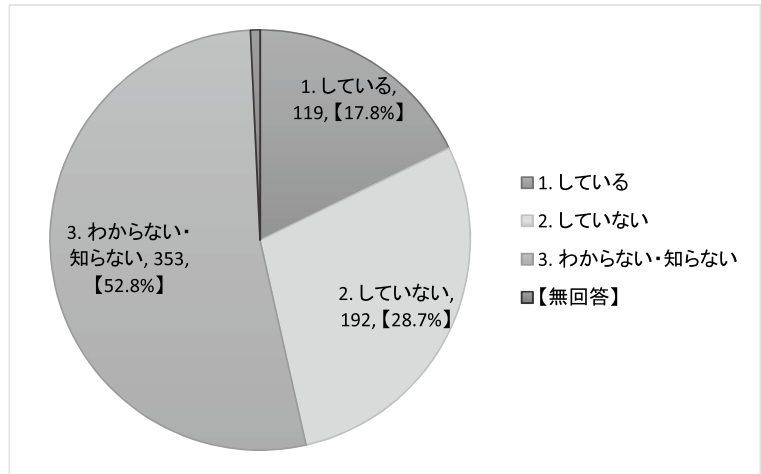
	集計数	%
1. している	80	34.5
2. していない	66	28.4
3. わからない・知らない	83	35.8
【無回答】	3	1.3
計	232	100



〈女〉

〈一般職〉

	集計数	%
1. している	119	17.8
2. していない	192	28.7
3. わからない・知らない	353	52.8
【無回答】	5	0.7
計	669	100

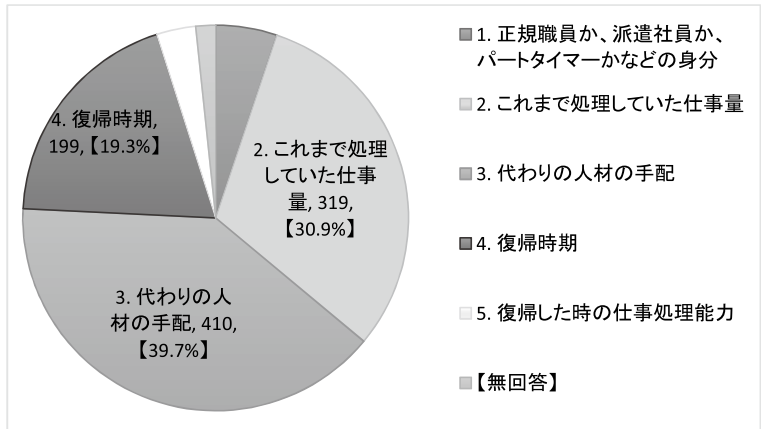


質問16：病気で約1ヶ月間の休職が必要と女性があなたに報告した時、考慮するもっとも重要な因子は何ですか？

1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分
 2. これまで処理していた仕事量
 3. 代わりの人材の手配
 4. 復帰時期
 5. 復帰した時の仕事処理能力

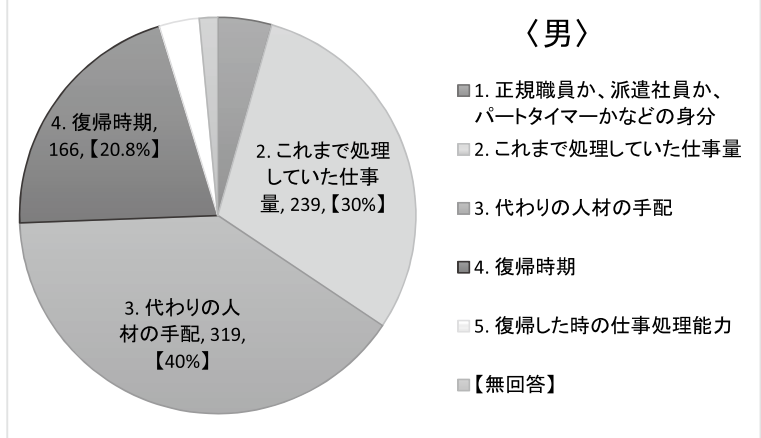
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分	53	5.1
2. これまで処理していた仕事量	319	30.9
3. 代わりの人材の手配	410	39.7
4. 復帰時期	199	19.3
5. 復帰した時の仕事処理能力	34	3.3
【無回答】	17	1.6
計	1,032	100



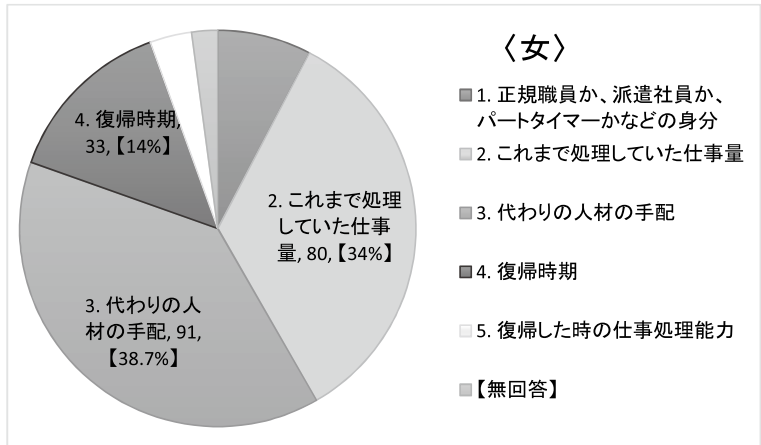
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分	35	4.4
2. これまで処理していた仕事量	239	30
3. 代わりの人材の手配	319	40
4. 復帰時期	166	20.8
5. 復帰した時の仕事処理能力	26	3.3
【無回答】	12	1.5
計	797	100



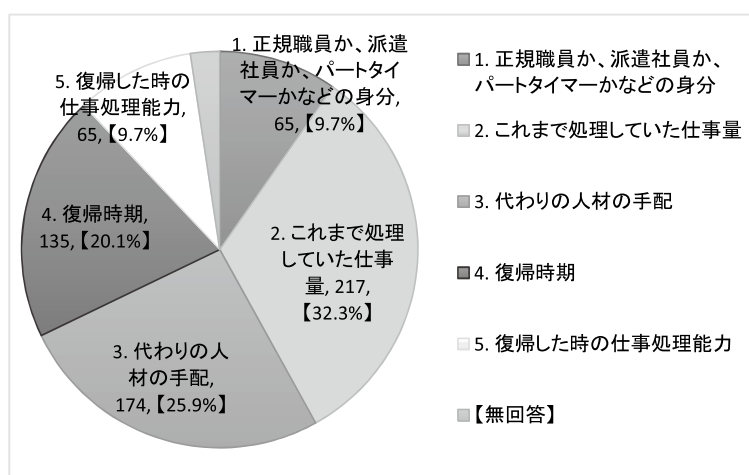
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分	18	7.7
2. これまで処理していた仕事量	80	34
3. 代わりの人材の手配	91	38.7
4. 復帰時期	33	14
5. 復帰した時の仕事処理能力	8	3.4
【無回答】	5	2.1
計	235	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分	65	9.7
2. これまで処理していた仕事量	217	32.3
3. 代わりの人材の手配	174	25.9
4. 復帰時期	135	20.1
5. 復帰した時の仕事処理能力	65	9.7
【無回答】	16	2.4
計	672	100



質問17：子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に、復職に際して望まれることは何ですか？

〈中間管理職〉

	集計数	%
回答有	597	58.1
【無回答】	431	41.9
計	1,028	100

〈一般職〉

	集計数	%
回答有	337	50.4
【無回答】	332	49.6
計	669	100

D. 検討結果の発表・公表

論文発表

- (1) 就労が女性特有の疾患の手術時期におよぼす影響（労働者健康安全機構が有する病歴データから）
宮内文久、大角尚子、香川秀之、星野寛美、松江陽一、中山昌樹、
藤原多子、志岐保彦、伊藤公彦、辰田仁美、東矢俊光
日本職業・災害学会誌 65 巻 (6 号) 349-356 2016 年

学会発表

- (1) 働く女性の健康管理 第1報
宮内文久、平野真理、南條和也
第61回愛媛県産婦人科医会学術講演会、平成28年5月28日、松山市
- (2) 就労が子宮筋腫、子宮頸癌の手術時期におよぼす影響
宮内文久
第26回日本産業衛生学会全国協議会、平成28年9月9日、京都市
- (3) 働く女性の健康管理 第2報
宮内文久、平野真理、南條和也、松本譲二
第69回中国四国産科婦人科学会学術集談会、平成28年9月25日、高松
- (4) 女性特有の疾患が就労に及ぼす影響
宮内文久
第64回日本職業災害学会、平成28年10月23日、仙台市
- (5) 女性の健康管理
宮内文久
第14回女性医療フォーラム、平成28年11月5日、新居浜市
- (6) 就労と子宮筋腫、子宮頸癌の手術を受ける年齢との関係
宮内文久
第24回日本産業ストレス学会、平成28年11月25日、東京都
- (7) 就労が女性特有の疾病等に及ぼす影響
宮内文久、香川秀之、星野寛美、松江陽一、中山昌樹、藤原多子、
志岐保彦、伊藤公彦、東矢俊光
第69回日本産科婦人科学会、平成29年4月13日、広島市
- (8) 子宮筋腫をめぐる治療と就労の両立支援
宮内文久
第90回日本産業衛生学会、平成29年5月12日、東京都
- (9) 子宮筋腫に対する就労女性の対応
宮内文久、平野真理、南條和也、松本譲二
第63回愛媛県産婦人科医会学術集談会、平成29年5月27日、松山市

講演発表

- (1) 働く女性の健康管理
宮内文久
神戸市医師会産業医研修会、平成28年8月6日、神戸市
- (2) 労働環境と働く女性の健康管理
宮内文久
愛媛産業保健セミナー、平成28年11月11日、宇和島市

資料 1

--	--	--	--	--

労災病院で働いている皆様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」（厚生労働省労災疾病臨床研究事業）へのご協力をお願い

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解することが重要な課題です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加えることは有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの実例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかとし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

貴方の現在の状態や就労状態などを、ありのままにお答えください。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。データは匿名化し、アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することに繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立てます。

7 研究協力は任意ですし、撤回も自由です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。また、申し入れにより何時でも貴方のデータの利用を中断することができます。どうぞ、ご安心ください。

なお、同意を撤回される場合は、同意撤回書を総務課までご提出下さい。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院を初めとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013年に行われた調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は6828億円、そのうち72%（約4916億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

本研究は全国の労災病院の女性従業員を対象としており、これまでにない大規模な研究です。また、2年後にもう一度同じ質問をして2年間に症状が進行しているかどうかを検討するなど、極めて独創的な研究です。

質問1：あなたの年齢をお教えてください。

----- 歳

質問2：あなたの職種についてお教えてください。-----

- | | | |
|--------------|------------------------|--------------|
| 1. 医師 | 2. 看護師・看護助手 | 3. 薬剤師 |
| 4. 臨床検査技師 | 5. 理学療法士・言語療法士 | 6. 放射線技師 |
| 7. 管理栄養士・栄養士 | 8. 診療情報管理士 | 9. メディカルクラーク |
| 10. 事務職 | 11. その他 () | |

質問3：あなたの病院について、最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 公称 200 床以下 | 2. 公称 201～300 床 | 3. 公称 301～400 床 |
| 4. 公称 401～500 床 | 5. 公称 501～600 床 | 6. 公称 601 床以上 |

質問4：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

- | | | |
|-------|--------|-----------------------|
| 1. 常勤 | 2. 非常勤 | 3. その他 () |
|-------|--------|-----------------------|

質問5：あなたがこれまでに働いた期間は、どれくらいですか？
(労災病院だけでなく、これまでに働いた期間を通算してください。)

年間

質問6：あなたは準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に、現在従事していますか？----

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

質問 7 : あなたは一週間に準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事している時間を平均すると、どれくらいになりますか？

時間/週

質問 8 : あなたがこれまでに準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事していた期間を通算すると、どれくらいになりますか？

年間

質問 9 : 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 月経痛、月経の量が多い | 2. 月経不順または無月経 |
| 3. 月経と月経の間の痛み | 4. 月経前に具合が悪い |
| 5. 不正出血 | 6. 下腹痛 |
| 7. 腰痛 | 8. 赤ちゃんができない |
| 9. おりもの | 10. 外陰のかゆみ |
| 11. 外陰の痛み/できもの | 12. 更年期障害 |
| 13. 乳房のしこり | 14. 乳房のはり |
| 15. 頻尿、排尿痛 | 16. その他 () |
| 17. 特になし | |

質問 10 : 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか？-----

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 大変理解がある | 2. どちらかといえば理解がある |
| 3. どちらかといえば理解がない | 4. ほとんど理解がない |

質問 11 : 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性職員と女性職員のいずれから、より理解されていると思いますか？-----

1. 男性職員のほうが理解がある
2. 女性職員のほうが理解がある
3. どちらも同じ

質問 12：月経は、順調ですか不調ですか？-----

- 1. 順調
- 2. 不調
- 3. 月経なし（妊娠中・閉経後・その他）

「順調」と答えた方へ：
質問 12-2：平均的な周期は何日ですか？約 日型

質問 13：月経は何日ぐらい続きますか？----- 約 日間

質問 14：月経の量を自分でどう思われますか？-----

- 1. 少ない
- 2. 普通
- 3. 多い

質問 15：月経時の痛み（下腹部痛・腰痛など）について、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。-----

- 0. 痛みは、ほとんどない。
- 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
- 2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと、仕事などを休むことはほとんどない。
- 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたしている。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休む事が多い。
- 4. 痛みのために動くこともつらく、一日中横になっている。

質問 16：月経時の痛みのために、鎮痛剤を使用しますか？-----

- 1. はい
- 2. いいえ

「はい」と答えた方へ：
質問 16-2：1回の月経で、何日間ぐらい鎮痛剤を使用しますか？

-
- 1. 1日
 - 2. 2日
 - 3. 3日
 - 4. 4日
 - 5. 5日以上
 - 6. たまに使用する

質問 17 : この半年間で、月経痛のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかったことが、一日でもありましたか?-----

1. はい
2. いいえ (1日もない)

「はい」と答えた方へ：

質問 17-2 : この半年間で、月経痛のため仕事を休んだのは何日間ですか?----- 約 日間

質問 17-3 : この半年間で、月経痛のため仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか?----- 約 日間

質問 17-4 : それらの日の仕事量は、平均すると普段の仕事量のどの程度でしたか? -----

1. 1/4程度
2. 半分程度
3. 3/4程度

質問 18 : 月経痛のため、病院・医院など医療機関を受診したことがありますか?----

1. ある
2. ない

「ある」と答えた方へ：

質問 18-2 : 何と診断されましたか? 該当するものを選んで下さい。

1. 子宮筋腫
2. 子宮腺筋症
3. 子宮内膜症
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞
5. その他の卵巣腫瘍
6. 月経困難症
7. 月経前緊張症
8. その他 (_____)

質問 18-3 : 治療は何でしたか? 該当するものを選んで下さい。

1. 手術による治療
2. 薬剤による治療
3. その他 (_____)

質問 18-4 : 治療によって、月経中にも仕事がしやすくなりましたか?

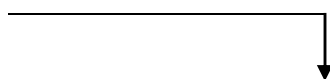
1. しやすくなった
2. 変わらない
3. むしろ悪くなった

質問 19 : 更年期様症状 (のぼせ、発汗、だるさ、眠りが浅い、疲れ易いなど) について、最も当てはまるものを一つ選んでください。-----

1. 更年期様症状は、ほとんどない。
2. 更年期様症状はあるが、日常生活は普通に行える。
3. 更年期様症状があり、日常生活に差し支えることがある。仕事を休むことはほとんどない。
4. 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。仕事を休むことが多い。
5. 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。一日中横になっていることが多い。

質問 20 : 更年期様症状のために、薬剤を使用していますか? -----

1. はい
2. いいえ



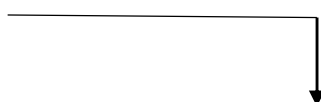
「はい」と答えた方へ：

質問 20-2 : 1ヶ月で何日間ぐらい薬剤を使用しますか? -----

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 1日 | 2. 2日 | 3. 3日 |
| 4. 4日 | 5. 5日 | 6. 6日～10日 |
| 7. 11日～15日 | 8. 16日～20日 | |
| 9. 21日～25日 | 10. 26日～31日 | |

質問 21 : この半年間で、更年期様症状のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかったことが、1日でもありましたか? -----

1. はい
2. いいえ (1日もない)



「はい」と答えた方へ：

質問 21-2 : この半年間で、仕事を休んだのは何日間ですか? -----

約 日間

質問 21-3 : この半年間で、仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか? -----

約 日間

質問 21-4 : それらの日の仕事は平均して、普段の仕事のどの程度でしたか? -----

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 1/4程度 | 2. 半分程度 | 3. 3/4程度 |
|----------|---------|----------|

質問 28：過去 1 か月間、どのくらい元気でしたか？-----

1. 非常に元気だった
2. かなり元気だった
3. 少し元気だった
4. わずかに元気だった
5. ぜんぜん元気でなかった

質問 29：過去 1 か月間に、家族や友人との普段のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？-----

1. ぜんぜん妨げられなかった
2. わずかに妨げられた
3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた
5. つきあいができなかった

質問 30：過去 1 か月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか？-----

1. ぜんぜん悩まされなかった
2. わずかに悩まされた
3. 少し悩まされた
4. かなり悩まされた
5. 非常に悩まされた

質問 31：過去 1 か月間に、日常行う活動（仕事・学校・家事などの普段の行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？-----

1. ぜんぜん妨げられなかった
2. わずかに妨げられた
3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた
5. 日常行う活動ができなかった

質問 32：最後にあなたの身長などを教えてください。

身長 _____ cm

体重 _____ kg

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

同 意 書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」
について説明を受け、目的、内容、協力への拒否権について理解しました。
よって、本研究への協力に同意いたします。

平成 年 月 日

ご本人(署名)

- ※ 本研究では連結匿名化法を用いて個人情報を保護しています。そのため、研究に際して個人を特定することはできません。なお、2年後にもう一度同じ質問にお答えいただく予定ですが、その際転勤あるいは転職などによって元の労災病院に勤務していらっしゃらない場合には、郵送にて質問にお答えいただく場合がございます。合わせて、ご了承ください。ご協力いただければと存じます。

同 意 撤 回 書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、標記研究内容と協力内容について説明を受け、本研究への協力について同意しましたが、これを撤回します。

ご本人(署名) _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

確認者(署名) _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

資料 2

当院産婦人科を受診された患者様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」(厚生労働省労災疾病臨床研究事業) への
ご協力をお願い

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解することが重要な課題です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加えることは有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの事例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかとし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

貴方の現在の状態、病気かもしれないと自覚した時の状態、就労状態などを、ありのままにお答えください。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。データは匿名化し、アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することに繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立てます。

7 研究協力は任意ですし、撤回も自由です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。また、申し入れにより何時でも貴方のデータの利用を中断することができます。どうぞ、ご安心ください。

なお、同意を撤回される場合は、同意撤回書をアンケートを提出した労災病院の産婦人科外来までお持ち下さい。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院を初めとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013年に行われた調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は6828億円、そのうち72%（約4916億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

本研究に参加するかしないかはご自身でご自由にお決め下さい。
本研究への参加の有無によって、治療行為に差が生じることはございません。

質問 1：あなたの年齢をお教えてください。

----- 歳

質問 2：あなたの職業について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | | |
|----------|-----------|--------------------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 自営商工業 | 3. 事務職 |
| 4. 営業職 | 5. 接客・販売職 | 6. 技術職 |
| 7. 専門職 | 8. 医療・介護職 | 9. 管理職 |
| 10. 専業主婦 | 11. 学生・無職 | 12. その他 () |

質問 3：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | | |
|-------------------------------|-----------|------------|
| 1. 正規職員 | 2. 派遣職員 | 3. パートタイマー |
| 4. その他 () | 5. 働いていない | |

質問 4：これまでに出産した回数は何回ですか？-----

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 0. なし | 1. 1 回 | 2. 2 回 |
| 3. 3 回 | 4. 4 回 | 5. 5 回以上 |

質問 5：受診の理由となった症状・悩みを下の選択肢の中から最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 月経痛、月経の量が多い | 2. 月経不順または無月経 |
| 3. 月経と月経の間の痛み | 4. 月経前に具合が悪い |
| 5. 不正出血 | 6. 下腹痛 |
| 7. 腰痛 | 8. 妊娠 |
| 9. 妊娠希望 | 10. 避妊についての相談 |
| 11. おりもの | 12. 外陰のかゆみ |
| 13. 外陰の痛み／できもの | 14. 更年期障害 |
| 15. 他院または検診で異常を指摘された (卵巣のう腫・がん検診で要再検など) | |
| 16. 検診／検査希望 (がん検診・性病検査・骨密度など) | |
| 17. 乳房のしこり | 18. 乳房のはり |
| 19. 頻尿、排尿痛 | 20. その他 () |

質問 6 : 今回、この病院にご来院された理由に最も近いものを 1 つ選んでください。

1. しばらく自分で様子を見ていたが良くなる
2. 薬局で購入した薬を使って様子を見ていたが良くなる
3. 別の病院、診療所でみてもらったが良くなる
4. たいした症状はないが自分が深刻な病気にかかっているかどうかを確かめたい
5. 別の病院、診療所でみてもらったが当院の先生の意見も聞きたい (セカンドオピニオン)
6. 別の病院、診療所から本院を紹介された

質問 7 : 本日の受診の結果はどうになりましたか? 最も近いものを 1 つ選んでください。

1. 問診と相談のみで検査や治療の必要はないと言われた
2. 念のために検査をしたが、経過観察だけで今のところ治療の必要はないだろうと言われた
3. さらに詳しい検査が必要で、結果によって治療方針を決定すると言われた
4. 本日処置をしてもらい、治療がほぼ終了した
5. 投薬治療が必要と言われた
6. 通院治療が必要と言われた
7. すぐにあるいは近いうちに入院が必要と言われた
8. すぐにあるいは近いうちに入院手術が必要と言われた
9. 他院へ紹介された
10. 紹介元の病院、診療所での治療または経過観察を続けることになった

質問 8 : 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思
いますか? -----

1. 大変理解がある
2. どちらかといえば理解がある
3. どちらかといえば理解がない
4. ほとんど理解がない

質問 9 : 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性と女性のいずれから、
より理解されていると思いますか? -----

1. 男性のほうが理解がある
2. 女性のほうが理解がある
3. どちらも同じ

質問 10：もしもあなたが次の(a)～(e)のような症状を初めて経験したと仮定して、あなたならどうしますか？それぞれ以下の 1～7 中から選んでください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| (a) 不正出血が 2～3 回続いた----- | <input type="checkbox"/> |
| (b) 冷えがひどい----- | <input type="checkbox"/> |
| (c) 外陰のかゆみがある----- | <input type="checkbox"/> |
| (d) 赤ちゃんが 1 年以上できない----- | <input type="checkbox"/> |
| (e) 月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える----- | <input type="checkbox"/> |

1. 様子を見る
2. 薬局で薬をもとめる
3. 産婦人科（個人病院・開業医）を受診する
4. 産婦人科（総合病院）を受診する
5. 産婦人科（大学病院）を受診する
6. 産婦人科以外の病院・診療所（かかりつけの内科など）を受診する
7. 3～6 以外の場所で相談する

質問 11：もしもあなたに月経時の痛み（下腹部痛、腰痛など）があると仮定して、次の 1～4 のうち、どれくらいの状態を経験したら、産婦人科を受診しようと思いますか？最も近い状態を一つ選んでください。-----

1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。

質問 12：全体的にみて、過去 1 か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？-----

- | | | |
|------------|----------|-------------|
| 1. 最高に良い | 2. とても良い | 3. 良い |
| 4. あまり良くない | 5. 良くない | 6. ぜんぜん良くない |

質問 13：過去 1 か月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？-----

- | | | |
|-----------------|--------------------|------------|
| 1. ぜんぜん妨げられなかった | 2. わずかに妨げられた | 3. 少し妨げられた |
| 4. かなり妨げられた | 5. 体を使う日常活動ができなかった | |

質問 14：過去 1 か月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由で
どのくらい妨げられましたか？-----

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた 5. いつもの仕事ができなかった

質問 15：過去 1 か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？-----

1. ぜんぜん痛みはなかった 2. かすかな痛み 3. 軽い痛み
4. 中くらいの痛み 5. 強い痛み 6. 非常に激しい痛み

質問 16：過去 1 か月間、どのくらい元気でしたか？-----

1. 非常に元気だった 2. かなり元気だった 3. 少し元気だった
4. わずかに元気だった 5. ぜんぜん元気でなかった

質問 17：過去 1 か月間に、家族や友人との普段のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由
で、どのくらい妨げられましたか？-----

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた 5. つきあいができなかった

質問 18：過去 1 か月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラ
したり）に、どのくらい悩まされましたか？-----

1. ぜんぜん悩まされなかった 2. わずかに悩まされた 3. 少し悩まされた
4. かなり悩まされた 5. 非常に悩まされた

質問 19：過去 1 か月間に、日常行う活動（仕事・学校・家事などの普段の行動）が、心理的
な理由で、どのくらい妨げられましたか？-----

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた 5. 日常行う活動ができなかった

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

同意書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」
について説明を受け、目的、内容、協力への拒否権について理解しました。
よって、本研究への協力に同意いたします。

平成 年 月 日

ご本人(署名) _____

代諾者(署名) _____

【説明者】

平成 年 月 日

研究内容の説明者(署名) _____

なお、本研究の追加調査として、今後再びご協力をお願いするかもしれません。
もし、追加のご協力が可能なようでしたら、あなたのご住所をご記入いただけませんか？
よろしく願い申しあげます。

ご住所 〒 _____

同 意 撤 回 書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、標記研究内容と協力内容について説明を受け、本研究への協力について同意しましたが、これを撤回します。

ご本人(署名) _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

確認者(署名) _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

資料 3

当院産婦人科で手術をお受けになった患者様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」（厚生労働省労災疾病臨床研究事業）への
ご協力のお願い

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解することが重要な課題です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加えることは有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの事例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかとし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

貴方の現在の状態、病気かもしれないと自覚した時の状態、就労状態などを、ありのままにお答えください。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。データは匿名化し、アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することに繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立てます。

7 研究協力は任意ですし、撤回も自由です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。また、申し入れにより何時でも貴方のデータの利用を中断することができます。どうぞ、ご安心ください。

なお、同意を撤回される場合は、同意撤回書をアンケートを提出した労災病院の産婦人科外来までお持ち下さい。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院を初めとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013年に行われた調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は6828億円、そのうち72%（約4916億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

本研究に参加するかしないかはご自身でご自由にお決め下さい。
本研究への参加の有無によって、治療行為に差が生じることはございません。

質問 1 : あなたの年齢をお教えてください。

----- 歳

質問 2 : 自分が病気ではないかと疑いながら、外来を受診するまでの期間はどのくらいでしたか？ -----

- | | | |
|--------------|-----------|---------|
| 1. 1 週 | 2. 2 週 | 3. 3 週 |
| 4. 1 ヶ月 | 5. 2 ヶ月 | 6. 3 ヶ月 |
| 7. 4 ヶ月 | 8. 5 ヶ月 | 9. 6 ヶ月 |
| 10. 7 ヶ月～1 年 | 11. 1 年以上 | |

質問 3 : 自分が病気ではないかと疑いながら、受診を躊躇った理由は何ですか？一つ選んでください。 -----

1. 病気だったらどうしようかと不安だった
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた
3. どこの病院が良いかと医療機関を探していた
4. 家族に配慮して
5. 職場に配慮して
6. 病院にかかること自体が嫌だった
7. なんとなく受診する気になれなかった

質問 4 : 実際に入院する時に配慮したのは何でしたか？一つ選んでください。

1. 産婦人科医・病院の事情
2. 家族の事情
3. 職場の事情
4. 縁起
5. 何も配慮しなかった
6. なんとなく

質問 5 : 入院中に気になったこと、心配したことは何ですか？一つ選んでください。

1. 入院中の自分の体の調子
2. 退院後の体の調子
3. 家族の調子
4. 職場の様子
5. 入院費用
6. 近所や親戚との付き合い

質問 6 : 入院生活はどうでしたか？一つ選んでください。-----

1. とても満足
2. 満足
3. 普通
4. 不満足
5. とても不満

質問 7 : 退院時期を決めるのに配慮したのは何ですか？一つ選んでください。

1. 産婦人科医・病院の事情
2. 家族への配慮
3. 職場への配慮
4. 土曜日・日曜日など週末
5. 大安、友引などの縁起
6. なんとなく

質問 8 : 退院して気になったこと、心配したことは何ですか？一つ選んでください。

1. 現在の自分の体の調子
2. 将来の自分の体の調子
3. 家族の調子
4. 職場の様子
5. 復職時期
6. 近所や親戚との付き合い

質問 9 : 復職の時期を決めるのに配慮したのは何ですか?一つ選んでください。

1. 産婦人科医のアドバイス
2. 家族への配慮
3. 職場への配慮
4. 職場からの強制
5. 月曜日や月の初めなど区切りの良さ
6. なんとなく

質問 10 : 復職してみて、どうでしたか?一つ選んでください。-----

1. 復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった
2. 復職はちょうどいい頃だった
3. 復職は遅すぎた、もっと早く復職できた

質問 11 : 手術から復職までの期間をお教えてください。

約 週間

質問 12 : 復職してみて、職場への要望があれば、お教えてください。お答えは幾つでも結構です。-----

1. もう少し、自宅療養を許して欲しかった
2. もう少し、楽な職場環境で働ければいいのに
3. もう少し、上司が手術後であることに配慮してくれればいいのに
4. もう少し、同僚が手術後であることに配慮してくれればいいのに
5. もう少し、家族が手術後であることに配慮してくれればいいのに
6. 満足している
7. 不満足である

質問 13 : あなたの職業について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 自営商工業 | 3. 事務職 |
| 4. 営業職 | 5. 接客・販売職 | 6. 技術職 |
| 7. 専門職 | 8. 医療職 | 9. 管理職 |
| 10. 専業主婦 | 11. 学生・無職 | 12. その他 () |

質問 14：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んでください。---

- 1. 正規職員
- 2. 派遣職員
- 3. パートタイマー
- 4. その他 ()
- 5. 働いていない

質問 15：手術を受けた病気は何ですか？最も近い病態を一つ選んでください。----

- 1. 子宮筋腫
- 2. 子宮腺筋症
- 3. 子宮内膜症
- 4. 子宮内膜症性卵巣のう胞
- 5. その他の卵巣腫瘍
- 6. 子宮頸癌
- 7. 子宮体癌
- 8. 卵巣癌
- 9. その他 ()

上記「1. 2. 3.」とお答えされた方へ

質問 15-2：手術で摘出したのは？-----

- 1. 子宮だけ
- 2. 子宮筋腫だけ
- 3. 片側卵巣だけ
- 4. 卵巣腫瘍だけ
- 5. 子宮と片側卵巣
- 6. 子宮と両側卵巣
- 7. その他 ()

質問 16：これから手術を受ける働く女性に、何かアドバイスがあればご自由に記入してください。

質問 17：これから働く女性を受け入れる病院に、何かアドバイスがあればご自由に記入してください。

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

同意書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」
について説明を受け、目的、内容、協力への拒否権について理解しました。
よって、本研究への協力に同意いたします。

平成 年 月 日

ご本人(署名)

代諾者(署名)

【説明者】

平成 年 月 日

研究内容の説明者(署名)

同 意 撤 回 書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、標記研究内容と協力内容について説明を受け、本研究への協力について同意しましたが、これを撤回します。

ご本人(署名) _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

確認者(署名) _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

資料 4

職場や自治会の皆様、人間ドックを 受診されている皆様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の
両立に関する調査研究」（厚生労働省労災疾病臨床研究事業）への
ご協力をお願い

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解することが重要な課題です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加えることは有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの事例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかとし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

貴方の現在の状態や就労状態などを、ありのままにお答えください。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することに繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立っています。

7 研究協力は任意です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。たとえ、研究に参加されなくても、いかなる不利益もございません。どうぞ、ご安心ください。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院を初めとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013年に行われた調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は6828億円、そのうち72%（約4916億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

質問 1：あなたの年齢をお教えてください。

----- 歳

質問 2：あなたの職業について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

- | | | |
|----------|-----------|--------------------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 自営商工業 | 3. 事務職 |
| 4. 営業職 | 5. 接客・販売職 | 6. 技術職 |
| 7. 専門職 | 8. 医療職 | 9. 管理職 |
| 10. 専業主婦 | 11. 学生・無職 | 12. その他 () |

質問 3：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

- | | | |
|-------------------------------|-----------|------------|
| 1. 正規職員 | 2. 派遣職員 | 3. パートタイマー |
| 4. その他 () | 5. 働いていない | |

質問 4：これまでに出産した回数は何回ですか？-----

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 0. なし | 1. 1回 | 2. 2回 |
| 3. 3回 | 4. 4回 | 5. 5回以上 |

質問 5：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 月経痛、月経の量が多い | 2. 月経不順または無月経 |
| 3. 月経と月経の間の痛み | 4. 月経前に具合が悪い |
| 5. 不正出血 | 6. 下腹痛 |
| 7. 腰痛 | 8. 赤ちゃんができない |
| 9. おりもの | 10. 外陰のかゆみ |
| 11. 外陰の痛み／できもの | 12. 更年期障害 |
| 13. 乳房のしこり | 14. 乳房のはり |
| 15. 頻尿、排尿痛 | 16. その他 () |
| 17. 特になし | |

質問 6: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか?-----

1. 大変理解がある
2. どちらかといえば理解がある
3. どちらかといえば理解がない
4. ほとんど理解がない

質問 7: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性と女性のいずれから、より理解されていると思いますか?-----

1. 男性のほうが理解がある
2. 女性のほうが理解がある
3. どちらも同じ

質問 8: もしもあなたが次の(a)～(e)のような症状を初めて経験したと仮定して、あなたならどうしますか?それぞれ以下の1～7 中から選んでください。

(a) 不正出血が2～3 回続いた-----

(b) 冷えがひどい-----

(c) 外陰のかゆみがある-----

(d) 赤ちゃんが1年以上できない-----

(e) 月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える-----

1. 様子を見る
2. 薬局で薬をもとめる
3. 産婦人科 (個人病院・開業医) を受診する
4. 産婦人科 (総合病院) を受診する
5. 産婦人科 (大学病院) を受診する
6. 産婦人科以外の病院・診療所 (かかりつけの内科など) を受診する
7. 3～6 以外の場所で相談する

質問 9: もしもあなたに月経時の痛み(下腹部痛、腰痛など)があると仮定して、次の1～4のうち、どれくらいの状態を経験したら、産婦人科を受診しようと思いますか?最も近い状態を一つ選んでください。-----

1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。

質問 10：全体的にみて、過去 1 か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？-----

- | | | |
|------------|----------|-------------|
| 1. 最高に良い | 2. とても良い | 3. 良い |
| 4. あまり良くない | 5. 良くない | 6. ぜんぜん良くない |

質問 11：過去 1 か月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？-----

- | | | |
|-----------------|--------------------|------------|
| 1. ぜんぜん妨げられなかった | 2. わずかに妨げられた | 3. 少し妨げられた |
| 4. かなり妨げられた | 5. 体を使う日常活動ができなかった | |

質問 12：過去 1 か月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？-----

- | | | |
|-----------------|------------------|------------|
| 1. ぜんぜん妨げられなかった | 2. わずかに妨げられた | 3. 少し妨げられた |
| 4. かなり妨げられた | 5. いつもの仕事ができなかった | |

質問 13：過去 1 か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？-----

- | | | |
|----------------|-----------|-------------|
| 1. ぜんぜん痛みはなかった | 2. かすかな痛み | 3. 軽い痛み |
| 4. 中くらいの痛み | 5. 強い痛み | 6. 非常に激しい痛み |

質問 14：過去 1 か月間、どのくらい元気でしたか？-----

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| 1. 非常に元気だった | 2. かなり元気だった | 3. 少し元気だった |
| 4. わずかに元気だった | 5. ぜんぜん元気でなかった | |

質問 15：過去 1 か月間に、家族や友人との普段のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？-----

- | | | |
|-----------------|----------------|------------|
| 1. ぜんぜん妨げられなかった | 2. わずかに妨げられた | 3. 少し妨げられた |
| 4. かなり妨げられた | 5. つきあいができなかった | |

質問 16: 過去 1 か月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか? -----

1. ぜんぜん悩まされなかった
2. わずかに悩まされた
3. 少し悩まされた
4. かなり悩まされた
5. 非常に悩まされた

質問 17: 過去 1 か月間に、日常行う活動（仕事・学校・家事などの普段の行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか? -----

1. ぜんぜん妨げられなかった
2. わずかに妨げられた
3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた
5. 日常行う活動ができなかった

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

資料 5

企業の間管理職や衛生管理スタッフの皆様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」（厚生労働省労災疾病臨床研究事業）へのご協力のお願い

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解することが重要な課題です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加えることは有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの事例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかとし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

貴方の現在の状態や就労状態などを、ありのままにお答えください。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することに繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立っています。

7 研究協力は任意です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。たとえ、研究に参加されなくても、いかなる不利益もございません。どうぞ、ご安心ください。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院を初めとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013年に行われた調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は6828億円、そのうち72%（約4916億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

質問 1 : あなたの年齢をお教えてください。----- 歳

質問 2 : あなたの性別についてお教えてください。-----

1. 男性 2. 女性

質問 3 : あなたの会社について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | | |
|--|----------------|---------|
| 1. 農林水産業 | 2. 商業 | 3. 運輸業 |
| 4. 飲食業 | 5. 製造業 | 6. 医療 |
| 7. 介護・福祉 | 8. コンピュータ関連、情報 | 9. 美容 |
| 10. 金融 | 11. 教育 | 12. 官公庁 |
| 13. その他 () | | |

質問 4 : あなたの会社の規模について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。---

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 従業員 50 人以下 | 2. 51~100 人 | 3. 101~200 人 |
| 4. 201~300 人 | 5. 301~400 人 | 6. 401~500 人 |
| 7. 501 人以上 | | |

質問 5 : あなたの職位について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

1. 一般職 2. 中間管理職 3. 管理職

質問 6 : あなたは衛生管理スタッフですか?-----

1. はい 2. いいえ

質問 7 : 月経に関連した症状で、知っている項目を教えてください。

- | | | | |
|----------|-----------|--------------|----------|
| ① 過多月経 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |
| ② 頻発月経 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |
| ③ 月経痛 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |
| ④ 月経困難症 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |
| ⑤ 月経前症候群 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |

質問 8 : 次の疾患について、知っている項目を教えてください。

- ① 子宮筋腫 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ② 子宮内膜症 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ③ 子宮頸がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ④ 子宮体がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑤ 卵巣嚢腫 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑥ チョコレートのう胞 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑦ 卵巣がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑧ 更年期障害 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑨ 胃がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑩ 大腸がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑪ 高血圧 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑫ メタボリック症候群 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない

質問 9 : あなたの職場で、月経痛など月経に関連した症状で、休暇を請求されたことがありますか? -----

- 1. ある 2. ない 3. わからない・知らない

質問 10 : あなたの職場で、月経痛など月経に関連した症状で休暇を請求される女性の数が? -----

- 1. 増えている 2. 変わらない 3. 減っている 4. わからない・知らない

質問 11 : あなたの職場は、月経痛など月経に関連した症状で休暇が取りやすい職場ですか? -----

- 1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

質問 12 : あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で治療を受けている女性がいらっしゃいますか? -----

- 1. いる 2. いない 3. わからない・知らない

質問 13：あなたの職場で、更年期障害で治療を受けている女性がいらっしゃいますか？

1. いる 2. いない 3. わからない・知らない

質問 14：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などで婦人科外来を受診されている女性に、何か配慮をされていますか？-----

1. している 2. していない 3. わからない・知らない

質問 15：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に、何か配慮をされていますか？-----

1. している 2. していない 3. わからない・知らない

質問 16：病気で約1ヶ月間の休職が必要と女性があなたに報告した時、考慮するもっとも重要な因子は何ですか？-----

1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分
2. これまで処理していた仕事量
3. 代替りの人材の手配
4. 復帰時期
5. 復帰した時の仕事処理能力

質問 17：子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に、復職に際して望まれることは何ですか？

(_____)

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

資料 6

別紙様式第 1

受付番号 第 60 号

倫理審査申請書

平成 27 年 5 月 11 日提出

労働者健康福祉機構愛媛労災病院
臨床倫理委員会委員長 宮内文久 殿

申請者 所属 職： 労働者健康福祉機構愛媛労災病院 院長
氏名： 宮内文久 印

1. 課題名

厚生労働省平成 27 年度労災疾病臨床研究事業「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」

2. 実施責任者

所属	愛媛労災病院	職	院長	氏名	宮内 文久
----	--------	---	----	----	-------

3. 分担責任者

所属	群馬大学大学院	職	教授	氏名	林 邦彦
	山口大学大学院		教授		杉野 法広
	関東労災病院		副院長		香川 秀之
	熊本労災病院		副院長		東矢 俊光
	東京労災病院		部長		松江 陽一
	横浜労災病院		部長		中山 昌樹
	中部労災病院		部長		藤原 多子
	大阪労災病院		部長		志岐 保彦
	関西労災病院		部長		伊藤 公彦
	関東労災病院		部長		星野 寛美
	和歌山労災病院		部長		辰田 仁美

4. 目的

男女雇用機会均等法の改正に伴い、職場での男女の共同作用が期待されている。しかし、女性は卵巣から分泌されるホルモンの影響を受け、女性特有の月経周期が存在し、ホルモンの影響を受ける子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などが出現する。このような女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかにされているとは言い難い。

そのため、本研究では

- (1) 労働者健康福祉機構が有している病職歴データ（過去30年の病歴が570万件、職歴は280万件）からの調査、解析、
- (2) 産婦人科外来での患者の実態調査、
- (3) 職場や自治会、検診受診者など一般婦人の実態調査、
- (4) 女性特有の疾患に対する中間管理職や産業保健スタッフの理解度と対応の把握、
- (5) 全国の労災病院の女性従業員を対象とした女性特有の疾患の経年変化の観察を行う。この労災病院の女性従業員を対象とした調査と全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）において、相互比較を行う。

本研究によって女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などが明らかとなり、解析によって女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響が明らかとなる。本研究の知見は労働行政に基本情報を提供することとなり、性差に基づいた快適な職場環境が提供可能となる。

5. 研究あるいは医療の対象

- (1) 労働者健康福祉機構が保有している病職歴データの利用

労働者健康福祉機構に在籍している診療情報管理士によって解析を行い、子宮筋腫で入院した患者の年齢、入院期間、職種によって発生頻度に差があるかどうか、就労婦人と非就労婦人あるいは就労婦人の中でも正規就労者と非正規就労者との間に差があるかどうかを検討する。また、子宮筋腫で入院した患者と子宮内膜症で入院した患者との間で差があるかどうかを合わせ検討する。

なお、諸外国では夜間交替勤務に従事している看護師は乳癌の危険因子と断定されているが日本での大規模調査に基づく報告は行われていない。そこで、本調査時に合わせて乳癌の発生率と職業との関係についても、合わせて調査する。

- (2) 産婦人科外来での患者の実態調査産婦人科外来での患者の実態調査

全国の労災病院産婦人科で子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害と診断した婦人に質問紙を配布し、患者の実態を調査する。月経痛や過多月経、腰痛、性交痛などの症状の有無、貧血の有無、症状を自覚した日時と初診日時との期間、受診時に配慮した事情（家庭の事情、職場の事情、行事など）、就労婦人と非就労婦人との間に差があるかどうか、などを検討する。

また、子宮筋腫・子宮内膜症で入院した患者に質問紙を配布し、入院を決めた事情、退院を決めた時の事情、入院中の心配事などを検討する。

(3) 職場や自治会、検診受信者を通じた一般婦人における実態調査

職場や自治会、検診受診者に上記(2)で用いた質問紙を配布し、一般婦人における症状の出現率や有病率を調査する。

(4) 会社の中間管理職や産業衛生スタッフの意識調査

「生理休暇をとりたくても上司の理解がなくて取れない」「生理休暇をとると周りから白い目で見られる」などの発言あることから、会社の中間管理職や産業保健スタッフに質問紙を配布し、女性特有の疾患の理解度を調査する。また、男性中間管理職と女性中間管理職との間に理解度に差異があるかも合わせて検討する。

(5) 女性の経年変化

全国の労災病院で働いている女性の医師、看護師、薬剤師、検査技師に上記(2)で用いた質問紙を配布し、症状の出現率を調査する。全く同じ調査を2年後に行い、2年間による症状の変化、症状の出現率を比較調査する。また、これらの成績に関しては全国の労災病院の女性従業員を対象とした調査と全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）において、比較解析する。さらに、夜間勤務従事年数とBMIとの関係を解析する。

6. 実施場所

愛媛労災病院 本研究は独立行政法人労働者健康福祉機構愛媛労災病院内に設置されている「働く女性メディカルセンター」において調査分析および解析を行う。また、データの収集は全国の労災病院との協力のもとに実施する。

7. 実施計画

(1) 労働者健康福祉機構が保有している病職歴データの利用

平成27年度に解析を完了。

(2) 産婦人科外来での患者の実態調査

(2-1)平成27年6月～平成27年9月 全国の労災病院の病院長、産婦人科部長に研究趣意書を発送し、了解を得る。

(2-2)平成27年10月～平成28年10月 全国の労災病院の産婦人科外来に質問紙を配送し、約1千人の患者から実態調査を行う。

(2-3)平成28年11月～平成29年5月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(3) 一般婦人における実態調査

(3-1)平成27年10月～平成27年12月 全国あるいは地元の企業、自治会、検診センターに研究趣意書を発送し、了解を得る。

(3-2)平成28年1月～平成28年12月 了解を得た企業、自治会、検診センターに質問紙を配送し、約2千人の婦人から実態調査を行う。

(3-3)平成29年1月～平成29年8月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(4) 会社の中間管理職、産業衛生スタッフの意識調査

(4-1)平成27年10月～平成27年12月 全国あるいは地元の企業に直接に、あるいは地域産業保健支援センターを経由して研究趣意書を発送し、了解を得る。

(4-2)平成28年1月～平成28年12月 了解を得た企業に質問紙を配送し、約2百人の中間管理職から実態調査を行う。

(4-3)平成29年1月～平成29年8月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(5) 女性の経年変化

(5-1)平成 27 年 6 月～平成 27 年 9 月 全国の労災病院の病院長、産婦人科部長に研究趣意書を発送し、了解を得る。

(5-2)平成 27 年 10 月～平成 27 年 11 月 全国の労災病院に質問紙を配送し、女性従事者に実態調査を行う。

(5-3)平成 29 年 10 月～平成 29 年 11 月 全国の労災病院に質問紙を配送し、女性従事者に実態調査を再度行う。

(5-4)平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月 質問結果を excel に入力し、解析する。また、全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）においても比較検討する。

8. 研究あるいは医療によって生じる個人への不利益ならびに危険性について

本研究は人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 27 年 4 月 1 日施行予定）を遵守し、労働者健康福祉機構愛媛労災病院倫理委員会の承認を得て実施される。また、個々の対象者へは十分な説明と同意を事前に行い、いつでも削除可能であることを周知する。得られたデータは学問的利用にのみ限定し、対象者個人を同定した利用は行なわないことを明記する。

9. 医学および医療上の貢献度

男性と女性が同じ立場で働くことを、現在は求められている。一方、日本人女性における月経に伴う日常生活への負担に関する 2013 年の調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は 6828 億円、そのうち 72%（約 4916 億円）が労働損失と推計している。しかしこれは限られた範囲の調査であったため、正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにすることはできていない。

そのため、月経に悩む女性の訴えの詳細、正確な有病率・有所見率、治療を必要とする女性の実態を的確に把握することは、これからの労働行政の基本情報を提供することとなり、性差に基づいた快適な職場環境の提供が可能となる。また、夜間労働が BMI を増加させるとの結果が明らかになれば、夜間交代制勤務に従事している女性労働者に警告を発することが可能となり、適切な労務管理に資することから、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することとなり、ひいては労災疾病の予防に繋がると考える。

10. 研究あるいは医療実施時における対象となる個人の人権の擁護に対する配慮

およびその個人の理解と同意について

(1) 被験者の人権擁護への配慮

本研究は、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成27年4月1日施行予定）に則り、愛媛労災病院倫理委員会の承認を得て実施される。

また、個々の対象者への事前の説明を十分に行い、同意を得るとともに、申し入れにより何時でもその利用を中断することが可能であることも説明し同意を得て行なう。なお、労災病院の女性従業員に対する調査では経年変化を観察することから、健康状態についての2年間の追跡調査であることを明記し、同意を得て行う。さらに、得られたデータは学問的利用にのみ限定し、対象者個人を同定した利用は行なわないことを明記する。

参加対象者および採取したデータの使用も含めて、個人情報の保護等について、最大限の倫理的な配慮をする。そのため、データは対象者番号の付与により匿名化し、個人識別情報へのアクセスは研究代表者が指名したスタッフに限定され、厳重に保管管理されている。データ解析に際しては、対象者番号を用いて匿名化された調査票情報のみを取り扱い、専用のポータブルハードディスク内に蓄積し、USBに移行する場合は統計処理後の数量に限定する。学会発表や論文発表に際しては統計処理後の数値だけを利用し、アンケートに答えた個人の情報は特定できないこととする。

さらに、研究ホームページを開設し、研究内容を広く公表し、調査対象者を含めて誰もが研究について知りえるようする。

(2) 被験者（あるいはその保護者）に理解を求め同意を得る方法

同意の種類（口頭／文書）

(3) 研究によって被験者に生じうる危険性あるいは不快とそれに対する配慮

質問に答える際に不快の念が生じるかもしれないが、これも十分な説明で対応可能と考えている。なお、本研究事業に際して研究活動に因る負傷あるいは疾病罹患の危険性は無いと考え、安全衛生面での配慮は不要である。

11. その他

なし

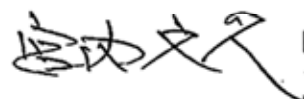
審査結果通知書

平成27年5月14日

申請者 愛媛労災病院
院長 宮内 文久 殿

独立行政法人 労働者健康福祉機構 愛媛労災病院

臨床倫理委員会委員長

 印

受付番号 第60号

課題名 厚生労働省労災疾病臨床研究事業「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」

上記の実施計画（成果の公表）について審査（再審査）の結果、下記のとおり判定したので通知します。

記

- | | | |
|----|-----------|---------|
| 判定 | 1 承認 | 2 条件付承認 |
| | 3 計画変更の勧告 | 4 不承認 |
| | 5 対象外 | |

理由、勧告、意見など
同意撤回書を添付する

倫理審査申請書

平成27年11月 9日提出

労働者健康福祉機構愛媛労災病院
臨床倫理委員会委員長 木戸 健司 殿

申請者 所属 職：労働者健康福祉機構愛媛労災病院 院長
氏 名： 宮内 文久 印

1. 課題名

厚生労働省平成27年度労災疾病臨床研究事業「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」

2. 実施責任者

所属	愛媛労災病院	職	院長	氏名	宮内 文久
----	--------	---	----	----	-------

3. 分担責任者

所属	群馬大学大学院	職	教授	氏名	林 邦彦
	山口大学大学院		教授		杉野 法広
	関東労災病院		副院長		香川 秀之
	熊本労災病院		副院長		東矢 俊光
	東京労災病院		部長		松江 陽一
	横浜労災病院		部長		中山 昌樹
	中部労災病院		部長		藤原 多子
	大阪労災病院		部長		志岐 保彦
	関西労災病院		部長		伊藤 公彦
	関東労災病院		医師		星野 寛美
	和歌山労災病院		部長		辰田 仁美

4. 目的

男女雇用機会均等法の改正に伴い、職場での男女の共同作用が期待されている。しかし、女性は卵巣から分泌されるホルモンの影響を受け、女性特有の月経周期が存在し、ホルモンの影響を受ける子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などが出現する。このような女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかにされているとは言い難い。

そのため、本研究では

- (1) 労働者健康福祉機構が有している病職歴データ（過去30年の病歴が570万件、職歴は280万件）からの調査、解析、
- (2) 産婦人科外来及び入院患者の実態調査、
- (3) 職場や自治会、検診受診者など一般婦人の実態調査、
- (4) 女性特有の疾患に対する中間管理職や産業保健スタッフの理解度と対応の把握、
- (5) 全国の労災病院の女性従業員を対象とした女性特有の疾患の経年変化の観察を行う。この労災病院の女性従業員を対象とした調査と全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）において、相互比較を行う。

本研究によって女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などが明らかとなり、解析によって女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響が明らかとなる。本研究の知見は労働行政に基本情報を提供することとなり、性差に基づいた快適な職場環境が提供可能となる。

5. 研究あるいは医療の対象

- (1) 労働者健康福祉機構が保有している病職歴データの利用

労働者健康福祉機構に在籍している診療情報管理士によって解析を行い、子宮筋腫で入院した患者の年齢、入院期間、職種によって発生頻度に差があるかどうか、就労婦人と非就労婦人あるいは就労婦人の中でも正規就労者と非正規就労者との間に差があるかどうかを検討する。また、子宮筋腫で入院した患者と子宮内膜症で入院した患者との間で差があるかどうかを合わせ検討する。

なお、諸外国では夜間交替勤務に従事している看護師は乳癌の危険因子と断定されているが日本での大規模調査に基づく報告は行われていない。そこで、本調査時に合わせて乳癌の発生率と職業との関係についても、合わせて調査する。

- (2) 産婦人科外来での患者の実態調査

全国の労災病院産婦人科で子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害と診断した婦人に質問紙を配布し、患者の実態を調査する。月経痛や過多月経、腰痛、性交痛などの症状の有無、貧血の有無、症状を自覚した日時と初診日時との期間、受診時に配慮した事情（家庭の事情、職場の事情、行事など）、就労婦人と非就労婦人との間に差があるかどうか、などを検討する。

また、子宮筋腫・子宮内膜症で入院した患者に対し、術後1か月後の外来診療時に質問紙を配布し、入院を決めた事情、退院を決めた時の事情、入院中の心配事などを検討する。

- (3) 職場や自治会、検診受信者を通じた一般婦人における実態調査

職場や自治会、検診受診者に質問紙を配布し、一般婦人における症状の出現率や有病率を調査する。

(4) 会社の中間管理職や産業衛生スタッフの意識調査

「生理休暇をとりたくても上司の理解がなくて取れない」「生理休暇をとると周りから白い目で見られる」などの発言あることから、会社の中間管理職や産業保健スタッフに質問紙を配布し、女性特有の疾患の理解度を調査する。また、男性中間管理職と女性中間管理職との間に理解度に差異があるかも合わせて検討する。

(5) 女性の経年変化

全国の労災病院で働いている女性職員に質問紙を配布し、症状の出現率を調査する。全く同じ調査を2年後に行い、2年間による症状の変化、症状の出現率を比較調査する。また、これらの成績に関しては全国の労災病院の女性職員を対象とした調査と全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）において、比較解析する。さらに、夜間勤務従事年数とBMIとの関係を解析する。

6. 実施場所

愛媛労災病院 本研究は独立行政法人労働者健康福祉機構愛媛労災病院内に設置されている「働く女性メディカルセンター」において調査分析および解析を行う。また、データの収集は全国の労災病院及び産業保健総合支援センターとの協力のもとに実施する。

7. 実施計画

(1) 労働者健康福祉機構が保有している病職歴データの利用

平成27年度に解析。

(2) 全国労災病院に協力依頼

(3) 産婦人科外来での患者の実態調査

(3-1) 平成28年1月～平成28年10月 全国の労災病院の産婦人科外来に質問紙を配送し、約1千人の患者から実態調査を行う。

(3-2) 平成28年11月～平成29年5月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(4) 産婦人科で手術を受けた患者の実態調査

(4-1) 平成28年1月～平成28年10月 全国の労災病院の産婦人科外来に質問紙を配送し、手術を受けた患者の術後診察時に約1千人の患者に質問紙を手渡し実態調査を行う。

(4-2) 平成28年11月～平成29年5月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(5) 一般婦人における実態調査

(5-1) 平成27年10月～平成27年12月 全国あるいは地元の企業、自治会に研究趣意書を発送し、了解を得る。

(5-2) 平成28年1月～平成28年12月 了解を得た企業、自治会に質問紙を配送し、約2千人の婦人から実態調査を行う。

(5-3) 平成29年1月～平成29年8月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(6) 会社の中間管理職、産業衛生スタッフの意識調査

(6-1) 平成27年10月～平成27年12月 全国あるいは地元の企業に直接に、あるいは産業保健総合支援センターを経由して研究趣意書を発送し、了解を得る。

(6-2) 平成28年1月～平成28年12月 了解を得た企業に質問紙を配送し、約2百人の中間管理職から実態調査を行う。

(6-3) 平成29年1月～平成29年8月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(7) 女性の経年変化

(7-1)平成 28 年 1 月～平成 28 年 11 月 全国の労災病院に質問紙を配送し、女性従業員に実態調査を行う。

(7-2)平成 29 年 10 月～平成 29 年 11 月 全国の労災病院に質問紙を配送し、女性従事者に実態調査を再度行う。

(7-3)平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月 質問結果を excel に入力し、解析する。また、全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）においても比較検討する。

8. 研究あるいは医療によって生じる個人への不利益ならびに危険性について

本研究は人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 27 年 4 月 1 日施行）を遵守し、労働者健康福祉機構愛媛労災病院臨床倫理委員会の承認を得て実施される。また、個々の対象者へは十分な説明と同意を事前に行い、いつでも削除可能であることを周知する。得られたデータは学問的利用にのみ限定し、対象者個人を同定した利用は行なわないことを明記する。

9. 医学および医療上の貢献度

男性と女性と同じ立場で働くことを、現在は求められている。一方、日本人女性における月経に伴う日常生活への負担に関する 2013 年の調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は 6828 億円、そのうち 72%（約 4916 億円）が労働損失と推計している。しかしこれは限られた範囲の調査であったため、正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにすることはできていない。

そのため、月経に悩む女性の訴えの詳細、正確な有病率・有所見率、治療を必要とする女性の実態を的確に把握することは、これからの労働行政の基本情報を提供することとなり、性差に基づいた快適な職場環境の提供が可能となる。また、夜間労働が BMI を増加させるとの結果が明らかになれば、夜間交代制勤務に従事している女性労働者に警告を発することが可能となり、適切な労務管理に資することから、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することとなり、ひいては労災疾病の予防に繋がると考える。

10. 研究あるいは医療実施時における対象となる個人の人権の擁護に対する配慮

およびその個人の理解と同意について

(1) 被験者の人権擁護への配慮

本研究は、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成27年4月1日施行）に則り、愛媛労災病院臨床倫理委員会の承認を得て実施される。

また、個々の対象者への事前の説明を十分に言い、同意を得るとともに、申し入れにより何時でもその利用を中断することが可能であることも説明し同意を得て行なう。

(イ) 産婦人科外来および手術を受けた患者への実態調査 質問紙を配布する際に適切に説明し、同意を得て行う。また、質問紙に同意書とともに同意撤回書を合わせ配布することによって、個人の自由意志を尊重することができる。

さらに、質問に答えない場合に診療行為に不利益が生じないように配慮し、このことを明記している。

(ロ) 一般婦人における実態調査と会社の中間管理職、産業衛生スタッフの意識調査 質問紙には個人を特定する氏名や住所の記入を求めない。また、本研究への参加が非同意の場合には質問に答えないことによって、個人の自由意志を尊重することができる。つまり、質問紙を配布し、回収することによって個人情報保護することが可能である。

(ハ) 労災病院の女性従業員に対する調査では経年変化を観察することから、健康状態についての2年間の追跡調査であることを明記し、同意を得て行う。なお、追跡調査の必要性和個人情報保護の重要性を両立するため、情報を連結可能匿名化し、対応表は事務局による管理とする。つまり、各病院で女性従業員に通し番号を割りふり、質問紙を配布する。本研究者は通し番号の付いた質問紙を回収し、解析する。2年後の再質問の場合にも女性従業員に同じ通し番号の付いた質問紙を配布する。本研究者は同じ通し番号の付いた質問紙は同一従業員の回答であり、2年間の変化を解析することが可能となる。

(ニ) さらに、得られたデータは学問的利用にのみ限定し、対象者個人を同定した利用は行なわないことを明記する。

参加対象者および採取したデータの使用も含めて、個人情報の保護等について、最大限の倫理的な配慮をする。そのため、データは対象者番号の付与により匿名化し、個人識別情報へのアクセスは研究代表者が指名したスタッフに限定され、厳重に保管管理される。データ解析に際しては、対象者番号を用いて匿名化された調査票情報のみを取り扱い、専用のポータブルハードディスク内に蓄積し、USBに移行する場合は統計処理後の数量に限定する。学会発表や論文発表に際しては統計処理後の数値だけを利用し、アンケートに答えた個人の情報は特定できないこととする。

さらに、研究ホームページを開設し、研究内容を広く公表し、調査対象者を含めて誰もが研究について知りえるようする。

(2) 被験者（あるいはその保護者）に理解を求め同意を得る方法

同意の種類 口頭あるいは文書で行う。

(3) 研究によって被験者に生じる危険性あるいは不快とそれに対する配慮

質問に答える際に不快の念が生じるかもしれないが、これも十分な説明で対応可能と考えている。なお、本研究事業に際して研究活動に因る負傷あるいは疾病罹患の危険性は無いと考え、安全衛生面での配慮は不要である。

11. その他

なし

写

別紙様式第2

審査結果通知書

平成 27 年 12 月 14 日

独立行政法人労働者健康福祉機構
愛媛労災病院 病院長 殿

独立行政法人労働者健康福祉機構
愛媛労災病院 臨床倫理委員会
委員長 木戸 健司



申請のあった下記事項についての審査結果を下記のとおり通知いたします。

記

受付番号	受付番号 第60号
実施責任者	病院長 宮内 文久
課題名	厚生労働省平成27年度労災疾病臨床研究事業「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」
審査区分	■通常審査（審査日：平成27年5月14日） ■迅速審査（審査終了日：平成27年12月14日）
判定	■承認 □条件付承認 □計画変更の勧告 □不承認 □対象外
理由又は勧告	
少数意見等	

申請者（実施責任者）

氏名 病院長 宮内 文久

依頼のあった医学研究（医療行為）に関する審議事項について、上記のとおり決定しましたので通知します。

平成 27 年 12 月 14 日

独立行政法人労働者健康福祉機構
愛媛労災病院 病院長 宮内 文久

労災疾病臨床研究事業費補助金

女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究（150201－01）

平成 28 年度 総括研究報告書（中間報告）

研究代表者 宮内 文久

発行 平成 29 年 3 月

編集・発行 独立行政法人労働者健康安全機構 愛媛労災病院
〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13 番 27 号
TEL 0897 - 33 - 6191

